

日本語の会話における割り込み発話に関する研究-日本語母語話者と日本語学習者の言語行動と非言語行動の観察から-

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/30623

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



日本語の会話における割り込み発話に関する研究

—日本語母語話者と日本語学習者の
言語行動と非言語行動の観察から—

深澤のぞみ

平成11年8月

①

博士論文

日本語の会話における割り込み発話に関する研究

—日本語母語話者と日本語学習者の
言語行動と非言語行動の観察から—

金沢大学大学院社会環境科学研究科

国際社会環境学専攻

国際社会動態論講座

学籍番号 95-2107

氏名 深澤のぞみ

主任指導教官名 大瀧 敏夫 教授

目次

第1章	序論	1
第2章	会話を分析するアプローチ	9
2.1	はじめに	9
2.2	会話を分析することの意味	9
2.3	会話を分析する理論(1) 語用論の領域	11
2.3.1	言語行為論	11
2.3.2	Griceの会話の含意	14
2.3.3	関連性理論	16
2.4	会話を分析する理論(2) エスノメソロジーの会話分析	19
2.4.1	会話分析	19
2.4.2	話者交替システム	21
2.4.3	隣接ペア	23
2.4.4	挿入連鎖	24
2.4.5	会話の全体的構造	25
2.4.6	まとめ	25
2.5	日本語の会話を分析する理論	27
2.5.1	日本語の談話研究の流れ	27
2.5.2	日本語の談話行動研究	28
2.5.3	日本語のあいづちに関する研究	28
2.5.4	日本語の発話機能分類に関する研究	30
2.5.5	まとめ	30
2.6	非言語行動の分析	31
2.6.1	コミュニケーションにおける非言語行動の意味	31
2.6.2	視線行動に関する研究	32
2.6.3	その他の非言語行動についての研究	35
2.7	割り込み発話をめぐる研究	37
2.7.1	話者交替システムから見た割り込み発話	37
2.7.2	割り込み発話についてのさまざまな研究	40

2.7.3	まとめ	42	4.3.1	会話参加者	75
第3章	本研究における会話の分析方法	44	4.3.2	収集の期間と場所	78
3.1	本研究の方法	44	4.3.3	実施の手順	78
3.2	会話資料の文字化	44	4.3.4	文字化資料の作成方法	79
3.3	分析の単位	46	4.4	会話資料の表記法と記号	79
3.3.1	話す権利、話し手、聞き手	46	4.4.1	会話資料の表記法	79
3.3.2	ターン	47	4.4.2	会話資料の記号の意味	80
3.3.3	発話	50	4.4.3	凡例	81
3.3.4	あいづち	51	4.4.4	会話資料からの抜粋	83
3.3.4.1	あいづちの定義	51	第5章	日本語母語話者同士の会話における割り込み発話	84
3.3.4.2	繰り返しや感動詞によるあいづち	52	5.1	はじめに	84
3.3.4.3	あいづちに含まないもの - 言い換え、先取り	53	5.2	割り込み発話に関連する基本的な事柄についての分析結果	85
3.4	割り込み発話	54	5.2.1	ターンと発話	85
3.4.1	割り込み発話の定義	54	5.2.2	あいづち	86
3.4.2	割り込み発話の分類	55	5.2.3	視線行動	87
3.4.3	割り込み発話の種類	58	5.2.3.1	ターンと視線行動	88
3.4.3.1	早めの発話開始	59	5.2.3.2	発話と視線行動	89
3.4.3.2	ターン取りのための割り込み発話	60	5.2.3.3	あいづちと視線行動	90
3.4.3.3	差しはさみ	62	5.3	日本語母語話者同士の会話に現れる割り込み発話に ついての分析結果	91
3.4.3.4	働きかけの割り込み発話	63	5.3.1	割り込み発話の種類と出現数	91
3.4.3.5	ターンの重なり	68	5.3.2	会話参加者と割り込み発話の出現数	92
3.4.4	まとめ	69	5.3.3	割り込み発話と視線行動	94
3.5	非言語行動の観察	70	5.3.3.1	割り込み時における割り込む聞き手の視線行動	94
3.5.1	非言語行動の観察の方法	70	5.3.3.2	割り込み時における割り込まれる話し手の視線行動	95
3.5.2	ターンと視線行動の関係	70	5.3.4	各割り込み発話の特徴や機能	99
3.5.3	働きかけの割り込み発話と視線行動の関係など	72	5.3.4.1	早めの発話開始	99
第4章	本研究における会話資料	74	5.3.4.2	ターン取りのための割り込み発話	101
4.1	はじめに	74	5.3.4.3	差しはさみ	107
4.2	会話資料の種類	74	5.3.4.4	働きかけの割り込み発話	108
4.3	会話資料の収集方法	75			

5.3.4.5	ターンの重なり	115
5.4	考察：日本語母語話者同士の会話における割り込み 発話の果たす役割	117
5.4.1	日本語母語話者同士の会話における割り込み発話の特徴	117
5.4.2	話し手と聞き手の相互交流に割り込み発話が果たす役割	119
第6章	日本語母語話者と日本語学習者の会話における割り込み発話	122
6.1	はじめに	122
6.2	割り込み発話に関連する基本的な事柄についての分析結果	123
6.2.1	ターンと発話	123
6.2.2	あいづち	125
6.2.3	視線行動	127
6.2.3.1	ターンと視線行動	127
6.2.3.2	発話と視線行動	131
6.2.3.3	あいづちと視線行動	134
6.2.3.4	視線行動についてのまとめ	136
6.3	日本語母語話者と日本語学習者の会話に現れる割り込み 発話についての分析結果	137
6.3.1	割り込み発話の種類と出現数	137
6.3.2	会話参加者と割り込み発話の出現	138
6.3.3	割り込み発話と視線行動	140
6.3.3.1	割り込み時に割り込む聞き手の視線行動	141
6.3.3.2	割り込み時における割り込まれる話し手の視線行動	145
6.3.4	NS-NNS 会話における各割り込み発話の特徴や機能	148
6.3.4.1	早めの発話開始	148
6.3.4.2	ターン取りの割り込み発話	150
6.3.4.3	差しはさみ	155
6.3.4.4	働きかけの割り込み発話	155
6.3.4.5	ターンの重なり	160
6.4	考察：日本語母語話者と日本語学習者との会話における 割り込み発話の果たす役割	161
6.4.1	日本語母語話者と日本語学習者の会話における割り込み発話の	

	特徴	162
6.4.2	日本語母語話者と日本語学習者の会話で割り込み発話が果たす 役割	163
第7章	結論	165
	おわりに	169
	謝辞	170
	参考文献	171
	会話資料	177

第1章 序論

かつてJakobson（1960）は言語行動の機能として、関說的（referential）、情動的（emotive）、動能的（conative）、交話的（phatic）¹⁾、メタ言語的（metalingual）、詩的（poetic）の6つを挙げた。私たちの日常生活で、食べる、寝るといったこととともに、他人と会話するということは非常に大きい位置を占めている。伝えるべき情報があるときに他人と話すのはもちろんだが、伝えるべき情報のあるなしにかかわらず誰かと喋ることがあり、それができないと孤独感の原因になることがある。これはまさに、「交話的」な機能が日常会話で重要な位置を占めている証しでもある。

朝起きて、家族に「今日は何だか肌寒いね。」と言ったとしよう。これはそう言った話し手にとって、別に寒くても暑くてもかまわない。ただ「そうだね。」とか、「でも先週よりはあったかくなっているよ。」と答えてもらえばそれでいいのだ。小さい子供が「お母さんあのね、〇〇ちゃんね..」と言ったとしよう。母親が「うん、どうしたの。」と聞くと、「ううん、何でもない。」と答える。母親が答えてくれたことだけで、子供は十分幸せになれるのである。

一方、家族に「今日は何だか肌寒いね。」と言ったのに誰も答えなかったとしたら、あるいは「今夜は夕飯いらなからな。」という「肌寒い」こととは関係のない答えが返ってきたとしたら、この家族の関係には何かぎすぎすしたものがあるということが分る。

「交話的」な会話は、情報を伝達する働きではなく、言ってみれば人と人をつなぐ働きをしている。「今日は何だか肌寒いね。」「そうだね。」と

¹⁾ もともとの「交話的（phatic）」ということばは、マリノフスキーが "The problem of meaning in primitive languages", in C. K. Ogden and I. A. Richards, *The meaning of meaning* (1923)の中で使ったものである。

いう会話をふたりで一緒に作り上げることが大切なのであって、必ずしも「寒いから気をつけなさい。」という情報を伝えようとしている訳ではないのである。

それでは会話には、このように人と人とをつなぐ働き、会話という一つの仕事を一緒にするためにどのような仕組みがあるのだろうか。その疑問に答えようとするのが本研究の目的である。

私たちが日頃行っている会話は、かわるがわる話し手が交替してそれを繰り返して進んでいく。相手が話しているときには相手の話を黙って聞き、自分がかわって話し手となるときには相手が話を黙って聞いてくれる。会話に参加している参加者が何人でも、原則としては一度に話すのは一人で、複数の話し手が同時に話し続けたりすることはあまりないこととされている¹⁾。このことをSacksら(1974)は、「会話の話者交替システム」で合理的に説明しようとした。詳しくは次章に述べることになるが、会話には話者交替に適切な場所があり、そこで「話者交替のルール」が適用されながら話者が交替し、それを繰り返し会話が進んでいくのである。

例として、次の会話を見てみよう²⁾。

- (1) カレン： みち子さん、黒田さんの婚約のこと、知ってます？
みち子： え、黒田さん、婚約したんですか。 <ええ> 相手はどういう人？
カレン： 黒田さんの話じゃ、大学の時の友だちで、テニスのサークルでいっしょだったんですって。
みち子： そう。
カレン： それで、その人が来年スウェーデンに転勤するんで、 <ええ> 行く前に式をあげるそうですよ。

(日本語教科書『Total Japanese Conversation 2』³⁾)

¹⁾ 木村(1995)や菅原(1998)によると、アフリカの一部の民族の人々の雑談では、同時発話が長く続くことがよく見られるそうである。しかし菅原(1998)は、いつも話者交替システムとは無縁の会話がされているわけではなく、ある文脈の特性によって、話者交替ルールでは説明ができないような相互行為モードへの切り替わりが起こることがあるのだと説明している。

²⁾ 本研究では文例や会話例を提示することがあるが、出典があるものは出典名を示すことにする。文献からの引用のときには文献名を、また本研究の会話資料からの引用のときには(資料1「インターネット」)のように示す。なお、本研究の会話資料については、第4章に詳細を述べる。

³⁾ 『Total Japanese Conversation 2』は、初級の日本語学習者のための教科書である。

この会話は、外国人が日本語を学ぶための教科書から引用したものである。カレンとみち子が、同僚らしき黒田さんのうわさ話をしている。話者交替のルール通り、カレンが話しているときはみち子が黙って聞き、カレンの話が終わってからみち子が話し始める。唯一の例外は、<ええ>で、互いの話にあいづちを打っているらしい。

しかしこの会話を読んでも、何か不自然な感じがする。みち子が「え、黒田さん、婚約したんですか。」と驚いたような様子で言っているところを見ると、「黒田さんが婚約したこと」はどうもかなりのニュースらしい。しかし、ここで行われているカレンとみち子のやりとりには、そのような驚いたうわさ話をするときの衝撃や弾んだ感じが伝わってこない。それはどうしてなのだろうか。

私たちの日頃の会話を思い起こしてみると、上に述べたような話者交替のルールが厳密に守られているのはかきこまった場での会話、特に会議であるとか、上司や教師を囲んでの会話であることが多い。一方、気の置けない人々の間でなされる日常の雑談では、一人の話し手が話している時でも他の会話参加者が口を挟んだり、一人の話し手の話に他の話し手の話がかぶさったりすることが結構頻繁に起こっていることに思い当たる。一人の話し手が話し始めたときに同時に他の話し手も話し始めてしまったり、一人の話し手が話している最中に他の話し手が割り込んで話し始めたりなど、いろいろなケースがある。また後で詳しく定義するが、このように一人の話に他の参加者が口を挟む発話を「割り込み発話」と呼ぶ。

この割り込み発話によって自分の発話権が取られてしまったりすると、「感じ悪い」と思うこともある。しかしまた、それぞれの会話参加者が待ちきれないといった様子で口を挟んだりするのは、いかにも話が弾んでいる印象を受けて「雑談らしさ」を形成していると言えるし、逆に、一人の話し手が話を終えたのになかなか次の話し手が続いて出てこなければ、その会話の参加者たちは会話を維持するのに苦労しているような感じがする。そうしてみるとこの割り込み発話は、会話を作りあげていく上で、いい意味でも悪い

意味でも重要な役割を果たしているらしいことが分る。先に述べたカレンとみち子の会話には、「雑談らしさ」が少なくとも紙の上に書かれたものには見られないために、不自然な感じがするのではないと思われる。

ところで、もう一つ会話を考えるのに欠かせない要素がある。それは視線行動やうなずきなどの非言語行動である。もう一度カレンとみち子の会話に戻ってみよう。

みち子がカレンから黒田さんの婚約を知らされ「え、黒田さん、婚約したんですか。」と言ったとき、みち子はどんな様子だったろうか。驚きで首を突き出し、目を見開いたかもしれない。カレンは「そうそうそう」といった感じでうなずきを繰り返して、またみち子がそれに大きいうなずきを返したかもしれない。カレンが「黒田さんの話じゃ、大学の時の友だちで、テニスのサークルでいっしょだったんですって。」と言ってみち子が「そう。」と答えたところがあるが、このときにみち子の視線はカレンの方に向けられていたと思う。しかしもしみち子がカレンではない全く別の方を見ていたら、それは「もう、その話はこれっきりにして。」という意味になってしまうだろう。このように、会話には話の重なりや非言語行動など、字面からだけでは分らない立体的な構造があるのである。

本研究では、このように人と人との関係をつくり、会話という一つの仕事を一緒にするための仕組みについて、日本語の会話に見られる割り込み発話と、割り込み発話をめぐる視線行動に焦点をあてて考察していく。また日本語母語話者（以下、母語話者）と日本語学習者（以下、学習者）との会話では、学習者の日本語力の不足などの原因で、うまく会話参加者同士の関係がつかれないような場合がある。このような場合、母語話者同士の会話と比較して、会話を一緒に作りあげていくための仕組みに何か違いがあるのか、あるとしたらどのような違いなのかということについて、実際の母語話者と学習者の会話を資料として考察する。これらの目的のために、以下のような方法で研究を進めていく。

本研究では、資料として実際に行われた会話を用いるが、まず第2章では、

会話を分析するための方法論として、会話分析とその関連の研究分野について考察する。本研究のデータの記述や分析方法は、おもに、会話分析、日本語の談話分析¹⁾、語用論、などの先行研究に影響を受けている。ここではまず、会話の含意や言語行為論さらに関連性理論などの語用論の分野を取り上げる。その上で、エスノメソドロジーの会話分析の理論について、話者交替システムや隣接ペアなどのおもな概念を検討していく。次に、日本語の談話分析の研究から、談話行動研究、あいづち研究、発話機能分類の研究の成果を紹介する。さらに、非言語行動を対象にした研究もいくつか取り上げて紹介する。これらの先行研究の成果に加えて、本研究でのテーマである割り込み発話について、これまで明らかにされてきたことを整理し、検討する。ここで考察された会話を分析するためのアプローチが、この研究での基礎的な方法論となる。

第3章では、第2章で考察した理論を踏まえながら、本研究での分析方法について考察する。本研究では実際に行われた会話を録音・録画したものを資料にして論を進めていくが、これらの資料は文字化あるいは記号化しなければ分析することはできない。そこで、言語行動だけではなく非言語行動も含めた形での記述方法について検討する。

また、文字化資料を分析するためには、分析のための単位を定めることが必要となるが、ここでは「ターン」と「発話」という二つの分析の単位を設定する。その上で、割り込み発話を定義し、割り込み発話とあいづちの違いなどについても触れる。

さて、会話における割り込みが生起するのは、これまでの研究によると、会話の話者交替システム（turn-taking system）の中で、現在の話し手のターン（turn）が完了する直前や話者交替適格箇所（transitional-relevance place）付近で、次の話し手になる会話参加者が自己選択で話し手になる場合、また、話者交替適格箇所以外の場所で、自分の話題を展開するために権力的な手段として割り込む場合、であると考えら

¹⁾ 「談話」と「会話」ということばについては、第2章で述べた。

れている。会話への積極的な関与のために割り込みを行う会話スタイルがある、という指摘もある。

しかし、これらは英語の会話を中心にして研究されたものであり、このまま日本語の会話に当てはめることができるとは言いがたい。さらに、実際の日本語の割り込み発話は、あいづちと割り込み発話の違いなどの日本語に特有な問題があり、また割り込みが起こる位置、その際の話し手と聞き手の立場、割り込みの機能、そして非言語行動との関わりなど、多様な側面を持っていることから、それらの側面を総合的に捉えて考察する必要がある。だが、これまでの日本語の割り込み発話に関する研究では、たとえば会話における権力的な手段としての割り込み発話など、一部分だけを取り上げて分析されることが多かった。

そこで本研究では、割り込みの全体像を捉えようと試み、上記のような割り込み発話のさまざまな側面を総合的に考察して、まず、日本語の割り込み発話を、1) 早めの発話開始、2) ターン取りのための割り込み発話、3) 差しはさみ、4) 働きかけの割り込み発話、5) ターンの重なり、という5種類に分類する。本研究では、この分類に従って、割り込み発話を分析していく。

本研究で、実際の会話を録音・録画したものを資料として用いることは繰り返し述べてきたが、第4章では、本研究で用いるこれらの会話資料について、会話の種類や収集方法、会話参加者などについての詳細を述べる。さらに、文字化資料中で使われている記号の意味や実際の文字化資料のサンプルなどを示す。

なお、会話資料の内訳は、a) 母語話者同士の会話4組、b) 母語話者と学習者との会話4組、c) 比較のために、b) で学習者と会話した母語話者同士の会話2組、の計10組（各15分間分の会話）である。会話資料は、巻末に添付した。

第5章、第6章では、第4章で述べた日本語母語話者同士の会話、そして日本語母語話者と日本語学習者との会話の資料をもとに、割り込み発話と、割り込み発話をめぐる視線行動を中心とした非言語行動を分析していく。

まず第5章では、母語話者同士の会話資料から、割り込み発話の分析に必要となってくると思われる、ターンや発話、あいづち、それらと視線行動の関係など、基本的な事柄についての分析を行う。その上で、母語話者同士の会話の中で起こる割り込み発話を、第3章で示した5つの種類に分類し、それぞれの割り込み発話の特徴について、割り込みの位置、話し手と聞き手の立場の問題、視線行動との関連、割り込みの機能といったことを中心に分析していく。

その結果、割り込み発話と視線行動の関連を調べてみると、聞き手が、1) 早めの発話開始、2) ターン取りの割り込み発話、3) 差しはさみの割り込み発話をする際には、通常の話者交替と同じように話し手となるための視線行動をしていることが観察されるが、4) の働きかけの割り込み発話をする場合には、話者交替の際の視線行動ではなく、聞き手としての視線行動をしていることが判明する。これは、割り込み発話であっても、必ずしも発話権を取ってターンを開始しようとしている訳ではないことを意味している。また各割り込み発話の機能について見てみると、話し手へのターンの継続や支援といった機能を持つものが多いことが分り、相手のターンを妨害するタイプの割り込みはあまり多くないことも分った。

第5章では、このようないくつかの特徴から、割り込み発話には、会話の流れを中断して話題を終わらせたり変更したりするのではなく、むしろ会話参加者同士の相互交流の流れを緊密にし、強く結び付ける役割を果たす側面がある、ということを示していく。

次に、第6章では、日本語母語話者と日本語学習者との会話資料に基づき、第5章と同じように割り込み発話と視線行動との関連、割り込みの機能などに焦点をあてて、母語話者同士の会話と比較して分析する。

母語話者と学習者との会話では、母語話者が学習者のターンに割り込むことが多いこと、しかし日本語母語話者が学習者のターンを支援するタイプのものが圧倒的に多いことが分った。また視線行動との関連については、日本語母語話者同士の会話とは違った様相を見せていて、母語話者が学習者に視

第2章 会話を分析するアプローチ

線を向けている率が高いことなどが分った。

これらのことから、母語話者は学習者と話すときに、学習者を注意深くモニタリングしながら、割り込み発話を用いて学習者の日本語力の不足から生じるコミュニケーションの滞りをなくそうとしていることを明らかにする。

最後の第7章では、これまでの結論を述べる。

本研究では、以上のような手順で、割り込み発話には、人と人との関係を緊密にする働きがあること、また、日本人と外国人との円滑なコミュニケーションのためにも重要な働きをしていることを明らかにしていく。

翻って、日本語学習者のための日本語教材について考えてみると、視聴覚教材を含めても、割り込み発話が取り上げられていることは皆無に等しい状況である。本研究の成果である割り込み発話の特性は、外国人のための日本語教授法や教材にとっても、重要な意味を持つものと思われ、今後の日本語教育にも資することができると思う。

2.1 はじめに

一口に「言語」と言っても書かれた言語があり、口頭で用いられる言語があり、さらに手話のようなものもあり、その特徴は多岐にわたっている。したがって当然、言語を研究する枠組みもさまざまなアプローチでなされている。大きく分ければ、言語学、社会学、心理学、人類学などといった学問分野で言語の研究がなされてきているし、言語学の分野だけを見ても、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論のアプローチ、さらに言語学と関連のある社会言語学、心理言語学などからのアプローチなど、研究の枠組みはさまざまである。しかもそれぞれの分野が扱う領域ははっきりと分けられる訳ではなく、境界を明示するのは簡単なことではない¹¹。

本章では、会話がどのように捉えられ、どのように分析されているかについて、Griceの会話の含意、言語行為理論、関連性理論、コミュニケーションの民族誌について論じ、さらに本論文の方法論として用いるエスノメソロジーの会話分析のアプローチについて、詳しく論じていく。さらに、日本語の談話分析研究や非言語行動についての研究、そして、割り込み発話に関するこれまでの研究成果を、整理し検討する。

2.2 会話を分析することの意味

言語の研究は、まず高度に理想化された形態素や音素、そして語や文の意味といった単位を対象にして、文法の体系化という方向で進められてきた。しかし書かれた文ではなく実際に話されていることばを論じようとするとき、これらの研究では解決できないことが出てくる。たとえば、次の文を見てみよう。

¹¹ レビンソン（1983）は語用論の領域についてこれまでになされた定義について検討を加えているが、自らははっきりとした定義は提示していない。

- (1) 私は今39歳です。
(2) A : 明日、仕事に来られる？
B : 分った。来るよ。

まず(1)について、「私」は誰なのか、そして「今」というのはいったいつなのだろうか。それはこの発話がなされた状況や時などの文脈が分らなければ理解できないことで、この(1)を文として理解はできても、指し示す意味は分らないことになる。

また(2)のような文のやり取りでは、AはBに対して、ある文脈において「仕事に来ることができるかどうか」を聞いているのではなく、「仕事に来てもらいたい」という依頼を表すことがよくある。

またさらに、次のような例も検討しなければならない。

- (3) 明日、大学へ行きます。
(3') 明日、大学へ参ります。
(4) A : 明日、飲みに行かない？
B : (沈黙)
A : 都合悪い？
B : うん、明日はちょっと。
(5) A : ...サークルの吾郎が行こうって誘ったからカラオケに行ったらさ、先輩の木村さんが来てて、合流して夜中まで盛り上がっちゃってさ..
B : (無言で、窓の外をぼんやり眺めている)

(3)と(3')は、同じ意味内容のことを普通の言い方と敬語を用いた言い方で表したものである。これらの言い方はそれぞれどのような場面で、誰に対して使うのが適切かというのは、社会的な文脈なしには考えられない。敬語を使わないと相手に対して失礼になったり、話し手が教養がないと思われたりすることがあるし、逆に使わなくてもいい場面で使った場合には、皮肉っぽい言い方になったりすることもある。

(4)のやり取りは、Aの誘いに対して、好意的な返答ができない場合に沈黙が起こった例である。沈黙ということばのない状態が、ある文脈では特有の意味を持つ例となっている。

(5)は(4)とある意味で類似の例である。Aがずっと喋り続けているのに対して、BはAの方を見ないで窓の外を見ている。これはAに対してBが何らかの応答をしたりあいづちを打ったりしていないだけでなく、話し手を見ないで窓の外を見るという非言語行動が、BがAの話に興味を持っていないことを伝えている。

このように話されたことばの分析には、いわゆる文法的な検討だけではなく、さまざまな要素の検討が必要となってくる。したがって言語研究の枠組みとしては、一方で母語話者の社会における発話から理想的・抽象的な文法の体系化という方向のアプローチと、もう一方でそのような文法体系がある文脈の中や社会の中でどう実現されるのかという方向のアプローチと、両方のアプローチが必要となってくるのであり、それぞれ補完的な役割を果たしていることになる。

さて後者のアプローチで、あるスピーチコミュニティでの言語の実現が最も典型的に現れると思われるのは、人々の日常の会話においてである。子供がはじめて遭遇するのが会話によるコミュニケーションであるし、また大人の世界でのさまざまな活動も、その大部分が会話によるコミュニケーションでなされているからである。したがって、話されたことばである会話を分析することは、言語がある文脈や社会でどのように実現されているかを知るために、不可欠であると言えるのである。

次の3節では、具体的に会話を分析するために有効ないくつかのアプローチをあげ、それぞれについて論じていく。

2.3 会話を分析する理論(1) 語用論の領域

2.3.1 言語行為論(Speech Act Theory)

Austin(1962)は、次にあげるような文を、何かを記述、報告したり、

事実確認をしたりする文 (constatives) とは性質が違うものとして、行為遂行的文 (performative sentence) と考えた。

(6) I name this ship the *Queen Elizabeth*. (ただし、船首にシャンペンの瓶をたたき付けながら言われた場合)

(7) I bet you sixpence it will rain tomorrow.

すなわち (6) や (7) を口に出して言うことは、その当の行為 (命名することや賭けること) を実際に行っていることに等しいということである。

これらの例からも分るように、通常私たちが行う発話の中では次の3つのことが行われている。

- 1) 発語行為 (locutionary act)
- 2) 発語内行為 (illocutionary act)
- 3) 発語媒介行為 (perlocutionary act)

それぞれについて、「たばこを吸わないと約束する」と言ったときを例に考えてみよう。まず発語行為で、「たばこを吸わないと約束する」という一定の意味を持つ文が音声的に発せられる。次に二つ目の発語内行為で、「私はたばこを吸わないと約束する」と述べて、その発話の持つ本質的な力によって約束という行為そのものが行われる。さらに発語媒介行為で、たばこを実際に吸わなくなるという実際的な効果がもたらされるのである。

このAustin の言う発語内行為がどのような条件で成立するのかについて、Searle (1969) はさらに詳しく検討している。まず発語内行為の成立の必要十分条件について検討した上で、4つの規則を抽出している。

- それは
- 1) 命題内容規則 (propositional content rule)
 - 2) 事前規則 (preparatory rule)
 - 3) 誠実性規則 (sincerity rule)
 - 4) 本質規則 (essential rule)

である。Searle はこの4つの規則をもとに、依頼、質問、感謝、警告などといった発語内行為を類型化しようとしている。たとえば、発語内行為のう

ち「助言」と「警告」の規則の内容を比較してみると、表1のようになる。

表2-1 発語内行為の種類 (助言と警告の比較)

	助 言	警 告
命題内規則	Hの未来の行為A	未来の出来事あるいは状態などであるE
事前規則	1 Sは、AがHに対して益を与えることを信じる理由を持っている。 2 Hが通常の事態の進行においてAを行うということは、SとHにとって自明ではない。	1 Hは、Eが生じるということ、EがHの利益にならないということ信じている。 2 Eが生じるということは、SとHにとって自明ではない。
誠実性規則	SはAがHに対して益を与えると信じている。	Sは、EがHにとって最大の利益ではないと信じている。
本質規則	AがHの最大の利益になるという趣旨を引き受けることとして見なされる。	EはHにとって最大の利益にならないという趣旨を引き受けることとして見なされる。

(Searle 1969)

最後に、Austin、Searleの言語行為論について、実際の会話の分析に寄与する点と、十分でない点について述べる。

まず、話し手が発話を行うというのはどういうことなのかを明らかにしたことは、実際の会話の分析にとって大きい貢献である。また、抽象的ではあるが、一つ一つの発話を持つ機能を分類したことも、会話の分析に大きい影響を与えている。たとえば、会話分析の重要な概念である「隣接ペア¹⁾」は、ある機能を持った発話とそれに対する応答とのセットを指すが、この概念は、言語行為論が基礎になっていると考えられる。

一方、十分でない点としては、実際の会話の多面性を捉えきれていないことがあげられる。実際の会話の中に現れるすべての発話を、Austin、Searleの言う言語行為として考えることが果たして可能であろうか。たとえばLevinson (1983) が批判しているように、会話の中のいろいろな解釈ができる曖昧な発話を、言語行為論は説明ができない。また発語内行為に関してはSearleが検討したようにある程度までは類型化できると考えられる

¹⁾ 隣接ペア (adjacency pair) については、2.4.3で詳しく述べる。

が、発語媒介行為に関してはどうか。ある発話を媒介としてどのような効果を持つか、文脈や話し手と相手の間の相互的な影響はどうかなどの説明はほとんどなされていない。

次の節では、こういった話し手の意図と聞き手の理解に関する問題について、Grice の会話の含意を検討する。

2.3.2 Grice の会話の含意

実際の会話を観察してまず気づくのは、会話のコミュニケーションの中ではいわゆる文字通りの伝達がいつも行われている訳ではない、ということである。

(8) A : なんか暑くない?

B : その窓を開けようか。

ここで「なんか暑くない?」の質問には、文字どおりには「暑い」とか「暑くない」という返答が考えられるはずである。しかし実際には「その窓を開けようか」という返答がなされ、さらにはたぶん実際に窓が開けられることになる。

Grice (1975) は、なぜ上の例のように、聞き手は文字通りのやりとりをしないのか、またどうやって必要な情報を得ることができるのかということ、を、会話の含意という理論で説明した。

それによると、会話はまず大きく協調の原理 (The cooperative Principle) に覆われており、その下にさらに量の原則 (The maxim of Quantity)、質の原則 (The maxim of Quality)、関係の原則 (The maxim of Relevance)、様態の原則 (The maxim of Manner) があって、それらに従って会話が進むと考えた。以下に、それぞれの内容を示す。

協調の原理 あなたが参加している会話のやりとりの目的や方向に沿って、必要とされる会話への貢献をせよ。

(4つの原則)

- | | |
|-------|---|
| 量の原則 | i) 会話のやりとりの中で必要とされているだけの情報を提供せよ。
ii) 必要以上の情報を提供しないようにせよ。 |
| 質の原則 | i) 偽と信じていることを言わないようにせよ。
ii) 十分な証拠のないことを言わないようにせよ。 |
| 関係の原則 | 関連を持つようにせよ。 |
| 様態の原則 | はっきりと明確に言うようにせよ。
i) わかりにくい表現を避けよ。
ii) あいまいな言い方を避けよ。
iii) 手短かに言うようにせよ (不必要な冗長を避けよ)。
iv) 順序よく述べよ。 |

会話の参加者は、自分も相手も協調の原理を守っていることを前提として、自ら発話し、また相手の話を聞く。しかし実際に行われる発話は、必ずしもこれらの原則や原理に沿っていつも行われている訳ではない。Grice は、むしろ一見これらの原則に沿っていない発話がなされた場合でも、実はこれらの原則が別なレベルで守られていると考える。それが会話の含意 (conversational implicature) と呼ばれるものである。

次のような会話の例を考えてみよう。

(9) A : 彼女には恋人がいるの?

B : いつも週末には、彼女の家の前に赤いポルシェが止っているみたいだよ。

A : えーっ、じゃあ、河村君が恋人なの!

(9) の会話例では、A の質問に対して発せられた B の返答は表面的には関係の原則に反している。しかし A は B が協調の原理を守って自分の質問に答えていることを信じ、B の発話は「彼女に恋人がいるかいないか」についての情報を提供しているものだということを前提とすることができる。そこ

で、A と B と双方が「河村さんという男性が赤いポルシェに乗っている」という情報を共有していることから、河村さんが彼女の恋人であるという会話の含意を推論することができるのである。

このように Grice は、私たちの行う会話は、会話の参加者が会話を共同で作りに上げていくという協調の原理に支配されていること、そして発話の中で、言わなくても何かを伝えることができるということを明らかにして、その後の会話を分析する研究にも重要な影響を与えている。

Leech (1983) は、Grice の協調の原理と 4 つの原則に「丁寧さの原理」を付け加えて、会話の含意が推論されるプロセスを分析している。先の (9) の例に戻って考えよう。

まず Leech (1983) は、「関係の原則」を「ある発話 U が話し手または聞き手の会話のゴールに貢献していると解釈されうるならば、発話 U は発話の場面に関係がある」と詳しく定義している。ここで会話のゴールと言う場合には社会的なゴール（礼儀正しさを守ることなど）と個人的なゴール（恋人がいるかどうか知りたい）が含まれる。つまり A が「彼女に恋人がいるかどうか」を知りたいというのがゴールだとすると、B は A の知りたい答えに必要なとされる情報を提供していると解釈できる。それはなぜなら B が協調の原理を守るという社会的なゴールにも協力していると判断されるからである。それに加えて B がはっきり「彼女の恋人は河村さんだよ」と言わなかったのは、丁寧さの原理が役割を果たしている。あまりに露骨なうわさ話を避けようとしたとも考えられるからである。

こういったプロセスを、認知情報処理過程のアプローチからさらに詳しく説明しようとしたのが、関連性理論である。次節ではこれについて、見てみることにする。

2.3.3 関連性理論 (Relevance Theory)

Sperber & Wilson (1986) は、人がどのように会話の含意から推論をするのかについて、演繹的に説明することができる考えた。それによると、

人は情報を処理するとき、それが持っている仮定と関連し、少ない労力で、しかも何らかの有益な結果・情報という効果をあげるように処理しようとする¹⁾。ある発話が、その発話がなされた文脈において最少の労力で、適切な効果を持つ場合に、関連性を持っているという。会話において、話し手は最善の関連性を持つ発話でコミュニケーションを達成しようとするし、また聞き手の方もあらゆる発話は関連性を持っているという期待を持って、その発話を解釈するのである。

たとえば (9) の会話で、B がもし A の「彼女に恋人がいるの？」という問いに対して「いるみたいよ。」と答えたとしたら、さらに「それは誰なの？」「どんな付き合いをしているの？」などと聞きたい情報を得るために、たくさんの労力が必要になり、それは関連性理論の言い方では「文脈効果が低い」発話となる。

ところが B の「いつも週末には、彼女の家の前に赤いポルシェが止っているみたいだよ。」という発話は、A という聞き手が持つ「河村さんという男性が赤いポルシェに乗っている」という文脈を利用して、「河村さんが彼女の恋人で、しかも週末にはいつもこのポルシェでやってきて、彼女の家で過ごしているらしい」という情報までも伝えている。これは、たった一つの発話という少ない労力でたくさんのことを伝えている例で、「文脈効果が高い」発話とすることができるのである。

ここで利用した文脈というのは「河村さんという男性が赤いポルシェに乗っている」というものであったが、もしこの文脈が「彼女の車は、赤いポルシェである」というものであったら、B の発話の意味するところが「彼女は週末には車で出かけることもせず、家にこもっている。したがって恋人がいる様子もない。」であるとも解釈できる。このように私たちの会話では、複数の解釈の可能性があり、最善の関連性も文脈によって変わってくるがよくある。その場合どの文脈が呼び出されるか、という判断が重要になる。B は

¹⁾ Blakemore (1992) に、この理論についてわかりやすく説明されている。

Aが「河村さんという男性が赤いポルシェに乗っている」という文脈を持っていることを知っていて、それを前提に発話をしている。話し手は聞き手がどの文脈を呼び出して発話を解釈するかを考え、その中で最も高い文脈効果を達成する可能性のある発話をするし、また聞き手の方も、それを見込んで発話の解釈を行うのである。

さて、実際の会話の分析ということを考えたときに、この関連性理論はどのような役割を果たし、どのような問題があるだろうか。

会話を分析するにあたっての関連性理論の問題点は、意図明示的な伝達のみを扱うとしている点である。たとえばBlakemore (1992)は次の様に言う。ある人に見せたい書類があって、その人の部屋で待っている場面で、相手に見せたと悟られないように、しかし相手に見えるように腕時計を自然に見たときには、意図明示的な伝達とはみなさない。なぜならそれは伝達意図を隠しているからである、と述べている。関連性理論では、意図明示的な伝達に出会ったとき（たとえば、書類をひらひらさせて、腕時計を指差す）に、それが最少の労力で高く文脈効果を達成できる、処理するに価する情報だと考えることができる、とする。反対に上記のような明示的でない伝達では、それが処理するに価するものかどうか、判断が下せないと考えるのである。

しかし相手に見せたと悟られないように自然に、しかし相手に見えるように時計を見た、という場合には、「早く自分と話してほしい」「でも、丁寧さに反する方法であからさまに伝えるというような、そんな相手を気遣わないことをしたいとは思わない」ことを伝達していると考えられる。すると書類をひらひらさせて、腕時計を指差すという伝達に、さらにもう一つ情報が加わっていることになるのであって、これは伝達意図を隠しているとは言えないのではないだろうか。これはたとえば、本当に自分の方に何かの用事があるために時間が気になって腕時計を見る場合、相手に悟られないように腕を動かさないようにして時計を出すとか、目だけを動かして見るなどする場面を考えてみれば、明らかである。

しかしGriceの会話の含意で、私たちの行う会話が協調の原理に支配され

ていること、また発話の中で言わなくても何かを伝えることができるということも明らかになった訳だが、関連性理論では、さらに発話の中で言わなくても伝えることができるプロセスを論理的に解明したと言え、会話の分析においては、大きい役割を果たしていると思われる。

2.4 会話を分析する理論 (2) エスノメソドロジーの会話分析

2.4.1 会話分析 (Conversation Analysis)

ここまで見てきた語用論の領域の言語行為論、グライスの会話の含意の理論、そして関連性理論が解決するのは、大雑把に言えば、私たちの日常の会話においては、伝えたい事柄を直接言わないで伝えることができるということ、または実際に言われていないことが、どのように解釈されて相手に伝わるのか、ということであった。

しかし実際の会話ではいくつかのやりとりが続いてはじめて意味をなすこともある訳で、一つの文だけでその文の含意や発話意図などが推論できないこともある。日常の会話の中の相互作用ということを重視する立場であるエスノメソドロジー (Ethnomethodology) の会話分析は、会話そのものの分析をするのに有効な方法論である。この節では、会話分析について検討していくことにする。

エスノメソドロジーはもともと社会学から出てきた立場で、社会の成員たちが日常生活の世界の中で、いま自分たちがやっていることを成し遂げるために実際にどのような方法を行使するかということに関心を持っている (Psathas 1989)。社会に一定の規範がすでにあって、その規範が社会的行為を規制するという考え方の、いわゆるマクロ的なレベルの研究に対して、日常的な相互行為が社会的な秩序を形成していくというミクロのレベルに焦点をあて、帰納的な方法で分析を行う研究の立場である (津田 1989、渋谷 1992)。

このようにエスノメソドロジーの立場では、会話分析は社会的な行為の構

成のされ方を明らかにする手段として用いられており、会話そのものに焦点があてられている訳ではない。しかし、エスノメソドロジーの立場が会話の分析に用いる方法論は、日常会話を分析するためにも有効なものであると考えられる。たとえば、会話分析の立場では、自然に話された会話を録音してそれを文字化したもの（transcription）を資料として用いながら、経験的、帰納的な分析を行っていく。これは、日常の会話を分析するのにふさわしい方法であると思われる。また、後に詳しく見ていくが、「会話の話者交替システム（turn-taking system）」や「隣接ペア（adjacency pair）」（Sacksら 1974）の概念は、言語行為論や会話の含意などの理論では説明しきれなかった現象を明らかにしてくれるものである。

ここで、実際の会話を文字化した資料から抜粋した会話例を用いて、会話分析の有効性を見てみよう。

この会話例は、3人の男子学生が夏休みにクラブの合宿をした場所について話をしているものである。

(10)¹¹
 A : 青年の家も使えるって言えば使えるんだけどねあそこも | // 大会に
 B : | あー宴会
 できないんでしょ=
 A : =遠いしさー/体育館は使えそうだけど (ポーズ1.0) うーん
 (深澤 (1994) 会話資料「ドライブ」)

この会話でAの後の方の「遠いしさー、体育館は使えそうだけど」という発話は、どのように捉えたらよいのだろうか。Bの「宴会できないんでしょ」

¹¹ 資料の記号については第4章で詳しく述べるが、ここで用いられているものの意味は次のようなものである。

	二人以上の発話が同時に行われていることを表す。
/、//、///	ポーズの長さを、表す。それぞれ0.2、0.5、0.8秒前後を表している。
=	それ以上の場合は (ポーズ1.0) のように表記する。
=	次の発話が、前の発話から間隔がなく発せられたことを表す。

英語の会話例を引用する場合に、記号はなるべく原著のままとしたが、上の記号と同じもので意味が違うものがある場合は、上記の記号に統一した。

という問に対する答えとは思えない。

このAの「遠いしさー、体育館は使えそうだけど」という発話は、Bが「あー宴会できないんでしょ」という発話をAの発話の最中に割り込ませてきたことによって中断された発話の再開と捉えることができる。この発話を、含意の概念や最善の関連性ということの説明するのは難しい¹¹。会話のこの部分については、会話参加者のAとBの相互作用ということを視野に入れなければ解釈することは不可能なのである。

このような現象を明らかにするためには、会話分析の話者交替システムと隣接ペアという概念が有効であると考えられる。そこで、次に会話分析の主な概念について、見ていくことにする。

2.4.2 話者交替システム

私たちが通常行っている会話では、会話に参加している複数人間がかわるがわる話し手となり、あるいは聞き手となって進んでいっている。一人の話し手と次の話し手が話し始めるまでの間は短く、しかもたいがいの場合、円滑に交替がなされていることが観察されるが、Sacks, Schegloff & Jefferson (1974) らは、話者交替システム (turn-taking system) と名付けた仕組みで説明した。

まず、会話における話者の交替は、むやみに行われる訳ではなく、話者交替適格箇所 (transitional-relevance place、以下TRPと略す。) と呼ばれるものが存在する。会話は、一人の話し手が話をする番 (turn、ターンと呼ぶ) が、繰り返し交替することで構成されている。TRPとは、このターンの構成単位を成す文や文節、単語などの中で、話を終了することが可能な場所で、話者交替が行われる可能性のある場所をさす。

会話における話者交替は、TRPで次のような話者交替ルールが適用されることによって、達成される。

¹¹ 西阪 (1995) は、関連性理論の限界をエスノメソドロジーの立場から論じている。

話者交替ルール

- 1 一番はじめのターンの、一番はじめのTRP で
 - a) 今話をしている話者（現在の話者という）が次の話者を選ぶ場合、次の話者は話す権利を得て、次に話す義務を負う。
 - b) 現在の話者が次の話者を選ばない場合、誰でも名のりをあげることができる。最初に口を開いた話者が、その権利を得る。
 - c) 現在の話者が次の話者を選ばない場合、また誰も名のりをあげなかった場合、必ずではないが、現在の話者が話し続けることができる。
- 2 最初のTRP で、1a) も 1b) も起こらなかった場合、ルール 1c) によって現在の話者が話し続けるが、a) からc) のルールセットは次のTRP で繰り返し適用される。

この話者交替ルールは、次の話者へのターンの割当を決定し、さらにターンとターンの間隔を最小にしたり、ターンが重複することを防ぐ働きを持っている。なお、話者交替と密接な関連を持つと考えられるターンの重複については、後に2.7「割り込み発話をめぐる研究」のところで、詳しく見ていくことにする。

実際の会話の話者交替を解明するために、この話者交替ルールが必ずしも万能である訳ではない。社会的な立場の差がある教師と学生、医師と患者、管理職と普通の社員などの間でなされる会話で、特にフォーマルな状況の場合には、話者交替ルールとは異ったルールで進められることも多い。

また後の2.6「非言語行動の分析」のところで検討していくが、あいづちや視線といった非言語行動が話者交替に影響を与えているという考え方もある（Kendon 1967、Duncan 1974、Duncan & Fiske 1977など）。しかし、電話の会話など相手と直接顔を合わせられないような場合でも、話者交替はたいがいうまくいくことを考えると、これらの「合図」だけが話者交替の要因になっているとは言えないようである。

いずれにしても、話者交替は、話者交替ルールだけではなく、他の要因の

影響も合わせて考えなければならないと思われる。

2.4.3 隣接ペア

Schegloff & Sacks (1973) は、会話において話者が選ばれる一つの方法として、この隣接ペア (adjacency pair) というものを考えた。それは一対の発話の組み合わせのことで、二つの隣り合って対になっている発話からなり、二つの発話はそれぞれ別の話者が発するという特徴をもっている。隣接ペアの種類としては、挨拶－挨拶、質問－答え、申し出－受け入れ／拒否などのようなものがある。

- (11) A : 今何時？ (質問)
B : 10時5分前。 (答え)

(11) の例にも見られるように、第1の発話が質問なら、第2の発話は別の話者によって答えの発話が続けられなければならないし、申し出なら別の話者によって受け入れや拒否などの発話が続けられなければならない。

ただし、第2の発話部分でも優先される (preferred) 応答と優先されない (dispreferred) 応答があるとされている。次の例で見てみよう。

- (12) A : 明日ちょっと頼みたいことがあるんだけど。 (依頼)
B : いいよ。 (受諾)
- (13) A : 明日ちょっと頼みたいことがあるんだけど。 (依頼)
B : えーと、どうかなー。 (保留)
A : えっ？
B : うん、たぶん明日は出かけるから無理かもしれない。 (拒否)

例(12)では、依頼に対して、受諾をしている。このような場合は優先的な応答と呼ばれ、形式も単純な形になっている。しかし一方、(13)は依頼を断ろうとしている場合で、依頼があったときにまず「えーと」と応答の躊躇

躊躇があり、はっきり拒否をしないで保留するような発話になっている。このように非優先的な応答の場合には、優先的な応答の場合よりも複雑な形式をとることが分る。

2.4.4 挿入連鎖

さて実際の会話の中では、質問-答え、依頼-受諾、などのような二つの発話が、必ずしもいつも隣り合っているとは限らない¹⁾。それが挿入連鎖 (insertion sequences) や側面連鎖 (side sequences) というものである。例 (14) で見てみよう。

- (14) ²⁾ A: U:hm(.) what's the price now eh with V.A.T do you know eh
(えーと、V.A.T. (税金) はいくら?) (質問)
B: Er I'll just work that out for you=
(えーと、今計算してみますから) (保留)
A: = thanks
(ありがとう) (受諾)
B: Three pounds nineteen a tube sir.
(一本3ポンド19です) (答え)
(Levinson 1983)

(14) では、質問と答えという隣接ペアの中に、保留と受諾という別のペアが内包されている。実際の会話には、このような発話のペアが、幾重にも内包されていることがよく観察される。

また Jefferson (1972) は (15) のようなタイプの連鎖について述べている。それによると、

(15) (子どもたちが遊んでいる場面での会話)

Steven: One, two, three, ((pause)) four, five, six, ((pause)) eleven,
eight nine ten.

¹⁾ ザトラウスキー (1993) は、第1の発話と第2の発話が必ずしも隣り合っている訳ではないことから、隣接ペアではなく「応答ペア」と呼ぶとしている。またメイナード (1993) も同じ考えから、「隣接応答ペア」と呼んでいる。

²⁾ 会話例の中で、これまでに出現しなかった記号の意味は、次のようなものである。

: 長く伸ばされた音節

Susan: "Eleven"? -eight, nine, ten?
Steven: Eleven, eight, nine, ten.
Nancy: "Eleven"?
Steven: Seven, eight, nine, ten.
Susan: That's better.

ここではStevenが、「seven」というべきところを「eleven」と言っているために、SusanやNancyが誤りがあったすぐ後に疑問形の繰り返しをStevenとのやり取りの中に埋め込んでいる。Jeffersonはこのようなタイプの連鎖を側面連鎖 (side sequences) と呼んでいる。

2.4.5 会話の全体的構造

これまで見てきた話者交替システムや隣接ペアといった概念は、会話の部分部分に見られる局所的なメカニズム (local mechanisms) である。もう一つ重要な概念として、会話の全体的な構造 (overall organization) に関する概念がある。ここでは簡単に説明するにとどめる。

Schegloff (1972) よると、たとえば電話の会話は、開始部 (呼びだし音-応答)、第1話題のスロット、話題の連鎖、終了部という構造になっている。会話の開始部では、呼び出し音と応答という隣接ペアになっているが、これは電話をかけた人間ではなく、受けた方が先に口を開くことの原因ともなっていることが分る。また終了部では、終了をほのめかすような家族への挨拶などの話題や、'All right' とか 'So' などといったことばが使われるといったような特徴が見られるという。

2.4.6 まとめ

以上、ここまで会話分析の立場の中でも主要と思われる概念について、ざっと見てきた。会話分析の手法で明らかになったのは、どのように会話の中で話し手がかわるがわる替わっていくのか、そしてその話し手はどのように選ばれるのかということ、さらには、それらの局所的な仕組みが大きい会話の

流れにどう影響するのか、つまりどう会話が始まり、継続し、どう終わるのかということであった。

さて、会話分析は社会学的な関心の中から生まれたことには触れたが、社会言語学の立場から、実際にこの会話分析の手法を用いて会話を分析した研究の例として、ここではTannen (1984) を挙げる。

Tannen は、実際に自分が招かれた食事会で録音した会話を資料として用い、人間関係の相互作用という視点を加えてこの会話資料を分析した。それによると、個人の言語コミュニケーションの仕方には、同じアメリカ英語という母語をもっていても、文化や地域などに影響を受けた違いがあるという。Tannen は、それを「会話のスタイル (conversational style)」という概念で説明した。会話のスタイルには、high-involvement style (早い会話のペースを持ち、相手の話に質問を差しはさんだりなどすることで、相手の話へ積極的に関与しようとするタイプ) と high-considerateness style (相手の話の腰を折らずにじっくり聞こうとする、相手配慮のタイプ) という二つがあるというものである。

Tannen は、この概念でさらに男女の会話を分析して、男女の関係をうまく維持するための話し方や、誤解の原因を明らかにした (1986など)¹⁾。またアメリカだけではなく他の文化圏や母語を持つ人同士の会話の分析の可能性をも示したと言えよう。

Tannen の研究にも示されているように、日常の会話では、会話の参加者のひとつひとつの発話が、その都度影響し合って会話の大きい流れを形作っている。このダイナミックな流れをうまくつかまえ明らかにするのに、エスノメソドロジーの会話分析の手法は大きい可能性を持っていると考えられる。

なお、前述したように話者交替と発話の重複との関係、また話者交替のエラーと修復の関係などについては、この節では述べずに、2.7の「割り込み

¹⁾ Tannen は、研究書の他に一般向けの著作を発表している。このTannen (1986, 1990) は、そういった一般向けの著作であり、一般の人々の会話への関心を高めたと言われている。日本でも翻訳が出版されている。

発話をめぐる研究」のところで詳しく検討していくことにする。

2.5 日本語の会話を分析する理論

2.5.1 日本語の談話研究¹⁾の流れ

日本語の会話を対象とした研究はまだあまり多くはないが、日本語の談話研究は、茂呂・小高 (1993) によると、大きく分けて1) 言語研究、2) 社会学的研究、3) 心理・認知研究、4) インターフェース研究の4つになるという²⁾。本研究が関心を持つのはそのうちの1) 言語研究だと思われるが、この言語研究はさらに3つの流れに分類されている。

その一つは談話行動の包括的な把握を目的にした「談話行動研究」(国立国語研究所、1987aなど)で、ことばとことば以外の身振り・動作など非言語行動も総合的に分析しようと試みられている。また日本語の会話に特徴的と言われているあいづちの研究もこの中に含まれる(水谷 1984、堀口 1991 など)。二つ目は言語行為論の流れをくむ発話機能分類を目指すもので、中田 (1991)、熊谷 (1997) などがあげられる。またザトラウスキー (1993) に見られるように、たとえば勧誘などの会話の流れを発話機能の分布の違いによって分析しようとするものもある。もう一つが「会話分析」の手法を用いて、日本語の電話の開始や終了の仕方を分析した研究などがある(小野寺 1992、岡本 1990 など)。

次節からは、このうち、談話行動研究、あいづち研究、そして発話機能分類を扱った研究を紹介する。

¹⁾ 「談話」ということばは、英語のdiscourseの訳語であるが、その定義は研究者によってまちまちである。「会話」「談話」「テキスト」「ディスコース」などのことばは、それぞれの差を明確にしないまま使われていることも多い。本研究では、「談話」は、ひとまとまりの伝達内容を持つ言語表現で、書きことば、話しことばの両方を含むもの、また「会話」は話されたものをさすと考える。また原著に「談話」とある場合は、それに従うこととする。なお「談話」の定義については、メイナード (1997) 参照。

²⁾ 日本語の談話研究については、荻野 (1997) にも詳しい。

2.5.2 日本語の談話行動研究

国立国語研究所（1987a）は、実際の会話データから言語行動や非言語行動までの総合的な談話行動を分析しようとした、開拓的な研究である。ここではそのために必要となるデータの記述方法や分析の単位についてなど、詳しく論じられている。

杉戸（1987）は、談話の構造を記述的に把握するために、発話者の交替と発話内容のうつりかわりという二つの基準を設ける。それに従って考えると、会話の中に「談話」と「発話」という二つの種類の単位が設定できる。

「談話」というのは、誰が主として話題を持続させているか、聞き役は誰かなどの要素もあわせて考えた「内容的なまとまり」のことである。「発話」は、ひとりの参加者のひとまとまりの音声言語連続（笑い声や短いあいづちも含む）で、他の会話参加者の音声言語連続とかポーズによって区切られるごとに1単位と数えようとする単位である¹¹。

この研究ではこの単位をもとにして、話者交替の仕方、あいづち、ポーズやイントネーションの扱い、そして身振りなどの非言語行動の記述や分析についてまで論を進めている。

2.5.3 日本語のあいづちに関する研究

これまで日本語のあいづちを扱った研究は、比較的数量多くなされている。堀口（1991、1997）が、これまでなされたあいづち研究を概観している。それによると、あいづちの研究は、あいづちの機能、タイミング、表現形式といったことによって記述され、分析されてきた。それらについては、研究者によっても考え方がさまざまであり（水谷 1984、杉戸 1987、ザトラウスキー1993、メイナード 1993 など）、また使われている資料もまち

¹¹ ザトラウスキー（1991、1993）は、「談話」と「発話」という二つの単位のほかに、「談話」の下位の単位として「話段」を設定することを提案している。隣接ペア（ザトラウスキーは「応答ペア」と呼んでいる）は二つの発話から成るとされているが、実際の会話では、複数の発話がまとまって一つの機能を持つことも多い。そこで、隣接ペアの概念を発話の集合体に拡大して「話段」と呼んでいる。

まちである。しかし、これらのあいづちについての記述から、次のような点が共通項として抽出できるという（堀口 1997）。

- 1) あいづちが出現する位置は、話し手の発話権の中である。
- 2) あいづちを行使するのは、聞き手である。
- 3) あいづちの機能は、聞いているということを伝える、分ったということ伝える、話の進行を助けるなどである。
- 4) あいづちを表す言語形式は短い。

このうち4)のあいづちの言語形式が短いかということについて、堀口（1997）は、メイナード（1993）が挙げている「そうねえ、そんなもんじゃない？」を例にして、必ずしも短いとは言えないとしている。したがって1)から3)までの項目をまとめて、「あいづちは、話し手が発話権を行使している間に、聞き手が話し手から送られた情報を共有したことを伝える表現」と定義している。

また堀口（1997）は、前述の従来のあいづちの他に、話し手の発話の展開を予測してあいづちを打つようなタイプの先取りあいづちについても指摘している。

- (16) 1 アナウンサー：どういふコースをとるかによって発見できる鳥の数が
2 野鳥の会会員：そうなんです。
3 アナウンサー：ちがってしまうわけですねえ。

（堀口（1997）：全国自然情報 鳥）

(16)の「そうなんです。」の例は、1のアナウンサーが「...発見できる鳥の数が」の後に「ちがってしまう」ということを言おうとしていることを予測しなければ打てないあいづちである。堀口（1997）は、このようなものを先取りあいづちと呼んでいる。

以上のように、日本語のあいづちに関する研究はかなり多くなされている。これは茂呂・小高（1993）にも指摘があるが、外国人への日本語教育の場

での関心から生まれたものが多い。現実の日本語使用にできるだけ近付けた教材や教育を目指す目的で、日本語の実態把握や日本語以外の外国語との比較について、分析が進んだと言えよう。

2.5.4 日本語の発話機能分類に関する研究

日本語の会話を発話機能から見えていこうとする研究としては、まず国立国語研究所(1987b)があげられる。これは、発話機能を発話の動機や働きかけの種類、発話内容に対する態度など、いくつかの分類基準を設け、それによって認定していったものである。同じ方法を扱っているものとしては、中田(1991)、熊谷(1997)が挙げられる。熊谷(1997)では、発話機能を一つの観点から見るとはならず、発話を多角的に、「特徴の束」として見ることが必要だとしている。具体的には「発話内容・発話姿勢」、「話し手と相手、および両者の関係」、「会話の流れの構成」という3つのカテゴリーの下にさらに12の観点から求められた特徴の束を設定し、一つ一つの発話をこれらの特徴の束にあてはめて、発話機能の特徴から会話の総合的な観察をしようとしている。

発話機能を扱ったもう一つの研究に、ザトラウスキー(1993)が挙げられる。この研究は、日本語の勧誘の会話を構成する発話を、発話機能を用いて分類していき、勧誘の会話の流れの特徴を抽出しようとするものである。そして勧誘時にとられる各種のストラテジーを、英語の勧誘のストラテジーとも比較しながら、異文化間コミュニケーションギャップの問題とも関連づけて考察している。

2.5.5 まとめ

日本語の会話を分析するためには、これまでの英語会話を中心とした先行の研究の方法論をそのまま適用することはできない。茂呂・小高(1993)や荻野(1997)も指摘しているように、これまで日本語でのコミュニケーションを対象とした研究は、日本語そのものの要素に焦点が当てられ、コミュ

ニケーション行動を視点に入れた研究はあまり進んでこなかったし、方法論も必ずしも確立しているとは言い難い。しかしこのような中で、杉戸(1987)やザトラウスキー(1993)の会話を分析するための単位についての議論や、あいづち研究(堀口 1997など)におけるあいづちの定義などは、日本語の会話分析に対して多くの知見を提供していると言えよう。

2.6 非言語行動の分析

2.6.1 コミュニケーションにおける非言語行動の意味

私たちは日々のコミュニケーションの中で、ことばによる伝達だけではなく、嬉しそうな表情をしたり、大きくうなずいたり、あるいはガッツポーズのようなジェスチャーをしたりなど、非言語行動でもいろいろなことを伝達している。また異文化間では、ジェスチャーの意味が違うために理解できないことや誤解を招くことがあったりすることもあると言われている(本名 1994)。このようなコミュニケーションにおける非言語行動の研究対象になるのは、視線行動、うなずき、顔の表情、ジェスチャー、音調などが挙げられる。

あいづちとの関係でも、言語的なあいづちを打つかわりにうなずくことでその機能を果たしていることがよく観察されるし、実感としても分ることである。

しかしこれまで、言語行動に関する研究は数多くなされてきているが、非言語行動を対象にした研究は、データの収集や分析方法が確立されていないこともあってまだあまり数多くはない。その中で、視線行動については、主に英語のコミュニケーションにおけるものに関して、かなり多くの研究の蓄積がある(Kendon 1967、Duncan & Fiske 1985、Argyle & Cook 1976、Goodwin 1981、Beattie 1983、橋本他 1993、池田他 1996など)。またうなずきに関して、日本語のあいづちとの関連に焦点をあてた研究がいくつかある(メイナード 1993、久保田 1994)。次節では、本稿にとって重要な視線行動の研究の紹介をしていく。また、本稿の内容とは

必ずしも関連がないが、うなずきなど他の非言語行動についての研究にも触れる。

2.6.2 視線行動に関する研究

視線 (gaze) 行動の研究は、2.4でも触れたが、話者交替を引き起こす要因の研究として始められた。話者交替はSacksら (1974) の言うような話者交替ルールではなく、視線や頭の振りなどの合図 (signals) によって行われるという考え方である (Kendon 1967、Duncan 1974、Duncan & Fiske 1985 など)。しかしLevinson (1983) も指摘しているように、電話やドア越しの会話など相手が見えない会話でも話者交替は行われているし、電話の会話で特に「空所」や「重複」が多いとは認められないということから、本研究でも視線行動や頭の振りのような非言語行動が話者交替を引き起こすとは考えない。ただし話者交替や、会話の中での会話参加者の話し手が聞き手かという役割などと、非言語行動との関連はあると考えられる。その観点から、いくつかの重要と思われる研究を紹介する。

まず Kendon (1967) は、会話中の視線行動について次のように述べている。聞き手として相手の話を聞いているときには、話し手をじっと見ていることが多く、また自分が話し手となったときには、相手を見たり相手から視線を外したりを繰り返している。話者交替との関係では、自分の話を終わるときには、相手に視線を送る。逆に、聞き手だった会話参加者が、話し手となって話し始めるときには、相手から視線をはずす。

また話し手は、流暢に話をしているときには聞き手の方をよく見ているが、考えながら話をしているときには相手に送る視線の量が減るという (Kendon 1967、Beattie 1983)。

Argyle & Cook (1976) によると、会話において視線は次のような意味を持っている。

- 1) 話し手による長い凝視は、話の終了か文法的中断として用いられる。
- 2) 話し手の凝視は、特定の語句を強調したり、発話を説得的にしたりする。

3) 人や物などへの注視は、次の話者を示唆するのに用いられる。

4) 聞き手の凝視は、話し手の話に関心を持っていることを示す。逆に視線を向けない場合は、無関心、非同意を示す。

5) 聞き手の特定の発話後の凝視は、話し手の発話を促進する。

6) 話し手は、自分の話がどう受け入れられているか、また、話を継続できるかについてモニターしている。

7) 聞き手は、話し手の表情や視線の方向などをよく見て、モニターしている。

さて、もう一つ視線行動に関する興味深い研究がある。Goodwin (1981) は、会話の中における聞き手の視線の重要性に焦点を当てている。Goodwinによれば、話し手は自分のターンを維持するのに聞き手からの視線は欠かせないもので、聞き手が自分の方を見ていないときには、発話の間をあけたり話を途切れさせたりして聞き手の視線を得ようとするというのである。(17)の例で見てみる。

(17) ¹¹ E: So they st- their clas ses start around (0.2) in

B: X -----

(Goodwin 1981)

この例で、Eは話し手として話し始めたが、聞き手であるBがEの方を見ていない。そこでEはBの視線を得るために、「they st」と話を途切れさせる。すると、途切れた部分で、聞き手のBは話し手Eの方に視線を移動し始める。そこで話し手Eは「their classes start」と前に言おうとし

¹¹ 会話例の記号の意味は次の通りである。

X Xの時点で、視線が相手(ここでは話し手)に向けられたことを表す
---- 相手に向けられた視線
..... 視線が相手の方へ移動していることを表す

たことを繰り返すのだが、これは聞き手の視線が得られていない部分の発話は、発話として有効ではないという意識の現れでもある（西阪 1996）。

このように、会話の中では、口を開いて発話をしているからと言って、話し手になれるとは限らない、そこには聞き手の存在が必要となるのだということが視線行動からも観察されるのである。

これらの研究はすべて英語の会話に基づくものであったが、日本語の会話における視線行動については、研究がまだ始まったばかりである。池田・池田（1996）によると、「実質的発話」¹¹の開始時に話し手が視線を相手からはずすことが多く、相手を見ている率は「実質的発話」の終了時の方が開始時より高い。一方「あいづち的発話」では、開始時も終了時も相手を見ている率が8割程度で、高くなっているという。聞き手の立場では安定して相手に視線を向けていることが多いが、話し手の立場では、視線行動を切り替える傾向が見られると報告している。

さらに橋本ら（1993）は、異文化コミュニケーション状況において、視線・ジェスチャーなどの非言語行動が日常的状況に比べてどのように変化するかを調査、分析している。この研究では、視線行動については凝視量に焦点を当てて分析しているが、それにより明らかになったことは以下の通りである。

母語話者同士の会話（日本語母語話者、英語母語話者）では、聞き手にまわった場合に比べて、話し手になったときの方が、相手を凝視する量が少ない。ところが異文化間状況では、話し手が聞き手に視線を送る量が増加し、また聞き手が話し手に視線を送る量が減少する。その原因として、会話者双方が「異文化間状況で理解が成立しにくい状況だ」と定義して、話し手は相手を過剰にモニタリングする。一方これを聞き手の側から見ると、話し手のモニタリングの視線は理解呈示シグナルの要求ともなり、聞き手はこのシグ

¹¹ 池田らは会話における発話を、杉戸（1987）の定義を一部変更して採用し、「実質的な発話」と「あいづち的な発話」とに分類している。それによると、「あいづち的発話」というのは応答詞や相手の発話のオーム返し、笑い声などをさし、それ以外の実質的な働きかけの機能を持つ発話を「実質的発話」と呼んでいる。

ナルを過剰に呈示しようとすることで、逆に一つ一つのシグナルの有効性が減ってしまう。すると話し手はさらにモニタリングをすることになり、会話が堂々めぐりをしてしまうようになる。これが聞き手の話し手への凝視量の減少につながると、橋本ら（1993）は説明している。

以上、英語の会話における視線行動と、数少ないながら日本語の会話での視線行動についての研究を紹介してきた。一般的に視線行動は、文化差が大きいと言われていて、日本人はあまり相手の目を見ないとか、目そのものを見るのではなく、目元から唇のあたりを見ている、といったことが指摘されることがある（本名 1994）。しかしこれらの研究結果を見るかぎりでは、会話において話者交替と視線行動の関連や、話し手、聞き手の役割と視線行動の関連については、英語での会話の場合と日本語の会話の場合とかなり共通点も多いように思われる。

2.6.3 その他の非言語行動についての研究

Duncan & Fiske（1985）は、先にも述べたように、視線行動やジェスチャーの非言語行動などを話者交替を引き起こす要因として考えた。それによると、次のシグナルが話者交替に関わってくる。

1) speaker turn signal

話し手が出すシグナルで、このシグナルがあった後、聞き手はターンを要求することができる。このシグナルは、イントネーション、決まり文句のようなことば、文法的な切れ目、パラ言語、ジェスチャーの完了からなっていて、このうち2つ程度の提示があると、turn signal となる。ここで話し手が手の動きなどのジェスチャーを続けていると、聞き手はターンを取らない。

2) speaker-state signal

聞き手が話し手からターンを取ったことを表すシグナルをさす。視線を相手から外すこと、ジェスチャーを開始することの二つからなっていて、このうちの一つの提示があれば、このシグナルは有効となる。

3) speaker within-turn signal

ターンの区切りを示す部分で、話し手は聞き手を見て、その後で、聞き手のあいづちがある。

4) speaker continuation signal

話し手が区切りの後ターンを取り続けるためのシグナルで、speaker-state signal と同じように、視線を相手から外すことをさす。

5) auditor back-channel signal

聞き手の出すシグナルだが、ターンではないし、またターンを要求するものでもない。この中には、M-hm のようないわゆるあいづち、話し手の発話を聞き手が完成させるもの（先取りあいづちのようなもの）、確認のための短い質問、短い言い直し、うなずき、ほほ笑みが含まれている。

このように、Duncan & Fiske (1985) は、話者交替に言語行動と同時に視線行動やジェスチャー、音調などさまざまな非言語行動の関連を報告している。

次に、日本語の非言語行動についての研究を紹介する。

メイナード (1993) は、日米の会話における頭の動きの比較をしているが、頭の動きを、話し手の立場と聞き手の立場でなされるもので分け、さらに細かい機能で分類している。

聞き手の立場でなされる頭の動きには、いわゆるあいづちとして使われるものと、この動きがあった後にターンを取るものがある。話し手の立場でなされるものにはさまざまな種類があるが、ターンの最後に行われてその後話者交替がなされるもの、ポーズを埋めるものとして使われるもの、肯定の表現に伴って用いられるもの、強調やリズム取りのものなどがある。話し手、聞き手両方に用いられる、否定の表現を表す頭の横ふりもある。

この機能によって日米の会話に見られる頭の動きを分析してみると、次のようなことが分るといえる。用いられる頭の動きの機能には類似が見られたが、頭の動きの頻度には、大きい違いが見られ、日本語での頻度の方が著しく高

い。聞き手としてあいづちを打つタイプのうなずきは、日米の会話双方によく観察される。日本語の会話によく見られるのは、談話上の単位を示すものやリズム取りのためのもので、一方、米会話でよく見られるのは、強調のために使われるものである。

また久保田 (1994) は、あいづちを「聞き手が話し手に送る、言語、非言語の行動を含んだ信号」と定義した上で、日本人による日本語と英語の会話、アメリカ人による日本語と英語の会話に見られる、あいづちとしての頭の振りについて分析をしている。それによって明らかになったのは、次のようなことである。まず日本人はアメリカ人に比べてはるかに多くあいづちを使っている。日本人のうなずきは1回ずつはっきり区切るうなずきが多く、一方アメリカ人は、小刻みにうなずいたり、連続してうなずくようなものが典型的である。しかしアメリカ人が日本語を話す場合、英語を話す場合に比べて1回ごとに区切るタイプのうなずきが多く見られるようになり、日本人話者の行動様式から学習した可能性があるという。

以上、日本語をめぐるあいづちと頭の振りについての研究を簡単に見てきたが、少なくとも日本語と米語、日本人とアメリカ人との間にはこれらの用いられ方や機能に違いがあることが明らかになった。まだまだ研究が数少ない中での結果ではあるが、言語行動だけでなく非言語行動も含んだ観察が重要であることが分る。

2.7 割り込み発話をめぐる研究

2.7.1 話者交替システムから見た割り込み発話

実際に行われている会話を観察してみると、一人の話し手が発話をしているときに、他の会話参加者が割り込んで発話を始めたり、または少し口を挟んだりすることがよく見られる。この節ではこのような現象を一括して、とりあえず「割り込み発話」と呼び、この割り込み発話が研究者によってどのように定義され、どう捉えられてきたかについて見ていくことにする。

まず、Sacks ら (1974) の話者交替システムから見ると、話し手となれ

るのは「一度に一人」であり、一人の話し手が話しているときに他の話し手が同時に話すことは、話者交替ルールのエラーや侵害と捉えられることになる。それに従うと、(18) (19) (20) の例は、次のように説明できる。

- (18) J: Twelve pounds I think wasn't it. =
 (12ポンドだと思うけど)
 D: = | Can you believe it?
 (ほんと、信じられる?)
 L: | Twelve pounds on the Weight Watcher's scale.
 (ウエイトウォッチャーズのはかりでは12ポンドだよ)
 (Sacks, Schegloff & Jefferson (1978) 16)

- (19) A: Uh you been down here before | havenche.
 (前にここに来たことがあるね)
 B: | Yeah. (うん)
 (Sacks, Schegloff & Jefferson (1978) 17)

話者交替ルールによると、一人の話し手が発話を終えて次の話し手を選ばなかった場合、誰でも自己選択で話し手になることができるので、(18) のDとLのように同時に口を開いてしまうことがありうる(発話の同時開始 simultaneous start)。また(19)のように文末に付加疑問文や呼びかけことばが付け加えられたりするところでは、BのようにAの発話が終わったと見なして発話が重なってしまう(発話の重複 overlap)。

これらは話者交替ルールのエラーであるため、この話者交替システムの中では「修復」(repair)のシステムが働く。(18)でも(19)でも、「いちどきには一人の話し手が話す」という原則が働き、どちらか一方の話し手が発話をやめることになる。二人の話し手がずっと同時に話し続けるということはない。

次に(20)のような例は、(18)や(19)と違って話者交替ルールの中で自然に起こりうるものとは言い難い。

- (20)¹¹ C: Now | the be:lt is meh*
 (さて ベルトは)
 F: | Is the sa:me matheri*al as | this
 (これと同じ材質なのよ)
 S: | Wait a moment Miss Fagan
 (ちょっと待ってよ、Fさん)
 (Levinson 1983)

FがCの発話の途中で話し始めているが、これは統語上の区切りではなく、TRP(話者交替適格箇所 transitional-relevance place)の位置ではない。このようなものは意図的な「割り込み」(interruption)であり、話者交替ルールの侵害とみなされる。この後でSがFを「待ってよ」とさえぎっていて、これは割り込みに対する修復である。ここで行われた修復は(18)や(19)のときの「一人の話し手が脱落する」という通常のものではなく、はっきりした制裁を伴ったものであることが分る。

ところで(21)の例に見られるように、割り込みが許される場合がある(Jefferson 1972)。

- (21) A: I got in a phone booth, It w'about two o'clock in the morning. We w-comin home- I w'z comin home from a party. I got on the phone and I started - I started hearin this tick tick tick an' the heh I just hung up an' ra(h)n heh God uh | I didn't know
 B: | Tick tick tick?
 A: Thought it was a time bomb or -you know,
 (Jefferson 1972)

ここでは、BがAの発話の途中で「チッ チッ チッ？」と質問を割り込ませている。これは2.4.4でも述べたが、側面連鎖(side sequence)と呼ばれるもので、(21)のような発話を確認するための質問や誤解などの訂正については、話者交替ルールよりも優先される場合があると考えるのである。

またFerguson(1977)はさまざまなタイプの割り込み発話を分類してい

¹¹ 会話例の中で、これまでに出てこなかった記号の意味は、次のようなものである。

* 重複部分が終了する点の並び

るが、その中で(22)のようなものも割り込み発話の一種と考えた。

(22) A: It wasn't in ours actually it was bloke, and um...

B: But anybody who's a bit lazy I suppose, is it, that he used to
picks on?

(Ferguson 1977)

(22) では、発話が重なっている部分はないが、A のターンがまだ完了していないうちにBが発話を始めてしまっているケースである。このようなものをFerguson (1977) は、silent inturrption と呼んだ。

これらの研究は、「一度に一人が話し手となる」原則に対して、発話の同時開始や重複、そして割り込み発話はエラーや侵害であるという考え方が基盤となっていて、割り込み発話の否定的な面を捉えたものと言える。

2.7.2 割り込み発話についてのさまざまな研究

ここまで述べてきたように、割り込み発話を現在の話し手の発話権に対するエラーや侵害と考えると、割り込み発話は不平等な権力の行使の現れとも捉えられることになる。Zimmerman & West (1975) の研究は、男女の役割と会話の中に現れる割り込み発話の関係について述べたものである。この研究によると、同性同士の会話では、話し手によって割り込み発話の用いられる比率に違いがないのに対して、男性と女性の組み合わせの会話では、圧倒的に男性が割り込む比率が多くなっていることが報告されている。

また日本語の会話で、江原・好井・山崎 (1984) がZimmermanら (1975) の研究と同様に、同性同士の会話と、男女間の会話を比較している。この研究でも、同性同士の会話ではどちらの会話参加者も同じくらいの比率で割り込みを起こしているが、男女間の会話では、男性が女性の発話に割り込む率が圧倒的に多いことが明らかになっている。さらに、割り込み発話を、割り込まれた方がそのまま割り込まれても発話を続けるケースと、割り込まれた方が発話をやめて、割り込んだ話者に発話権を取られてしまうケースの二つに分けて分析してみると、後者のタイプの割り込みの方がより真正

の割り込みと言えるが、このタイプの割り込みでも、男性が女性の発話に割り込み発話権を取ってしまうケースが多いことが分かった。

ここまでは、割り込み発話が話者交替ルールのエラーや侵害であるという立場、さらには会話の中での支配の様相の現れであるという立場の研究を取り上げた。この一方で、割り込み発話をそのように否定的に捉えない立場の研究もある。

まず、いわゆるあいづちも一人の話し手の発話の最中にことばを発するもので、その意味では発話の重複が起こっていることになる。「えー」とか「あ、そう」などの単純な応答詞は割り込み発話との関連が問題になったりすることはないように思われるが、あいづちの定義によっては、割り込み発話との違いが問題になることもある。Duncan & Fiske (1985) は聞き手のあいづちとして、M-hm のようないわゆるあいづち、話し手の発話の完成(先取りあいづちのようなもの)、短い質問や言い直し、うなずき、笑いを挙げている(2.6.3を参照)。このうち、話し手の発話の完成や短い質問、言い直しなどのようなものは、見方を変えればある種の割り込み発話とも考えられるのである。

また割り込み発話に、もっと積極的な機能を認めようとする研究の立場もある。Tannen (1984) は、会話のスタイルには個人差があり、high-involvement styleと呼ばれる、相手の話に質問を差しはさんだりなどすることで、相手の話へ積極的に関与しようとする会話のスタイルがあることを明らかにした(2.4.6参照)。ここでは cooperative overlap (協力的な割り込み)と言われるような割り込みが起こるが、これには相手の発話を妨害しようとか支配しようなどといった意図は認められないという。(23)の例を見てみよう。

(23) P: Very Little. We had a TV in the quonset |

D: |How old were you
when your parents got it?

S: We had a TV but we didn't watch it all the time.....We were

very young. I was four when my parents got a TV.
(Tannen 1994)

(23) は、テレビが子どもに与える害について話している会話例で、PとSは兄弟である。ここでPが「We had a TV in the quonset」と言いかけるところで、Dが質問を割り込ませている。これに対しPの兄弟のSが口を開き、まずPの会話を繰り返すことでDの割り込みをうまく調和させ、その上でDの質問に答えている。Dの会話スタイルはTannen (1984) の言うhigh-involvement style で、積極的に会話に参加しようとする結果、割り込みを起こしてしまっているのである。このような割り込み発話は会話スタイルの違いからくるものであって、「一度に一人が話す」という原則に対するエラーとか侵害といった枠では捉えられないものであると、この研究の中では述べられている。

日本語の会話における割り込み発話の研究は数少ない。先に述べた江原ら (1984) の研究の他に、串田 (1997) や藤井 (1997) が挙げられる。

串田 (1997) は、同じことばを同時に発する現象を「ユニゾン」と呼び、ユニゾンを発話の重複の一つと考えている。ユニゾンには、ことばの予測/計画可能性 (projectable) という特徴があって可能になるということ、一度に一人が発話権を持つのではなく、一度に複数の話し手が話すという権限の生じ方について、実際の会話をもとに分析している。

藤井 (1997) は、発話の重なりを、発話権の維持とトピックという二つの基準で「調和型」、「調整型」、「独立系」の三種類に分類し、それぞれの出現の原因や機能といったことに言及している。

2.7.3 まとめ

以上、割り込み発話の考え方と、割り込み発話をめぐるさまざまな立場の研究を紹介してきた。これらの研究を概観して気がつくのは、会話をどのような単位で分析するのか、その中でどのような現象を「割り込み」と呼ぶの

かということで、研究の結果も変わってくるということである。非言語行動との関連も、まだ明らかになっていないことの一つである。

また英語の会話に比べて、日本語の会話にあいづちが多いことは先行の研究でも明らかになっていることであるが、そのことと日本語の会話に出現する割り込み発話の頻度や機能と何らかの関係があるのかなど、今後注意深く見ていく必要があると思われる。

第3章 本研究における会話の分析方法

3.1 本研究の方法

本研究の目的は、会話に見られる割り込み発話にはどのような種類があり、また会話にどのような機能を果たしているのか、特に会話の中で人と人をつなぐ働きをどう果たしているのかを分析することである。さらには、日本語母語話者と日本語学習者の会話では、日本語母語話者同士の会話と比べて割り込み発話をめぐる様相に違いがあるのか、相手が日本語学習者だという理由で、母語話者同士の場合と違った機能を果たすのかについて、実証的に考察していくことが最終の目的である。

そのために本研究で用いた方法論は、まず会話分析の立場に大きく負っている。会話分析では、実際に録音された会話を用いるが、本研究でも実際の自然会話を録音・録画したものをもとに分析を行う。2.4でも取り上げた「話者交替システム」や、「ターン」「隣接ペア」といった会話の局所的な構造について、必要によって一部修正したものを、本研究での会話資料に適用する。また、会話分析は英語の会話を中心に発展してきた方法論であるので、日本語の会話の分析に必ずしもそのまま用いることはできない。そこで日本語の会話の分析については、日本語の会話における発話機能やあいづち研究を中心とした日本語の談話分析の研究法も参考にした。

そこで本章では、第5章からの実際の会話の分析に先立ち、本研究での資料の記述方法や分析の方針などについて述べる。分析の単位として「ターン」と「発話」の二つを設定し、さらにそれに基づき、あいづちや割り込み発話の扱い、非言語行動の文字化の方法などを検討していくことにする。

3.2 会話資料の文字化

会話というのは、時とともに消えてしまうものであり、ただ漠然と聞いて

いるだけでは、会話から何かを発見することはできない。そこで実際の会話を分析するためには、次のような手順が必要になってくる。

まず会話を録音・録画するのは言うまでもないことであるが、録音・録画したものを記述する、文字化の作業をしなければならない。文字化した資料が分析のための基礎資料となる訳だが、この文字化の作業は杉戸（1994）によれば、いつも「目的対応型」の作業である。研究者によって、そして分析したい事柄によって、記述の方法も変わってくる¹⁾。

本研究では、会話参加者の言語行動が把握でき、かつ同時に非言語行動も観察できる形を採用した。文字化資料の記号などの詳細は第4章に述べるが、各会話参加者の言語行動については、内容を把握しやすいように漢字・かな交じり表記で記述し、その言語行動に対応する非言語行動は、記号と文字で記述することにした。

これから、本研究での分析単位などについて、実際の会話資料から引用しながら検討していくが、引用するのは、原則として、本研究のために収集した資料である。資料の詳細については次章で述べるが、資料1から10まであり、それぞれに名前がついている。また、本文中で非言語行動に言及しない会話部分については、見やすさのために非言語行動の記述を省略する。

次に、会話資料中の記号で、本章で必要なもののみ下に示す。

◆会話資料に用いられている記号の意味

- | | |
|----------|---|
| | 二人以上の発話が同時に行われていることを表す。 |
| /、//、/// | ポーズの長さを、表す。それぞれ0.2、0.5、0.8秒前後を表している。それ以上の場合は（P1.0）のように表記する。 |
| , | 読点は資料の読みやすさのためのもので、ポーズではない。 |
| = | ターンを取った話者の発話が、前の発話の完了点から間隔がなく発せ |

¹⁾ 社会言語学研究会（1994）（現 社会言語科学会）『第1回社会言語学研究会 予稿集』には、同じラジオのインタビュー番組を、数人の研究者がそれぞれの目的にかなう方法で文字化した資料が掲載されている。

	られたことを表す。
.....	前後に発話が続いていたことを表す。
↑	上昇イントネーション。
↓	下降イントネーション。
?	聞き取れなかった会話部分。上昇イントネーションではない。
×-----	相手に向けた視線。
×----- - -----	基本的には相手に向けているが、時々、ちらちら他方にも向ける視線。
(斜め) --	相手以外に向けた視線。たとえば(斜め) -- は、斜めに向けた視線を表す。
(不明)	視線行動が観察できなかった部分。
○、。	頭の縦ふりで、○の大きさはふりの大きさを表す。
	頭の縦ふり以外の他の動作はことばで表す。たとえば、横ふり、首傾げ、手で相手を指す など。
→	議論の対象になっている発話部分。ただし、分りにくいときには、該当部分に <u>~~~~~</u> を引くこともある。

3.3 分析の単位

3.3.1 発す権利、話し手、聞き手

本研究では会話の中に現れる「割り込み」を考察していくわけだが、「割り込む」というのは、一人の話し手の話に他の会話参加者が割り込みをすることである。となると、割り込みは、会話の中で話し手が聞き手かということとは密接な関係をもっていると考えられる。そこでこの節では、まず発言権 (floor)¹¹⁾ ということを通して、話し手とは何か、聞き手とは何かということを検討していくことにする。

¹¹⁾ floor の訳語は「発話権」をあてることが多いが、本研究では分析の単位として「発話」ということばを用いるため、意味の混乱があることを避けて、floor には「発言権」という用語を使うことにする。

会話というのは、第2章の会話分析のところでも述べたように、一人が話し手となって話しているときには、もう一人は聞き手となって聞いていて、それが交替することで流れていく。ところが、聞き手となって話し手の話を聞いているときには、完全に黙って聞いているのかというとそうでもなく、あいづちを打ったり、場合によっては会話の中で確認するための独り言を言ったり、隣の人に小声で質問したりすることもあるわけで、それほど単純に話し手と聞き手を分けることはできないようである。Edelsky (1981) は、このような現象を取り上げて、口を開いて何かを言っていることと、発言権を持った話し手となって話していることとは違うことだと述べている。そして、発言権について、次のような定義をしている。

発言権 (floor) 心理的な時間や空間の中で、会話のトピックや機能、または会話に参加している二人の相互交流がどのようになっているかを認識し、および支配できること。

本研究でも、発言権については、この定義を採用することにする。そしてこれをもとにして、話し手と聞き手も次のように定義する。

話し手 会話参加者のうち、発言権を取って話をしている者。
聞き手 会話参加者のうち、発言権を持たない者。

3.3.2 ターン

2.4.2でも述べたが、会話は会話参加者が話をする順番を交替しながら進んでいき、この順番のことをターン (turn) と呼んでいる。本研究では、この「ターン」を会話を分析する基礎的な単位として考えることにする。

しかしEdelsky (1981) が指摘しているように、話をしていることと、発言権を取ることとは必ずしも一致するとは限らない¹¹⁾。そこで本研究では、

¹¹⁾ たとえば、発言権を持っている話し手が長い間言いよどんでいたりする場合、他の会話参加者同士が遠慮がちに小声でことばをかわしたりすることがある。このようなケースでは、発言権はまだ交替していないと考えられる。

ターンを次のように定義する。

ターン 発言権を取っている話し手が、話し始めて終わるまでのひとまとまりの内容を持つ部分。

ターンは、一人の話し手が次の話し手に交替するまでの部分で、内容はもちろんだが、イントネーションや文法的な区切りであることなども認定の基準となることがある。ターンには、聞き手が行うあいづちは含まない（あいづちについては、後に詳しく検討する）。

ターンは単純に区切れるように思えるが、実際の会話では認定が難しい例が出てくる。具体例で見てみる。

(1) JM5 : そんな時は全部でチューター何人でしたか↑＝

JM6 : ＝チューターはだから二人でした＝

JM5 : ＝チューター二人ですか↓

(資料9「留学生のチューター」)

この会話では、JM5 とJM6のターンが一つずつ交替していて、典型的な話者交替であると言える。しかし次の例(2)のケースは、ちょっと違った形になっている。

(2) (留学生のチューターをするのに、性格が積極的な方がいいという話題)

JM6 : 留学生なんか//けっこう//付き合いやすかったんじゃないですか↑

(ポーズ4.4)

JM5 : どうですかね↑

(ポーズ3.8)

→ JM5 : まあ言葉分らない分、逆に楽↑っていうのもありますけどね

JM6 : | あー

(資料9「留学生のチューター」)

この会話は、あまり話が弾まないために、ポーズが多くなっている部分のものである。JM6がJM5に「付き合いやすかったんじゃないですか？」と質

問をしているが、なかなかJM5が答えない。ようやく4.4秒後に「どうですかね」とターンを取るが、今度はJM6がそのターンの後に何も言わない。仕方なしに、JM5が再び「まあ言葉分らない分、逆に楽..」と言っている。ここで「どうですかね。」から「まあ言葉分らない分、...ありますけどね」を、JM5の一つのターンと見るかどうかが問題となってくる。内容的には一つのまとまりがあつて、またJM5の発言権はそのまま維持されているとも言えないことはないが、この二つのターンの間のポーズが長すぎる。このような場合は、JM5のターンの後、相手がターンを取らなかったし、またJM5自身もターンを続けなかったために、ポーズが生じた。そこで、JM5が新たなターンを始めた、とみなすことができる。

次の(3)は、やや複雑な形をとっていることが分る。

(3) (本がたまってしまうて、本棚にいっぱいになってしまうという話)

JF5 : 何か推理小説とか↑がー / / うーんおもしろくて、けっ、何か

JF6 : | あっ推理小説好き↑

JF5 : こうダーッと| (笑い) 増えてー (笑い)

JF6 : | あっすごい難しい本読むんだねー私は結構、簡単な

(笑い) 本の方がいい

(資料10「考古学ブーム」)

(3)はJF5が「推理小説が特にたまってしまう」ことを言おうとしているところに、JF6が「あっ推理小説好き？」とJF5の話の途中で割り込んでいる例である。恐らくこの割り込みが原因で、JF5の「推理小説とかがー」の後にポーズが入っている。そのため、この位置で一つのターンが終わって、また次に「うーんおもしろくて..」という新しいターンが始まったかのようにも見える。

しかしよく会話を観察してみると、JF6の推理小説が好きかという質問とそれに対する答え「うーん、おもしろくて」という隣接ペアが挿入されているものの、ここではJF5が発言権を取って話し始め、そのまま発言権を維持

して、「推理小説がダーッと増えた」という内容的なひとまとまりを形成していることが分る。割り込み発話については後に詳しく検討していくが、このような場合、途中に他の参加者の割り込みがあっても、「何か推理小説とか..」から「こうダーッと（笑い）増えてー（笑い）」まではJF5のターンと考えることができる。

このようにターンの認定には、単に話の切れ目だけでは判断できない場合があることに注意しなければならない。

3.3.3 発話

本研究ではターンとは別に、下位の単位として「発話」を設定する。発話の定義は次のようなものである。

発話 話し手や聞き手によって発せられる、統語的な基準で定義される文。ただし口頭のコミュニケーション上、文に準ずる機能を持つ一語文や二語文、言いさしの文¹¹なども含む。

ターンは発言権を持っている話し手によって話されたものを指すが、発話は発言権がない聞き手によって話されたものも指す。一つのターンは、たいてい複数の発話で構成されるが、一つの発話で成っていることもある。また発話にあいづちは含まれない。例（4）で具体的に検討してみる。

(4) (大学でのサークル活動の話題)

JF6: やーでもあたしとはもう雲泥の差だと思う、きっと (p1.3) あたしほん
と//運動スポーツってこと|全然やって、やってこなくて|ー

JF5: | 苦手ですか↑ | うん

JF6: /部活もずっとプラスバンドだった|しーずっとうん

JF5: | あー

(資料10「考古学ブーム」)

¹¹ 「どうして？」などのようなものが一語文、「本、取って」のようなものが二語文である。また「そんなこと言われたって…」のような言いよどみや、「あの一」と言いかけて完了しなかったものを言いさしの文と考える。

例（4）で、まずJF6のターンは「やーでも..」から「ずっとプラスバンドだったしずっと、うん」までの部分だと考えられる。このターンは「やーでもあたしとはもう雲泥の差だと思う、きっと」と「あたし部活もずっとプラスバンドだったしずっと、うん」の二つの発話からできている。またJF5の「苦手ですか？」も発言権はとっていないが、一つの発話である。しかしJF5がJF6のターンの最中に発している「うん」とか「あー」は、あいづちであって、発話とはみなさない。次の節では、このようなあいづちについて考察していく。

3.3.4 あいづち

3.3.4.1 あいづちの定義

あいづちは、杉戸（1987）やメイナード（1993）、堀口（1997）の研究などを参考にして、次のように定義する。

あいづち 聞き手が話し手のターンの間に発する、話し手の発話に対する理解や共感を表す言語表現。「ええ」「はい」「そうですね」のような応答詞や、先行する発話のオーム返し、感動詞を指す。

あいづちの定義として重要なのは、まず聞き手によって発せられるということ、そして話し手のターンの最中に発せられたものということである。上の例（4）のJF5の「うん」と「あー」は、JF6のターンの最中に、「話を聞いていますよ」「言っていることは分りましたよ」といった意味で発せられているものであるから、あいづちである。

次のようなあいづちも、理解を示した上で、同意を表しているという意味であいづちとみなす。

(5) (コンビニで売っているラーメン菓子の話題)

JM4:で袋の大きさがこう/だいたいベビースターだったらこんぐらいじゃな

つの発話と考える。

(10) (大学の寮の和室で集会がある際の座り方についての話題)

JF4: ..そういう時あたし長いスカートだったらーあぐらーかいたりして(笑い)

JF3: |あぐらかく(笑い)

JF4: っっていうか長いスカートだとー|//即座に形が|/分んない//けど...

→ JF3: |うん |そう分んない

(資料4「寮の長老」)

この例でJF4が「..即座に形が」と言っているところに、JF3が「そう分んない」と言い、その部分でちょうどJF4とJF3が「分んない」と同じことを同時に言うような形になっている。このようなものを先取りあいづちと呼び、あいづちの一種とする研究の立場もあるが、本研究ではあいづちには含まず、発話として扱うことにする。

以上、聞き手が話し手のターンの間に発する発話の中にも、あいづちと、あいづちとはみなせないものがある。その認定のためには、イントネーションや機能、先行する発話の内容との関係などを注意深く観察していく必要があると思われる。

3.4 割り込み発話

3.4.1 割り込み発話の定義

ここまで見てきたように、私たちの会話は話し手と聞き手によって進められるが、話し手だけが話をするのではなく、聞き手もさまざまな形で会話に参加している。前節で見てきたあいづちもその一つだが、その他にも、聞き手が話し手のターンの間に発話を割り込ませることがある。そこで、そのようなあいづち以外の割り込み発話を次のように定義する。

割り込み発話 話し手のターンの間に、聞き手が発する発話を指す。ただし、あいづちは割り込み発話に含まれない。

この定義で重要なのは、割り込み発話が、発言権を持たない聞き手によってなされたものであるということである。割り込みの結果として、聞き手が発言権を取ることになる場合もあるが、聞き手が割り込んだ時点で発言権を持っているのは話し手で、発言権を持たない聞き手が話し手のターンに割り込むものを割り込み発話と呼ぶ。

なお、2.7.1でも見たように、話者交替システムの中では、複数の会話参加者が同時に発話を開始させてしまうことが時々起こるが、これは「割り込み」とは呼べないと思われるので、本研究では考察の対象には含まないこととする。

3.4.2 割り込み発話の分類

次に、上述の定義をもとに、これまでの割り込み発話に関する研究も参考にしながら(Ferguson 1977、Beattie 1983 など)(2.7も参照)、割り込み発話を概観してみると、表1のようになる。聞き手の割り込みを、割り込みの位置や、話し手や聞き手がターンを完了したかしないかなどによって整理したものである。これにより、割り込み発話を分類していく。

表1 割り込み発話の性質

話し手のターンの間に割り込んだか	ターンで割り込んだ位置	話し手はターンを完了したか	聞き手は発話を完了したか	聞き手はターンを取ったか	割り込みの種類	割り込み発話名
×	-	○	○	○	(普通の話者交替)	(話者交替)
○	ターンの完了直前	○	○	○	早めの話者交替	早めの発話開始
○	ターンの最中	×	○	○	成功した割り込み発話	ターン取りのための割り込み発話
○	ターンの最中	○	×	×	失敗した割り込み発話	差しはさみ
○	ターンの最中	○	○	×	ターンにならない割り込み発話	働きかけの割り込み発話
○	ターンの最中	○	○	○	同時に進むターン	ターンの重なり

まず割り込み発話と、割り込み発話が割り込んだ位置ということに焦点を当てて例を見ていく。

(11) の例は、話し手のターンが完了する直前に発話が割り込まれるものである。

(11) (研究室で、ストーブがもうつけてあるかないかの話題)

JM1: やーあっちついてる↑///|もう
→ JM2: |ついてない↓//そーんなに寒いやろ
(資料1「インターネット」)

この例では、「(ストーブが) ついている?」というJM1の質問にJM2が「ついてない」と答えている。この答えがJM1の「もう」の部分に割り込んでいる。ここでは「もう」は倒置の形であとに置かれた部分であるために、JM2が先行の発話が完了したとみなしたと考えられる。つまり「あっちついてる?」の終りの部分はTRP (話者交替適格箇所) だったのが、たまたまJM1が倒置の形で「もう」と付け加えたために、割り込みの形になってしまったものである。しかしここでは話し手がターンを完了し、聞き手だった会話参加者がかわりに話し手として話し始めているので、普通の話者交替に近い形であることが分る。

本研究では(11)のような割り込みを「早めの発話開始」と呼ぶ。

次に、話し手のターンの最中に割り込むタイプの割り込み発話の例を考察していく。

(12) (駄菓子屋はもうかるのかという話題)

JM3: だからもうあれは///採算取れてるのかねえ↑
JM4: 採算は取れてるんだろけど/あの|きっと
→ JM3: |ま、あれで生計をたてるというのは
ちよっと、あれだけではね//ま年金とかももらいつつなのかな
(資料2「深夜のコンビニ」)

(13) (理工系の学部の方が単位が取りにくいという話題)

JF4: 確かー/工学部の方ー/は、うん/何か厳しかったと思っ|たけど
→ JF3: |へー何か
JF4: どこそこの単位取れてないと次に|行けないとか
→ JF3: |えっ何か順番とかあるわけ↑=
JF4: =うん

(資料4「寮の長老」)

(14) (入試の会場をまちがえた話題)

JF2: ...そーんでね先生が時間は長くできませんけどまあ頑張って下さいって言
われて//はいつて///もう上着|上着脱いで焦ったわ
→ JF1: |焦ったやろ↑ うん
(資料3「動かないエレベータ」)

例(12)(13)(14)はいずれも話し手のターンの間に、発話を割り込ませたケースである。どの例も話し手のターンの最中で、しかもTRPの付近ということでもない。その意味では、いずれの例でも、聞き手が話し手のターンが完了したとか、話者交替が可能な場所とみなして割り込んだとは思えない。しかし、それぞれのケースで、話し手や聞き手の役割をみると、違いがあることが分る。

まず(12)では、JM4が「採算は取れてるんだろけど、あの、きっと」と言いかけているところに、聞き手であるJM3が「ま、あれで生計をたてるというのは..」と割り込みをして、ターンを取っている。そのために、それまで発言権を取っていたJM4は自分のターンを完了することなく、完全に中断してしまっている。これは、言ってみれば真正の割り込みとすることができる。本研究では、このタイプの割り込み発話を「ターン取りのための割り込み発話」と呼ぶ。

次に(13)で、JF4が「工学部の方は、うん、何か厳しかったと思ったけど...」と話しているところで、聞き手のJF3が「へー何か」と言いかける。しかしそれ以上後を続けずに、発話を言いさしのまま、終えている。この

例は、聞き手が割り込んだものの、それ以上割り込みを続けずに断念したものと考えられる。これを「差しはさみ」と呼ぶことにする。

例(14)は、話し手であるJF2が「...頑張って下さいって言われて、はいって、もう上着脱いで...」と言っているところに、聞き手のJF1が「焦ったやろ？」と発話を割り込ませている。しかしこの発話は短い質問を割り込ませたもので、これによって聞き手のJF2がターンを取ったわけではない。むしろ話し手のターンにあいづちを打つような感じで、発話を割り込ませている。このようなタイプのものを、本研究では「働きかけの割り込み発話」と呼ぶ。

最後に、(15)の例で、もう一つの割り込み発話の種類を見てみる。

(15) (年齢の話で、来年は年女になるという話題)

→ JF3 | あっそう一緒や一緒や/うんあたしも一緒だけど
JF4 ...あたし早生まれだからー/年としては丑になるんだけど/それでもねー

JF3 そうそう、じゃ次は年女だなーとか↑って | つ、ついにー
JF4 | ねえー/はあー/もう↑24、23

(資料4「寮の長老」)

ここではJF4が話し手としてターンを取っていて、聞き手のJF3が「あっそう、一緒や一緒や..」と割り込んでいる部分である。しばらく話し手と聞き手のターンが同時に進むが、話し手であったJF4は割り込みの途中でターンを終え、割り込んだ聞き手がかわりに主な話し手となってターンを取った形になっている。このような割り込みを「ターンの重なり」と呼ぶ。

3.4.3 割り込み発話の種類

この節では、ここまでに分類した各割り込み発話が起る状況を検討し、さらに会話における機能などについて考察していくことにする。会話における割り込み発話の機能を検討するために、先行する発話と割り込まれた発話の関係、さらに、後続の話し手は誰か、内容は何かといったことをもとに分

析していくことにする。

3.4.3.1 早めの発話開始

前節で早めの発話開始は、倒置された部分が、次の話し手がターンを始めた際に重複してしまい、割り込んだ形になってしまうものだと説明した。他にも付加疑問文のようなものや呼びかけことばがある場合などがある。また次の(16)のような例もよく観察される。

(16) (家はどこかという話題)

JF6: どこですか↑

JF5: は、あたしは一若松です

→ JF6: | あっじゃ学校の近くですね(笑い)

(資料10「考古学ブーム」)

この例では、付加疑問文や倒置があったわけではないが、聞き手が話し手のターンの完了、あるいは完了可能の場所(つまりはTRP)を予測して、早めに割り込んでターンを開始している例である。ターン完了の予測は、隣接ペアやイントネーション、語彙や文法的な知識などによってなされる。

このタイプの割り込み発話の形は、普通の話者交替に近いものであるということが言えるが、機能としては「聞き手が早く確実にターンを取る」ことが挙げられる。弾んでいる会話で、参加者が積極的に会話に関わりたいたいと思っているような状況では、よく見られる。

逆に長いターンで話し手が物語などを披露するような場合に、ターンの中の発話末などの区切りで、TRPの部分でもあるような場所に、聞き手がターンを取るために割り込んでくることもある。話し手がターンを譲りたくない場合には、割り込まれるのを防ぐために、語末を長くのばすとか、フィラーを入れるなどのような方策を取ることがある。

3.4.3.2 ターン取りのための割り込み発話

ターン取りのための割り込み発話は、話し手のターンを完了しないままに中断し、かわって割り込んだ聞き手が話し手となるものを指す。先にも真正な形の割り込みだと述べたが、自分が話し手となって話している際に「ターンを取られた」と感じるのは、このタイプの割り込みであると思われる。しかしこのタイプの割り込み発話の機能から検討してみると、必ずしも「ターンを取られた」と悪い印象を持つとは限らないことが分る。

(17) (留学生にチューターをした話題)

JM6: 二人で/あまあでも一相手は3人だったし/こっちは二人で、まあその時は水曜日だけってことで (p1.6) ほんでまあ | 途中から

→ JM5: | じゃあチューター/特に /あの一//紙貼って募集しなかったんですか↑

JM6: そうですね、もうほんとに/人づてで集めてきてただけっていう感じで、ま、途中で心理学の/人がまた (p1.0) 加わったりはしたんですけども...

(資料9「留学生のチューター」)

この例では、話し手であるJM6のターンに、聞き手であるJM5が割り込んで質問している。そのためにJM6のターンは「ほんでまあ途中から」と話し続けようとしていたのが、中断せざる得なくなっている。JM6と割り込んだJM5の発話の内容を比べてみても、JM6が「留学生の人数も少なく、チューターも少なく、水曜日だけで、それで」とこれから何か言おうとしているのに対し、JM5の割り込み発話の内容は「チューター募集のポスターで募集をしなかったのか」ということであるので、直接の近い関連がなく、JM6のターンを妨害したことになる。このようなものは、いわゆる他人の順番への「割り込み」として一般的に思い起こされるような典型的なものであると考えられる。

ところが次の(18)のような例は、少し様子が変わってくる。

(18) (チューターが必要な留学生の人数についての話題)

JM5: あっ前回も出てたんですか↑ =

JM6: =そうです、あの一//前の回はあの一留学生
が//人数が少なくって

→ JM5: | 何人でした↑ =

JM6: =えーと (p1.4) 4人いたのかな
(p2.6) 4人、あっ5人いたんだけど一人の人は全く//あの一//会った
ことなくて

(資料9「留学生のチューター」)

(18)の例でもまた、JM6のターンの途中でJM5が「何人でした?」と質問を割り込ませて、話し手であったJM6のターンを中断してしまっている。しかしこの例では、「留学生の人数が少ない」とJM6が言っているのに対して、JM5は「(それが)何人か」と質問している。これは妨害というようなものではなく、むしろJM6の話に関心を示し、詳しい情報を聞こうとしているものである。その意味では、同じ割り込み発話でも、話し手の話への積極的な関与を示す機能を持つものがあるということが分る。

(19) (大学の寮で、男子寮と女子寮は分かれているが、食堂は一緒であるという話題)

JF3: は一ん///なるほどね、でもえっ、寮で男女 | 一緒になるうん↑

JF4: | うーん

→ JF3: | ああそれは一緒なん | や

JF4: うーん何か/食事、食堂が |

JF4: | うん//でもあれは椅子
だからあんまり座り方とか関係ないから...

(資料4「寮の長老」)

(20) (留学生センター修了後の留学生とは、あまり会えないという話題)

JM6: 福井とか富山の人はずっとほとんど会えないって感じ | ですね↑//まあ

JM5: | そうですね

→ JM6: ここに残っている人もなかなか | | うーん

JM5: | やあ会うと思います | よ

(資料9「留学生のチューター」)

(19) では、JF4は話し手として「..食事、食堂が」と言いかけるが、そこに聞き手のJF3が「ああそれは一緒なんや」と発話を割り込ませている。そのためにJF4は自分のターンを中断してしまっている。しかしここでこれらの二つの話の内容を見てみると、JF3の割り込み発話は先行の発話の先取りをして「一緒だ」と言っていることが分る。つまりこの割り込み発話によって、「食堂は(男女)一緒である」という内容を協働して作り上げたことになる。ただし同じような先取りの割り込み発話でも、(20)のように、話し手であるJM6の言おうとしていることと逆のことを割り込ませた場合には、「さえぎられて割り込まれた」という印象を強くすると思われる。

以上、4つの例で見てきたように、ターン取りのための割り込み発話にも、先行の発話の内容との関連で、話し手の話へ積極的な関与を示す機能を持つもの、協働してひとつの内容を作るもの、妨害的な作用を及ぼすものがあることが分る。

ところで、話し手が、このような割り込みをされてターンを取られてしまった場合に用いる修復方法について触れておきたい。

先に見た例(17)では、まず聞き手であるJM5の「チューター募集の広告の紙で募集しなかったのか」という問いに「そうですね」と割り込みを認めたと上で、「人づてで」と答えている。これはSacksら(1974)の言う挿入連鎖となるが、この挿入連鎖の後で、そのまえに中断されてしまった「途中から」ということばを繰り返して再び「途中から心理学の学生が加わった」という話を再開していると考えられる¹⁾。

3.4.3.3 差しはさみ

差しはさみは、聞き手が割り込みを行ったが、うまくいかずにあきらめた場合のものを指す。

¹⁾ ターンの途中で話が中断されてしまった場合に、話し手がターンを再開するための技術として、李(1997)は、聞き手の側の割り込み行動における発話内容を肯定する、挿入連鎖の終結を表示する、内容の接続を表示する(「それでー」など)、話し手、聞き手の役割分担を明示するもの、の4つを挙げている。

(21) (コンビニで学生が万引をしたら、学校に通報するのかもしれないのかの話題)

JM4: 捕まえたら/あの一//警察に/言うとか|//学校に言うとか|//そう言う

JM3: |うん |うん

JM4: 話ってのはあんまり聞かないじゃないですか↓//|聞かないって言う

→ JM3: |やっぱり

JM4: か、ま実際にはやってるかもしれないけど//おおや、あのおおぴらにっていうか公にはそういう話は|出ないでしょう↑

JM3: |うん

→ JM3: やっぱり学校には言わないのかなあ↑...

(資料2「深夜のコンビニ」)

(21) で、JM4がターンの途中で「聞かないじゃないですか↓」と同意を求め、JM3はその部分で発話を差しはさむがうまくいかない。この「～聞かないですか」は最近よく使われる文末表現だが、この表現は自分の示した新情報を既知情報のように出して、そのあとに別な新情報を提示する用法を持つものであるため(滝浦 1997、井上 1998)、発言権を譲ろうとする際に使う表現ではない。だからJM4はターンを中断しなかったし、JM3はターンを取ることができずに、すぐにあきらめたのだと思われる。

この差しはさみは、話し手だったJM4のターンがすっかり完了してから、JM3が新たなターンとして発話を始めることによって回復されている。その際に、差しはさみで使った「やっぱり」ということばを繰り返して、「やっぱり学校には言わないのかな」と続けていることが観察される。

3.4.3.4 働きかけの割り込み発話

働きかけの割り込み発話は、前の差しはさみと同じように、現在の話し手のターンはそのまま続くもので、ターンの継続に影響を与えないものである。しかし差しはさみでは聞き手の発話が中断されてしまうのに対し、働きかけの割り込み発話の方は、聞き手の発話が完了し、かつ話し手に何らかの働き

かけをしているものを指す。

次は(14)と同じ例であるが、もう一度この例で検討することにする。

(22) (入試の会場をまちがえた話題)

JF2: ...そーんでね先生が時間は長くできませんけどまあ頑張って下さいって
言われて//はいつて///もう上着|上着脱いで焦ったわ↓うんーとにねー

→ JF1: |焦ったやろ↑ うん

JF2: //みんなほら他の人は県外から来たりしてるから/下見して.....

(資料3「動かないエレベータ」)

この例では、JF2が入試の会場を間違えていて、本当の試験場に行ったときには既に試験が始まっていたという経験を披露しているのだが、聞き手であるJF1はJF2のターンの中で、「焦ったやろ?」と働きかけの割り込み発話をしている。この割り込み発話があっても、JF2のターンはそのまま続いていて、JF1の方も、ターンを取る訳ではなくそのまま聞き手である。

ただここで割り込まれたJF2の発話の内容を観察してみると、「焦ったやろ?」のすぐ後に「..上着脱いで焦ったわ..」と応じている。「上着を脱いで焦った」という言い方はつながりがなく奇妙な表現であるが、試験場に着いて上着を脱いで頑張ったということを言おうとしていたときに、「焦ったやろ?」の質問を受けて「焦ったわ」とすぐに応答したものだと考えれば、納得がいく現象である。

このように働きかけの割り込み発話は、形としてはあいづちにも似た割り込み発話であるが、上で見たように、話し手へ働きかけをしてそれに対して話し手も応答をするなど、あいづちよりももっと強い実質的な働きかけをする機能を持っている。それが「働きかけの割り込み発話」と呼ぶことにした所以でもある。

さて次に、この働きかけの割り込み発話の機能について検討してみよう。まず上記の(22)では、話し手に対して聞き手が質問をしているものであるが、下の(23)の例もあわせて考えてみる。

(23) (発表のために休日に研究室で準備した話題)

JM1: できてない(笑い)きのうさーえーここ来てやっとなって/で、だんだん
寒くなっ4時過ぎにさーもう寒くなっちゃって=

JM2: =朝↑

→ JM1: ちゃうちゃう|夜、夕方夕方、うん//でー(p1.5)ストーブ欲しい

JM2: |夕方か

JM1: 何とか言って///うんー//まだ灯油来てないよな↑あの一

(資料1「インターネット」)

例(22)も(23)も質問のための割り込みである。まず(23)の例を見てみると、これは「4時といっても午前4時か午後4時か」と聞いている質問で、情報を得ようとするタイプの質問である。この質問に対して、JM1は「うん」とすぐに応答し、それから「でー」とターンを再開していることが観察される。

一方、例(22)の「焦ったやろ?」は、焦ったかどうかを聞くことが主な目的ではなく、むしろ入試会場を間違えるというたいへんな話の披露に対して、聞き手の驚きや共感を伝えるようなものになっている。話し手への話題への積極的な関与を示すものである。

情報のやり取りという面からは、話し手の情報要求に応じて、情報を提供するのための割り込み発話も観察される。

(24) (テレビ局のキャッチコピーの話題)

JM1: ...キャッチコピーもなー、むかつくやつはむかつくし(p1.7)だいたい
BBTなんかさー(笑い)何だっけビーイング|うー//ベスト、ベスト/

→ JM2: |ベスト/ビーイング

JM1: (|)ビーイング///ケーティー富山(笑)全然/富山テレビと関係ない

JM2: (|)(p1.8)富山富山

JM1: BBTは

(資料1「インターネット」)

これは、JM1が自分のターンの中で「何だっけ」と言ったのに対して、

「ベスト/ピーイング…」と情報を提供するために、働きかけの割り込み発話をした例である。

また次の例は、聞き手のコメントを伝えるタイプの働きかけの語り込みである。

(25) (インターネット上で、イスラエルの首相暗殺のニュースを見た話題)

JM1: ...これは何かジョークかなんかかなって思っ一見とったら今朝/
新聞 | (p1.2) 載った//うん//でもテレビと変わらんかもしれん
→ JM2: | 一結構早いんや//情報としては

(資料1「インターネット」)

(25)の例では、インターネットでニュースのような情報も見られるというような話をしているが、ここでJM2が「一結構早いんや、情報としては」とコメントを割り込ませている。JM1はこのコメントの割り込み発話に対して「うん」と応答していて、割り込み発話が働きかけとして認知されていることが分る。

次は、訂正のための働きかけの例である。

(26) (留学生の夏休みの旅行の話題)

LF2: ...きれいな所//ソー、ヤー/うーん//広島へ// | たい、い、い、
JF6: | 広島も行ったんですか↑
LF2: いったい/いったい | が//あ、行きたい、行きたいが、うーん/ちょっと
→ JF6: | あ、行きたい↑
LF2: (p1.1) うーん (p1.6) たいへん | ソー//うーん//京都から/金沢へ...
JF6: | ちょっとたいへん???

(資料8「悲しい夏休み」)

(26)は留学生が夏休みに行った旅行のことを話している場面である。ここまで留学生は奈良へ行った話をしていたのだが、突然「広島」という地名が出てくる。そこで日本語母語話者である日本人学生がまず「広島も行ったんですか？」と質問の働きかけを割り込ませる。しかしまだ少し日本語が不正確な留学生が「いったい」というのを聞いて、日本人学生が「行きたい」

と訂正の割り込み発話をしている。留学生もその訂正の働きかけを受けて、すぐに「あ、行きたい」と言い直しをしていることが見て取れる。

以上のような3つの働きかけの割り込み発話は、いずれも話し手の話への支援のためのものである。

最後に、先取りのコメントや、先取りによる唱和¹⁾の例を挙げる。

(27) (いろいろな本を読んでいるという話題)

JF5: うん、大学に入ってから | 何か//読むようになった、高校のとき全然一
→ JF6: | 読むようになった↑うーん

JF5: | よまなくて、うん

JF6: | うん

(資料10「考古学ブーム」)

(28) (大学の寮で、1年生は最初はおとなしいが、だんだん慣れてくるという話題)

JF4: うん/だから/だんだん慣れて | ー/結構どういう所か分ってくる | と一
→ JF3: | うん | と一

JF4: 伸び伸びー/して | くるんだけど

JF3: | そう/初めはこう横座りになり、そのうちに.....

(資料4「寮の長老」)

(29) (留学生寮の話題)

LM1: ...きれいな部屋えー//ちよっとうーん//K大学の部屋えー//より、
えーF大学部屋えー | //広い//広いです広い/あーとてもえー...

JM6: | 広い↑

(資料5「金のしゃちほこ」)

¹⁾ 同じ語句を複数の会話参加者が同時に発することを、菅原(1998)は「唱和」、串田(1997)は「ユニゾン」と呼んでいる。本研究では、「唱和」という語を用いる。

菅原(1998)は「唱和」を「いっぽうが他方の発話の文末近くでまったく同じ語句を同時に発話すること」と定義している。

本研究では、「複数の会話参加者が、同一の語句の言語音や同一の意味内容の語、あるいはその一部を、同時に発話し始めて終わること」と定義する。(28)の例のように、語句全体を同時に言わなくても、同じような効果を持つことがあるからである。また同一の語句を、少し遅れて別の参加者が発話した場合、繰り返しと区別するのが難しいことがある。

まず(27)の例では、JM5が「大学に入ってから」と言っているときに、聞き手であるJM6がその後続くことばを先取りして、「読むようになった」と働きかけの割り込み発話を割り込ませている。

また(28)の例では話し手のJM4が「分つてくると」の「と」の部分予測して話し手と聞き手が一緒に唱和している。これは単に予測して先取りするというより、予測して唱和することによって、話の調子を合わせる機能を果たしている。協働してターンを作りあげていくタイプのものである。

(29)は、話し手が日本語学習者で、あまり話が滑らかに進んでいない場面の例である。ここでも日本語母語話者の聞き手JM5が、話し手の言おうとしていることを先取りして「広い？」と割り込んでいる。これは調子合わせというより、日本語学習者がうまく話せるように、支援するようなタイプの先取りである。

これら3つの例は、話し手と聞き手が協力してターンを作りあげていくために役割を果たしている、働きかけの割り込み発話である。

3.4.3.5 ターンの重なり

ターンの重なりは、話し手のターンに聞き手が割り込みをするが、話し手のターンも続き、聞き手もそのままターンを取って、ターンが同時に進行するタイプの割り込みである。

話者交替システムの中で、複数の話者が同時に発話を続けることはあまり起こらないことである¹⁾。もし割り込み部分が話し手のターンと関連が薄ければ、どちらかの話者が発話をあきらめるのが多いのではないかと思われる。しかし、会話が弾んでいるときに、話し手と聞き手が渾然となって会話を進めていくような場面がたまに起こることがある。このようなものもターンの重なりである。次の例を見てみよう。

¹⁾ 序論でも触れたが、木村(1995)や菅原(1998)によると、アフリカの一部の民族の人々の間では、独立した内容の発話が長く並行して続くことがあるそうである。

(30) (大学の理工系と人文系では単位の取り方が違うという話題)

JF4: どこそこの実験までをクリアしてないっていう// | 感じなのかな↑//

JF3: | はあー//そっか

JF4: うん//人文だとそういうの/ | ないもんね//うーん

→ JF3: | ないないないない(笑い)みんな勝手に

→ JF4: | どれか選んでこれとこれとって感じだから/うーん/そうそう

→ JF3: (笑い) | 何度そう、何度/だめで2度失敗したからこっちーとか/ありえる

JF4: で、工学部男の子多いからさ

JF3: よね

(資料4「寮の長老」)

(30)の例では、まず話し手であるJF4が「人文系では、(単位を段階的に取っていく必要性は)ないもんね」と言っているが、そこに聞き手のJF3が「ない」の部分先取りして唱和するようなかたちで「ないないないない」と割り込む。そしてそのまま「みんな勝手に(笑い)何度..」とターンを続ける。次にJF4は、JF3の発話に「どれか選んで...」と割り込んで、そのまま続けている。この部分では、JF3とJF4が、渾然となって共同で一つの話を超えるような形になっている。それぞれのターンに、「そう」とか「うーん、そうそう」などのあいづちも入れ込んで、互いの発話内容を支持し、補完しながら進んでいっていることが観察できる。

3.4.4 まとめ

以上、割り込み発話の種類とその機能などについて、例を見ながら検討してきた。それをまとめると、次のようになる。

割り込み発話には、

- 1) 早めの発話開始、2) ターン取りのための割り込み発話、3) 差しはさみ、4) 働きかけの割り込み発話、5) ターンの重なり
- の5つの種類がある。

その機能には、割り込み発話と、話し手の割り込まれた発話との関連で、聞き手が話し手を妨害する作用を持つものと、話し手の話題への積極的な関与、話し手への支援、話し手との協働といった機能を持つものがある。聞き手からの働きかけがあると、話し手もターンの中でそれに応答し、話し手、聞き手がいっしょになって会話を進ませていくことが観察される。

3.5 非言語行動の観察

3.5.1 非言語行動の観察の方法

本研究では、割り込み発話と非言語行動、特に視線行動との関連を探っていくことも、大きい目的となっている。非言語行動の観察および、分析の方法論などはまだ必ずしも確立したものではないが、これまでの研究も参考にしながら、本研究では、次のような観察と記述方法をとることにした。

まず視線行動について、ターンと視線行動の関係、また話し手、聞き手という立場との関係などに関心を持って観察することにした。記述方法は、慣習になっている方法を部分的に採用し、あとは本研究独自のものである。

3.5.2 ターンと視線行動の関係

ターンと視線行動の関係について、例で検討してみる。

なお会話例の見方だが、全部で6行のうち、上から3行は、JF3の頭の動きなどと視線行動、発話、同様に、下から3行はJF4の発話、視線、頭の動きなどを示している。

(30) (理工系と人文系では、単位の取り方が違うという話題)

頭など
 視 (斜め) -----×-----
 JF3: なるほどねじゃ学年ごとにハードルがあるんだ=
 JF4: =確か-/工学部
 視線 ----- (斜め) -----
 頭など

頭など
 視線 ----- (斜め) ---×-----
 JF3: |へー何か
 JF4: の方-/は、うん/何か厳しかったと思っ|たけど、どこそこの単位
 視線 ----- (斜め) -----
 頭など ○。

頭など
 視線 ----- (斜め上) ---×-----
 JF3: |えっ何か順番とかがあるわけ↑
 JF4: 取れてないと次に|行けないとか
 視線 ×-----
 頭など 指で示す動作

(資料4「寮の長老」)

(31)の例で、まずJF3のはじめのターン「なるほどね.....あるんだ」を見てみよう。

ここでJF3はターンを取るが、視線行動に注目すると、ターンを始めたときには、聞き手から視線を外している。そしてターンが安定した「学年ごとに」の部分で、聞き手に視線を向けている。一方、聞き手であるJF4の視線行動は、話し手の方にだいたい目を向けている。そして聞き手から話し手へ交替する「確か..」のところで、JF3から視線を外し、途中から聞き手に再び視線を向けていることが分る。

またJF3がJF4の「確か工学部の...」のターンの途中で「へー何か」と差しはさみをしている。このときも、ターンを始めるときのように視線を相手から外しているが、差しはさみをあきらめると、また相手に視線を戻している。後になって「えっ何か...」と、同じ割り込みをまたしている際には、やはり相手から視線を外し、発話が安定すると、再び相手に視線を向けていることが観察される。

他の非言語行動では、JF4が「工学部の方は、うん、何か…」の「うん」の部分で、うなずきをしていることが分る。また単位の取り方を説明している部分では、指で順序などを示す動きをしている様子が観察できる。

3.5.3 働きかけの割り込み発話と視線行動との関係など

前節で見てきた、働きかけの割り込み発話と視線行動の様子はどうかだろうか。詳しい分析は次章以降で行うこととして、ここでは、一つの例として(32)を検討してみる。

(32) (試験会場をまちがえて、試験に遅れた話題)

頭など
 視線 ----- (下) - - - - x -----
 JF1:
 JF2: ..じゃああのー/あのー移動 (p1.0) 誘導しますからついてきてください
 視線 -----
 頭など

 頭など
 視線 -----
 JF1: | もう9時半ぐらい↑そしたら/う-ん
 → JF2: って言われてついていったら/おかし|いな-///ってもう20分過ぎてる..
 視線 ----- (斜め) - x --- (時計) ----- x -----
 頭など 時計を指さす

(資料3「動かないエレベータ」)

(32)の例では、JF2が話し手となって試験会場をまちがえてたいへんだった話を披露しているのだが、ここで聞き手のJF1が「もう9時半ぐらい？」と働きかけの割り込み発話をしている。ここでのJF1の視線行動は、普通のターン開始のときのように相手から視線を外すことはしていない。聞き手として話し手の話を聞いているときには、話し手へ視線を向けていることが多いとされているが、この働きかけの割り込み発話の際にも、聞き手としての

行動をしているからだとも考えられる。

割り込み発話とは少し話がずれるかもしれないが、JF2が「あのー移動」と言った後で、ポーズを入れている。そのときの聞き手JF1の視線を見ると、下の方を向いて、話し手を見ていないことが観察できる。そしてこのポーズの後、聞き手の視線が話し手に向けられると、ターンが再開され、「誘導しますから」という先行の発話の繰り返しの内容から話し始められる。2.6.1でも触れたように、Goodwin (1981)は、話し手がターンを維持するためには聞き手の視線が不可欠なものであると述べている。(32)の資料でも、聞き手の視線が得られないとポーズを入れて視線を要求して、視線が得られるとまたターンを再開しているという様子うかがわれる。

以上に述べてきたように、本研究では、言語行動と非言語行動、特に視線行動の関連を観察していくことにしたい。

第4章 本研究の会話資料

4.1 はじめに

本研究では会話資料は、すべて実際に行われた会話を録音・録画したものをを用いている。本章では、会話資料について、会話の種類や収集方法、会話参加者の背景について述べる。

4.2 会話資料の種類

本研究の目的は、会話の中に現れる割り込み発話の実態を調べ、会話の中で機能を探ることである。

割り込み発話は、序論で「黒田さんの婚約」の会話のところで見たように、会話の会話らしさを作っている要素の一つと考えられる。しかし、割り込み発話がどんな種類の会話にも現れるかという点、そうではない。

たとえば、裁判や公の会議、授業などのような場では、参加者の話す順番や役割というのが決まっていて、基本的には一人の話者の話に途中で口を挟むことはあまりない。また「注文をする」とか「許可を得る」など目的が決まってきた会話では、注文する人とされる人、許可をもらいたい人と許可を出す人、といった役割もはっきりしている。このようなタイプの会話でも、話順や話の進行が明白であるために、割り込み発話が多く出現することはないと思われる。

一方、日常の雑談では、参加者の話順や形式などよりも、むしろ雑談を弾ませ続けることそのものに意味があることが多い。そのため、会話参加者が積極的に会話に参加して会話を維持するために、割り込み発話も多くなると考えられる。

ところで、割り込み発話は、会話参加者同士の社会的立場の差があるような場合、たとえば「教師と学生」「上司と部下」といった上下関係が色濃く影響する場合には、偏りが現れる。上の立場である者が下の立場の者に割り

込むことが多く、その逆はあまりないとされている。2.7.2にも述べたが、たとえば男性と女性との会話では、男性が女性の話に割り込むことが圧倒的に多いということが報告されている（江原他 1984）。また、その会話における会話参加者の役割と割り込み発話にも関連がある。たとえば、山田（1993）はテレビでの対談の場面などで、番組のキャスターがゲストの話に割り込んで、トピックのコントロールを行うことがあると述べている。また初対面の人同士の会話の場合にも、あまり親しくない相手に対しては目上の人に対するのと同じような配慮をすることが多いと考えられ、割り込みがあまり現れないか、または偏りが出てくると思われる。

このようなことから、本研究で割り込み発話の分析のために用いる会話は、公式の場での会話でないこと、テレビ番組の中の対談のような会話ではないこと、つまり日常の場でよく行われているような雑談が最適であると考えられる。さらに、雑談の会話参加者は、社会的な立場や性別、年代などに差がなく、比較的打ち解けた間柄のペアとすることにする。

4.3 会話資料の収集方法

4.3.1 会話参加者

本研究で会話をしてもらったのは、日本語母語話者も日本語学習者も、すべて初対面ではない、顔見知りの人々である。

またいずれの会話でも、2人の間の会話を対象に収集した。雑談は2人以上の参加者で行われることも多いが、2人という人数は会話の最も基本的な人数であること、そしてビデオでの観察がしやすいということなどから、本研究では2人の会話を収集することにした。

会話参加者の詳細は以下の通りである。

1) 日本語母語話者同士

日本語母語話者同士の会話で話をしてもらったのは、同じ大学の学生であるとか、関係者であるなどの顔見知り同士8人、4組である。そのうち男性同士が2組、女性同士が2組である。どのペアも、ほぼ同じ年代で、上下関

係が深く関係する間柄ではない。

2) 日本語母語話者と日本語学習者

日本語母語話者と日本語学習者の会話では、日本人4人と、留学生4人、計4組のペアに話をしてもらった。日本語学習者は、ベネゼエラ人男性、ルーマニア人男性、マレーシア人女性、ブルガリア人女性で、資料収集当時、大学の留学生センターの日本語研修コースで集中的に日本語を勉強していた留学生である。

いずれの留学生もほぼ日本語を未習の状態で来日し、この会話を収録したのは、正味4か月間の日本語学習を経過した時期であった。この時点で、留学生は『新日本語の基礎ⅠⅡ』という教科書をだいたい終了していたので、日本語学習の基礎レベルを終えた時期とすることができる。全員、全く同じ日本語のコースに出席し、同じ留学生会館に住んでいたため、来日してからの日本語をめぐる環境はほぼ同一であるといっておかまわない。

これらの留学生を会話参加者に選んだのは、日本語のインプットなどの条件が全員そろっていて統制しやすいということと、さらにこれらの留学生たちは基本的な文法事項や語彙などの学習が終わっただけで、あまり運用面での経験を積んでいない時期であったので、この時期の日本語学習者の会話の特徴が浮き彫りになるのではないかと考えたからである。

また、日本語学習者の相手となった日本語母語話者は、日本語学習者が出席している日本語学習の教室を週1回程度訪れて、話し相手になっている日本人学生で、日頃互いに話をする間柄であった。

収録したのは、日本語母語話者同士の会話と同じように、男性同士が2組、女性同士が2組の会話である。また日本語学習者と日本語母語話者の年齢は、多少離れているケースが多い。留学生の方は、大学の学部を卒業してから来日するので、どうしても大学に在籍している日本人学生と比べて年上となる。しかしこの場合でも、同じ大学に学ぶ学生であることには変わりなく、「教師と学生」といった社会的立場に違いのあるような関係のペアではない。ただし、当然「日本人と外国人」という違いは存在すると考えられる。

3) 日本語学習者と話した日本語母語話者同士

上の2)の組み合わせで日本語学習者と話をした日本語母語話者は、男性2人、女性2人であるが、これらの話者が母語話者同士で話したときにどのような違いが出るかを比較するために、この男性同士、および女性同士で話をしてもらったものも収録した。

表4-1に、以上の会話の詳しい背景を示した。

表4-1 会話資料と会話参加者の背景

	資料名	会話参加者	性別	年齢	母語	その他の属性
日本語母語話者同士の会話	資料1 インターネット	J M1	男	24	日本語	学生
		J M2	男	24	日本語	学生
	資料2 深夜のコンビニ	J M3	男	23	日本語	学生
		J M4	男	25	日本語	学生
	資料3 動かないエレベータ	J F1	女	39	日本語	社会人学生*
		J F2	女	37	日本語	日本語教師*
	資料4 寮の長老	J F3	女	22	日本語	学生
		J F4	女	22	日本語	学生
日本語母語話者と日本語学習者との会話	資料5 金のしゃちほこ	J M5	男	22	日本語	学生
		L M1	男	30	スペイン語	留学生
	資料6 熊登へのドライブ	J M6	男	23	日本語	学生
		L M2	男	29	ルーマニア語	留学生
	資料7 マレーシアのカレー	J F5	女	21	日本語	学生
		L F1	女	28	マレー語	留学生
	資料8 悲しい夏休み	J F6	女	26	日本語	学生
		L F2	女	27	ブルガリア語	留学生
日本語学習者と話した母語話者同士の会話	資料9 留学生のチューター	J M5	男	22	日本語	学生
		J M6	男	23	日本語	学生
	資料10 考古学ブーム	J F5	女	21	日本語	学生
		J F6	女	26	日本語	学生

*JF1とJF2は以前同じ学校で勉強をしたことのある友人同士で、この会話収録時点では、同じ大学でJF1が社会人学生、JF2が日本語教師という立場になっている。しかしこの二人は同じゼミなどに学生の立場で参加したりしていて、二人の間柄に「教師と学生」という関係は全くない。

4.3.2 収集の期間と場所

会話の収録は、2回に分けて実施した。1回目は1995年11月6日で、2回目は1996年8月26日から10月31日の間で、数回に及んだ。

収録の行われた場所は、1回目は富山大学内の教室、2回目は金沢大学内の教室である。

図4-1に示したように、教室内で机をハの字のように並べ、被験者にそれぞれの机に一人ずつ座ってもらった。ちょうど互いに斜め正面に向き合うような位置になる。ここで、真正面に向き合うような位置にしなかったのは、雑談をしてもらうという設定の中で、面接のような向かい合わせの位置は不自然だと思われたこと、また、ビデオで録画するのに好都合であるということからである。

机の上に3台のテープレコーダー、机の前に3台のビデオカメラを置いて、会話を録音、録画した。

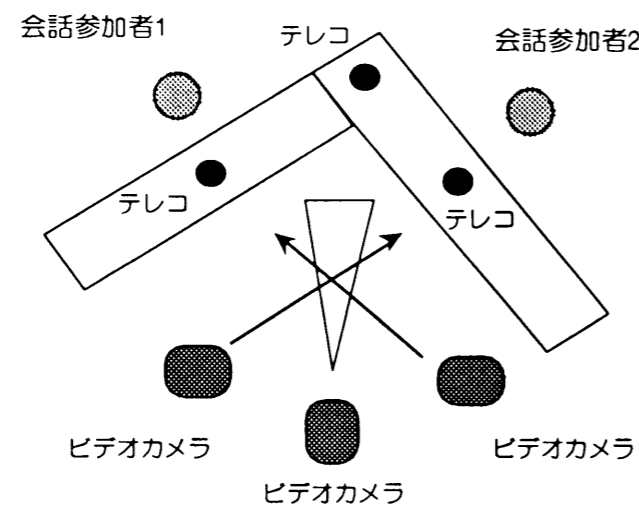


図4-1 会話参加者の位置

4.3.3 実施の手順

会話参加者に部屋に入ってもらい、2、30分ほど自由に雑談をして下さいと指示し、テープレコーダーとビデオカメラをセットした上で話をしても

らった。トピックについては、こちらからは干渉しなかった。

会話参加者には、会話収集の目的について「会話を研究している」とだけ言ったが、割り込み発話や視線行動に特に興味を持っていることは知らせなかった。また、この会話資料は、後に個人名などを匿名にした上で論文などに使うことがあることを伝え、この調査に協力してくれた全参加者の了承を得た。

4.3.4 文字化資料の作成方法

前述のようにして収集した会話は、始めの数分をカットした残りの15分間分を用い、テープを聞きながら素起こしをした。単に文字化するだけでなく、ターンやあいづちの認定も行った。その後、素起こしした文字資料に、ビデオテープを見ながら視線行動や他の非言語行動を観察したものを書き加えていった。

なお、会話資料は巻末に添付した。この会話資料では、プライバシーを配慮して、個人名や固有名詞の一部はアルファベットなどに変えてある。

4.4 会話資料の表記法と記号

4.4.1 会話資料の表記法

会話資料の表記法や記号については、既に各章で必要に応じて示してきたが、本節ではあらためて、これまで触れなかったものも含めて提示することにする。

まず、会話資料は、時間とともに左から右へ横に進行するようになっていて、読みやすさと内容把握のしやすさのため、漢字・かな交じり文で記してある。また1列が6段からなる。上から3段が一人の会話参加者に関する記述、下3段がもう一人の参加者に関する記述となっている。

記述方法として、一人の話し手のターンを、ひとまとまりにして記すことを原則とする。ターンの前には、話し手のアルファベットと、ターン番号をつける。話し手のアルファベットの前に#がある場合は、そのターンが前の

ターンに割り込まれたことを表す。また、ターンを形成しないあいづちや差しはさみ、働きかけの割り込み発話には、話し手のアルファベットやターン番号を付与しない。視線行動やうなずきなどの非言語行動は、各会話参加者の言語行動の記述に並行して、文字や記号で記述する。

4.4.2 会話資料の記号の意味

会話資料中に使われているすべての記号を下に提示する。

A 17	A という会話参加者のターンであることを表す。17は、ターン番号。
	二人以上の発話が重なっていることを表す。
# A 17	A という会話参加者のターン17が、前のターンの の部分に割り込んで始められたことを表す。
うん	あいづち「うん」が の部分で発せられていることを表す。
#	ターンを形成しない割り込み発話。
/、//、///	ポーズの長さを、表わす。それぞれ0.2、0.5、0.8秒前後を表している。それ以上の場合は（P1.0）のように表記する。
,	資料中、読点は原則としてつけないが、意味がわかりにくくなるところのみ打つ。ポーズではない。
=	ターンを取った話者の発話が、前の発話の完了点から間隔がなく発せられたことを表わす。
.....	前後に発話が続いていたことを表わす。
↑	上昇イントネーション。
↓	下降イントネーション。
?	聞き取れなかった会話部分。上昇イントネーションではない。
×-----	相手に向けた視線。
×----- - ----	ちらちら他方に視線を向けながら、基本的には相手に向けている視線。
(斜め) --	斜めに向けた視線。(上) -- は上に向けた視線、(手元) -- は自分の手元に向けた視線、のような意味になる。
(不明)	視線行動が観察できなかった部分。
○、。	頭の縦ふりで、○の大きさはふりの大きさを表わす。

頭の縦ふり以外の他の動作はことばで表わす。たとえば、横ふり、首傾げ、手で相手を指す など。

→ 議論の対象になっている発話部分。

~~~~~ 上と同じように、議論の対象となっている部分を表すが、→ではわかりにくいときに、この波線を用いる。

#### 4.4.3 凡例

本節では、実際の会話資料を例に挙げて、資料の見方について示す。

(1)

|     |                                        |
|-----|----------------------------------------|
| 頭   | °°                                     |
| 視   | ----- (斜め) ----- × -----               |
| JF3 | # F29   あーそうなんだ長老というわけでもないわけ   /かな↑    |
| JF4 | 感じが!//なくて # H30   うーん//だからまだ           |
| 視   | ----- - ----- (斜め) -----               |
| 頭   | °°                                     |
| 頭   | ○°                                     |
| 視   | ----- - -----                          |
| JF3 | うん                                     |
| JF4 | そんな/同い年一で院、来た子とか一   でも留年した子とかでも結局一3、4人 |
| 視   | ----- × ----- (斜め) ----- × -----       |
| 頭   | ○                                      |

(資料4「寮の長老」)

この例(1)では、上3段がJF3(F)に関する記述、下3段がJF4(H)に関する記述である。ここでは、F29→H30という順序で、ターンが交替している。F29もH30も、前のターンに割り込まれたものである。F(JF3)の「うん」はあいづちである。

非言語行動について、F29のターンが始まる時には、それまでHに向けられていた視線が斜め方向に外されている。またHの視線は、H29のターンの終わりの方から、F29のターンが始まってしばらくたつまでFに向けられているが、H30のターンの開始の前に、Fから外されている。

F29のターンの終わりの方に、小さいうなずきが2回繰り返されている。またH30のターンの「うーん」の部分でも小さいうなずきが見られる。一方、FはH30のターンを聞き手として聞いているときに「うん」とあいづちを打っ

ているが、そのときに大きいうなずきをしていることがわかる。

(2)

頭 〇。 首傾げ

視 ----- (横) ---- ×-----

JF5 別に # |は//行く↑ Y59=あたしーは歌は/

JF6 A 60あっそうですね、カラオケ |も結構行きますけど=

視 ----- (下) ---- ×-----

頭 〇。 〇。 〇。 〇。 〇。

(資料10「考古学ブーム」)

(2) のJF5 (Y) の発話で、「は(注:発音はwa)、行く↑」というのがある。発話の冒頭に#がついているが、これはターンでもなく、あいづちでもなく、働きかけの割り込み発話であることを示している。差しはさみも同じような記述になる。

以上、いくつか例を示してきた。

なお今後、本文で会話資料から引用する場合、非言語行動と関係のないことについては、資料の読みやすさ、見やすさを考えて、非言語行動の記述の部分を省略することがある。

先にも述べたように、本研究で用いた会話の文字化資料はすべて巻末に会話資料として添付したが、本節では、最後に、例として資料の一部を示す。

#### 4.4.4 会話資料からの抜粋

頭 〇。

視 ----- (斜め) ---- ×-----

JF3 |うん |は一ん F 11=あなるほどね |

JF4 |デーんって感じで |//座っててそれはけっこう学年関係なしで= # H12 |うん

視 -----

頭 手を伸ばし「デーん」の様子 〇。 〇。

頭 〇

視 ----- (斜め) ---- ×-----

JF3 千差万別 # F12 |そっか出て |くるのかー

JF4 何かその辺見てるとけっこうおもしろいなー |て # H13 |うーん//だからあたしが

視 ----- (斜め上) ---- ×----- (斜め) ----

頭 〇。 〇。

頭

視 ----- (斜め) ---- ×-----

JF3 |うん # |かもしれない | (笑い)

JF4 ああ |いう座り方できるのも自分が学年が上だからかなー |とか // // |うーん

視 ----- ×-----

頭

頭 あごに手をあてて考えている様子 ブリッコ風に断る

視 (斜め) ---- (斜め横) ----

JF3 F 13=そっか1年生ーに (p1.9) しろって言われてもいやいいです

JF4 いうのもあるけど/うん= #うん何か

視 ----- (斜め下) ----

頭 〇。



## 第 5 章 日本語母語話者同士の会話における割り込み発話

### 5.1 はじめに

本章では、日本語母語話者同士の会話において割り込み発話がどのように用いられているのか、どのような特徴があるのか、そして会話における会話参加者の相互交流にどう寄与するのかということについて述べる。

そのために次のような手順で考察していく。

- 1) 割り込み発話に関連すると思われる、ターンや発話、視線行動など基本的事項についての分析
- 2) 割り込み発話の種類や出現数の分析
- 3) 割り込み発話と視線行動の関係の分析
- 4) 割り込み発話の機能の分析
- 5) 日本語母語話者同士の会話の、割り込み発話の用いられ方から見た特徴の考察

本研究で分析に用いた全資料については第4章に詳しく述べたが、本章で扱う日本語母語話者同士の会話資料は次の4つである（表5-1）。

表5-1 日本語母語話者同士の会話

| 資料名              | 会話参加者 | 性別 | 年齢 |
|------------------|-------|----|----|
| 資料1<br>インターネット   | JM1   | 男  | 24 |
|                  | JM2   | 男  | 24 |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | JM3   | 男  | 23 |
|                  | JM4   | 男  | 25 |
| 資料3<br>動かないエレベータ | JF1   | 女  | 39 |
|                  | JF2   | 女  | 37 |
| 資料4<br>寮の長老      | JF3   | 女  | 22 |
|                  | JF4   | 女  | 22 |

なお今後、日本語母語話者と母語話者と略すことがある。

### 5.2 割り込み発話に関連する基本的な事柄についての分析結果

#### 5.2.1 ターンと発話

本章で用いる4つの会話資料におけるターン数と発話数をまとめると、表5-2のようになった。なお、ターンと発話、および、あいづちの定義については、3.3を参照されたい。

表5-2 ターン数とターン中の発話数

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン中の発話数 |
|------------------|-------|------|----------|
| 資料1<br>インターネット   | JM1   | 63   | 172      |
|                  | JM2   | 62   | 97       |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | JM3   | 80   | 117      |
|                  | JM4   | 81   | 188      |
| 資料3<br>動かないエレベータ | JF1   | 57   | 124      |
|                  | JF2   | 57   | 171      |
| 資料4<br>寮の長老      | JF3   | 80   | 173      |
|                  | JF4   | 79   | 168      |
| 平均               |       | 69.9 | 151.3    |

\*ターン中の発話は、発話聞き取れないために認定ができないものがいくつかあった。そのようなものは、この中に含めていない。

各資料のターン数を見てみると資料ごとに違いがあるが、どの資料でも、二人の会話参加者のターン数はだいたい同じになっている。これは、話者交替が交互に行われていることを表していて、普通の会話であれば当然とも言えるかもしれない<sup>1)</sup>。

しかし次にターン中の発話数を見てみると、それぞれの会話参加者によっ

<sup>1)</sup> 一人の話し手がターンを取って話したあと、次の話し手がターンを取らなかった場合、また同じ話し手がターンを取る場合がある。このようなことは一人の会話参加者が会話に進んで参加していない場合に起こるが、これが何度も繰り返されると、各会話参加者のターン数に違いが生ずることになる。

て違いがあることが分る。たとえば資料1では、どちらの話者もターン数は63と62でほぼ同じであるが、発話数では、JM1が172、JM2が97となっている。これはJM1が自分のターンで長く話す傾向があり、JM2のターンは短いものであることを示している。どちらかという、JM1が自分の物語を披露し、JM2がそれを聞いているという会話であることが分る。一方資料4では、二人の参加者の発話数もあまり変わらないことから、どちらの参加者も同じように語りをしたり、聞いたりしていることが見て取れる。

### 5.2.2 あいづち

次に、各資料に現れるあいづちについてまとめたのが、表5-3である。

表5-3 あいづちの出現数

| 資料名              | 会話参加者 | あいづち数 | 1分間の回数 |
|------------------|-------|-------|--------|
| 資料1<br>インターネット   | JM1   | 20    | 1.3    |
|                  | JM2   | 93    | 6.2    |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | JM3   | 59    | 3.9    |
|                  | JM4   | 46    | 3.1    |
| 資料3<br>動かないエレベータ | JF1   | 57    | 3.8    |
|                  | JF2   | 59    | 3.9    |
| 資料4<br>寮の長老      | JF3   | 67    | 4.5    |
|                  | JF4   | 69    | 4.6    |
| 平均               |       | 58.8  | 3.9    |

各会話参加者が打つあいづちの回数は、前節で述べたターン中の発話数と関連している。つまり、発話数が多い会話参加者は、聞き手として相手の話を聞いているよりも話し手として話している方が多いので、あいづちの出現数は少なくなることになる。表5-3の結果もそのようになっている。

ところで、一般的な日本語母語話者の打つあいづち数と比べて、本結果はどうであろうか。これまでの研究では次のような結果が報告されている。

まず水谷（1984）は、テレビ番組やラジオ番組の対談や身上相談の会話に出てくるあいづちを分析している。それによると、これらの番組の会話参加者8人のあいづち回数は、1分間に平均15回程度であるという。この調査では会話参加者による個人差も大きく、最も多くあいづちを打つ参加者は1分間に25.76回、最も少ない参加者は0.75回という結果が報告されている。

また堀口（1998）でサントス（1993）の調査結果が紹介されているが、それによると、日本人とフィリピン人上級日本語学習者との自由会話で日本人が打ったあいづちは1分間に平均5.0回であったという。

水谷（1984）の結果はかなり多いようにも見えるが、テレビやラジオ番組であるため、必ずしも日常の会話と同じであるとは考えにくい。たとえばラジオの身上相談の番組は、互いに顔が見えないために、一つ一つの話をおいづちで確認しながら進んでいるような特徴があり、そのためにあいづちが多くなっていることが考えられる。また先にも述べたように、この調査では個人差が大きい。これは個人の話し方の違いにもよるが、この状況での立場ということも、違いに影響していると思われる。たとえば、司会者は皆の話にあいづちを打つ傾向があるとか、インタビューをする方は、される方よりもあいづちを多く打つだろうなどということである。

サントス（1993）の結果は、日本語母語話者同士の会話ではないので、簡単には比較できないが、本研究の結果と近い値が出ている。本研究でも日本語母語話者と非母語話者との会話について分析しているので、あいづちについては、また次章で述べたい。

あいづちは第2章でも述べたように、研究者によって定義に違いがあり、また個人差もある可能性があるため、安易な比較はできないと考える。

### 5.2.3 視線行動

第2章でも述べたが、これまで行われてきた研究によると、話者交替と視線行動には密接な関連があると言われている。しかし、日本語の会話については、まだ詳しい研究報告はない。そこで本研究では、まず話者交替と視線

行動の基本的な特徴について調査を行った。

### 5.2.3.1 ターンと視線行動

ターンと視線行動の関係について、表5-4、表5-5のような結果が出た。

表5-4 ターン開始時における視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン開始時に相手から視線をはずす (%) | ターン開始時に相手に視線を向ける (%) | 不明 |
|------------------|-------|------|-----------------------|----------------------|----|
| 資料1<br>インターネット   | JM1   | 63   | 50 (79.4%)            | 13 (21.1%)           |    |
|                  | JM2   | 62   | 45 (72.6%)            | 17 (27.4%)           |    |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | JM3   | 80   | 75 (94.1%)            | 4 (5.0%)             | 1  |
|                  | JM4   | 81   | 66 (81.5%)            | 15 (18.5%)           |    |
| 資料3<br>動かないエレベータ | JF1   | 57   | 42 (73.7%)            | 15 (26.3%)           |    |
|                  | JF2   | 57   | 23 (40.4%)            | 33 (57.9%)           | 1  |
| 資料4<br>寮の長老      | JF3   | 80   | 61 (76.3%)            | 19 (23.8%)           |    |
|                  | JF4   | 79   | 62 (78.5%)            | 16 (20.3%)           | 1  |
| 平均               |       | 69.9 | 53 (75.8%)            | 16.5 (23.6%)         | 3  |

表5-5 ターン終了時における視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン終了時に相手から視線をはずす (%) | ターン終了時に相手に視線を向けている (%) | 不明 |
|------------------|-------|------|-----------------------|------------------------|----|
| 資料1<br>インターネット   | JM1   | 63   | 12 (19.4%)            | 51 (80.9%)             |    |
|                  | JM2   | 62   | 17 (27.4%)            | 45 (72.6%)             |    |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | JM3   | 80   | 46 (57.5%)            | 33 (41.3%)             | 1  |
|                  | JM4   | 81   | 46 (56.8%)            | 35 (43.2%)             |    |
| 資料3<br>動かないエレベータ | JF1   | 57   | 7 (12.3%)             | 49 (86.0%)             | 1  |
|                  | JF2   | 57   | 12 (21.1%)            | 44 (77.2%)             | 1  |
| 資料4<br>寮の長老      | JF3   | 80   | 33 (41.3%)            | 47 (58.8%)             |    |
|                  | JF4   | 79   | 22 (27.8%)            | 56 (70.9%)             | 1  |
| 平均               |       | 69.9 | 24.4 (35.0%)          | 45 (64.4%)             | 4  |

まず表5-4を見ると、それまで聞き手として相手に視線を送っていた参加者が、発言権を取り、ターンを開始する時点で視線を相手からはずすのは、各会話参加者平均で75.8%である。これは一人の会話参加者が、聞き手としては話し手に視線を送り、立場を交替して自分が話し手となるときには、かなりの率で、それまで相手に向けていた視線をはずす傾向があることが分る。

また表5-5にあるように、自分のターンを終了するときには、相手に視線を向けることが多いことが分る。これは、いったん聞き手から視線をはずしてターンを開始し、ターンが安定してくると聞き手に視線を向けるようになり、ターンを終了しようというときには聞き手に視線を送るということである。これまで英語の会話が対象となっていた先行研究の結果が、日本語の会話にもほぼあてはまるということが言える。

### 5.2.3.2 発話と視線行動

次に、一人の話し手がターンを取っているときの視線行動はどうであろうか（表5-6と表5-7）。

表5-6 発話開始時における視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン中の発話数 | 発話開始時に相手から視線をはずす (%) | 発話開始時に相手に視線を向ける (%) | 不明 |
|------------------|-------|------|----------|----------------------|---------------------|----|
| 資料1<br>インターネット   | JM1   | 63   | 172      | 127 (73.8%)          | 45 (26.2%)          |    |
|                  | JM2   | 62   | 97       | 56 (57.7%)           | 41 (42.3%)          |    |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | JM3   | 80   | 117      | 107 (91.5%)          | 9 (7.7%)            | 1  |
|                  | JM4   | 81   | 188      | 156 (83.0%)          | 32 (17.0%)          | 1  |
| 資料3<br>動かないエレベータ | JF1   | 57   | 124      | 54 (43.5%)           | 69 (55.6%)          | 1  |
|                  | JF2   | 57   | 171      | 91 (53.2%)           | 78 (45.6%)          | 4  |
| 資料4<br>寮の長老      | JF3   | 80   | 173      | 133 (76.9%)          | 40 (23.1%)          |    |
|                  | JF4   | 79   | 168      | 104 (61.9%)          | 62 (36.9%)          | 2  |
| 平均               |       | 69.9 | 151.3    | 103.5 (68.4%)        | 47 (31.1%)          |    |

これまでの研究では、一つのターンの中の区切りのところでは、いったん聞き手から視線をはずすということが報告されている。表5-6によると発話開始時にも、ターンの開始時と同じように、聞き手から視線を外す方が、視線を外さないよりも多くなっていることが分る。

また表5-7によると、発話終了時についても、ターン終了時と同じように、聞き手に視線を送っていることが多い。

表5-7 発話終了時における視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン中の発話数 | 発話終了時に相手に視線を向けていない (%) | 発話終了時に相手に視線を向けている (%) | 不明 |
|------------------|-------|------|----------|------------------------|-----------------------|----|
| 資料1<br>インターネット   | JM1   | 63   | 172      | 51 (29.7%)             | 121 (70.3%)           |    |
|                  | JM2   | 62   | 97       | 28 (28.9%)             | 69 (71.1%)            |    |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | JM3   | 80   | 117      | 78 (66.7%)             | 49 (41.9%)            |    |
|                  | JM4   | 81   | 188      | 110 (58.5%)            | 78 (41.5%)            |    |
| 資料3<br>動かないエレベータ | JF1   | 57   | 124      | 33 (26.6%)             | 90 (72.6%)            | 1  |
|                  | JF2   | 57   | 171      | 41 (24.0%)             | 127 (74.3%)           | 3  |
| 資料4<br>寮の長老      | JF3   | 80   | 173      | 103 (59.5%)            | 70 (40.5%)            |    |
|                  | JF4   | 79   | 168      | 68 (40.5%)             | 99 (58.9%)            | 1  |
| 平均               |       | 69.9 | 151.3    | 64 (42.3%)             | 87.9 (58.1%)          |    |

これらの結果から、ターンの中の発話の終りという区切りでは、話者交替のときと同じように相手に視線を送り、そのまま発言権を維持して新たな発話を始める場合には、いったん相手から視線を外すということが分る。

### 5.2.3.3 あいづちと視線行動

さて、会話で聞き手として話し手の話を聞いているときには、話し手に視線を送っていることが多いとされているが、あいづちの場合の視線行動はどうだろうか。表5-8に示した。

表5-8からは、聞き手があいづちを打つときに63.6%の割合で、話し手

の方に視線が向けられていることが分る。池田ら(1996)の調査でも、あいづち時に話し手へ視線を向けている率が高いという結果が出ているが、本研究でもそれが確かめられたと言える。

表5-8 あいづち時の視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | あいづち数 | あいづち時に話し手から視線をはずす (%) | あいづち時に話し手に視線を向ける (%) | 不明 |
|------------------|-------|-------|-----------------------|----------------------|----|
| 資料1<br>インターネット   | JM1   | 20    | 5 (25.0%)             | 12 (60.0%)           | 3  |
|                  | JM2   | 93    | 28 (30.1%)            | 64 (68.8%)           | 1  |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | JM3   | 59    | 53 (89.9%)            | 6 (10.2%)            |    |
|                  | JM4   | 46    | 25 (54.3%)            | 21 (45.7%)           |    |
| 資料3<br>動かないエレベータ | JF1   | 57    | 10 (17.5%)            | 46 (80.7%)           |    |
|                  | JF2   | 59    | 14 (23.7%)            | 45 (76.3%)           | 1  |
| 資料4<br>寮の長老      | JF3   | 67    | 21 (31.3%)            | 46 (68.7%)           |    |
|                  | JF4   | 69    | 10 (14.5%)            | 59 (85.5%)           |    |
| 平均               |       | 58.8  | 20.8 (35.4%)          | 37.4 (63.6%)         |    |

以上、割り込み発話と関連があると思われるターンや発話、またそれらと視線行動の関係など、基本的な事柄についての結果と分析を述べた。

次節より、日本語母語話者同士の会話に現れる割り込み発話について見ていきたい。

## 5.3 日本語母語話者同士の会話に現れる割り込み発話についての分析結果

### 5.3.1 割り込み発話の種類と出現数

第3章でも考察したが、本研究では、日本語の会話に現れる割り込み発話を、次の5つに分類する。1) 早めの発話開始、2) ターン取りのための割り込み発話、3) 差しはさみ、4) 働きかけの割り込み発話、5) ターンの重なり、である。

4つの会話資料に現れた各割り込み発話の種類と出現数を、表5-9に示した。これによると、4つの資料に現れた割り込み発話は、総数が244で、1分間に約4.1回割り込みが生じていることになる。

割り込み発話の種類のうち最も多いのが、資料によって差はあるものの、ターン取りのための割り込みである。次に多いのが早めの発話開始、そして働きかけの割り込み、差しはさみと続く。ターンが重なったまま進むターンの重なりは、やはりいずれの資料にもあまり出現しない。

表5-9 割り込み発話の種類と出現数

| 割り込み発話の種類        | 割り込み総数 | 早めの発話開始       | ターン取りのための割り込み | 差しはさみ        | 働きかけの割り込み     | ターンの重なり     | その他*        |
|------------------|--------|---------------|---------------|--------------|---------------|-------------|-------------|
| 資料1<br>インターネット   | 41     | 9<br>(22.0%)  | 13<br>(31.7%) | 4<br>(9.8%)  | 14<br>(34.1%) | 1<br>(2.4%) | 0           |
| 資料2<br>深夜のコンビニ   | 47     | 22<br>(46.8%) | 14<br>(30.0%) | 6<br>(12.8%) | 4<br>(8.5%)   | 0           | 2<br>(4.3%) |
| 資料3<br>動かないエレベータ | 60     | 8<br>(13.3%)  | 26<br>(43.3%) | 7<br>(11.7%) | 15<br>(25.0%) | 2<br>(3.3%) | 2<br>(3.3%) |
| 資料4<br>寮の長老      | 96     | 34<br>(35.4%) | 38<br>(39.6%) | 3<br>(3.1%)  | 17<br>(17.7%) | 2<br>(2.1%) | 1<br>(1.0%) |
| 総数               | 244    | 73<br>(30.0%) | 91<br>(37.3%) | 20<br>(8.2%) | 50<br>(20.5%) | 5<br>(2.0%) | 5<br>(2.0%) |

\*その他は、割り込みはあったが、発話の途中などに聞き取れない部分があって、割り込み発話の種類が判明できなかったものである。

### 5.3.2 会話参加者と割り込み発話の出現数

会話参加者ごとの割り込みの状況について見てみたのが、表5-10である。これによると、資料によって多少の差があるものの、それぞれの会話参加者がだいたい半々ぐらいの割合で割り込みを行っている。これは個人の性格の違いなどがあっても、基本的には同性の友人同士という間柄の会話であることの現れであると思われる。

一方、出現する割り込み発話の種類について見てみると、会話参加者によってだいたいばらつきがあることが分る。これは個人的な違いにもよるが、5.2で述べたターンと発話ということとも関連すると思われる。長い話を披露した会話参加者と、それをどちらかという聞き手となって聞いていた参加者では、用いた割り込み発話にも差が出てくる。

たとえば資料1では、JM1が発話数が多く長くターンを取っていた参加者で、JM2の方は聞き手として合いの手を入れながら聞いていた参加者である。用いた割り込み発話では、JM1はターン取りのための割り込み発話の比率が高く、JM2は働きかけの割り込み発話が多くなっている。同じようなことが、資料3にも言える。

表5-10 会話参加者と割り込み発話の出現数

| 資料名 | 割り込み総数 | 会話参加者 | 各参加者の割り込み発話   | 早めの発話開始       | ターン取りのための割り込み発話 | 差しはさみ        | 働きかけの割り込み発話   | ターンの重なり     | その他         |
|-----|--------|-------|---------------|---------------|-----------------|--------------|---------------|-------------|-------------|
| 資料1 | 41     | JM1   | 18<br>(44.0%) | 5<br>(27.8%)  | 6<br>(33.3%)    | 4<br>(22.2%) | 2<br>(11.1%)  | 1<br>(5.6%) | 0           |
|     |        | JM2   | 23<br>(56.0%) | 4<br>(17.4%)  | 7<br>(30.4%)    | 0            | 12<br>(52.2%) | 0           | 0           |
| 資料2 | 47     | JM3   | 27<br>(57.4%) | 10<br>(37.0%) | 8<br>(30.0%)    | 5<br>(18.5%) | 2<br>(7.4%)   | 0           | 2<br>(7.4%) |
|     |        | JM4   | 20<br>(42.6%) | 11<br>(55.0%) | 6<br>(30.0%)    | 1<br>(5.0%)  | 2<br>(10.0%)  | 0           | 0           |
| 資料3 | 60     | JF1   | 24<br>(40.0%) | 2<br>(8.3%)   | 4<br>(16.7%)    | 6<br>(25.0)  | 9<br>(37.5%)  | 1<br>(4.2%) | 2<br>(8.3%) |
|     |        | JF2   | 36<br>(60.0%) | 6<br>(16.7%)  | 22<br>(61.1%)   | 1<br>(2.8%)  | 6<br>(16.7%)  | 1<br>(2.8%) | 0           |
| 資料4 | 96     | JF3   | 53<br>(55.2%) | 15<br>(28.3%) | 20<br>(37.7%)   | 1<br>(1.9%)  | 15<br>(28.3%) | 2<br>(3.8%) | 0           |
|     |        | JF4   | 43<br>(44.8%) | 20<br>(46.5%) | 18<br>(41.9%)   | 2<br>(4.7%)  | 2<br>(4.7%)   | 0           | 1<br>(2.3%) |
|     | 244    |       |               | 73            | 91              | 20           | 50            | 5           | 5           |

### 5.3.3 割り込み発話と視線行動

#### 5.3.3.1 割り込み時における割り込む聞き手の視線行動

次に、割り込み時の視線行動について見てみる。

話し手がターンを取って話をしているとき、聞き手は話し手に視線を向けていることが多いとされている。聞き手はあいづちを打つ際にも、5.2.3.3で見たように、話し手から視線を外すよりも、向けているほうが多かった。

それでは、聞き手が話し手のターンの最中に割り込みをときには、どのような視線行動をとるのだろうか。表5-11は、聞き手が話し手のターンの間に割り込みをしたときの視線行動をまとめたものである。

表5-11 割り込み時の聞き手の視線行動

|                 | 割り込み時に<br>割り込んだ聞き手が<br>話し手から視線をはずす | 割り込み時に<br>割り込んだ聞き手が<br>話し手に視線を向ける | 計  |
|-----------------|------------------------------------|-----------------------------------|----|
| 早めの発話開始         | 57 (78.1%)                         | 16 (21.9%)                        | 73 |
| ターン取りのための割り込み発話 | 61 (67.0%)                         | 30 (33.0%)                        | 91 |
| 差しはさみ           | 15 (75.0%)                         | 5 (25.0%)                         | 20 |
| 働きかけの割り込み発話     | 24 (48.0%)                         | 26 (52.0%)                        | 50 |
| ターンの重なり         | 3 (60.0%)                          | 2 (40.0%)                         | 5  |

これをもとに、 $\chi^2$ 検定をしてみると、次のような結果になった(表5-12)。

表5-12 割り込み時の視線行動に関する検定の結果

|                     | 早めの発話<br>開始 | ターン取りのため<br>の割り込み発話 | 差しはさみ         | 働きかけの<br>割り込み発話 | ターンの<br>重なり   |
|---------------------|-------------|---------------------|---------------|-----------------|---------------|
| 早めの発話<br>開始         | -           | 2.450<br>(ns)       | 0.085<br>(ns) | 11.942<br>(***) | 0.862<br>(ns) |
| ターン取りのため<br>の割り込み発話 | -           | -                   | 0.482<br>(ns) | 4.882<br>(*)    | 0.105<br>(ns) |
| 差しはさみ               | -           | -                   | -             | 4.221<br>(*)    | 0.446<br>(ns) |
| 働きかけの<br>割り込み発話     | -           | -                   | -             | -               | 0.262<br>(ns) |
| ターンの<br>重なり         | -           | -                   | -             | -               | -             |

\*\*\* p<.005, \*\* p<.01, \* p<.05, † p<.10, ns 有意差なし

表5-12によると、早めの発話開始と働きかけの割り込み発話の間で有意差(p<.005)、またターン取りのための割り込み発話と働きかけの割り込み発話の間、差しはさみと働きかけの割り込み発話の間でも有意差(p<.05)が見られた。つまり、働きかけの割り込み発話における視線行動は、早めの発話開始、ターン取りのための割り込み発話、差しはさみの視線行動とは違うということを表している。

これは何を意味するのだろうか。聞き手が早めの発話開始をする際に、話し手から視線をはずすのが78.1%、ターン取りのための割り込み発話では67.0%、差しはさみで75.0%、3つの平均は73.4%である。これら3つの割り込み発話は、言ってみればいずれも割り込んでターンを取ろうとするタイプのものである。通常の話者交替のときに、ターンを取ろうとしている方が相手から視線をはずす比率が平均75.8%であったことを考えると、これら3つの割り込み発話は、視線行動の面からも通常の話者交替と同じように、割り込んでターンを取ろうとしている方が視線をはずしていることが分る。

一方、働きかけの割り込み発話時に、働きかけている聞き手が話し手から視線をはずすのは48.0%、視線を向けているのが52.0%であり、話し手に視線を向けたまま割り込み発話をしている比率の方が高い。ここであいづちを打つときの視線行動と比較してみよう(5.2.3.3)。あいづちを打つときに視線を話し手からはずすのが35.4%、視線を向けているのが63.6%であった。働きかけの割り込み発話時とあいづち時の視線行動に差は見られなかった( $\chi^2=1.663$ 、有意差なし)ので、働きかけの割り込み発話時の視線行動は、前述の早めの発話開始やターン取りのための割り込み発話、差しはさみのようにターンを取ろうとする視線行動ではなく、むしろ聞き手としての視線行動に通ずるものであることが言える。

#### 5.3.3.2 割り込み時における割り込まれる話し手の視線行動

次に、割り込まれたときの、割り込まれた話し手の視線行動について見てみることにする。まず例を挙げる。

(1) (社会人入試の試験の内容についての話題)

頭 横ふり  
 視 ----- (横) ----- × -----  
 →JF2 # M16 | それと消防しょ法がどうなのか  
 JF1 ..理にかなってるとかあれだよー↑ (P1.1) そそしたら |  
 視 ----- (横) ----- × -----  
 頭  
 (資料3「動かないエレベータ」)

(1) では、JF1のターンの最中に「それと消防しょ法がどうなのかは」とターンを割り込ませている。割り込みをしたJF2の視線は、ターンを始める前に話し手であるJF1から視線をはずしている。一方、割り込まれた方のJF1の視線は、割り込まれる先行の発話の部分において、割り込もうとしているJF2には視線を向けていないということが分る。これは恐らく「そそしたら」からまだ発話を続けようとしていたことの現れかと思われる。

しかしJF2が「それと..」と割り込みをすると、その直後から割り込まれたJF1はJF2に視線を送っている。これは割り込まれた話し手であったJF1が、発言権をJF2に譲り、聞き手となったことを表していると考えられる。

このように、割り込まれた方の、割り込まれる先行の発話の部分と割り込まれた直後の視線行動を調べてみたのが、表5-13から表5-16である。

表5-13 割り込みの先行の発話における視線行動

|                 | 先行発話の話し手が聞き手から視線をはずしている | 先行発話の話し手が聞き手に視線を向けている | 不明 | 計  |
|-----------------|-------------------------|-----------------------|----|----|
| 早めの発話開始         | 29 (39.7%)              | 44 (60.3%)            |    | 73 |
| ターン取りのための割り込み発話 | 42 (46.2%)              | 49 (53.8%)            |    | 91 |
| 差しはさみ           | 10 (50.0%)              | 10 (50.0%)            |    | 20 |
| 働きかけの割り込み発話     | 18 (36.0%)              | 32 (64.0%)            |    | 50 |
| ターンの重なり         | 1 (20.0%)               | 3 (60.0%)             | 1  | 5  |

またこれをもとに $\chi^2$ 検定をした結果が、表5-14である。

表5-14 割り込みの先行の発話における視線行動の検定結果

|                 | 早めの発話開始 | ターン取りのための割り込み発話 | 差しはさみ      | 働きかけの割り込み発話 | ターンの重なり    |
|-----------------|---------|-----------------|------------|-------------|------------|
| 早めの発話開始         | -       | 0.682 (ns)      | 0.681 (ns) | 0.174 (ns)  | 0.862 (ns) |
| ターン取りのための割り込み発話 | -       | -               | 0.097 (ns) | 1.361 (ns)  | 0.692 (ns) |
| 差しはさみ           | -       | -               | -          | 1.167 (ns)  | 0.839 (ns) |
| 働きかけの割り込み発話     | -       | -               | -          | -           | 0.197 (ns) |
| ターンの重なり         | -       | -               | -          | -           | -          |

\*\*\* p<.005、\*\* p<.01、\* p<.05、† p<.10、ns 有意差なし

これによると、割り込みの先行部分での、話し手の視線行動と割り込みの種類に関連はないようである。この結果については、次節の各割り込み発話の検討の部分で述べることにする。

次に、割り込まれた話し手の、割り込まれた直後の視線についての結果は表5-15のようになった。

表5-15 割り込み直後の話し手の発話における視線行動

|                 | 割り込まれた直後に話し手が聞き手から視線をはずしている | 割り込まれた直後に話し手が聞き手に視線を向けている | 不明 | 計  |
|-----------------|-----------------------------|---------------------------|----|----|
| 早めの発話開始         | 25 (34.2%)                  | 48 (65.8%)                |    | 73 |
| ターン取りのための割り込み発話 | 22 (24.2%)                  | 69 (75.8%)                |    | 91 |
| 差しはさみ           | 10 (50.0%)                  | 10 (50.0%)                |    | 20 |
| 働きかけの割り込み発話     | 14 (28.0%)                  | 36 (72.0%)                |    | 50 |
| ターンの重なり         | 0 (0%)                      | 5 (100.0%)                |    | 5  |

またこれをもとに $\chi^2$ 検定をした結果が、表5-16である。

表5-16 割り込み直後の話し手の発話における視線行動の検定結果

|                     | 早めの発話<br>開始 | ターン取りのための<br>割り込み | 差しはさみ         | 働きかけの<br>割り込み | ターンの<br>重なり   |
|---------------------|-------------|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| 早めの発話<br>開始         | -           | 2.009<br>(ns)     | 1.659<br>(ns) | 0.534<br>(ns) | 2.520<br>(ns) |
| ターン取りのための<br>割り込み発話 | -           | -                 | 5.329<br>(*)  | 0.248<br>(ns) | 1.568<br>(ns) |
| 差しはさみ               | -           | -                 | -             | 3.068<br>(†)  | 4.167<br>(*)  |
| 働きかけの<br>割り込み発話     | -           | -                 | -             | -             | 1.878<br>(ns) |
| ターンの<br>重なり         | -           | -                 | -             | -             | -             |

\*\*\* p<.005、\*\* p<.01、\* p<.05、† p<.10、ns 有意差なし

表5-16によると、割り込まれた後の、割り込まれた話し手の視線行動について、ターン取りのための割り込み発話と差しはさみの間で有意差（p<.05）、働きかけの割り込み発話と差しはさみの間で有意傾向（p<.10）、ターンの重なりと差しはさみの間で有意差（p<.05）があることが分る。

聞き手による差しはさみがあった直後に、現在の話し手が聞き手を見ていないのが50%（20例中10例）で、他の割り込み発話では話し手が割り込んだ聞き手を見ていることの方が多いたとは対照的である。特にターン取りのための割り込み発話では75.8%の割合で、それまで話し手だった参加者が割り込んだ相手に視線を送っていることになるのだが、これは話し手からの視線が得られて、聞き手がターンを取って新しい話し手として認知されたことの現れであると思われる。逆に差しはさみは、割り込みが失敗してあきらめたものであるが、それは話し手からの視線が得られずに、新しい話し手として認知されなかったためであると思われる。

これらの結果については、また各割り込み発話の機能と特徴のところでも再び検討していく。

以上のことをまとめると、各割り込み発話を視線行動との関連から見て、割り込んだ聞き手の視線行動は、早めの発話開始、ターン取りのための割り

込み発話、差しはさみについては、話し手となるための視線行動を伴うことが多いのに対して、働きかけの割り込み発話では聞き手としての視線行動をとっていることが分った。一方、割り込まれた方の視線行動に注目すると、割り込みが成功せずにあきらめた差しはさみでは、割り込まれた話し手が割り込んだ側に視線を送っていないことが多かった。一方、成功したターン取りのための割り込み発話では、割り込まれた話し手が割り込んだ相手に視線を送っており、割り込んだ相手を新しい話し手として認知していることが観察された。

#### 5.3.4 各割り込み発話の特徴や機能

本節では各割り込み発話について、特徴や機能などの分析結果を述べる。

##### 5.3.4.1 早めの発話開始

早めの発話開始は、話し手のターンが完了する直前に発話が割り込まれて、話者交替が行われるものである。ターンの終わりの方に、倒置や付け加えのことばがあったり、または、ターンの完了が予測できるような場合に起こる。4つの会話資料では、73例の早めの発話開始が観察されたが、その多くは、ターンの完了を見越して発話を開始させるタイプのものであった。したがって先行のターンも完了し、早めではあるが、話者が通常の話者交替と同じように交替して次のターンが始まるという形をとっている。

視線行動の面については、次のようなことが観察される。まず先にも述べたように、割り込んで早めに発話を開始させようとする参加者は、視線を相手からはずすことが多い（78.1%）。また先行のターンの終了時の視線行動について、先行のターンの話し手が、割り込もうとする聞き手に視線を送っている率が60.3%であった。この様子を例（2）で見てみる。



(2) (寮でいろいろ規則や仕事があって面倒だという話)

|      |       |                                      |
|------|-------|--------------------------------------|
| 頭    |       | 両手でほおづえ                              |
| 視    | ----- | (斜め) -----                           |
| →JF3 |       | # F50   えっそんなに何/                     |
| JF4  | ..... | そういうのに//振り回されるくらいなら一人暮らしの方が//いい      |
| 視    | ----- | -----x-----                          |
| 頭    |       |                                      |
| 頭    |       |                                      |
| 視    | ----- | x-----                               |
| JF3  |       | わい雑なの↑そのいろいろ /いろ、寮の仕事とか              |
| JF4  |       | # H50   何かね-///一年生に教え込もうとする内容が/..... |
| 視    | ----- | (斜め上) ----- (斜め横) -----              |
| 頭    |       |                                      |

(資料4「寮の長老」)

(2)の例では、JF4のターン「..くらいなら一人暮らしの方がいい」の最後の部分に、JF3がターン完了とみなして早めに自分のターン「えっそんなに...」を開始している。このときの視線行動について、JF3は「えっそんなに..」を始めるところでは視線をJF4からはずしている。また、JF4はターンの途中からJF3に視線を向け、ターンの終了時にもJF3に視線を向けている。このように早めの発話開始での視線行動は、先行のターン終了時の視線についても、また先行のターンに割り込んで早めに始まるターンの開始時の視線についても、通常の話者交替の視線行動に通ずるものがあると言える。

さて次に、この早めの発話開始の機能ということについて考えてみる。ターン自体やターン前後の視線行動の点では、今も述べたように、普通の話者交替と変わらないと考えられる。機能という点でも、普通の話者交替とそれほど大きい差はないようにも思われる。しかし早めの発話開始の逆の現象として、ターンのあとに長い沈黙があって、次のターンがようやく発せられたときのことを考えてみると、明らかになる。ターンのあとの沈黙は、現在のトピックがもうそれ以上展開のしようがないこと、あるいは会話参加者があまりそのトピックに関心を示していないことなどを表す。となると、早めの発話開始は、反対に、早めに発話を開始するほど積極的に会話に参加しようと

している現れであると思われる。したがって、早めの発話開始の機能としては、会話参加者が現在のトピックへ強い関心を持っていること、会話を展開させようとしていることなど、会話への積極的な関与の表示ということを挙げることができる。

5.3.4.2 ターン取りのための割り込み発話

ターン取りのための割り込み発話は、話し手のターンの最中に聞き手だった会話参加者が割り込みをして、先行のターンを中断、あるいは継続できなくしてしまい、自分がターンを取ってしまうものである。ここで取り上げた割り込み発話の中では、最も「割り込み発話」らしいものであり、場合によっては権力や自己顕示の現れと考えられるものでもある。

今回取り上げた4つの資料中には91例あり、全体の37.3%で、各割り込み発話のうちでは最も出現数が多いものであった。

次に割り込み時の視線行動について述べる。例(3)を見てみよう。

(3) (コンビニの万引きの話題)

|      |       |                                        |             |
|------|-------|----------------------------------------|-------------|
| 頭    |       |                                        | 。           |
| 視    | ----- | (斜め下) -----                            |             |
| JM3  |       |                                        | うん          |
| JM4  |       | K31=うーん、まあね//でもそれ売れる訳でもないでしょ↑ ///へえー// |             |
| 視    | ----- | (斜め下) -----                            |             |
| 頭    |       | ○                                      |             |
| 頭    |       |                                        |             |
| 視    | ----- | x-----                                 | (斜め下) ----- |
| →JM3 |       | # S30   深夜はあんまり関係ないけどねー /              |             |
| JM4  |       | そうだな、万引きとか言って//結構//うーん あれ              | うん          |
| 視    | (斜め前) | -----                                  | x-----      |
| 頭    | 鼻に手   |                                        | ほおづえ        |

(資料2「深夜のコンビニ」)

例(3)でJM4の「うーんまあね.....万引きとか言って結構うーんあれ」のターンにJM3が「深夜は...」と発話を割り込ませて、ターンを取ってしまう。ここでの視線行動は、割り込み時にJM3はそれまで相手に向けていた視

線をはずして、ターンを始めていることが観察できる。このようにして、ターン取りのための割り込み発話91例を分析すると、割り込み時に、割り込もうとする会話参加者が現在の話し手から視線をはずすのが67.0% (61例)、視線を向けているのが33.0% (30例)であった。これは通常の話者交替の視線行動と同様の視線行動であると言える。

ところで、割り込まれたときの、先行のターンの話し手の視線はどうなっているだろうか。例(3)では、JM4の割り込まれる直前の視線は、割り込んだJM3を見ていないが、資料の91例中では、割り込まれたときに先行のターンの話し手が、割り込んだ聞き手の方を見ていなかったのが46.2% (42例)、視線を向けていたのが53.8% (49例)であった。普通の話者交替でターン終了時の視線行動は、ターンを終えようとしている話し手が相手を見ている率が64.4%であるから、割り込まれたときの話し手の視線行動とあまり変わらないようである ( $\chi^2=1.957$ 、有意差なし)。

ではそれは、話し手が聞き手に視線を向けているときの方が、ターンを取られやすいということの意味するのであろうか。差しはさみと比較してみよう。差しはさみは、ターン取りのための割り込み発話と同様、先行のターンに聞き手だった会話参加者が途中で割り込むが、ターンが譲られることがないまま、割り込んだ聞き手があきらめるものである。言ってみればターン取りのための割り込み発話は、割り込みに成功したもの、差しはさみは割り込みに失敗したものと言える。このときの先行のターンの話し手の視線行動を見てみたところ、次のような結果になった。差しはさまれた話し手の視線について、差しはさみをした聞き手を見ていなかったのが50.0% (20例中10例)、視線を向けていたのが50.0% (20例中10例)であった。

この結果を、ターン取りのための割り込み発話における先行のターンの話し手の視線行動と比べてみたが、有意差はなかった ( $\chi^2=0.097$ 、有意差なし)。これまでの研究では、話し手が自分のターンを守りたいときには相手を見ないようにして、特に言いよどみながら話すときや、考えながら話すときには聞き手をあまり見ないということが言われてきたが、今回のこの結果

からは、そのことを裏付けることはできなかった。全体の凝視量や、声の大きさなどといったことも関わってくるということが考えられる。

しかし割り込み後の話し手の視線行動を見てみると、また別の局面が浮かび上がってきた。表5-15によると、聞き手がターン取りのための割り込み発話を行った直後の、話し手の視線行動を調べてみると、聞き手を見ることが多かった (75.8%)。一方、割り込みの失敗例と考えられる差しはさみでは、割り込んだ聞き手を現在の話し手が見ている比率は50.0%で、ターン取りのための割り込み発話の際よりも少ないことが分る ( $\chi^2=5.329$ 、 $p<.05$ )。これは、相手からの視線が得られることで、発言権を取ってターンを始めることができ、逆に、相手からの視線が得られなければ、途中割り込んでもそのままターンを続けることはできないということを意味している。

次に、ターン取りのための割り込み発話の機能ということについて考えてみたい。3.4.3.2でも述べたように、ターン取りのための割り込み発話には、現在の話し手のターンを中断して割り込んだ方がターンを取ってしまうという、話し手のターンの妨害という作用がある。例(3)は、JM4が「万引きとか言って、結構うーん、あれ」とその後を続けようとしたものの、JM3の「深夜はあんまり関係ないけどね」という割り込みのために、断念している。しかもそれまでは万引きされやすい物について話していたのに、「深夜は..」でその流れも切られてしまっている。

しかし、ターン取りのための割り込み発話が、話し手のターンに割り込んでターンを中断したりそれ以上継続できなくしてしまっているからと言って、必ずしも否定的な性格を持っているわけではない。TRPではないところで割り込んでも、話し手のターンのトピックをそのまま継続して展開しているものもあるし、話し手に対して情報を提供したり求めたり、訂正したり確認したり、といった話し手のターンへの支援といった側面もある。また協働して一つのターンを作り上げることもある。

そこで、ターン取りのための割り込み発話の機能の例を挙げた上で、出現数を表5-17に示す。

## ◇ターン取りのための割り込み発話の機能

### 1) 話し手のターンの妨害

#### (4) (3と同じ例、コンビニの万引きの話)

JM3 | うん  
JM4 K31=うーん、まあね//でもそれ売れる訳でもないでしょ↑|///へえー//  
→JM3 # S30 | 深夜はあんまり関係ないけどねー|/  
JM4 そうだな、万引きとか言って//結構///うーん|あれ | うん

(資料2「深夜のコンビニ」)

### 2) 話し手のターンの継続

#### (5) (ベビースター麺というラーメン菓子の話題)

JM3 # | そう # S77 | そう今70円の新しい包装の  
JM4 K78=えリバイバル版で古いやつ↑|//古い一袋の|やつ↑  
JM3 やつ出てるんだけど//もう昔のまんま/記憶通りだった|// 値段もそのまま|こんど  
→JM4 | (笑い) そう # K79 | ベビー  
JM3 食べなきゃ  
JM4 スター麺っておいしかったですよ↑あれ (p1.2) あれがあのだっけ/あれの  
(資料2「深夜のコンビニ」)

(5) では、JM3がリバイバル版で昔と同じベビースター麺が発売になって、そのベビースター麺の話をしているターンに、JM4が割り込んでいる。しかし内容はベビースター麺がおいしかったという話で、JM3のターンの内容をそのまま継続し、展開したものとなっている。

### 3) 話し手のターンへの支援

#### 3-1) 情報の要求や提供

#### (6) (イスラエルの首相暗殺のニュースをいち早くインターネットで知ったという話題)

JM1 ワズ、キルドだったかな何かそんなような/// | 暗殺されたとかって  
JM2 ふーん|そ?  
JM1 書いて|あって K28 | そうそう出とる//で、あっ  
→JM2 # M28 | そんな新聞みたい、じょう、そういう情報も出|てる

(資料1「インターネット」)

(6) では、JM1のターンにJM2が割り込んで、JM1はそれ以上発話を続けていない。しかしJM2が割り込んだ発話の内容は、JM1の話の内容に沿った質問で、妨害ということではないと考えられる。むしろ、JM1の話に積極的に関与しようとしたものである。

#### 3-2) 話の盛り上げ

#### (7) (寮の集会での座り方の話題)

JF3 とかっ|て言ってしまっそうだよね F14=あー=  
JF4 # H14 | うんそうそうそうそう何かいつもと違って小さーい声で話すとかさー=  
→JF3 | そっか # F15 | 家の中であぐらかいとるけどね| (笑い)  
JF4 H15=うん|/あの辺見てくとおもしろいけど | (笑い)  
JF3 パジャマ着ながら|パジャマ??だから | うーん  
JF4 # H16 | そうそうそうそう何か一応何か礼儀とかなんか|/知らない人だ  
(資料4「寮の長老」)

(7) では、男女一緒の寮の集会で新入生の女の子たちはおとなしく正座している、という話をしているが、ここでJF3がJF4のターンに割り込んで、「家の中であぐらかいとる」と言っている。これはJF4の話を盛り上げようとする機能がある割り込みである。

話し手のターンへの支援は、これらの他に、訂正や確認の割り込み、調子合わせなどがある。

#### 4) 話し手と協働

#### (8) (社会人入試の英語の試験内容についての話題)

JF2 ..どうかな//準1級ちょっといろいろなジャンル (p1.0) いろいろになることあるから  
JF1  
→JF2 # M46 | うん///狭いんじゃないかな↓  
JF1 N46それよりは|幅が  
(資料2「動かないエレベータ」)

(8) は、JF1が「それよりは (試験の内容のジャンルの) 幅が」と言っているところにJF2が割り込んで「狭いんじゃないかな」とターンを取っている。これはJF2のターンをJF1が妨害したというより、JF1のターンをJF2が

完成した、と言ったほうがふさわしい。二人の会話参加者が協働して一つのターンを作り上げている。

このようにターン取りのための割り込み発話には、大きく分けると、1) 話し手へのターンの妨害、2) 話し手のターンの継続、3) 話し手のターンへの支援、4) 話し手と協働、の4つの機能に分けられる。そこで、ターン取りのための割り込み発話をこの機能別に分析してみると、表5-17のような結果になった。

表5-17 ターン取りのための割り込み発話の機能と出現数

| 機 能         |            |
|-------------|------------|
| 話し手のターンの妨害  | 15 (16.5%) |
| 話し手のターンの継続  | 36 (39.6%) |
| 話し手のターンへの支援 | 32 (35.2%) |
| 話し手と協働      | 7 (7.7%)   |
| 不明          | 1 (1.1%)   |
| 合計          | 91         |

これを見てみると、ターン取りのための割り込み発話の中でも、話し手のターンを中断し、トピックの関連もないような割り込みは全体の16.5%でさほど多いとは言えない。残りは話し手のターンに対して、何らかの形で支持作業をしているタイプの割り込みである。これらのものは、話し手のターンを妨害するのではなく、話し手の話題に積極的に関与しようとする現れであると考えられる。

したがってターン取りのための割り込み発話は、会話の中では、機能の点で必ずしも話し手のターンを妨害するものではなく、会話を会話参加者が協力して作り上げ盛り上げていこうとするために、積極的な作用を及ぼしているということが言える。

### 5.3.4.3 差しはさみ

差しはさみは、話し手のターンの最中に発話を割り込ませるが、あきらめて途中で発話をやめるものである。

差しはさみ時の視線行動について、5.3.3で述べた一般的な視線行動、また前節で述べたターン取りのための割り込み発話との比較に、もう一つ加えておきたい。差しはさみ時の視線行動は、先にも述べたように、75.0% (全20例のうち15例) が差しはさみ時に話し手から視線をはずし、25.0% (5例) が話し手に視線を向けている。差しはさんだ際には、普通の話者交替のときの視線行動と同様に相手から視線をはずしていることが多いわけであるが、あきらめて発話をやめた際の視線行動を見てみると、ちょうど視線をはずした15例のうち8例 (53.3%) が視線をすぐに話し手に戻している。例(9)でこの様子を見てみる。

(9) (大学での単位の取り方についての話題)

|      |                                            |              |
|------|--------------------------------------------|--------------|
| 頭    |                                            |              |
| 視    | ----- (斜め) --x----- (斜め上) -----            |              |
| →JF3 | #   へー何か                                   | # F32   えっ何か |
| JF4  | うん/何か厳しかったと思っ   たけど、どこそこの単位取れてないと次に   行けない |              |
| 視    | --x----- (斜め) -----x-----                  |              |
| 頭    | ○。                                         | 指で指す動作       |
| 頭    |                                            |              |
| 視    | --x-----                                   |              |
| JF3  | 順番とかがあるわけ↑ =                               |              |
| JF4  | とか H33 = うん                                |              |
| 視    | -----                                      |              |
| 頭    | ○。。                                        |              |

(資料4「寮の長老」)

例(9)でJF3が「へー何か」とJF4のターンに割り込もうとするが、すぐにいったんあきらめている。このとき、「へー何か」と発話を始めたときには視線をJF4からはずしているが、それ以上発話を続けるのをやめると、視線をJF4に戻している。これは割り込んで話し手になろうとしたが断念して、聞き手に戻っていることを表している。次にまた「えっ何か順番とかが..」

と割り込んでいるときには、JF4から視線はずしているのので、そのときは聞き手から話し手へ替わろうとする視線行動であると思われる。

また5.3.3.2でも述べたように、割り込まれた方の視線行動について、差しはさみでは、割り込まれた話し手が聞き手に視線を送らない比率が他の割り込み発話より多いことが分った。例(9)でも話し手であるJF4は、JF3が「へー何か」と差しはさんだ後に、JF3から視線をはずしてしまっている。そのためにJF3はそれ以上発話を続けなくて、やめていると思われるのである。

次に差しはさみの機能はどうかということだが、差しはさみは割り込みを途中であきらめて発話を中断してしまっているのので、機能の判定は難しい。ただ、ターン取りのための割り込み発話や、場合によっては次に述べる働きかけの割り込み発話の失敗ということになると思われるので、機能もそれらの機能に準ずることになろう。つまり差しはさみには、割り込んだ聞き手が話し手のターンの妨害、あるいは話し手のターンへの支持を行おうとして、それがかなわなかったという性格があるということになる。

#### 5.3.4.4 働きかけの割り込み発話

働きかけの割り込み発話は、現在の話し手のターンに聞き手が割り込むが、話し手のターンはそのまま続き、聞き手の割り込みも完了し、さらにその割り込み発話が現在の話し手のターンに何らかの働きかけをしているものごとを言う。

今回分析した資料中には、244例中50例(20.5%)の働きかけの割り込み発話が観察された。

また視線行動との関連では、5.3.3でも述べたが、働きかけの割り込み発話をする際に、割り込もうとしている聞き手が話し手に視線を向けているのが52.0%、視線をはずしているのが48.0%であった。他の早めの発話開始、ターン取りのための割り込み発話、差しはさみなどの視線行動が、通常の話者交替のときの視線行動と同様のものであるのに対して、働きかけの割り込

み発話の視線行動は、どちらかと言うとあいづちのときの視線行動と似たものであるということが分った。この様子を例(10)で見えてみることにする。

#### (10) (大学の寮費の話題)

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| 頭    |                                       |
| 視    | -----×----- (斜め) -----×-----          |
| JF3  | F44=あーそうなん だ                          |
| JF4  | 上がってるのが= #H44 うん//よく分るから/だから何か寮も//もっと |
| 視    | ×----- (斜め) -----×-----               |
| 頭    | ○。。。 ほおづえ                             |
| 頭    | こぶしを上げる様子                             |
| 視    | ----- (斜め) -----                      |
| →JF3 | # (笑い)安くしろっ #F45 でも寮は                 |
| JF4  | 安く暮らせる 所じゃなきゃいけないとかいう話に(笑い) うん        |
| 視    | -----                                 |
| 頭    | ○。。。 ○。                               |
| 頭    | ○。。。 (斜め) -----                       |
| 視    | ×----- (斜め) -----                     |
| JF3  | 高くないんでしょ↑=  うん                        |
| JF4  | H45=寮-は、うん光熱費//とかぐらいで済むから- ひと月        |
| 視    | ----- (斜め) -----                      |
| 頭    |                                       |

(資料4「寮の長老」)

(10)でJF4が、国立大学の学費が自分たちの入学の前ぐらいからいきなり上がっているのので、せめて大学寮は安く暮らせるべきだという話をしている。そこでJF3がJF4のターンの「安く暮らせる所」という部分で「安くしろっ」と発話を割り込ませている。しかしこの発話はその後のJF4のターンを中断したりすることなく、JF3もそれ以上発話を続けたりすることもない。これは、JF4の「寮が安く暮らせる所じゃなきゃ」という話を支持し、さらにこぶしを上げる身振りとともに「安くしろっ」という発話を割り込ませることで、この話題を盛り上げていることが分る。

このときの視線行動を見てみると、JF3はJF4に視線を向けながら話を聞いているが、「安くしろっ」のときもJF4に視線を向けたままである。そのあとJF3が、「でも寮は高くないんでしょ↑」と自分のターンを取って話

し始めるときに視線をJF4からはずしているのとは対照的である。これは「安くしろっ」が、ターンを取るつもりで割り込まれたのではないこと、つまり聞き手の立場のままに割り込まれたことの現れであると考えられる。

このように、働きかけの割り込み発話は、聞き手としての立場のまま発話されているが、単なるあいづちと違って実質的な働きかけがなされるために、割り込まれた側の話し手もその働きかけに対してターンの中で応答することがよく見られる。例(11)でその様子を見る。

(11) (大学の社会人入試の話題)

|      |                                             |                                  |
|------|---------------------------------------------|----------------------------------|
| 頭    |                                             | 横ふり                              |
| 視    | --x-- (斜め)                                  | ----- (横) ---x----- (横) -        |
| JF2  | はーはー                                        | はーはー M27=その人ね//今年ーしし、 <u>私何も</u> |
| →JF1 | ...ある種へある種の自信はなくなっているんだわ=                   | #   どんな勉強した↑ (笑い)                |
| 視    | -----                                       | -----                            |
| 頭    |                                             | 体を前にのりだす                         |
| 頭    |                                             | ○                                |
| 視    | x-- (下) -----x-----                         |                                  |
| JF2  | <u>しななかった</u> (笑い) あのねーだー/試験は去年/と今年変わってなければ |                                  |
| JF1  | #   でも何か (笑い) ???                           |                                  |
| 視    | ----- (下) -----x-----                       |                                  |
| 頭    | 顔を覆う                                        | (資料3「動かないエレベータ」)                 |

(11) は、JF1が、友人が大学の社会人入試を受けようとしていて、同じ大学を社会人入試で入ったJF2に試験内容を聞こうとしている会話の一部分である。ここでJF2がその質問に答えようとして「その人ね、今年...」と話し始めたところで、JF1が「どんな勉強した↑」と働きかけの発話を割り込ませる。そこでJF2は即座に「私何もしなかった」と答えをターンに入れ込んでいる。「その人ね、今年、しし、私何もしなかった」という一見訳の分らない発話になってしまっているが、それはJF1の働きかけに回答したからである。このように、働きかけの割り込み発話には、話し手の交替がないまま、聞き手から話し手へ実質的な働きかけがなされ、それがあいづちとの違いともなっているのである。

では次に、この働きかけの割り込み発話の機能について述べていく。3.4.3.4でも分類したように、まず働きかけの割り込み発話は、話し手の交替には影響しないで、話し手に情報を求めたり提供したりするもの、訂正や確認をするもの、話し手のターンを盛り上げたり進行を助けたりするもの、そして協働して一つのターンを作るものがある。それぞれの例を挙げた上で、機能別出現数を表5-18に示す。

◇働きかけの割り込み発話の種類と例

(→は、働きかけの割り込み発話、部分は、それに対する応答を表す)

1) 情報の要求や提供

(12) (昔、駄菓子屋で売っていたラメックというラーメン菓子の話題)

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| JM3  | うん                                               |
| JM4  | こんぐらいじゃないですか↓//でラメックはこんぐらいなんですよ                  |
| →JM3 | #   ちっちゃいの↑                                      |
| JM4  | もっと  小さい <u>うん</u> 、それで//それをねーあのー/それがねー10円だったかなー |

(資料2「深夜のコンビニ」)

(13) (コンビニの事務所に入るドアについての話題)

|      |                                                |
|------|------------------------------------------------|
| JM3  | ....やつ= S40=ほいであのー (笑い) やくざさんのさー/車の窓に貼ってある     |
| JM4  | K41=うん=                                        |
| JM3  | ような  (笑い) ああいう /// あっあっ、 <u>そうマジックミラーっぼい</u> = |
| →JM4 | (笑い) #   マジックミラーってやつですね↑/うん K42=あすこ...         |

(資料2「深夜のコンビニ」)

(12) は情報の要求、(13) は情報の提供の例である。どちらの例でも、働きかけの割り込みがなされるとすぐに、話し手の方が「うん」とか「そう」と働きかけに対して応答していることも観察できる。

2) 同意の要求や提供

(14) (来年、もう自分の生まれ年になってしまう話)

|      |                                         |                     |
|------|-----------------------------------------|---------------------|
| →JF3 | #   でしょー↑ (笑い)                          | F74   そうそうそう/そうなんだよ |
| JF4  | H73来年もう  そんな年なんだ (P1.8) ??えーっ ///あっそっかー |                     |

(資料4「寮の長老」)

(15) (大学寮の食堂での座り方の話題)

JF3 # F21 | ああそれは一緒なん | や  
 JF4 H21 うーん何か/食事、食堂が | # H22 | うん//でもあれは椅子だ/から  
 →JF3 # | うーんそうかもしれない  
 JF4 あんまり座り方とか関係ない | から/うーん何か///夜/何かで//何かの/会議みたいなのが/  
 (資料4「寮の長老」)

(14) ではJF3が来年年女になるという話をして、それを受けてJF4が「来年もうそんな..」と言っているところに、「でしょー↑」と割り込んだ部分である。ここでJF3はJF4に同意を求めている。また(15)は、JF4の「座り方とか関係ない」という発言に「そうかもしれない」と同意をしている例である。

3) 訂正や確認

(16) (テレビ局の略称についての話題)

JM1 # | ブロードキャストカンパニー  
 JM2 M48 富山ブロードキャスティング | ///カンパニーとか//福井やったらFBC  
 (資料1「インターネット」)

(16) の例は、JM2が「ブロードキャスティング」と誤った名称を言ったところで、JM1が「ブロードキャストカンパニー」と訂正の割り込みをしたものである。

4) 感想や補足などのコメント

(17) (身障者の人の進学の話)

JF2 そう  
 JF1 N20 あでももともとほら中学校高校でもほら//あの一別個に//養護学校にしないで  
 →JF2 # | いつからー↑って言ってもねうん  
 JF1 普通学級にしようって | う要望が強い//から//大学はもともと当然受け入れるべき  
 (資料3「動かないエレベータ」)

(17) は、JF1が身障者の人も普通学級で学ぼうという要望が強いという

話をしているところで、JF2が「いつからー↑って言ってもね」とコメントを割り込ませている例である。

5) 話の盛り上げや調子合わせ

(18) (大学寮の和室で行われる集会で、行儀よく座るか座らないかの話題)

→JF3 | うん # | かもしれない | (笑い)  
 JF4 ああ | いう座り方できるのも自分が学年が上だからかなー | とか / / / | うーん  
 JF3 F13 = そっか1年生ーに (p1.9) しろって言われてもいやいいです  
 JF4 いうのもあるけど/うん = # うん何か  
 (資料4「寮の長老」)

(18) では、JF4が「寮の集会で自分は行儀よく座らないが、それは学年が上だからか」と言っている部分に、JF3が「かもしれない」と割り込みをしている。これはJF4の発話に対して、調子を合わせるような機能を持ち、それがJF4のターンの支持作業につながっている。また、JF3の「かもしれない」に対して、JF4は「うーん」と応答している。

6) 先取りや先取り唱和

(19) (大学寮の和室で行われる集会で、行儀よく座るか座らないかの話題)

→JF3 | あっ | うん # | ひゃーって感じで、うん  
 JF4 ...追いコンとか | 慣れてくるへんになると | けっこう // | リラックスして、うん  
 (資料4「寮の長老」)

(20) (大学寮の和室で行われる集会で、行儀よく座るか座らないかの話題)

JF3 | うん | あぐらかく (笑い)  
 JF4 だけどー | //そういう時あたし長いスカートだったらーあぐら | かいたりして (笑い)  
 →JF3 | うん # | そう分んない  
 JF4 っていうか長いスカートだどー | //即座に形が | /分んない//けどあと何か (p1.3)  
 (資料4「寮の長老」)

(19) は、JF4の「慣れてくるとけっこう」のあとにくる内容を、JF3が先取りして「ひゃーって感じで」と割り込んでいる例である。また(20)も

(19)と同じように、先取りして割り込んだことが現在の話し手であるJF4の発したことと同じで、唱和している例である。

働きかけの割り込み発話の例には、他に独り言的な発話や、話し手が言いよどんでいるときの促しなどもある。

今回見た50例を機能別に分類すると、次のような結果になった(表5-18)。

表5-18 働きかけの割り込み発話の各機能と出現数

| 働きかけの割り込み発話の機能 | 出現数      |
|----------------|----------|
| 情報の要求や提供       | 12 (24%) |
| 同意の要求や提供       | 4 (8%)   |
| 訂正や確認          | 1 (2%)   |
| 感想や補足などのコメント   | 13 (26%) |
| 話の盛り上げや調子合わせ   | 6 (12%)  |
| 先取りや先取り唱和      | 11 (22%) |
| その他            | 3 (6%)   |
| 合計             | 50       |

これを見ると、主に情報の要求や提供、感想などのコメント、先取りや先取り唱和などの働きかけの発話を、聞き手が話し手のターンに割り込ませていることが分る。働きかけの発話の内容について、感想などのコメントが、たとえば「うるさいな」とか「それ以上その話をするな」といった、話し手のターンの内容に否定的なものであることも理論的には考えられるが、今回の資料のような友好的な雑談に現れたのは、すべて話し手のターンに対する支持的な内容のものであった。

またターンの中で、割り込まれた働きかけに現在の話し手がすぐに応答しているものも多く観察された。これは聞き手が割り込ませた働きかけが、現在の話し手に働きかけとして認知されていることの現れでもありと考えられる。

### 5.3.4.5 ターンの重なり

ターンの重なりというのは、聞き手が話し手のターンに割り込みをするが、そのまま話し手のターンも継続し、聞き手の割り込みも続き、二つのターンが同時に進行するものをさす。第2章、3章でも述べたように、話者交替システムの中で、二つのターンが同時に進むことはあまりないことであり、実際に今回見た資料の中でも、ターンの重なりが生じたのは5例だけである。

しかしこのターンの重なりは、二つのターンが独立して進行するのではなく、話し手と聞き手が互いの発話を補完し合い、応答し合いながら進んでいくという様相を呈している。例で見てみよう。

(21) (文系と理系の学部の単位の取り方の違いについての話題)

頭 ○○○○顔をかく  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 JF3 ///そっかー # F35 | ないないないない (笑い) みんな勝手に  
 JF4 なのかな↑うん//人文だとそういうの/ | ないもんね//うーん  
 視 ----- (下) -----x-----  
 頭 ○。 笑って突っ伏す

頭 ○。 手振り  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 JF3 (笑い1.1) | 何度そう、何度/だめで2度失敗したからこっちーとかありえるよね  
 →JF4 # H35 | どれか選んでこれとこれとって感じたから/うーん/そうそう、で  
 視 ----- (斜め) -----x-----  
 頭 ○。 指で選ぶ動作

頭 ○。  
 視 x----- (斜め) -----  
 JF3 F36= そうだよ | ねーそっか、そのうち、そのところから  
 JF4 工学部男の子多いからさー= | うーん  
 視 -----  
 頭 ○○○○

(資料4「寮の長老」)

この例(21)は第3章でも取り上げたものだが、理系と違って人文系では単位を段階的に取っていく必要はないという話をJF4がしている場面である。JF3がJF4の発話にまず唱和するように「ないないないない」を割り込ませ、「みんな勝手に」のあとにJF4が「どれか選んでこれとこれと...」と割り込



み発話をしている。そのあとJF3とJF4は互いに「そう」や「うんそうそう」とあいづちも入れ込み、互いの発話内容を支持する発話を割り込ませながら、渾然となってターンを協働で作り上げていることが分る。もう一つ例を見てみよう。

(22) (入学試験に遅刻した話題)

|      |                                             |                     |
|------|---------------------------------------------|---------------------|
| 頭    | 手ぶり                                         | 。。。。                |
| 視    | (斜め下) -----x-----                           |                     |
| JF2  | #   向かいでよかった                                | うんそうそう              |
| JF1  | N37いやあだけど (P1.0)   え/// 9時でなくてよかったよね↑       | N38最初に30分           |
| 視    | (斜め) -----x-----                            |                     |
| 頭    |                                             | 凝視しあう               |
| 頭    |                                             |                     |
| 視    | ----- (斜め上) -- (時計) -----x-----             |                     |
| →JF2 | うんそう #M38   あ//あでもそれだったら                    | (P1.1) あ//早めに分ってたから |
| JF1  | ずれてたから   //あれだったけど9時だったら   <u>かえって分ってた↑</u> | <u>ああそうか</u>        |
| 視    | -----x-----                                 |                     |
| 頭    |                                             |                     |

(資料3「動かないエレベータ」)

例(22)は、JF2が、大学入試のときに間違えて他の学部の試験会場に行ってしまう、自分の受験する学部の試験に遅刻したことを披露している場面だが、試験開始時刻のずれていた時間について、聞き手だったJF1が少し勘違いしている部分である。そこでJF2が「あ、でもそれだったら」と訂正のための割り込み発話を始め、それにJF1が「かえって分ってた↑」と応答する。今度は、それに対してJF2が「早めに分ってたから」と答えると、JFが「ああそうか」とまた応答する、というようにして、二つのターンが同時に進行している例である。

これらの二つの例からも分るように、二つのターンが重なって進むときでも独立したターンが同時進行するのではなく、互いの話の内容を支持するような発話を割り込ませたり、それに対する応答をしたり、またあいづちも入れ込んで、互いのターンが密接にかみ合うようにして進んでいっている。このように、ターンの重なりはあまり頻繁に会話に起こるものではないが、息

の合った弾んだ会話には時々見られる現象である。ここでは割り込み発話が、話し手と聞き手の協働のために、またターンの補完のために、重要な役割を果たしていることが観察されるのである。

#### 5.4 考察：日本語母語話者同士の会話における割り込み発話の果たす役割

5.3までは、日本語母語話者同士の会話資料に見られる割り込み発話やそれをめぐる視線行動についての分析結果について述べてきた。本節ではそれらの結果に基づいて、日本語母語話者同士の会話に見られる割り込み発話がどのような役割を果たしているのかについて考察していく。

##### 5.4.1 日本語母語話者同士の会話における割り込み発話の特徴

割り込み発話は、割り込みがなされるターンでの位置、割り込みの機能、そして視線行動の観点から見てみると、多様な特徴があることが分り、従来の発言権の侵害という側面からだけでは考えられないことが明らかになった。

まず割り込み発話には、1) 早めの発話開始、2) ターン取りのための割り込み発話、3) 差しはさみ、4) 働きかけの割り込み発話、5) ターンの重なり、の5つの種類に分類できる。

今回見たような、母語話者同士でしかも社会的立場に差がない参加者同士の会話の場合には、会話参加者による割り込みの頻度にはそれほど違いが現れなかった。しかし会話参加者によって、用いる割り込み発話には差があった。これは会話参加者の個人的な違いにもよるが、その会話において、話し手として参加することが多かったか、聞き手として参加することが多かったかによっていると思われる。

割り込み発話を視線行動の観点から分析すると、話し手の立場での割り込み、聞き手の立場での割り込みに分けられることが明らかになった。早めの発話開始、ターン取りのための割り込み発話、差しはさみの3つは、通常の

話者交替のときと同じように、ターンを取って話し始めようとする参加者が相手から視線をはずすことが多いこと、一方、働きかけの割り込み発話は、ターンを取るための視線行動を取らず、聞き手の立場での視線行動に似ていることが分った。またターン取りのための割り込み発話と差しはさみは、どちらも話し手のターンを途中で中断して発言権を取ろうとするものであるが、現在の話し手が割り込んだ聞き手に視線を送らないと、割り込んだ聞き手がそのままターンを継続することが困難になり、その結果差しはさみのように、途中で割り込みをあきらめることになってしまう。このことはGoodwin (1981) の、話し手は自分のターンを維持するのに聞き手の視線を必要とするという研究結果とも一致する(2.6.2を参照)。

次に分類した割り込み発話を、さらに機能の観点から見てみると、話し手のターンを妨害するもの、話し手のターンを中断はしているが話し手のターンを支持する内容であるもの、話し手と聞き手の協働ととらえられるものなど、さまざまなものが含まれていることが分った。

ターン取りのための割り込み発話には、話し手のターンの内容を中断してターンを奪ってしまう、話し手のターンを妨害するタイプのもが含まれるが、このタイプのはさほど頻度としては高くなく、むしろ話し手のターンを継続したり、支援したり、あるいは話し手と聞き手の協働のタイプのものの方が占める割合がずっと高い。

話し手のターンを継続し展開するタイプの割り込み発話は、通常の話者交替に比べて早すぎる交替ということになるが、これも話し手のターンの妨害というよりは、話し手のターンへの積極的な関与と位置づけられる。これは、一つのターンの後に次の話し手がなかなかターンを取らない場合と比べてみれば、明らかである。

働きかけの割り込み発話は、話者交替をしないで、聞き手の立場のまま話し手のターンに働きかけをするものである。この中には、情報の要求や提供、同意の要求や提供、訂正や確認、コメント、話の盛り上げ、先取りなど、さまざまな機能が含まれている。また働きかけの割り込み発話がなされると、

現在の話し手はその働きかけに自分のターンの中で応答することが多い。

割り込み発話がなされ、それに対して現在の話し手が応答し、ということが同時並行で進むのがターンの重なりである。それほど多く出現することはないが、ここでは、話し手と聞き手が割り込み、応答し、あいづちも打ちながら、渾然となってターンが進行することが観察される。会話は、話し手と聞き手の協力によって進むということを体現しているのがこのターンの重なりであると思われる。

#### 5.4.2 話し手と聞き手の相互交流に割り込み発話が果たす役割

日本語の会話は、水谷(1984)が「共話」と呼んだように、話し手だけが話すのではなく、聞き手もあいづちを打って参加し、協力して進行している。会話というのは、話し手と聞き手が交流を重ねながら進んでいくのである。それでは割り込み発話は、どのように話し手と聞き手の相互交流に作用し、役割を果たすのであろうか。

前節で述べたように、割り込み発話には、話し手のターンを妨害する作用もある。それをモデル図で表すと次の図5-1のようになる。

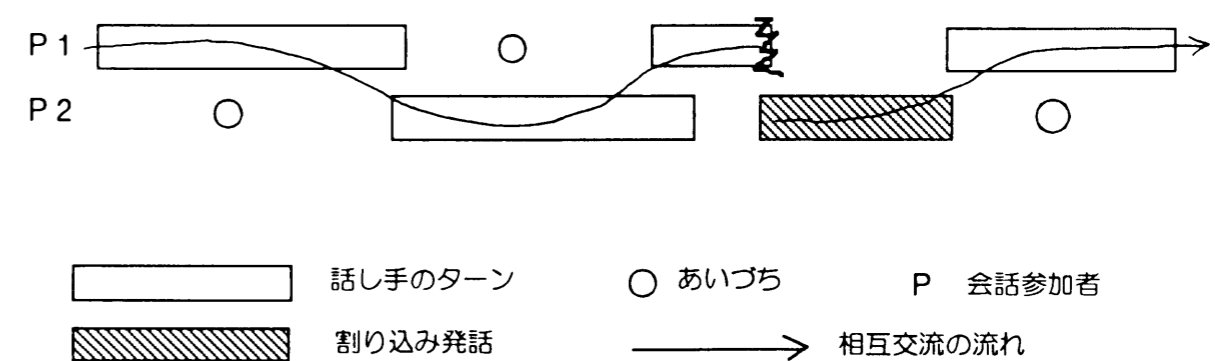


図5-1 相互交流における話し手のターンを妨害する割り込み発話

図5-1で見られるように、話し手と聞き手の相互交流の流れは、ターン取りのための割り込み発話の中でも話し手のターンを妨害するタイプの割り込

み発話で切られてしまっている。しかも割り込み発話によって、新しい流れが始まるために、ここまでの相互交流の流れが弱まってしまう。しかし前にも述べたように、このタイプの割り込み発話はさほど多くなく、話し手のターンを支援するタイプの割り込み発話の方が多くを占めている。

図5-2は、話し手に対する情報の要求・提供、訂正や確認、話の盛り上げ・調子合わせ、などの機能を持つ割り込み発話を用いて、話し手のターンを支援しているタイプの相互交流の様子を表したものである。

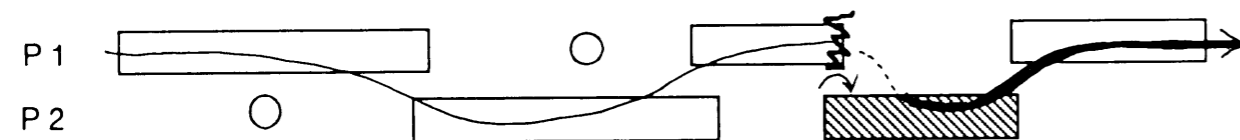


図5-2 相互交流における話し手のターンを支援する割り込み発話

図5-2は、割り込み発話があって話し手のターンが中断されるが、話し手のターンの内容はそのまま継続し、しかもその割り込み発話は話し手のターンへの積極的関与の性格をもっているために、相互交流の流れが強化されている様子である。このようなタイプの割り込み発話は、話し手と聞き手の交流を深める役割を果たし、それが弾んだ会話を作りだしていく。

次に図5-3は、働きかけの割り込み発話が話し手のターンに割り込まれ、話し手がそれに対して応答をしている様子を表したものである。



図5-3 相互交流における働きかけの割り込み発話

図5-3では、聞き手による働きかけの割り込みが話し手のターンになされ、その働きかけに話し手が応答することで、話し手と聞き手の小さい相互交流が生まれている。聞き手と話し手の小さい相互交流は、大きい会話の流れに組み込まれ、それが少しずつ相互交流をより強いものになっている。

図5-2と5-3で見てきたように、割り込み発話は、話し手のターンに影響を与え、それが全体の話し手と聞き手の相互交流を強いものとする役割を果たしている。これがターンの重なりでは、話し手と聞き手の協働という側面が強く現われることになる。図5-4で見てみる。

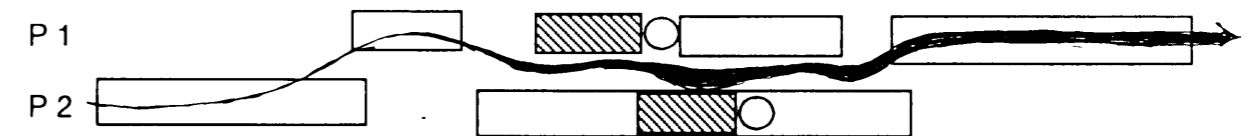


図5-4 ターンの重なりでの話し手と聞き手の協働

図5-4は、聞き手による割り込みとそれに対する応答が、それぞれのターンを補完し合い、相互交流の流れは一本になっている様子を表している。これは割り込み発話が「共話」を作り出したことの現れである。

以上、モデル図で見てきたように、割り込み発話は話し手と聞き手の相互交流に重要な役割を果たしている。話し手のターンを妨害するものは、相互交流を断ち切る作用をするが、そのほかの場合では、話し手と聞き手の相互交流を強いものにし、会話参加者同士の関係を緊密にするために貢献している。これが会話を会話らしいものにし、会話を弾ませる役割をしている。逆に全く割り込み発話がない会話はあまり会話らしく感じられないことにもなるのである。

## 第6章

### 日本語母語話者と日本語学習者の会話における 割り込み発話

#### 6.1 はじめに

本章では、日本語母語話者と日本語学習者の会話に見られる割り込み発話を分析し、その特徴について、また日本語母語話者同士の会話と比較するとどのような違いがあるのか、特に日本語母語話者が用いる割り込み発話に注目して、考察を行う。

分析は、第5章での日本語母語話者同士の会話で用いたものと同じ手順で行っていく。

本章で用いた会話資料は、表6-1の通りである。なお、本研究全体で用いた会話資料については、第4章に詳しく述べた。

表6-1 日本語母語話者と日本語学習者の会話

| 資料名              | 会話参加者 | 性別 | 年齢 |
|------------------|-------|----|----|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | JM5   | 男  | 22 |
|                  | LM1   | 男  | 30 |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | JM6   | 男  | 23 |
|                  | LM2   | 男  | 29 |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | JF5   | 女  | 21 |
|                  | LF1   | 女  | 28 |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | JF6   | 女  | 26 |
|                  | LF2   | 女  | 27 |
| 資料9<br>留学生のチューター | JM5   | 男  | 22 |
|                  | JM6   | 男  | 23 |
| 資料10<br>考古学ブーム   | JF5   | 女  | 21 |
|                  | JF6   | 女  | 27 |

表6-1で資料5から資料8までは、日本語母語話者と日本語学習者の会話である。資料9と資料10は、資料5から8までの会話で日本語学習者と話した日

本語母語話者同士の会話の組合わせであり、日本語学習者との組合わせと母語話者同士とでは変化があるかどうかを比較するために収集したものである。したがって資料5で話したJM5と資料6のJM6のペアでの会話が資料9となり、資料7で話したJF5と資料8のJF6のペアでの会話が資料10となっている。

なお、今後、日本語学習者を単に学習者と呼ぶことがある。また母語話者同士の会話をNS-NS会話、母語話者と学習者の会話をNS-NNS会話と略することがある。

#### 6.2 割り込み発話に関連する基本的な事柄についての分析結果

##### 6.2.1 ターンと発話

資料5から8までの会話におけるターン数とターンの中の発話数は、次の表6-2の通りである。

表6-2 ターン数とターン中の発話数

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | 発話数   |
|------------------|-------|------|-------|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | JM5   | 47   | 56    |
|                  | LM1   | 46   | 205   |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | JM6   | 76   | 96    |
|                  | LM2   | 77   | 238   |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | JF5   | 108  | 193   |
|                  | LF1   | 112  | 274   |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | JF6   | 67   | 137   |
|                  | LF2   | 67   | 213   |
| 平均               |       | 75   | 176.5 |
| 母語話者平均           |       | 74.5 | 120.5 |
| 学習者平均            |       | 75.5 | 232.5 |
| 資料9<br>留学生のチューター | JM5   | 59   | 79    |
|                  | JM6   | 71   | 181   |
| 資料10<br>考古学ブーム   | JF5   | 87   | 190   |
|                  | JF6   | 88   | 239   |
| 平均               |       | 76.3 | 172.3 |

各資料のターン数がだいたい同じなのは、第5章で見た NS-NS 会話の際にも同様であるが、ターン中の発話数を見ると、いずれの資料でも日本語学習者の方が発話数が母語話者よりもずっと多くなっている。これは、ここで取り上げた4つの資料の場合、学習者の方が長くターンを取って、母語話者は一つのターンが1ないし2発話から成る短いものであることを示している。

この原因として考えられるのは、まず母語話者は自分が長いターンを取って話を披露するよりも、学習者に質問などをしてむしろ学習者に話をさせていることが挙げられる。また学習者の日本語力との関連も考えられる。日本語能力が十分でないために、同じことを表現するのでも接続詞をうまく使うとか複文を用いるなどであっさり言えることを、単文をいくつも使ったり無用と思える繰り返しが多くなる傾向が見受けられるからである<sup>1)</sup>。

次に、これらを学習者と話をした母語話者同士の会話（資料9、10）と比較してみよう。資料10では二人の会話参加者のターン数もだいたい同じで、発話数ではJF6の方が多少多いものの、さほどの開きがない。しかし資料9では、JM5がJM6に比べてターン数も少なく、発話数もかなり少ないことが分る。ターン数が少ないというのは、一人の参加者があまりターンを取らないことを示す。これは話が弾んでいないとか、一人の参加者があまり会話の展開に協力的ではないということの現れである。

さてJM5が学習者と話した資料5で、JM5の発話数の少なさは他の資料に比較しても著しいが、これはJM5が非母語話者と話したために少なくなったのではなく、母語話者同士でも同じような傾向があることが資料9の様子から分り、個人的な特徴であることが考えられる。一方、JM6、JF5、JF6が学習者と話して発話数が少なくなっているのは、個人的な特徴であるとは言えない。

<sup>1)</sup> スクータリデス (1981) は、日本語のフォーリナー・トークに見られる特徴をいくつか挙げているが、その中に、非常に短い文やキーとなる語の繰り返しについて述べている。

## 6.2.2 あいづち

次に各資料のあいづち数を、表6-3にまとめた。

表6-3 あいづちの出現数

| 資料名              | 会話参加者 | あいづち数 | 1分間の回数 |
|------------------|-------|-------|--------|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | JM5   | 15    | 1.0    |
|                  | LM1   | 1     | 0.1    |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | JM6   | 74    | 4.9    |
|                  | LM2   | 9     | 0.6    |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | JF5   | 37    | 2.5    |
|                  | LF1   | 36    | 2.4    |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | JF6   | 39    | 2.6    |
|                  | LF2   | 26    | 1.7    |
| 平均               |       | 29.6  | 2.0    |
| 母語話者平均           |       | 41.3  | 2.8    |
| 学習者平均            |       | 18.0  | 1.2    |
| 資料9<br>留学生のチューター | JM5   | 12    | 0.8    |
|                  | JM6   | 32    | 2.1    |
| 資料10<br>考古学ブーム   | JF5   | 83    | 5.5    |
|                  | JF6   | 66    | 4.4    |
| 平均               |       | 48.3  | 3.2    |

第5章の NS-NS 会話では、あいづちの数は、ターン中の発話数とある程度関連があった。ターン中の発話数が多いということは話し手として長く話をしていることを示すので、反対に聞き手としてのあいづちは少なくなる。本章で見た4つの NS-NNS 会話ではどうであろうか。表6-2から分るように、4つの会話はすべて学習者の方がターン中の発話数が多かった。そして表6-3のあいづち数を見てみると、資料5と資料6では、圧倒的に学習者の方があいづち数が少なく、これら二つの資料ほどではないが資料7と資料8でも

学習者の方があいづち数が少ない。

堀口（1998）は、上級日本語学習者同士の日本語会話に見られるあいづちについて研究をしているが、それによると7つの上級日本語学習者同士の会話資料<sup>11</sup>では1分間に平均3.1回のあいづちが観察されるという（このうち二人の学習者（いずれも韓国人）は、ほとんどあいづちを打っていない）。堀口は、この値は日本語母語話者同士の会話におけるあいづちに比較して少ないと述べている。あいづちの定義や話し手と聞き手の定義が違うので安易な比較はできないが、本研究で取り上げた日本語母語話者同士の会話では1分間に平均3.9回のあいづちが打たれていた（第5章、表5-3）、この結果と比較しても、学習者は母語話者に比べてあいづちを打たないと言えるようである。

さて、表6-3に見られるように、本章で取り上げた NS-NNS 会話では、学習者のあいづちが1分間で平均1.2回、母語話者のあいづちが2.8回しか打たれていないことが分る。これについては、どう考えたらよいのだろうか。

まず母語話者のあいづちについて、資料5から8までが1分間に平均2.8回、同じ母語話者同士が話した資料9と10では平均3.2回であった。どの母語話者も、母語話者同士で話した会話の方が、学習者と話した会話よりあいづちが多くなっている。また資料1から4の NS-NS 会話では、平均3.9回のあいづちが見られた。これはやはり NS-NS 会話の方が話者交替がスムーズに頻繁に行われていること、そして学習者と話すよりも、話し手があいづちを打つきっかけをうまく作って話しているために、あいづちが打ちやすいということが理由として挙げられるであろう。

また後に割り込み発話の分析でも明らかになるが、学習者との会話で母語話者はあいづちを打つことによって聞き手としての役割を果たすのではなく、学習者の日本語力の不十分なところを補うために、あいづちよりもっと積

極的な機能を持つ働きかけの割り込み発話を利用して、聞き手としての役割を果たそうとしていることが観察される。そのために、相対的に普通のあいづちは少なくなっていると思われる。

次に本研究の資料では、学習者は平均1.2回しかあいづちを打っていないが、上に述べた堀口（1998）の平均3.1回という結果よりも、だいぶ少ない値となっている。本研究の資料では、表6-2でも見たように学習者の方が話し手となって話していたケースが多かったので、聞き手としてあいづちを打つ機会が少なかったというのが、この違いの大きい原因であろうと思われる。

しかしもう一つ、原因として考えに入れるべきであろうと思われることがある。それは堀口の調査の学習者は上級の学習者であること、本研究の学習者は初級段階を終えたばかりのレベルの学習者であることである。むしろ本研究では母語話者と学習者の会話であるし、堀口の調査では学習者同士の会話であるので、それなりの調査結果の相違が出たのであろう。しかし、あいづちは文法事項や語彙などを学習することによって身に付くことではなく、日本語の会話の運用面に関わることである。したがってあいづちは運用に関する知識と経験を積むことによって習得できるものであり<sup>11</sup>、本研究の学習者はまだそのような運用面の習得は十分ではなかった。そのためにあまりあいづちが観察されなかったのではないかと考えられる。

## 6.2.3 視線行動

### 6.2.3.1 ターンと視線行動

資料5から10までの資料において、ターンと視線行動の関係について調べた。表6-4がターン開始時の視線行動、6-5がターン終了時の視線行動、6-7がターン開始時と終了時の視線行動を NS-NS 会話と NS-NNS 会話で比較したものの結果である。

<sup>11</sup> 7つの会話資料の会話参加者とその組み合わせは次の通りである。  
男性同士の会話：韓国-韓国、台湾-韓国、韓国-エジプト  
女性同士の会話：韓国-タイ、台湾-韓国、台湾-韓国、韓国-台湾

<sup>11</sup> あいづちの使用には、文法や語彙の習得とは多少違う側面がある。日本語のあいづちについて、知識や練習の経験はあっても、実際には使わないという信念を持っている学習者もいる。

表6-4 ターン開始時の視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン開始時に相手から視線をはずす (%) | ターン開始時に相手に視線を向ける (%) | 不明 |
|------------------|-------|------|-----------------------|----------------------|----|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | JM5   | 47   | 17 (36.2%)            | 30 (63.8%)           |    |
|                  | LM1   | 46   | 26 (56.5%)            | 20 (43.5%)           |    |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | JM6   | 76   | 28 (36.8%)            | 47 (61.8%)           | 1  |
|                  | LM2   | 77   | 38 (49.4%)            | 39 (50.6%)           |    |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | JF5   | 108  | 42 (38.9%)            | 63 (58.3%)           | 3  |
|                  | LF1   | 112  | 50 (44.6%)            | 61 (54.5%)           | 1  |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | JF6   | 67   | 14 (20.9%)            | 53 (79.1%)           |    |
|                  | LF2   | 67   | 42 (62.7%)            | 25 (37.3%)           |    |
| 平均               |       | 75   | 32.1 (42.8%)          | 42.3 (56.4%)         |    |
| 母語話者平均           |       | 74.5 | 25.3 (34.0%)          | 48.3 (64.8%)         |    |
| 学習者平均            |       | 75.5 | 39 (51.7%)            | 36.3 (48.1%)         |    |

|                  |     |      |            |              |  |
|------------------|-----|------|------------|--------------|--|
| 資料9<br>留学生のチューター | JM5 | 59   | 40 (67.8%) | 19 (32.2%)   |  |
|                  | JM6 | 71   | 60 (84.5%) | 11 (15.5%)   |  |
| 資料10<br>考古学ブーム   | JF5 | 87   | 44 (50.6%) | 43 (49.4%)   |  |
|                  | JF6 | 88   | 48 (54.5%) | 40 (45.5%)   |  |
| 平均               |     | 76.3 | 48 (62.9%) | 28.3 (37.1%) |  |

ターン開始時に、ターンを始めようとする話し手は、これまでの研究では相手から視線をはずすという結果が出ており、第5章で見た NS-NS 会話でもそのことが裏付けられた。しかし表6-4に見られるように NS-NNS 会話では、その結果とはかなり違う結果が出ている。

まず資料5から8までの NS-NNS 会話において、母語話者の平均と学習者の平均を比較してみると視線行動に違いがある ( $\chi^2=4.57$ ,  $p<.01$ )。母語話者が自分のターンを開始する際に視線をはずすのは34.0%に過ぎず、学習者に多く視線を向けたままターンを開始していることが分る。学習者はターン開始の際に視線をはずすのが51.7%で、視線を母語話者に向けている

よりもはずす方が多い。

また学習者と話した母語話者JM5、JM6、JF5、JF6について見てみると、学習者と話したときと母語話者同士で話したときとでは、JF5 以外では視線行動に差が出ている (JM5 :  $\chi^2=10.53$ ,  $p<.005$ , JM6 :  $\chi^2=33.90$ ,  $p<.005$ , JF5 :  $\chi^2=2.15$ , 有意差なし, JF6 :  $\chi^2=17.95$ ,  $p<.005$ )。JF5を除いては、学習者と話したときの方が、母語話者同士で話したときよりもターンを開始するときにも相手から視線をはずしていないことが分る。

次にターン終了時の視線行動はどうだろうか。表6-5に示した。

表6-5 ターン終了時の視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン終了時に相手から視線をはずす (%) | ターン終了時に相手に視線を向けている (%) | 不明 |
|------------------|-------|------|-----------------------|------------------------|----|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | JM5   | 47   | 4 (8.5%)              | 43 (91.5%)             |    |
|                  | LM1   | 46   | 14 (30.4%)            | 32 (69.6%)             |    |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | JM6   | 76   | 6 (7.9%)              | 69 (90.8%)             | 1  |
|                  | LM2   | 77   | 16 (20.8%)            | 61 (79.2%)             |    |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | JF5   | 108  | 6 (5.6%)              | 99 (91.7%)             | 3  |
|                  | LF1   | 112  | 22 (19.6%)            | 88 (78.6%)             | 2  |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | JF6   | 67   | 3 (4.5%)              | 64 (95.5%)             |    |
|                  | LF2   | 67   | 18 (26.9%)            | 49 (73.1%)             |    |
| 平均               |       | 75   | 11.1 (14.8%)          | 63.1 (84.1%)           |    |
| 母語話者平均           |       | 74.5 | 4.7 (6.3%)            | 68.8 (92.3%)           |    |
| 学習者平均            |       | 75.5 | 17.5 (23.2%)          | 57.5 (76.2%)           |    |

|                  |     |      |              |              |  |
|------------------|-----|------|--------------|--------------|--|
| 資料9<br>留学生のチューター | JM5 | 59   | 6 (10.2%)    | 53 (89.8%)   |  |
|                  | JM6 | 71   | 26 (36.6%)   | 45 (63.4%)   |  |
| 資料10<br>考古学ブーム   | JF5 | 87   | 8 (9.2%)     | 79 (90.8%)   |  |
|                  | JF6 | 88   | 14 (15.9%)   | 74 (84.1%)   |  |
| 平均               |     | 76.3 | 13.5 (17.7%) | 62.8 (82.3%) |  |

これまでの研究ではターンの終了時には話し手は聞き手に視線を送ることが分かっているが、本章の会話資料でも同様に、平均で84.1%がターン終了時に相手に視線を送っている。

一方、この NS-NNS 会話での母語話者と学習者との間の差について調べてみると、 $\chi^2=8.46$ 、 $p<.005$ となり、違いがあると言える。母語話者がターン終了時に相手に視線を送るのが92.3%、学習者が視線を送るのが76.2%であるので、母語話者の方が視線を送る率が高いことが分る。

また学習者と話した母語話者JM5、JM6、JF5、JF6について見てみると、学習者と話したときと母語話者同士で話したときとでは、JM5： $\chi^2=0.08$ 、有意差なし、JM6： $\chi^2=17.46$ 、 $p<.005$ 、JF5： $\chi^2=0.85$ 、有意差なし、JF6： $\chi^2=5.09$ 、 $p<.05$ 、という結果となり、ターン開始時ほどの差は出ていない。つまり母語話者は、母語話者と話すときも学習者と話すときも、どちらも同じようにターン終了時に視線を相手に向ける傾向があるということである。

次に、ターン開始時と終了時の視線行動について、NS-NS 会話と NS-NNS 会話との違いについて、まとめて表6-6に示した。

表6-6 ターン開始時と終了時の視線行動：  
NS-NS 会話と NS-NNS 会話の違い

|                         | ターン数 | ターン開始時に相手から視線をはずす (%) | ターン開始時に相手に視線を向ける (%) | ターン終了時に相手に視線を向けていない (%) | ターン終了時に相手に視線を向けている (%) |
|-------------------------|------|-----------------------|----------------------|-------------------------|------------------------|
| NS-NS 会話<br>(資料1-4) 平均  | 69.9 | 53.0 (75.8%)          | 16.5 (23.6%)         | 24.4 (35.0%)            | 45 (64.4%)             |
| NS-NNS 会話<br>(資料5-8) 平均 | 75   | 32.1 (42.8%)          | 42.3 (56.4%)         | 11.1 (14.8%)            | 63.1 (84.1%)           |
| 母語話者平均                  | 74.5 | 25.3 (34.0%)          | 48.3 (64.8%)         | 4.7 (6.3%)              | 68.8 (92.3%)           |
| 学習者平均                   | 75.5 | 39 (51.7%)            | 36.3 (48.1%)         | 17.5 (23.2%)            | 57.5 (76.2%)           |

表6-6によると、NS-NNS 会話で相手に視線を向けたままターンを開始

するのは、平均で56.4%、母語話者で64.8%、学習者で48.1%だった。ここで、NS-NS 会話の母語話者の視線行動は、NS-NS 会話の視線行動と比較して有意差がある。(NS-NS 会話の平均と NS-NNS 会話での母語話者の平均の間： $\chi^2=25.11$ 、 $p<.005$ )。

またターン終了時について NS-NS 会話と NS-NNS 会話を比較してみると、NS-NNS 会話での母語話者は NS-NS 会話のときよりも、多く相手(この場合は学習者)に視線を向けているようである(NS-NS 会話の平均と NS-NNS 会話での母語話者との間： $\chi^2=18.22$ 、 $p<.005$ )。

以上のことをまとめると、重要なのは次のことである。通常の会話ではターン開始時には相手から視線をはずすのが一般的であるが、NS-NNS 会話の母語話者は、NS-NS 会話のときよりも相手(学習者)に視線を送っていることが多い。また、ターン終了時では一般的に相手に視線を送ることが言われていて、本研究の資料にもそれがあてはまるが、その中でも特に、NS-NNS 会話の母語話者は、NS-NS 会話と比較して多く相手に視線を送っていることが明らかになった。

#### 6.2.3.2 発話と視線行動

ターン開始時の視線行動は、ターンを開始する際に通常では相手から目をそらすと言われていたのが、NS-NNS 会話では互いに視線を向けている比率が高くなっていることを前節で見てきた。ターンの中の区切りとも言える発話を開始する際にはどうだろうか。表6-7から6-9にその結果を示す。

表6-7を見てみると、NS-NNS 会話の母語話者と学習者とは視線行動に差がある( $\chi^2=13.43$ 、 $p<.005$ )。母語話者では発話開始時に相手から視線をはずすよりも、視線を向けている方が多くなっているが(67.6%)、学習者では相手から視線をはずす方が多い(52.3%)ことが分る。これはターン開始時の行動の結果とも一致する。また同じ母語話者が母語話者同士で話した際と学習者と話した際を比較してみると、いずれの母語話者も、学習者と話したときの方が視線を向ける率が増えていることが分る。



表6-7 発話開始時における視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン中の発話数 | 発話開始時に相手から視線をはずす (%) | 発話開始時に相手に視線を向ける (%) | 不明 |
|------------------|-------|------|----------|----------------------|---------------------|----|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | JM5   | 47   | 56       | 19 (33.9%)           | 37 (66.1%)          |    |
|                  | LM1   | 46   | 205      | 128 (62.4%)          | 77 (37.6%)          |    |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | JM6   | 76   | 96       | 33 (34.4%)           | 62 (64.6%)          | 1  |
|                  | LM2   | 77   | 238      | 116 (48.7%)          | 122 (51.3%)         |    |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | JF5   | 108  | 193      | 68 (35.2%)           | 122 (63.2%)         | 3  |
|                  | LF1   | 112  | 274      | 112 (40.9%)          | 161 (58.8%)         | 1  |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | JF6   | 67   | 137      | 32 (23.4%)           | 105 (76.6%)         |    |
|                  | LF2   | 67   | 213      | 130 (61.0%)          | 83 (39.0%)          |    |
| 平均               |       | 75   | 176.5    | 79.8 (45.2%)         | 96.1 (54.4%)        |    |
| 母語話者平均           |       | 74.5 | 120.5    | 38 (31.5%)           | 81.5 (67.6%)        |    |
| 学習者平均            |       | 75.5 | 232.5    | 121.5 (52.3%)        | 110.8 (47.7%)       |    |

|                  |     |      |       |             |              |  |
|------------------|-----|------|-------|-------------|--------------|--|
| 資料9<br>留学生のチューター | JM5 | 59   | 79    | 51 (64.6%)  | 28 (35.4%)   |  |
|                  | JM6 | 71   | 181   | 137 (75.7%) | 44 (24.3%)   |  |
| 資料10<br>考古学ブーム   | JF5 | 87   | 190   | 76 (40.0%)  | 14 (60.0%)   |  |
|                  | JF6 | 88   | 239   | 124 (51.9%) | 115 (48.1%)  |  |
| 平均               |     | 76.3 | 172.3 | 97 (56.3%)  | 75.3 (43.7%) |  |

次に発話終了時の視線行動について述べる。結果は表6-8の通りである。

これによると、NS-NNS 会話で発話終了時に相手に視線を向けているのが平均で72.5%、視線を相手からはずしているのが27.0%で、相手に視線を向けていることの方が向けていないことよりも多いことが分る。これもターン終了時の結果と同様である。また各母語話者が母語話者同士で話したときと、学習者と話したときとを比べると、LF5を除いて、学習者と話したときの方が視線を送っている率が高いことが観察される。

表6-8 発話終了時における視線行動

| 資料名              | 会話参加者 | ターン数 | ターン中の発話数 | 発話開始時に相手から視線をはずす (%) | 発話開始時に相手に視線を向ける (%) | 不明 |
|------------------|-------|------|----------|----------------------|---------------------|----|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | JM5   | 47   | 56       | 3 (5.4%)             | 53 (94.6%)          |    |
|                  | LM1   | 46   | 205      | 92 (44.9%)           | 113 (55.1%)         |    |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | JM6   | 76   | 96       | 6 (6.3%)             | 89 (92.7%)          | 1  |
|                  | LM2   | 77   | 238      | 72 (30.3%)           | 166 (69.7%)         |    |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | JF5   | 108  | 193      | 29 (15.0%)           | 161 (83.4%)         | 3  |
|                  | LF1   | 112  | 274      | 77 (28.1%)           | 194 (70.8%)         | 3  |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | JF6   | 67   | 137      | 14 (10.2%)           | 123 (89.8%)         |    |
|                  | LF2   | 67   | 213      | 88 (41.3%)           | 125 (58.7%)         |    |
| 平均               |       | 75   | 176.5    | 47.6 (27.0%)         | 128 (72.5%)         |    |
| 母語話者平均           |       | 74.5 | 120.5    | 13 (10.8%)           | 106.5 (88.4%)       |    |
| 学習者平均            |       | 75.5 | 232.5    | 82.3 (35.4%)         | 149.5 (64.3%)       |    |

|                  |     |      |       |              |               |   |
|------------------|-----|------|-------|--------------|---------------|---|
| 資料9<br>留学生のチューター | JM5 | 59   | 79    | 18 (22.8%)   | 61 (77.2%)    |   |
|                  | JM6 | 71   | 181   | 81 (44.8%)   | 99 (54.7%)    | 1 |
| 資料10<br>考古学ブーム   | JF5 | 87   | 190   | 23 (12.1%)   | 167 (87.9%)   |   |
|                  | JF6 | 88   | 239   | 60 (25.1%)   | 179 (74.9%)   |   |
| 平均               |     | 76.3 | 172.3 | 45.5 (26.4%) | 126.5 (73.4%) |   |

次に、表6-9に発話開始時と終了時の視線行動について、NS-NS 会話と NS-NNS 会話との違いをまとめて示した。

表6-9から、まず発話開始時について、NS-NS 会話と NS-NNS 会話の母語話者について比較してみる。NS-NS 会話と NS-NNS 会話の母語話者の視線行動には違いが見られた ( $\chi^2=36.64$ ,  $p<.005$ )。NS-NS 会話で発話開始時に視線を相手に向けるのが31.1%、NS-NNS 会話の母語話者は67.6%となっていて、NS-NNS 会話の方が発話開始時に相手(学習者)に視線を向ける比率が多くなっていることが観察される。

また発話終了時についても、NS-NNS 会話の母語話者は母語話者同士で

話をするときと比べて、学習者と話すときに多く視線を向けていることが分った ( $\chi^2=32.1$ ,  $p<.005$ )。

表6-9 発話開始時と終了時の視線行動：  
NS-NS 会話 と NS-NNS 会話の違い

|                         | ターン<br>数 | ターン<br>中の<br>発話数 | 発話開始時に<br>相手から視線を<br>はずす (%) | 発話開始時に<br>相手に視線を<br>向ける (%) | 発話終了時に<br>相手に視線を<br>向けていない (%) | 発話終了時に<br>相手に視線を<br>向けている (%) |
|-------------------------|----------|------------------|------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| NS-NS 会話<br>(資料1-4) 平均  | 69.9     | 151.3            | 103.5 (68.4%)                | 47 (31.1%)                  | 64 (42.3%)                     | 87.9 (58.1%)                  |
| NS-NNS 会話<br>(資料5-8) 平均 | 75       | 176.5            | 79.8 (45.2%)                 | 96.1 (54.4%)                | 47.6 (27.0%)                   | 128 (72.5%)                   |
| 母語話者平均                  | 74.5     | 120.5            | 38 (31.5%)                   | 81.5 (67.6%)                | 13 (10.8%)                     | 106.5 (88.4%)                 |
| 学習者平均                   | 75.5     | 232.5            | 121.5 (52.3%)                | 110.8 (47.7%)               | 82.3 (35.4%)                   | 149.5 (64.3%)                 |

以上のように、発話と視線行動の関係を見てみると、基本的にはターンと視線行動の関係と同じような傾向があることが明らかになった。

### 6.2.3.3 あいづちと視線行動

この節では、あいづちと視線行動の関連について調べてみる。表6-10と6-11にあいづち時の視線行動の結果を示す。

表6-10によると、NS-NNS 会話 であいづちを打つ際には全般的に話し手に視線を向けていることが分り、やはり聞き手としての立場であいづちが打たれていることと対応していると考えられる。学習者については、あいづち数があまり多くないので断定はできないが、それでもあいづちを打つときには話し手を見ながら行われていることが言えそうである。

同じ母語話者が学習者と話したときと、母語話者同士で話したときとを比較したが、JM6以外は結果に有意差はなかった。JM6については、母語話者同士で話したときの方が、あいづち時に視線を向ける比率が少なくなっている。

表6-10 あいづち時の視線行動

| 資料名              | 会話<br>参加者 | あいづち<br>数 | あいづち時に<br>話し手から<br>視線をはずす (%) | あいづち時に<br>話し手に視線を<br>向けている (%) | 不明 |
|------------------|-----------|-----------|-------------------------------|--------------------------------|----|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | JM5       | 15        | 2 (13.3%)                     | 13 (86.7%)                     |    |
|                  | LM1       | 1         | 0                             | 1 (100.0%)                     |    |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | JM6       | 74        | 9 (12.2%)                     | 65 (87.8%)                     |    |
|                  | LM2       | 9         | 1 (11.1%)                     | 8 (88.9%)                      |    |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | JF5       | 37        | 3 (8.1%)                      | 32 (86.5%)                     | 2  |
|                  | LF1       | 36        | 2 (5.6%)                      | 29 (80.6%)                     | 5  |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | JF6       | 39        | 0                             | 39 (100.0%)                    |    |
|                  | LF2       | 26        | 8 (30.8%)                     | 18 (69.2%)                     |    |
| 平均               |           | 29.6      | 3.1 (10.5%)                   | 25.6 (86.5%)                   |    |
| 母語話者平均           |           | 41.3      | 3.5 (8.5%)                    | 37.3 (90.3%)                   |    |
| 学習者平均            |           | 18.0      | 2.8 (15.6%)                   | 14 (77.8%)                     |    |

|                  |     |      |            |              |  |
|------------------|-----|------|------------|--------------|--|
| 資料9<br>留学生のチューター | JM5 | 12   | 2 (16.7%)  | 10 (83.3%)   |  |
|                  | JM6 | 32   | 14 (43.8%) | 18 (56.2%)   |  |
| 資料10<br>考古学ブーム   | JF5 | 83   | 4 (4.8%)   | 79 (95.2%)   |  |
|                  | JF6 | 66   | 4 (6.1%)   | 62 (93.9%)   |  |
| 平均               |     | 48.3 | 6 (12.4%)  | 42.3 (87.6%) |  |

次に表6-11にNS-NS 会話 と NS-NNS 会話 との比較した結果を示した。

表6-11 あいづちと視線行動：NS-NS 会話 と NS-NNS 会話 の違い

|                         | あいづち<br>数 | あいづち時に話し手<br>から視線をはずす (%) | あいづち時に話し手に<br>視線を向ける (%) |
|-------------------------|-----------|---------------------------|--------------------------|
| NS-NS 会話<br>(資料1-4) 平均  | 58.5      | 20.8 (35.4%)              | 37.4 (63.6%)             |
| NS-NNS 会話<br>(資料5-8) 平均 | 29.6      | 3.1 (10.5%)               | 25.6 (86.5%)             |
| 母語話者平均                  | 41.3      | 3.5 (8.5%)                | 37.3 (90.3%)             |
| 学習者平均                   | 18.0      | 2.75 (15.3%)              | 14 (77.8%)               |

表6-11によると、NS-NNS 会話の母語話者は、NS-NS 会話に比べて、相手に視線を向けている ( $\chi^2=9.55$ ,  $p<.005$ )。つまり、あいづちを打つ際には一般的に話し手に視線を向けることが多いと言われているのだが、特にNS-NNS 会話での母語話者は、普通以上に学習者に多くの視線を向けていることが分る。

#### 6.2.3.4 視線行動についてのまとめ

以上、ターンと視線行動、発話と視線行動、あいづちと視線行動について調査してきた。ここで重要なのは、NS-NNS 会話における母語話者は、母語話者同士のときよりも、相手（ここでは学習者）に多く視線を注いでいるということが観察されることである。

この原因として考えられることとして、二つのことが挙げられる。まず一つは、母語話者の学習者に対するモニタリングということである。母語話者同士の会話と違って、相手が非母語話者であり、しかも日本語能力がさほど高くないために、より多くのモニタリングが必要となっているのではないかとということである。

橋本ら（1993）が、異文化コミュニケーション状況では会話の際に、話し手が「異文化間状況では理解が成立しにくい」と意識することで過剰に相手をモニタリングをするために、話し手の凝視量が増加することを報告していることはすでに述べた。本章では凝視量については調査していないが、橋本らの報告と同様に、話者交替をするタイミングや、相手が自分の話を理解しているのか、新たなターンを始めていいのかななどの確認、または相手の話に対する質問や確認などについて、学習者を注意深くモニタリングしながら進めているために、NS-NNS 会話では視線を送りながらターンを始めるケースが多くなるのではないかと考えられる。

もう一つの原因は、会話の中でその参加者がどのような役割を主に果たしているかということである。今回用いた資料では、学習者の方が長いターンを取って話し、母語話者はどちらかという聞き手となって学習者からいろ

いろな話を聞くというタイプの会話が多かった。したがって母語話者は自分が母語話者であるという役割の自覚と、さらに学習者から話を引きだそうとする聞き手としての役割が強かったために、学習者に視線を多く注いだ結果につながったのではないかと思われる。

### 6.3 日本語母語話者と日本語学習者との会話に現れる割り込み発話についての分析結果

#### 6.3.1 割り込み発話の種類と出現数

資料5から8、および資料9と10の会話に現れた割り込み発話の種類と出現数を表6-12に示した。

表6-12 割り込み発話の種類と出現数

| 割り込み発話の種類        | 割り込み総数 | 早めの発話開始       | ターン取りのための割り込み | 差しはさみ        | 働きかけの割り込み     | ターンの重なり     | その他*        |
|------------------|--------|---------------|---------------|--------------|---------------|-------------|-------------|
| 資料5<br>金のしゃちほこ   | 37     | 11<br>(29.7%) | 8<br>(21.6%)  | 2<br>(5.4%)  | 15<br>(40.5%) | 0           | 1<br>(2.7%) |
| 資料6<br>能登へのドライブ  | 79     | 16<br>(20.3%) | 25<br>(31.6%) | 4<br>(5.1%)  | 33<br>(41.8%) | 0           | 1<br>(1.3%) |
| 資料7<br>マレーシアのカレー | 106    | 46<br>(43.4%) | 36<br>(34.0%) | 4<br>(3.8%)  | 15<br>(14.2%) | 4<br>(3.8%) | 1<br>(0.9%) |
| 資料8<br>悲しい夏休み    | 90     | 21<br>(23.3%) | 27<br>(30.0%) | 3<br>(3.3%)  | 32<br>(35.6%) | 4<br>(4.4%) | 3<br>(3.3%) |
| 総数               | 312    | 94<br>(30.1%) | 96<br>(30.8%) | 13<br>(4.2%) | 95<br>(30.4%) | 8<br>(2.6%) | 6<br>(1.9%) |
| 資料9<br>留学生のチューター | 44     | 11<br>(25.0%) | 26<br>(59.1%) | 1<br>(2.3%)  | 5<br>(11.4%)  | 0           | 1<br>(2.3%) |
| 資料10<br>考古学ブーム   | 135    | 70<br>(51.9%) | 37<br>(27.4%) | 0            | 27<br>(20.0%) | 1<br>(0.7%) | 0           |
| 総数               | 179    | 81<br>(45.3%) | 63<br>(35.2%) | 1<br>(0.6%)  | 32<br>(17.9%) | 1<br>(0.6%) | 1<br>(0.6%) |

表6-12、13の資料5から8までの結果を概観すると、NS-NNS 会話に現れた割り込み発話は総数312で、そのうち母語話者が割り込んだものが197例、学習者が割り込んだものが115例であった。平均すると、1分間に約

5.2回の割り込みが起こっていることになる。また資料9と10では179例の割り込み発話が観察される。

割り込み発話の種類について、NS-NS 会話（第5章 表5-9）のときと同じように早めの発話開始とターン取りのための割り込み発話の占める割合が多いが、さらに働きかけの割り込み発話の占める割合も多くなっている。このことについて、会話参加者と用いる割り込み発話と何か関連があるのか、次に詳しく見ていく。

### 6.3.2 会話参加者と割り込み発話の出現数

次に会話参加者ごとの割り込み発話の出現数を、表6-13にまとめた。

これを見てみると、まず割り込みをした会話参加者は NS-NNS 会話中で、どの資料でも学習者より母語話者の方が多くなっていることが分る。第4章で述べたように、これらの資料は会話参加者同士は社会的な立場や男女という点では差のないペアの会話である。しかし学習者にとって日本語という相手言語での会話であるために、またこの資料での学習者は日本語の基本的な知識を身に付けただけの段階であるために、母語話者の方の割り込みが多くなっているものと思われる。

では、母語話者はどのような割り込み発話を用いているのだろうか。割り込み発話の種類を詳しく見てみると、次のようなことが明らかになる。NS-NNS 会話で母語話者が用いた割り込み発話の種類は、一番多いのが働きかけの割り込み発話（197例のうち44.7%）で、次にターン取りのための割り込み発話（24.9%）、早めの発話開始（23.9%）と続く。

第5章で見た NS-NS 会話での出現数は（表5-9）、ターン取りのための割り込み発話（37.3%）、早めの発話開始（30.0%）、次に働きかけの割り込み発話（20.5%）という結果になっている。資料9と10では、早めの発話開始（45.3%）、ターン取りのための割り込み発話（35.2%）と順番が入れ替わってはいるが、働きかけの割り込み発話はやはり3番目で17.9%である。このことから、NS-NNS 会話では、母語話者は働きかけの割り込み

発話を多く用いて学習者と会話をしているということが明らかになる。

表6-13 会話参加者と割り込み発話の出現数

| 資料名 | 割り込み総数 | 会話参加者  | 各参加者の割り込み発話    | 早めの発話開始       | ターン取りのための割り込み発話 | 差しはさみ        | 働きかけの割り込み発話   | ターンの重なり     | その他          |
|-----|--------|--------|----------------|---------------|-----------------|--------------|---------------|-------------|--------------|
| 資料5 | 37     | JM5    | 29<br>(78.3%)  | 5<br>(17.2%)  | 7<br>(24.1%)    | 1<br>(3.4%)  | 15<br>(51.7%) | 0           | 1<br>(3.4%)  |
|     |        | LM1    | 8<br>(21.6%)   | 6<br>(75.0%)  | 1<br>(12.5%)    | 1<br>(12.5%) | 0             | 0           | 0            |
| 資料6 | 79     | JM6    | 50<br>(63.3%)  | 6<br>(12.0%)  | 10<br>(20.0%)   | 1<br>(2.0%)  | 32<br>(64.0%) | 0           | 1<br>(2.0%)  |
|     |        | LM2    | 29<br>(36.7%)  | 10<br>(34.4%) | 15<br>(51.7%)   | 3<br>(10.3%) | 1<br>(3.4%)   | 0           | 0            |
| 資料7 | 106    | JF5    | 57<br>(53.7%)  | 27<br>(47.4%) | 13<br>(22.8%)   | 3<br>(5.3%)  | 12<br>(21.1%) | 1<br>(1.7%) | 1<br>(1.7%)  |
|     |        | LF1    | 49<br>(46.2%)  | 19<br>(38.8%) | 23<br>(47.0%)   | 1<br>(2.0%)  | 3<br>(6.1%)   | 3<br>(6.1%) | 0            |
| 資料8 | 90     | JF6    | 61<br>(67.8%)  | 9<br>(14.8%)  | 19<br>(31.1%)   | 1<br>(1.6%)  | 29<br>(47.5%) | 3<br>(5.0%) | 0            |
|     |        | LF2    | 29<br>(32.2%)  | 12<br>(41.4%) | 8<br>(27.6%)    | 2<br>(7.0%)  | 3<br>(10.3%)  | 1<br>(3.4%) | 3<br>(10.3%) |
|     | 312    | 総数     | 312            | 94            | 96              | 13           | 95            | 8           | 6            |
|     |        | 母語話者平均 | 197<br>(63.1%) | 47<br>(23.9%) | 49<br>(24.9%)   | 6<br>(3.0%)  | 88<br>(44.7%) | 4<br>(2.0%) | 3<br>(1.3%)  |
|     |        | 学習者平均  | 115<br>(36.9%) | 47<br>(40.9%) | 47<br>(40.9%)   | 7<br>(6.1%)  | 7<br>(6.1%)   | 4<br>(3.4%) | 3<br>(2.6%)  |

|      |     |     |               |               |               |             |               |             |             |
|------|-----|-----|---------------|---------------|---------------|-------------|---------------|-------------|-------------|
| 資料9  | 44  | JM5 | 38<br>(86.4%) | 7<br>(18.4%)  | 24<br>(63.2%) | 1<br>(2.6%) | 5<br>(13.2%)  | 1<br>(2.6%) | 0           |
|      |     | JM6 | 6<br>(13.6%)  | 4<br>(66.7%)  | 2<br>(33.3%)  | 0           | 0             | 0           | 0           |
| 資料10 | 135 | JF5 | 65<br>(48.1%) | 34<br>(52.3%) | 18<br>(27.7%) | 0           | 12<br>(18.5%) | 1<br>(1.5%) | 0           |
|      |     | JF6 | 70<br>(51.9%) | 36<br>(51.4%) | 19<br>(27.1%) | 0           | 15<br>(21.4%) | 0           | 0           |
|      | 179 |     | 179           | 81<br>(45.3%) | 63<br>(35.2%) | 1<br>(0.6%) | 32<br>(17.9%) | 1<br>(0.5%) | 1<br>(0.6%) |

NS-NNS 会話 で、働きかけの割り込み発話が多く観察された原因として考えられるのは次のようなことである。まず会話のターン数と発話数との関連で、母語話者が聞き手となって学習者の長い話を聞くようなタイプの会話部分が多かったことが挙げられる。それに加えて、重要なのは、学習者の日本語力の十分でない点を、母語話者が働きかけの割り込み発話を用いて補いながら聞いているのではないかということが考えられる。NS-NNS 会話での働きかけの割り込み発話の機能については、後に詳しく見ていくこととする。

一方、NS-NNS 会話 で学習者が用いた割り込み発話については、本研究の目的が母語話者の用いた割り込み発話について考察することであるため、ここでは記述に留めることにするが、一番多いのは、早めの発話開始とターン取りのための割り込み発話（ともに全115例のうち47例ずつ）で、全体の47.0%を占めている。次に差しはさみと働きかけの割り込み発話、ターンの重なりと続くが、いずれも10%に満たない割合で、あまり数は多くなかった。

各割り込み発話の機能や特徴などについては、また後に詳しく見ていくことにする。

### 6.3.3 割り込み発話と視線行動

この節では、割り込み発話と視線行動について見ていく。まず NS-NS 会話 で、割り込み発話と視線行動の関連について明らかになったのは、次のような2点である。

#### 1) 割り込んだ聞き手の視線行動

・早めの発話開始、ターン取りのための割り込み発話、差しはさみについては、話し手となるための視線行動（話を始めるときに相手から視線をはずす）を伴うことが多い。

・働きかけの割り込み発話では、話し手となるための視線行動をあまり伴わずに、聞き手としての視線行動を伴うことの比率が高い。

#### 2) 割り込まれた話し手の視線行動

・聞き手の割り込みが成功してターンを取った場合、割り込まれた方が視線を送っていることが多い。

・聞き手の割り込みが失敗してターンを取らなかった差しはさみの場合、割り込まれた方が視線を送る比率が低くなる。つまり、割り込みが継続できるためには、相手からの視線が必要となる。

これらのことについて、資料5から8までの NS-NNS 会話 ではどのような結果であるか、次に述べていく。

#### 6.3.3.1 割り込み時に割り込む聞き手の視線行動

まず割り込み時の聞き手の視線行動について、表6-14のような結果になった。またこれらの結果（各割り込みの平均値）をもとに、割り込み時の母語話者の視線行動について  $\chi^2$  検定をしたものが、表6-15である。

表6-14 割り込み時の聞き手の視線行動

|                         |           | 割り込み時に                   |                         | 計<br>( ) 内<br>は不明 |
|-------------------------|-----------|--------------------------|-------------------------|-------------------|
|                         |           | 割り込んだ聞き手が<br>話し手から視線をはずす | 割り込んだ聞き手が<br>話し手に視線を向ける |                   |
| 早めの<br>発話開始             | 平均        | 45 (47.9%)               | 48 (51.1%)              | 94<br>(1)         |
|                         | 母語話者 (47) | 17 (36.2%)               | 30 (63.8%)              |                   |
|                         | 学習者 (46)  | 28 (60.9%)               | 18 (39.1%)              |                   |
| ターン取りの<br>ための<br>割り込み発話 | 平均        | 38 (39.6%)               | 58 (60.4%)              | 96                |
|                         | 母語話者 (49) | 17 (34.7%)               | 32 (65.3%)              |                   |
|                         | 学習者 (47)  | 21 (44.7%)               | 26 (55.3%)              |                   |
| 差しはさみ                   | 平均        | 6 (46.2%)                | 7 (53.8%)               | 13                |
|                         | 母語話者 (6)  | 2 (33.3%)                | 4 (66.7%)               |                   |
|                         | 学習者 (7)   | 4 (57.1%)                | 3 (42.9%)               |                   |
| 働きかけの<br>割り込み発話         | 平均        | 11 (11.6%)               | 83 (87.4%)              | 95<br>(1)         |
|                         | 母語話者 (88) | 10 (11.4%)               | 77 (87.5%)              |                   |
|                         | 学習者 (7)   | 1 (14.3%)                | 6 (85.7%)               |                   |
| ターンの<br>重なり             | 平均        | 2 (25.0%)                | 6 (75.0%)               | 8                 |
|                         | 母語話者 (4)  | 1 (25.0%)                | 3 (75.0%)               |                   |
|                         | 学習者 (4)   | 1 (25.0%)                | 3 (75.0%)               |                   |

表6-15 母語話者の割り込み時の視線行動に関する検定結果

|                 | 早めの発話開始 | ターン取りのための割り込み発話 | 差しはさみ      | 働きかけの割り込み発話  | ターンの重なり    |
|-----------------|---------|-----------------|------------|--------------|------------|
| 早めの発話開始         | -       | 0.022 (ns)      | 0.018 (ns) | 11.548 (***) | 0.201 (ns) |
| ターン取りのための割り込み発話 | -       | -               | 0.004 (ns) | 10.602 (***) | 0.154 (ns) |
| 差しはさみ           | -       | -               | -          | 2.382 (ns)   | 0.079 (ns) |
| 働きかけの割り込み発話     | -       | -               | -          | -            | 0.656 (ns) |
| ターンの重なり         | -       | -               | -          | -            | -          |

\*\*\* p < .005, ns 有意差なし

表6-15によると、NS-NNS 会話の母語話者が割り込み発話をする際の視線行動について、早めの発話開始と働きかけの割り込みの間、ターン取りのための割り込み発話と働きかけの割り込み発話の間で、いずれも有意差 (p < .005) があった。第5章で見た NS-NS 会話においてと同様、働きかけの割り込み発話は、割り込みをする際に相手から視線を向けたままでなされることが多いということが分る。なお、差しはさみと働きかけの割り込み発話の間では、有意差が見られなかったが、差しはさみの出現数が少なかったためかと思われる。

さて次に、割り込み時の視線行動を NS-NS 会話と NS-NNS 会話とで比較するとどのような結果になるだろうか。表6-16に示した。

表6-16 割り込み時の聞き手の視線行動：

NS-NS 会話 と NS-NNS 会話 の比較

|                 |                | 割り込み時に割り込んだ聞き手が話し手から視線をはずす | 割り込み時に割り込んだ聞き手が話し手に視線を向ける | 計  |
|-----------------|----------------|----------------------------|---------------------------|----|
| 早めの発話開始         | NS-NS 会話       | 57 (78.1%)                 | 16 (21.9%)                | 73 |
|                 | NS-NNS 会話 (平均) | 45 (47.9%)                 | 48 (51.1%)                | 93 |
|                 | NS-NNSの母語話者    | 17 (36.2%)                 | 30 (63.8%)                | 47 |
| ターン取りのための割り込み発話 | NS-NS 会話       | 61 (67.0%)                 | 30 (33.0%)                | 91 |
|                 | NS-NNS 会話 (平均) | 38 (39.6%)                 | 58 (60.4%)                | 96 |
|                 | NS-NNSの母語話者    | 17 (34.7%)                 | 32 (65.3%)                | 49 |
| 差しはさみ           | NS-NS 会話       | 15 (75.0%)                 | 5 (25.0%)                 | 20 |
|                 | NS-NNS 会話 (平均) | 6 (46.2%)                  | 7 (53.8%)                 | 13 |
|                 | NS-NNSの母語話者    | 2 (33.3%)                  | 4 (66.7%)                 | 6  |
| 働きかけの割り込み発話     | NS-NS 会話       | 24 (48.0%)                 | 26 (52.0%)                | 50 |
|                 | NS-NNS 会話 (平均) | 11 (11.6%)                 | 83 (87.4%)                | 94 |
|                 | NS-NNSの母語話者    | 10 (11.4%)                 | 77 (87.5%)                | 88 |
| ターンの重なり         | NS-NS 会話       | 3 (60.0%)                  | 2 (40.0%)                 | 5  |
|                 | NS-NNS 会話 (平均) | 2 (25.0%)                  | 6 (75.0%)                 | 8  |
|                 | NS-NNSの母語話者    | 1 (25.0%)                  | 3 (75.0%)                 | 4  |

表6-16によると、いずれの割り込み発話についても、NS-NNS 会話の方が割り込み時に相手に視線を向ける比率が高くなっていることが分る。特に NS-NNS 会話の母語話者について、NS-NS 会話との間で  $\chi^2$  検定をしたところ、ターンの重なりを除いた割り込み発話について有意差、あるいは有意傾向が認められた (早めの発話開始:  $\chi^2 = 21.246$ , p < .005、ターン取りのための割り込み発話:  $\chi^2 = 13.500$ , p < .005、差しはさみ:  $\chi^2 = 3.540$ , p < .10 (有意傾向)、働きかけの割り込み発話:  $\chi^2 = 2.679$ , p < .005)。

なお学習者と話した母語話者同士の会話の結果は、表6-17のようになった。

表6-17によると、資料1から4の NS-NS 会話と比べて全体的に視線を相

手に向ける比率が多くなっていて、NS-NNS 会話での母語話者の視線行動と比較すると、早めの発話開始、ターン取りのための割り込み発話、働きかけの割り込み発話の3つ<sup>1)</sup>で、学習者と話をしたNS-NNS 会話の方が、母語話者同士で話した資料よりもいずれも視線を向ける比率が上がっていることが分る。

表6-17 割り込み発話時の聞き手の視線行動：  
学習者と話した母語話者同士の会話

|                     |              | 割り込み時に<br>割り込んだ聞き手が<br>話し手から<br>視線をはずす | 割り込み時に<br>割り込んだ<br>聞き手が話し手に<br>視線を向ける | 計  |
|---------------------|--------------|----------------------------------------|---------------------------------------|----|
| 早めの<br>発話開始         | 資料9&10       | 37 (45.6%)                             | 44 (54.3%)                            | 81 |
|                     | NS-NNS の母語話者 | 17 (36.2%)                             | 30 (63.8%)                            | 47 |
| ターン取りのため<br>の割り込み発話 | 資料9&10       | 30 (47.6%)                             | 33 (52.4%)                            | 63 |
|                     | NS-NNS の母語話者 | 17 (34.7%)                             | 32 (65.3%)                            | 49 |
| 差しはさみ               | 資料9&10       | 0                                      | 1 (100.0%)                            | 1  |
|                     | NS-NNS の母語話者 | 2 (33.3%)                              | 4 (66.7%)                             | 6  |
| 働きかけの<br>割り込み発話     | 資料9&10       | 11 (34.4%)                             | 21 (65.6%)                            | 32 |
|                     | NS-NNS の母語話者 | 10 (11.4%)                             | 77 (87.5%)                            | 32 |
| ターンの<br>重なり         | 資料9&10       | 0                                      | 1 (100.0%)                            | 1  |
|                     | NS-NNS の母語話者 | 1 (25.0%)                              | 3 (75.0%)                             | 4  |

以上のことから、少なくとも、早めの発話開始とターン取りのための割り込み発話では、通常のNS-NS 会話では割り込む際に相手から視線をはずすことが多いのであるが、NS-NNS 会話の母語話者は視線を相手（ここでは学習者）に向けたまま割り込みをしている、とすることができる。また働きかけの割り込み発話についても、通常のNS-NS 会話では、他の割り込み発話と違って聞き手が話し手に視線を向けたまま割り込むことが多かったが、NS-NNS 会話の母語話者は、より一層、相手に視線を向けて働きかけの割

<sup>1)</sup> 差しはさみとターンの重なりは、資料9と10はともに一例しかないために、比較はできない。

り込みを行っている、ということが明らかになった。

### 6.3.3.2 割り込み時における割り込まれる話し手の視線行動

まず割り込まれる話し手の先行の発話での視線行動、さらに第5章で見た資料1から4のNS-NS 会話での結果もあわせると、表6-18のようになった。

表6-18 割り込みの先行の発話における視線行動

|                                 |             | 先行発話の話し手が<br>割り込む聞き手から<br>視線をはずす | 先行発話の話し手が<br>割り込む聞き手に<br>視線を向けている | 計<br>( ) 内<br>は不明 |
|---------------------------------|-------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------|
| 早めの<br>発話開始                     | NS-NNS 会話平均 | 16 (17.0%)                       | 78 (83.0%)                        | 94                |
|                                 | 母語話者* (47)  | 1 (2.1%)                         | 46 (97.9%)                        |                   |
|                                 | 学習者* (47)   | 15 (31.9%)                       | 32 (68.1%)                        |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 29 (39.7%)                       | 44 (60.3%)                        | 73                |
| ターン<br>取りの<br>ための<br>割り込み<br>発話 | NS-NNS 会話平均 | 24 (25.0%)                       | 71 (74.0%)                        | 96<br>(1)         |
|                                 | 母語話者 (47)   | 5 (10.6%)                        | 41 (87.2%)                        |                   |
|                                 | 学習者 (49)    | 19 (38.8%)                       | 30 (61.2%)                        |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 42 (46.2%)                       | 49 (53.8%)                        | 91                |
| 差し<br>はさみ                       | NS-NNS 会話平均 | 4 (30.8%)                        | 9 (69.2%)                         | 13                |
|                                 | 母語話者 (7)    | 1 (14.3%)                        | 6 (85.7%)                         |                   |
|                                 | 学習者 (6)     | 3 (50.0%)                        | 3 (50.0%)                         |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 10 (50.0%)                       | 10 (50.0%)                        | 20                |
| 働きかけ<br>の<br>割り込み<br>発話         | NS-NNS 会話平均 | 32 (33.7%)                       | 63 (66.3%)                        | 95                |
|                                 | 母語話者 (7)    | 1 (14.3%)                        | 6 (85.7%)                         |                   |
|                                 | 学習者 (88)    | 31 (35.2%)                       | 57 (64.8%)                        |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 18 (36.0%)                       | 32 (64.0%)                        | 50                |
| ターンの<br>重なり                     | NS-NNS 会話平均 | 2 (25.0%)                        | 6 (75.0%)                         | 8                 |
|                                 | 母語話者 (4)    | 1 (25.0%)                        | 3 (75.0%)                         |                   |
|                                 | 学習者 (4)     | 1 (25.0%)                        | 3 (75.0%)                         |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 1 (20.0%)                        | 3 (60.0%)                         | 5                 |

\*ここで母語話者というのは、学習者に割り込まれる前の母語話者の発話部分での視線行動、また学習者というのは母語話者に割り込まれる前の学習者の視線行動をさす。

まず NS-NNS 会話 中で母語話者と学習者の視線行動について見てみると、いずれの割り込み発話の場合でも、母語話者は学習者に比べて多くの視線を相手に向けていることが分る。つまり学習者に割り込まれる前の母語話者は、母語話者に割り込まれる前の学習者よりも、多く視線を相手に向けている。また NS-NS 会話 と NS-NNS 会話 の母語話者と比べて見ると、ここでも NS-NS 会話 に比べて NS-NNS 会話 の母語話者の方が、どの場合でも割り込まれる側が割り込まれる前に相手を見ているということになる。

このことから、割り込まれる前の母語話者は、学習者を見ていて、そこに割り込まれるということになる。

次に割り込まれた直後の割り込まれた側の視線行動を表6-19に示した。ここで母語話者というのは、学習者に割り込まれた後の母語話者の視線行動を表し、また学習者というのは、母語話者に割り込まれた後の学習者の視線行動を表している。

ここでもまず NS-NNS 会話 において、学習者に割り込まれた母語話者の方が、母語話者に割り込まれた学習者よりも多く視線を相手（ここでは学習者）に注いでいることが分る。また NS-NS 会話 と NS-NNS 会話 の母語話者との比較では、働きかけの割り込み発話を除いて、NS-NNS 会話 の母語話者の方が割り込まれた後に相手を見ている比率が高くなっている。働きかけの割り込み発話については、学習者が働きかけの割り込み発話を用いた数が少ないので、ここでははっきりしたことは述べられないと考えられる。

なお、5.3.3.3で差しはさみは、早めの発話開始やターン取りのための割り込み発話と違って、差しはさんだ直後に相手から視線が得られていない傾向が見られたことを述べたが、本章での NS-NNS 会話 での差しはさみはあまり数が多くないこともあり、明白にそれを検証することはできなかった。

表6-19 割り込み直後の、割り込まれた側の視線行動

|                                 |             | 割り込み直後に<br>割り込まれた側が<br>視線をはずす | 割り込み直後に、割り<br>込まれた側が割り込んだ<br>相手に視線を向ける | 計<br>( ) 内<br>は不明 |
|---------------------------------|-------------|-------------------------------|----------------------------------------|-------------------|
| 早めの<br>発話開始                     | NS-NNS 会話平均 | 14 (14.9%)                    | 80 (85.1%)                             | 94                |
|                                 | 母語話者** (47) | 2 (4.3%)                      | 45 (95.7%)                             |                   |
|                                 | 学習者** (47)  | 12 (25.5%)                    | 35 (74.5%)                             |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 25 (34.2%)                    | 48 (65.8%)                             | 73                |
| ターン<br>取りの<br>ための<br>割り込み<br>発話 | NS-NNS 会話平均 | 11 (11.5%)                    | 84 (87.5%)                             | 96<br>(1)         |
|                                 | 母語話者 (47)   | 4 (8.5%)                      | 42 (89.4%)                             |                   |
|                                 | 学習者 (49)    | 7 (14.3%)                     | 42 (85.7%)                             |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 22 (24.2%)                    | 69 (75.8%)                             | 91                |
| 差し<br>はさみ                       | NS-NNS 会話平均 | 1 (7.7%)                      | 12 (92.3%)                             | 13                |
|                                 | 母語話者 (7)    | 0                             | 7 (100.0%)                             |                   |
|                                 | 学習者 (6)     | 1 (16.7%)                     | 5 (83.3%)                              |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 10 (50.0%)                    | 10 (50.0%)                             | 20                |
| 働きかけ<br>の<br>割り込み<br>発話         | NS-NNS 会話平均 | 29 (30.5%)                    | 66 (69.5%)                             | 95<br>(1)         |
|                                 | 母語話者 (7)    | 2 (28.6%)                     | 5 (71.4%)                              |                   |
|                                 | 学習者 (88)    | 27 (30.7%)                    | 61 (69.3%)                             |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 14 (28.0%)                    | 36 (72.0%)                             | 50                |
| ターンの<br>重なり                     | NS-NNS 会話平均 | 2 (25.0%)                     | 6 (75.0%)                              | 8                 |
|                                 | 母語話者 (4)    | 0                             | 4 (100.0%)                             |                   |
|                                 | 学習者 (4)     | 2 (50.0%)                     | 2 (50.0%)                              |                   |
|                                 | NS-NS 会話 平均 | 0                             | 5 (100.0%)                             | 5                 |

\*\*ここで母語話者というのは、学習者に割り込まれた後の母語話者の視線行動、学習者というのは母語話者に割り込まれた後の学習者の視線行動をさす。

以上ここまで、NS-NNS 会話 での各割り込み発話と視線行動について見てきた。それをまとめると、次のようなことが言える。

著しい特徴として、割り込み発話をめぐっても全般的に母語話者が相手（学習者）に視線を送る比率が高くなっているということが挙げられる。NS-NS 会話 では早めの発話開始やターン取りのための割り込み発話の場合、



普通の話者交替と同じように割り込んでターンを取ろうとする参加者が視線を相手からはずす傾向が見られたが、NS-NNS 会話では、この二つの割り込みの場合でも、母語話者は相手に視線を向けたまま行っていることが明らかになった。また働きかけの割り込み発話の場合は、NS-NS 会話でも聞き手としての視線行動と同じで相手に視線を向けたまま割り込まれることが多かったが、NS-NNS 会話の母語話者の場合では、その比率がさらに高くなっていることが観察された。

また同じ母語話者が母語話者同士で話した場合と学習者と話した場合とを比べると、学習者と話した場合の方が、各割り込みでも視線を向ける比率が多くなっていることが明らかになった。

#### 6.3.4 NS-NNS 会話における各割り込み発話の特徴や機能

この節では、各割り込み発話が NS-NNS 会話ではどのように現れるか、その特徴や機能について述べていく。

##### 6.3.4.1 早めの発話開始

早めの発話開始は、ターンが完了する直前に、完了することを見越して新たなターンを割り込ませるものである。倒置や付け加えのことばなどがある場合や、ターンの完了が予測できる場合に起こる。

NS-NNS 会話での用いられ方は、母語話者では働きかけの割り込み発話、ターン取りのための割り込み発話に次いで第3番目、学習者ではターン取りのための割り込み発話と並んで第1番目という結果になっている。

NS-NS 会話においては、この早めの発話開始はターンの完了を見越して新しいターンを開始させるタイプのものが多く、また視線行動の面からは、通常の話者交替と同じように、割り込んで新しいターンを始めようとしている会話参加者が相手から視線をはずす、ということが観察された。

NS-NNS 会話においては、母語話者も学習者もほとんどがターン完了の予測ができるような場合の発話開始が多かった。

視線行動について、母語話者は、新しいターンを割り込ませる場合でも相手（学習者）から視線をはずさないケースが目立ったのが特徴である。例(1)でその様子を見てみる。

(1) (学習者が夏休みは悲しかったと述べている会話)

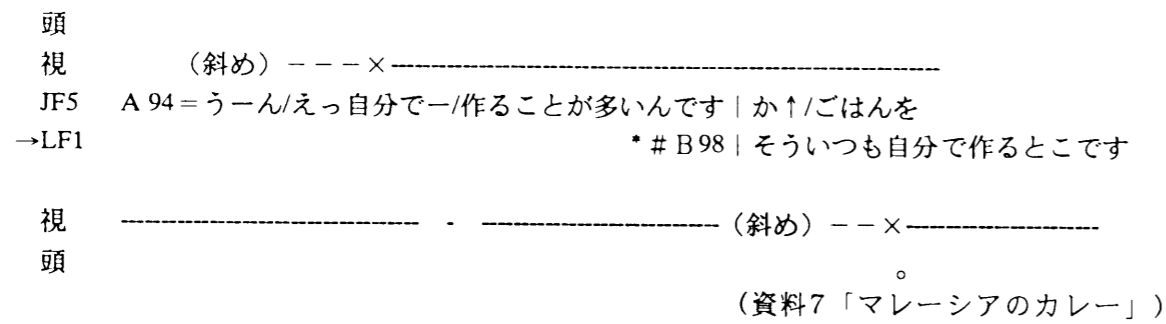
|      |                           |                                       |     |
|------|---------------------------|---------------------------------------|-----|
| 頭    | 確認するような手ぶり                | ○。                                    | 。。。 |
| 視    | -----                     |                                       |     |
| →JF6 | わかりまし/わかったんです！よね↑         | *# Y16   あ、わかりません                     |     |
| LF2  | # P15   うん//わかっ/わかりませんでした |                                       |     |
| 視    | -----                     |                                       |     |
| 頭    |                           | 首の横振り                                 |     |
| 頭    |                           | ○○                                    | ○。  |
| 視    | ----- (斜め) --- × -----    |                                       |     |
| JF6  | でした   /わからないけど悲しかった       |                                       | あっ  |
| →LF2 | うん                        | # P16   うん///はい (p1.5) そー私のボーイフレンドは！/ |     |
| 視    | ----- (斜め下) -----         |                                       |     |
| 頭    |                           | 。                                     |     |

(資料8「悲しい夏休み」)

例(1)では学習者が「夏休みは悲しかった」と述べたのに対し、母語話者が何故か、その理由はわかっているのかと質問している部分である。その質問に学習者は言い間違いなどをしたために、わかっているかわかっていないかはっきりしなくなっている。そこで母語話者がここまでのやり取りをまとめるように「あ、わかりませんでした、わからないけど悲しかった」と発話を割り込ませている。このときJF6の視線はずっと学習者に向けたままで、学習者の言おうとしていることを何とかくみ取ろうとしているようである。

学習者の側は、同じように早めの発話開始をする際に、通常の話者交替と同様に、相手に視線を向けるよりもはずす方が多かった。例(2)にその様子を示す。

(2) (料理を自炊するかどうかの話題)



(2) ではJF5 が「自分で作ることが多いんですか↑ごはんを」と言って質問している。このとき「ごはんを」の部分は倒置されたことばであるために、学習者のターンが早めに割り込まれている。このときの学習者の視線行動は、普通の視線行動と同じように、いったん相手から視線をはずしていることが分る。

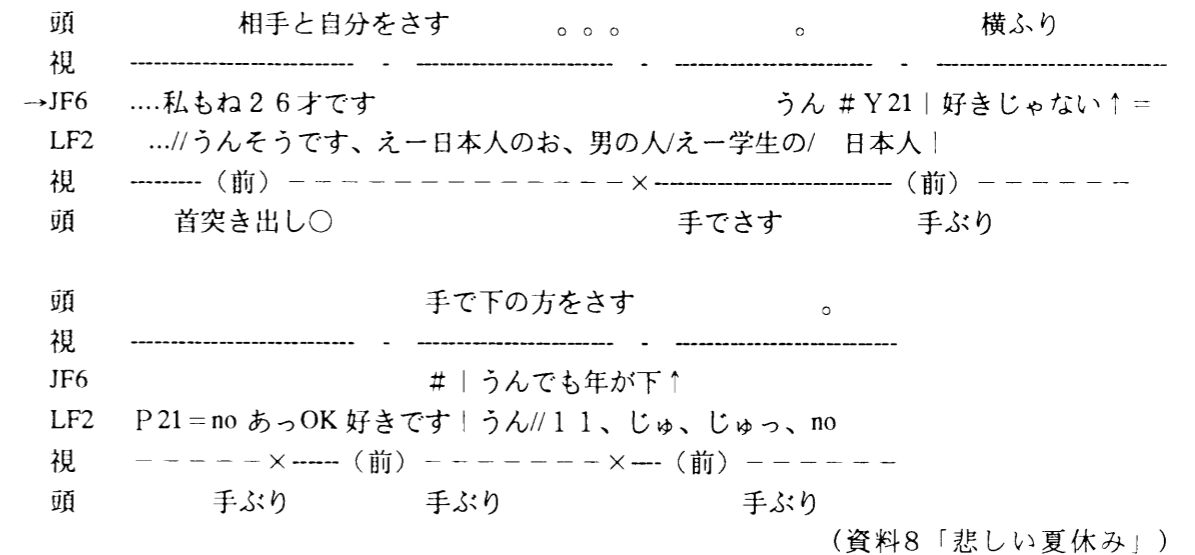
最初の発話開始の機能としては、母語話者同士の会話でも述べたように、会話参加者の積極的な関与とすることができる。

6.3.4.2 ターン取りのための割り込み発話

ターン取りのための割り込み発話は、NS-NNS 会話で母語話者も学習者も比較的多く用いている(母語話者が197例のうち49例、学習者が115例のうち47例)(表6-13参照)。

ターン取りのための割り込み発話での視線行動は、NS-NS 会話では通常の話者交替に近いものがあったが、今回見た NS-NNS 会話では、母語話者も学習者も、割り込んでターンを始める際に相手から視線をはずさない方が多かった(母語話者は65.3%、学習者は55.3%)。TRP ではないところで、相手の発言権を取って新しいターンを始めるような場合でも、視線を相手に合わせながら行っている様子が見て取れる。この様子を実際の例で見てみよう。

(3) (日本人の男子学生はボーイフレンドとしてどうかという話題)



(3) の例では学習者 LF2が「日本人の男の人、えー学生の日本人」と言って日本人の学生について何か言おうとしているのだがなかなかうまく言えないでいるところに、母語話者が助け船を出すような先取りで「好きじゃない↑」と割り込んでいる。ここでの母語話者は、じっと学習者に視線を向けたままである。学習者の方の視線行動は「..学生の日本人」と言ったところで視線を相手からはずしているのだらうことが窺われる。

また後に割り込みの機能のところでも触れるが、NS-NNS 会話では(3)のように、ターン取りのための割り込み発話であっても、母語話者が学習者を助けるような形でなされる先取りや確認、質問などが多く見られた。このようなものでは、視線行動も学習者に視線を向け、反応や表情を確認しながらなされていることが観察されるのである。

しかし、同じターン取りのための割り込みでも(3)のように母語話者が学習者の発話を補うタイプのものとは違って、次の(4)の話し手のターンの妨害の割り込みの場合は、相手から視線をはずしている。

(4) (LF1の友人が東京へ行っているという話題)

頭 ○。 ○。  
 視 ----- (斜め) --x----- (斜め) --x -----  
 →JF5 # | あー東京へ↑//うーん うん A 53 | 10月からはまた金沢  
 LF1 ...昨日あさー// | うん友達とあのー約束あるですから、うん | ぼっ  
 視 ----- (斜め) -----x-----  
 頭 ぶつかったところで凝視しあう

頭  
 視 -----  
 A 大学にいますか↑// | Bさんは A 54 =はい  
 B # B 54 | 10月から↑/私↑ =  
 視 -----  
 頭

(資料7「マレーシアのカレー」)

例(4)では、ここまで二人はLF1の友人の留学生Rのことを話題にしていて、昨日の朝Rは東京へ行っていて今は部屋にいないという話をしている部分である。LF1が「...友達とあのー約束あるですから、うん、ぼっ」と何かを言いかけているところに、JF5が「10月からはまた金沢大学にいますか↑Bさんは」と、それまでの話題と関連のない発話を割り込ませたために、LF1は自分のターンを断念している。

ここでの視線行動はまずLF1が「...約束あるですから、うん、..」と言ったあたりでそれまで母語話者に向けていた視線をはずしているの、ここからまだ何かを言おうとしていた可能性がある。そこに割り込んだJF5の視線は、いったん学習者から視線をはずして、そして割り込んでいることが分る。

次に、ターン取りのための割り込み発話の機能について調べていく。

第5章で述べたように、ターン取りのための割り込み発話の機能には、1) 話し手のターンの妨害、2) 話し手のターンの継続、3) 話し手のターンへの支援(情報の要求や提供、訂正や確認、調子合わせなど)、4) 話し手と協働、の4つがある。NS-NNS会話でのこれらの機能と出現数を、表6-20に示す。

これによると、NS-NS会話では話し手のターンの継続(39.6%)と話

し手のターンへの支援(35.2%)が多く、話し手のターンの妨害(16.5%)は少なかった。一方、NS-NNS会話で最も多かったのは話し手のターンの継続で、母語話者、学習者平均で57.3%、学習者のみでは80.9%にものぼる。また母語話者だけを見ると、学習者のターンを支援するタイプの機能が多く観察された(57.1%)。話し手のターンを妨害するものは8.3%と少なかった。

表6-20 ターン取りのための割り込み発話の機能と出現数:  
 NS-NNS会話とNS-NS会話

| 機能          | NS-NNS会話 |           | NS-NS会話   |
|-------------|----------|-----------|-----------|
|             | 総数(96)   |           |           |
| 話し手のターンの妨害  | 総数(96)   | 8(8.3%)   | 15(16.5%) |
|             | 母語話者(49) | 4(8.2%)   |           |
|             | 学習者(47)  | 4(8.5%)   |           |
| 話し手のターンの継続  | 総数(96)   | 55(57.3%) | 36(39.6%) |
|             | 母語話者(49) | 17(34.7%) |           |
|             | 学習者(47)  | 38(80.9%) |           |
| 話し手のターンへの支援 | 総数(96)   | 32(33.3%) | 32(35.2%) |
|             | 母語話者(49) | 28(57.1%) |           |
|             | 学習者(47)  | 4(8.5%)   |           |
| 話し手と協働      | 総数(96)   | 0         | 7(7.7%)   |
|             | 母語話者(49) | 0         |           |
|             | 学習者(47)  | 0         |           |
| 不明          |          | 1(学習者)    | 1(1.1%)   |
| 合計          | 総数(96)   | 96        | 91        |
|             | 母語話者(49) | 49        |           |
|             | 学習者(47)  | 47        |           |

表6-20によると、母語話者は話し手のターンへの支援の割り込み発話を多く用いていた。学習者のターンに対して、情報を提供したり、確認したり、先取りしたりする割り込み発話で支援するのは、上に述べた例(1)や(3)にも見られるもので、母語話者が母語話者としての役割を果たそうとする現れかと思われる。

一方学習者の方は、話し手のターンの継続の機能が多く用いられていたが、このタイプの割り込み発話は、話し手のターンの内容を継続し展開するタイプのもので、通常の話者交替に比べると言ってみれば早すぎる発話開始、と呼べるものである。学習者のこのタイプの割り込み発話の用い方を例(5)で見よう。

(5) (留学生の指導教官とどのように話をしているかについての話題)

|      |                                                |                        |
|------|------------------------------------------------|------------------------|
| 頭    | ○。。                                            | 「互い」の手ぶり               |
| 視    | -----                                          |                        |
| JM6  | # T59   うん、そのC大の先生とは   //どのぐらいコミュニケー   ション     |                        |
| →LM2 | 話せますか↑   //オーケー                                | (吸気) N60   あーどの        |
| 視    | ×-----                                         | (斜め前) ----- (正面) ----- |
| 頭    | 。。。。                                           |                        |
| 頭    |                                                |                        |
| 視    | ----- (手元) -- × -----                          |                        |
| JM6  | うん                                             | うん                     |
| LM2  | ぐらい、そうです、あの-///あ-C大学   で-//えい (p1.2) C大学へ   // |                        |
| 視    | ----- (手元) -----                               |                        |
| 頭    | 首傾げ                                            | 。                      |

(資料6「能登へのドライブ」)

例(5)では学習者の日本語がまだ必ずしも十分でないために、C大学の指導教官とはどのように研究の話などをしているのかということについて話している。ここで母語話者であるJM6が「そのC大の先生とはどのぐらいコミュニケーション」と言っている途中で学習者LM2が「あーどのぐらい、そうです、あの-...」とターンを取って話し始めている。母語話者はたぶん「どのぐらいコミュニケーションできるんですか」などと質問しようとしているのだと思われるが、学習者はターンの完了を予測して割り込むことができたというよりは、「どのぐらい」という部分にのみ反応して自分のターンを開始していると考えられる。このように学習者のターン取りのための割り込み発話には、ターンの完了を見越した割り込みというより、学習者にとって捉えやすかった発話の部分に反応して、早すぎるターンの開始をしたような割り込みが目立ったことが一つの特徴である。

### 6.3.4.3 差しはさみ

本章で扱う NS-NNS 会話 で、差しはさみの例はあまり多く見られなかった。割り込み発話全312例のうち差しはさみは13例(4.2%)で、母語話者によるものが6例、学習者によるものが7例であった。したがってここでは、NS-NNS 会話 での差しはさみに見られる特徴といったことはあまり指摘することができない。

また視線行動についても、NS-NS 会話 に見られたような、差しはさみでは割り込まれた側が他の割り込み発話に比べて視線を送っていないというような現象は確認できなかった。

### 6.3.4.4 働きかけの割り込み発話

働きかけの割り込み発話は、聞き手が話し手のターンに発話を割り込ませるが、ターンを取ることはなく、そのまま現在の話し手が話を続ける。また割り込まれた働きかけの割り込み発話は、話し手のターンに対してあいづちと違って実質的な働きかけをする、というものを指す。また NS-NS 会話 では働きかけの割り込み発話に対して、話し手がターンの中で何らかの応答をすることが多く見られた。

本章のNS-NNS 会話 では、312例のうち95例観察され、母語話者が用いたものが88例、学習者が用いたものが7例と、圧倒的にほとんど母語話者が用いていることが分る。この理由として考えられるのは、6.3.2でも述べたように NS-NNS 会話 の資料では学習者が長いターンを取って、母語話者の方が聞き手となって聞いているような会話が多かったことが挙げられる。しかしさらに、学習者の日本語能力の不十分さを、働きかけの割り込み発話で補いながら聞いている可能性がある。この点について、ここで用いられた働きかけの割り込み発話の機能を分析することで、検証していきたい。

働きかけの割り込み発話の機能としては、1) 情報の要求や提供、2) 同意の要求や提供、3) 訂正や確認、4) 感想や補足などのコメント、5) 話の盛り上げや調子合わせ、6) 先取りや先取り唱和、6) その他(独り言や促しな

ど)、が挙げられる。これらの機能の出現数を、表6-21に示す。

表6-21 NS-NNS 会話 での働きかけの割り込み発話の機能と出現数

| 働きかけの割り込み発話の機能 | NS-NNS 会話  |            | NS-NS 会話 |
|----------------|------------|------------|----------|
|                | 総数 (95)    | 母語話者 (88)  |          |
| 情報の要求や提供       | 32 (33.7%) | 27 (30.7%) | 12 (24%) |
|                | 5 (71.4%)  |            |          |
|                |            |            |          |
| 同意の要求や提供       | 3 (3.2%)   | 1 (1.1%)   | 4 (8%)   |
|                | 2 (28.6%)  |            |          |
|                |            |            |          |
| 訂正や確認          | 33 (34.7%) | 33 (37.5%) | 1 (2%)   |
|                | 0          |            |          |
|                |            |            |          |
| 感想や補足などのコメント   | 9 (9.5%)   | 9 (10.2%)  | 13 (26%) |
|                | 0          |            |          |
|                |            |            |          |
| 話の盛り上げや調子合わせ   | 1 (1.0%)   | 1 (1.1)    | 6 (12%)  |
|                | 0          |            |          |
|                |            |            |          |
| 先取りや先取り唱和      | 16 (16.8%) | 16 (18.2%) | 11 (22%) |
|                | 0          |            |          |
|                |            |            |          |
| その他            | 0          | 0          | 3 (6%)   |
|                | 0          |            |          |
|                |            |            |          |
| 合計             | 95         | 88 (不1)    | 50       |
|                |            | 7          |          |
|                |            |            |          |

表6-21によると、NS-NNS 会話 で働きかけの割り込み発話で母語話者が用いた88例のうち、最も多かったのが訂正や確認の機能をもつものである(37.5%)。次に情報の要求や提供(30.7%)、そして先取りや先取り唱和(16.8%)の順になる。学習者が用いた働きかけの割り込み発話は、数が

7例と少なく、その中では情報の要求や提供が5例(71.4%)となっている。

一方 NS-NS 会話 で多く用いられていたのは情報の要求や提供、感想や補足などのコメント、先取りや先取り唱和の3つである。NS-NNS 会話 の母語話者が多く用いた訂正や確認の機能をもつものは多くない。

これをまとめると、NS-NNS 会話 で母語話者は学習者の話に訂正や確認、情報の要求や提供、あるいは先取りをしながら聞き、学習者の方は情報の要求や提供をしながら相手の話を聞いているということになる。この様子を、例で見てみることにする。

まず NS-NNS 会話 の母語話者が多く用いていた訂正や確認の働きかけの割り込み発話を用いた会話の例を(6)に示す。

(6) (学習者が夏休みの旅行で広島へ行きたかったという話題)  
(~~~~~は話し手の応答部分)

頭 自分をさす 髪に手 ○。  
 視 (斜め) ---×----- (斜め) ---×-----  
 JF6 私も行ったことあります(笑い) うーん  
 LF2 # P62 | あ、あー//とてもきれいな所//ソー、ヤー/うーん//広島へ  
 視 ×----- (斜め) -----  
 頭 ○。 横ふり

頭 首突き出し ○。。  
 視 -----  
 →JF6 # | 広島も行ったんですか↑ # | あ、行きたい↑  
 LF2 /// | たい、い、い、いったい/いったい/か//あ、行きたい、行きたいが、うーん  
 視 ---×----- (斜め) -----×----- (斜め下) ----- (斜め) ---  
 頭 ○ ○  
 (資料8「悲しい夏休み」)

この例では学習者が夏休みにいろいろな所へ車で旅行したが、広島へは行きたかったが疲れたので行かなかったという話をしている。ここで学習者が「(広島へ)たい、い、い、いったい...」と発話しているが、母語話者は「あ、行きたい」と働きかけの割り込みをして、正しい言い方にさりげなく訂正している。また学習者の方もそれに応答して、「あ、行きたい」と言い直している。またこのときの視線行動に注目すると、働きかけの割り込み発

話をした母語話者はじっと学習者の方に視線を向けたまま発話しているし、また割り込まれた方の学習者も母語話者からはずしていた視線を、母語話者の働きかけの割り込み発話がなされたところで、母語話者の方に向けている。

もう一つ例を見てみよう。

(7) (学習者の配属先の大学寮の方が部屋が広いという話題)

頭  
視 -----  
JM5  
LM1 .....とても新しいです/えーっとうーん/きれいな部屋えー//ちよっとうーん//B大学の  
視 -----x-----下-----x-----  
頭 ○。 留学生会館を指さす

頭  
視 -----  
JM5 # | 広い↑  
LM1 部屋えー//えー/よりえーC大学部屋えー//広い//広いです広い/あーとてもえー....  
視 ----- (斜め) -----x----- (斜め) -----x-----  
頭 ○。。 (資料5「金のしゃちほこ」)

例(7)は学習者LM1が自分の配属先の大学の寮の方が、今の寮より新しくて広いという話をしているところである。しかしこの学習者の話は語彙が思い出せなかったり、繰り返しなどが多くてなかなか進まない。そこで母語話者であるJM5が、LM1の「C大学部屋えー...」というところに先取りするように「広い↑」と働きかけの割り込み発話を割り込ませている。これによって学習者の話が展開し、また母語話者が学習者の話に参加していることも表されている。ここでの視線行動は、互いに視線を合わせている。

また学習者の方がこの働きかけの割り込み発話をうまく使って、会話を弾ませていることもある。例(8)に示す。

例(8)では母語話者の方が自分の夏休みの話をしていて、これから行く予定のペルー旅行は代金が高いという話をしている。そこにLF1が「うん、何日↑」と質問の働きかけを行い、それに母語話者が応答している部分である。これにより、学習者はただ母語話者の話を一方的に聞くのではなく、積

極的に関与したことになる。ここでの学習者は、視線を母語話者に向けて、働きかけの割り込みを行っている。

(8) (母語話者が夏休みにペルーに旅行に行く話題)

頭  
視 ----- (斜め) -----x----- (斜め) -----  
JF5 A 37=全部で40万ねー// 飛行機// うんと、代も含めて飛行機代と/宿泊代  
→LF1 # | うん/何日↑うん うん そう  
視 -----  
頭 ○ ○ ○

頭  
視 ----- (斜め) x-----  
JF5 泊まる/お金も全部入れて40万でえーと10日間= A 38=10日間↓=  
LF1 うんうん そう B 38=10日間↑=  
視 ----- (斜め) -----  
頭

(資料7「マレーシアのカレー」)

今回見た資料には出てこなかったが、ことばの意味を学習者が働きかけの割り込み発話で質問し、それに母語話者が応答する、というようなものもある。このような働きかけの割り込み発話は、学習者の日本語力の不十分さを補って、かつ会話を活性化させる働きをするのである。

ところで上に述べてきたのは、働きかけの割り込みが行われその働きかけに対して応答が返されている例である。しかし働きかけがなされてもうまく投げ返さないために、働きかけの割り込み発話の効果がうまく現れずに、会話が活性化しない場合もある。例(9)に示す。

(9) (大学の寮の部屋の設備についての話題)

頭  
視 ----- 口を動かす 口に手をあてる  
→JM5 # | あります↑//あー  
LM1 ....広いです広い/あーとてもえーテレビ//テレビ/とー|えー//はいテレビ/テレビと  
視 ----- (斜め) -----x----- (斜め) -----  
頭 ○。。

頭 〇。  
 視 -----  
 JM5 うん # | キッチン↑ | エアコン↓あー  
 LM1 /お手洗い/とーうーんお風呂//とーうーん///何↑ | //エアコン↑エア | コン....  
 視 -----x----- (斜め) -----x-----  
 頭 〇。 数え上げる動作  
 (資料5「金のしゃちほこ」)

例(9)では、学習者 LM1が、大学の寮の設備について数え上げるようにして母語話者に説明している部分である。学習者が「テレビ、テレビ」と繰り返すので、母語話者が話題を促進しようと「あります↑」と働きかけの発話を割り込ませた。しかし学習者はそれに対して「はい」とは応答しているが、その後もずっと一つ一つの設備を数え上げ続けている。

この例は、働きかけの割り込み発話の投げ返し方によってはもう少し会話の展開が違って来たのではないかとも思われるものであり、あまり母語話者の割り込み発話が学習者のターンの支援には役立たなかった例である。

#### 6.3.4.5 ターンの重なり

ターンの重なりは、二つのターンが同時進行するタイプの割り込みであるが、独立して進むのではなく、話し手と聞き手がそれぞれ互いに発話を補完し合いながら展開するものである。NS-NS 会話にもそう多く現れなかったが、NS-NNS 会話でも8例だけであった。

まずは例を示そう。

(10) (学習者の夏休みの旅行についての話題)

頭 〇 〇 〇 〇  
 視 -----  
 JF6 うん # | うん、と、あ//舞鶴で # | あ、あ、あった、うん  
 LF2 P67うん (p1.0) 車は | //私の | 友達と//舞鶴で//ありました | //ソー私は  
 視 ----- (手元) -----x-----  
 頭 手で一点を示す

頭 〇 〇 〇  
 視 -----  
 →JF6 # | まで- (p1.5) 行って (p1.3) で-//車を/で帰ってきました、あー  
 LF2 ここから舞鶴へ | // 電車で/ 行った↑//えー車で///帰りました//うん  
 視 -----  
 頭 戻る手ぶり 〇。  
 (資料8「悲しい夏休み」)

(10) の前の部分の会話は内容が複雑で、学習者 LF2が車で友人と関西方面に旅行に出たが、疲れたので自分だけいったん電車で帰宅し、また舞鶴で友人と落ち合って車で帰ってきたという話である。ここではまず母語話者 JF6が「(舞鶴) まで-」と先取りの働きかけのような割り込みをし、そのあと学習者の方が「(舞鶴へ) 行った↑」と上昇イントネーションで発話している。これはたぶんこの言い方でいいか尋ねるようなつもりの発話で、それに対して母語話者が「行って」と言い直し、さらに学習者が発話を続けた部分を、また母語話者がまとめる、というようにターンが進んでいる。ここでの視線行動は、ずっと互いに視線を合わせている。

この例は、NS-NS 会話に見られたような互いの発話を補完し合うという形ではなく、母語話者が学習者の発話を側面から支えるような形で進んでいることが分る。ここでも母語話者が割り込み発話を用いて、母語話者として学習者のターンを支援していこうとする姿勢が窺われる。

#### 6.4 考察：日本語母語話者と日本語学習者の会話における割り込み発話の果たす役割

ここまでは日本語母語話者と日本語学習者との会話において、各割り込み発話はどのように現れるのか、また視線行動との関連や特徴はどうか、どのような機能が多く用いられているのかなどについて、主に母語話者の割り込み発話に注目して見てきた。本節では、割り込み発話というものが、日本語母語話者と日本語学習者という、異なる母語話者同士で、しかも母語話者から見ると、日本語という自分の言語で話をする際に、どのように会話の中で機能しているのかについて考えていきたい。

6.4.1 日本語母語話者と日本語学習者の会話における割り込み発話の特徴

NS-NNS 会話 に現れる割り込み発話の特徴としてまず挙げられるのは、割り込むのは母語話者の方が学習者より多いということである。これまでも、割り込み発話が会話参加者間で社会的な立場や性に差がある場合には、割り込む側と割り込まれる側の比率に差が出るということが報告されてきた。今回の資料は、社会的な立場の差や性差は取り除いたものではあるが、日本語学習者にとって日本語という相手言語による会話であること、また学習者の言語能力がまだ必ずしも十分でない時期であることなどが、母語話者が割り込む比率の高さにつながったと考えられる。

次に割り込み発話と視線行動の関連という点について、NS-NS 会話 では通常の話者交替の視線行動に近い結果が出た早めの発話開始やターン取りのための割り込み発話についても、NS-NNS 会話 の母語話者は相手（学習者）に視線を向けたままであることが多かった。また働きかけの割り込み発話では、もともと割り込んだ聞き手が視線を向けたままでいることが多いものであるのだが、NS-NNS 会話 ではさらに視線を向ける比率が高くなっていた。

これも上に述べたことと重なるが、まず母語話者と学習者は母語が違うということ、また学習者にとって相手言語での会話であるので理解が難しいという認識が互いにあり、そのためにモニタリングをしながら、ターンを取って話したり割り込んだりするのであろうと考えられる。そして母語話者の方が学習者よりも相手を見る比率が高いのは、母語話者であるが故に一層学習者のモニタリングをする必要があるという自覚によるものと思われる。このことについて、さらに割り込み発話の機能面から検証していく。

割り込み発話の機能面から、今回見た NS-NNS 会話 にはどのような特徴が浮かび上がるのだろうか。これまで割り込み発話と立場の差や性差の関連で語られてきたのは、会話の支配ということである。しかし NS-NNS 会話 に見られた割り込み発話は、割り込んだ比率は母語話者の方が高かったものの、機能面では話し手のターンを妨害するようなタイプのものはほんのわずかしかなかった。ターン取りのための割り込み発話の機能でも、学習

者の発話に情報を提供したり確認したり先取りしたりといった、学習者のターンを支援するタイプのものが圧倒的に多かった。

また NS-NNS 会話 で働きかけの割り込み発話が多く用いられているのも特徴の一つだが、そこでも訂正や確認、情報の提供、先取りといった機能が多く見られ、学習者のターンへの支持作業をしていることが分った。

ということは、NS-NNS 会話 の会話参加者は日本語の能力という点で差がある訳だが、そこで用いられる割り込み発話は、会話の支配を目的とするものではなく、会話において母語話者と学習者との差を埋めるもの、つなぐものとして用いられているのではないだろうか。この点をもう少し考えてみる。

6.4.2 日本語母語話者と日本語学習者の会話で割り込み発話が果たす役割

NS-NS会話で割り込み発話が果たす役割は、割り込みが話し手のターンに対して聞き手側の積極的な関与を示したり、また聞き手による働きかけであったりすることで、それが話し手と聞き手の相互交流の流れを強化し、会話を弾ませていくことを既に述べた。

ここまで分析してきたようにNS-NNS 会話 では、割り込み発話は、学習者の日本語力が不十分であることなどのために弱くなりがちな相互交流の流れを、支援して補強するために用いられている。これをモデル図で示すと、図6-1のようになる。

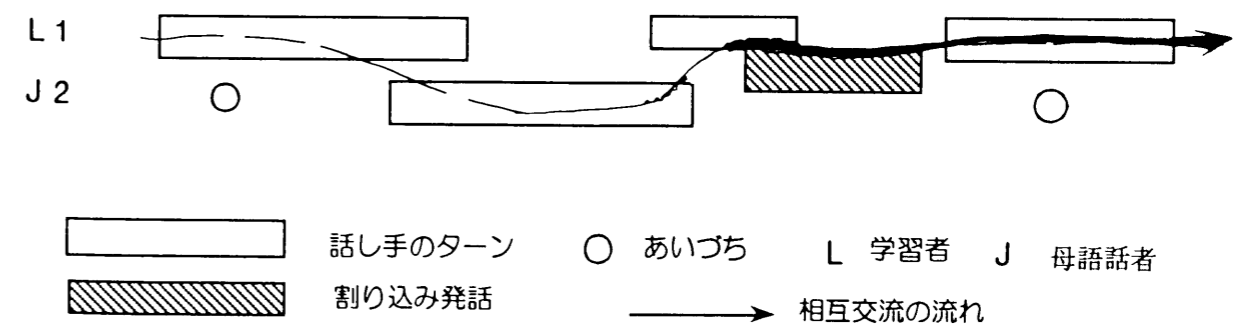


図6-1 母語話者による、学習者のターンを支援する割り込み発話



## 第7章 結論

図6-1は、学習者のターンの中で、分かりにくいところや間違っているような弱い部分を補強するような形で、割り込みがなされる例である。これによって、途切れそうになる相互交流の流れを維持しているのである。

また図6-2は、前節で見たターンの重なるモデル図である。

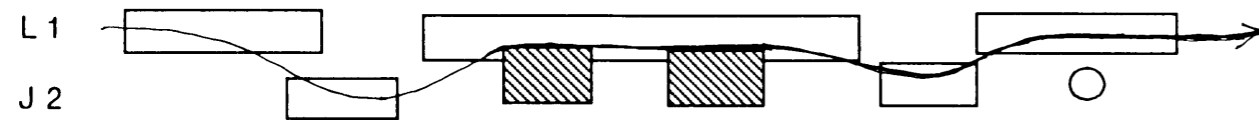


図6-2 NS-NNS 会話におけるターンの重なり

図6-2では、母語話者が学習者のターンのところどころに割り込みをして、側面から支えている様子を表している。

このように NS-NNS 会話 で用いられる割り込み発話は、会話の支配といった権力的なものではなく、会話において母語話者と学習者との差を埋めるもの、つなぐものとして重要な役割を果たしていると言われているのである。

本研究の目的は、日本語の会話の中に現れる割り込み発話の実態を調査し、割り込み発話を通して、日本語の会話での会話参加者同士の相互交流がどのようなものであるかを明らかにすること、および、日本語母語話者同士の会話と比較したときの、日本語母語話者と日本語学習者との会話での割り込み発話の用いられ方の違いから、日本語母語話者と学習者のコミュニケーションの特徴を明らかにすることであった。

割り込みは、これまでの会話分析の研究からは、1) 話者交替システムにおいて、現在の話し手が次の話し手を選ばなかったためにある会話参加者が自己選択で話し手になって、先行の話し手のターンの最後の部分に割り込んだ場合、2) 会話を支配するために、権力的な手段として割り込んだ場合、に生ずるとされてきた。また、積極的な会話へ参加の手段として割り込みが行われるとも指摘されている。しかし日本語の会話において、割り込み発話の全体を取り上げて、割り込み発話にはどのような種類があるか、またコミュニケーション上どのような機能を果たすのかについては、あまりまだ研究されてこなかった。そこで本研究では、実際の日本語の会話資料を言語行動の分析と、視線行動などの非言語行動の観察も加えて分析したところ、いくつかこれまでに言われてこなかったことが明らかになった。

まず、日頃行われている会話の中では、さまざまなタイプの割り込み発話が見られるということである。「さまざまな」と言うのには、三つの局面がある。割り込みの位置、割り込みを行う立場、そして、割り込みの機能という局面である。

割り込みの位置の局面というのは、現在の話し手のターンのどの位置で割り込むのかということである。割り込みを行う立場の局面というのは、割り込みをして聞き手から話し手になるのか、または割り込みをしても聞き手という立場は変わらないのかということである。そして割り込みの機能の局面

というのは、聞き手が行った割り込みが、現在の話し手にとってどのような機能を担ったのかということである。またこれに加えて、割り込みをする側、割り込まれる側の視線行動の観察も重要な要素となる。これら3つの局面と視線行動の観察を合わせて割り込み発話というものを考えることで、初めて多様な割り込み発話の特徴を捉えることが可能になる。

さて、このような考え方で割り込み発話を分類したところ、次の5つに分類できることがわかった。1) 早めの発話開始、2) ターン取りのための割り込み発話、3) 差しはさみ、4) 働きかけの割り込み発話、5) ターンの重なり、である。

1) 早めの発話開始は、現在の話し手のターンの完了直前の部分に割り込むもので、割り込んだ聞き手が話し手になる。2) のターン取りの割り込み発話は、現在の話し手のTRP以外の場所で割り込むもので、割り込んだ聞き手が話し手となる。それに対して、3) はターン取りの割り込み発話が成功しなかったもので、割り込んだ聞き手は話し手になろうとするものの聞き手のままである。1)、2)、3) については通常の話者交替と同じように、ターンを取ろうとするときに相手から視線をはずすという視線行動が観察された。

一方、話し手の交替がないまま、話し手に対して質問やコメントなどの割り込みを行うのが4) の働きかけの割り込み発話で、相手に視線を向けたままでこの割り込みがなされることが多い。また5) のターンの重なりは、割り込みが起こったあと話し手と聞き手の区別が曖昧になり、入り組んで一つのターンを形成するものである。

割り込み発話の機能の局面ということから各割り込み発話を見ると、現在の話し手のターンを妨害するような割り込み発話もあるし、逆にそのような意図がなく会話への積極的な関与のためになされる割り込み発話もある。しかしその出現数からは、妨害的な割り込み発話というのはそれほど多くなく、現在の話し手のターンの内容を継続するものや積極的に関与するするためのもの、話し手のターンを支援するものが多いということが分る。

割り込み発話が、話し手と聞き手との相互交流に果たしている役割として、

ターンを妨害するようなものは相互交流の流れを断ち切ってしまうマイナスの作用がある。ターンの妨害のタイプの割り込み発話が繰り返されると、相互交流の流れが何度も断ち切られることになるので、相互交流の流れが弱く細いものとなってしまふ。

ところがそれに対して、ターン取りの割り込み発話であってもその機能が話し手のターンを支援するタイプのものであると、いったん相互交流の流れを中断するように感じるが、割り込み発話が話し手のターンの内容を継続し、しかも支援する役割があるために、相互交流の流れは少しずつ強くなっていく。働きかけの割り込み発話ではこの特徴がもっとはっきりと現れる。働きかけの割り込み発話がなされると、割り込まれた話し手は働きかけに対して何らかの応答をすることが多く、大きい相互交流の流れの中にさらに小さい局所的な相互交流が生まれる。これが大きい相互交流の流れをもっと強くしていく。

このように、割り込み発話は相互交流を断ち切るものとしてイメージされてきたが、むしろ場合によっては相互交流を堅固なものにすることもあった。割り込み発話は、会話参加者同士のコミュニケーションの中で、話し手と聞き手を、つまり会話参加者同士を、より強くつなぐ仕組みとして機能しているということである。

次に、日本語母語話者と日本語学習者との会話では、この割り込み発話はどのような役割を果たしているのだろうか。日本語母語話者同士で会話をしているときと比べて、母語話者はどのような割り込み発話を用いて学習者とコミュニケーションをしているのか、その割り込み発話にはどのような機能があるのか、母語話者同士の会話のときと違いがあるのか、そういったことに焦点をあてて分析してみると下記のようなことがわかった。

まず母語話者と学習者との会話では、母語話者の方が割り込みを多くしており、特に、働きかけの割り込み発話の出現数が母語話者同士の会話のときに比較して多く現れていた。これは、母語話者が学習者の日本語力の不十分な点を、働きかけの割り込み発話で補いながら聞いている現れであると考え

## おわりに

られる。また、母語話者の用いた割り込み発話の機能について、母語話者が学習者のターンを妨害するようなものはほとんど見られなかった。学習者のターンに対して、情報を提供したり、確認したり、先取りしたり、または学習者の誤りをさりげなく訂正するような、学習者を支援する機能を持つものが圧倒的であった。これは、母語話者として学習者を支援する役割を果たそうとしていることを反映していると思われる。

またもう一つ重要な現象として挙げられるのは、母語話者と学習者との会話では、母語話者同士の会話と比べて、ターンや発話の開始時、割り込み発話時に母語話者が学習者に視線を向けていることが多かったことである。これは学習者の言語能力の不足によってコミュニケーションが滞らぬよう、注意深くモニタリングすることで補おうとしている現れであると言える。

したがって母語話者と学習者との会話では、母語話者は学習者に視線を向けて学習者の意図をモニタリングしつつ、割り込み発話を用いて学習者のターンを支援し補強しながらコミュニケーションを進めていることがわかる。

以上のように、日本語の会話において、割り込み発話は、人と人との関係をより強くつなぐための機能として作用していることが明らかになった。特に母語話者と学習者との会話では、学習者の日本語力が十分でないために、母語話者と学習者との間の相互交流がともすると弱くなったり途切れたりしがちになることがあるが、割り込み発話はその部分をつないだり、側面から支えたりする役割を果たしていることが判明し、日本人と外国人とのコミュニケーション上、重要な役割を果たしていると考えられる。

本研究は、人と人とのコミュニケーションを緊密にするという意味において、割り込み発話が重要な役割を担っていることを明らかにした。もちろん、割り込み発話は、場合によっては人と人との関係を断ち切ることもあるが、会話を会話らしくしている要素の一つであることは確かである。ところが、日本語教育で用いられているテキストや視聴覚教材などで、割り込み発話を取り上げられるのはほとんど皆無である。日本語教材の中の会話は、ある程度理想化され単純化されていることが必要であることは理解できる。しかし割り込み発話が人と人をつなぐのに重要な仕組みであるなら、日本語母語話者と学習者との円滑なコミュニケーションにとっても重要な情報であると思われる。

日本語母語話者と学習者との会話で、母語話者は割り込み発話を頻繁に用いて、学習者とのコミュニケーションを維持しようとしていることが観察された。しかし、学習者にとって母語話者の割り込み発話はうるさく感じられたり、さらには、日本人との会話に対する誤解につながることもあり得る。逆に、学習者の側がこの割り込み発話を利用して、日本人との会話を弾ませることもできる。したがって日本語教育の中では、まず日本語の会話における割り込み発話の役割を、教授者、学習者双方に意識化させることが必要となってくる。ひいては、それが異文化間コミュニケーション理解にも結びつくことになる。

日本語教育の会話教材や教授法の開発には、従来のような会話の文型や語彙表現といった面だけではなく、割り込み発話など人との関係をつくるための機能の面も取り入れることが求められていくであろう。その意味でも、本研究で、割り込み発話を通して、母語話者同士のコミュニケーションの特徴、および、母語話者と学習者とのコミュニケーションの特徴が明確になったことは重要な成果であると思われる。

## 謝 辞

この論文をまとめるにあたり、4年間にわたっていつも丁寧なご指導と温かい励ましを下さいました、金沢大学文学部教授、大瀧敏夫先生に心から御礼を申し上げたいと思います。また、副指導教官として、さまざまなお指導とご助言を下さった金沢大学文学部教授、鹿野勝彦先生、同教授、柘植洋一先生、そして退官なさいました田中宏幸先生にも御礼申し上げます。

私が国立国語研究所で研修生をしていた頃に、談話分析をはじめて手ほどきして下さいました西原鈴子先生（現、東京女子大学教授）、そして修士論文をご指導下さった富山大学教授、鈴木敏昭先生、また、いろいろなお助言を下さった金沢大学留学生センター教授、三浦香苗先生と岡澤孝雄先生にも、厚く感謝を申し上げたいと思います。

この論文は、実際の会話なしにはまとめることはできませんでした。この会話を収集するにあたって、金沢大学留学生センター非常勤講師、古本裕子氏には、たいへんお世話になりました。また会話収集にご協力下さった皆様にも、お名前を出すことはできませんが、感謝の意を表します。

異った専門分野から助言をくれた父、滝浦静雄と、弟、真人に、そしていつも温かく見守ってくれた母、孝子にも感謝したいと思います。

最後に、あらゆる面で支えになってくれた夫の深澤塔一に謝辞を捧げます。

## 参考文献

- 池田裕、池田智子（1996）「日本人の対話構造」『言語』1月号（第25巻 第1号）、pp. 48-55
- 井上史雄（1998）『日本語ウォッチング』（岩波新書540）岩波書店
- 江原由美子、好井裕明、山崎敬一（1984）「性差別のエスノメソドロロジー - 対面的コミュニケーション状況における権力装置 -」『現代社会学』18、アカデミア出版、pp. 165-170
- 岡野喜美子、長谷川ユリ、大塚純子、塩崎紀子、アン・松本・スチュワート（1994）『Total Japanese Conversation 2』、早稲田大学、凡人社
- 岡本能里子（1990）「電話による会話終結の研究」『日本語教育』72
- 荻野綱男編（1997）『言語コミュニケーションに関する研究概観』、平成8年度文部省科学研究費補助金 研究成果報告書
- 小野寺典子（1992）「エスノメソドロロジーにおける電話会話の研究と日本語データへの応用」『日本語学』11巻9号
- 海保博之/原田悦子編（1993）『プロトコル分析入門 発話データから何を読むか』新曜社
- 木村大治（1995）「バカ・ピグミーの発話重複と長い沈黙」『アフリカ研究』46、pp. 1-19
- 久保田真弓（1994）「コミュニケーションとしてのあいづち - アメリカ人と日本人に見られる表現の違い -」『異文化間教育』No. 8、アカデミア出版会
- 熊谷智子（1997）「はたらきかけのやりとりとしての会話」『対話と知 談話の認知科学入門』茂呂編、新曜社
- 国立国語研究所（1987a）『国立国語研究所報告92 談話行動の諸相 座談資料の分析』三省堂
- （1987b）『日本語教育映画基礎編総合文型表』日本シネセル
- 社会言語学研究会（1994）『第1回社会言語学研究会 予稿集』
- ザトラウスキー、ポリー（1991）「会話分析における「単位」について - 「話段」の提案」『日本語学』10巻10号、明治書院
- （1993）『日本語の談話の構造分析 - 勧誘のストラテジーの考察 -』くろし

- お出版
- 渋谷勝己 (1992) 「海外における社会言語学の動向」『社会言語学』真田他、おうふう
- 菅原和孝 (1998) 『会話の人類学 - ブッシュマンの生活世界 (2)』京都大学学術出版会
- 杉戸清樹 (1987) 「発話のうけつぎ」『国立国語研究所報告92 談話行動の諸相 座談資料の分析』三省堂、pp. 69-106
- (1994) 「言語行動が記述したい - 「総合テキスト」の試み-」『第1回社会言語学研究会 予稿集』
- スクータリデス、アリーナ (1981) 「外国人の日本語の実態 (3) 日本語におけるフォーリナー・トーク」『日本語教育』45号
- 滝浦真人 (1997) 「チャレンジコーナー」『言語』11月号 (第26巻第12号) 大修館書店、pp.130-135
- 谷 泰編 (1997) 『コミュニケーションの自然誌』新曜社
- 津田 葵 (1989) 「社会言語学」『英語学体系6 英語学の関連分野』大修館書店
- 津田早苗 (1994) 『談話分析とコミュニケーション』リーベル出版
- 中田智子 (1991) 「発話分析の観点 - 多角的な特徴記述のために」国立国語研究所報告103『研究報告集12』秀英出版
- 西阪 仰 (1995) 「関連性理論の限界」『言語』4月号 (Vol.24 No.4) 大修館書店
- (1996) 「対話の社会組織」『言語』1月号 (Vol.25 No.1) 大修館書店
- 橋本良明、見城武秀、小田切由香子、松田美佐、是永論、福田充、岡野一郎 (1993) 「異文化接触状況の非日常性 - まなざしの予期的過剰調整としぐさのエスノグラフィー」、『東京大学社会情報研究所 調査研究紀要』No. 3、pp. 181-251
- 福井康之 (1984) 『まなざしの心理学 - 視線と人間関係-』創元社
- 藤井桂子 (1997) 「日本語の発話の重なりの特徴」『人間文化研究年報』(お茶の水大学人間文化研究科紀要) 第20号
- 深澤のぞみ (1994) 「発話の重複についての一考察 - 重複を修復するストラテジーをめぐって-」富山大学大学院人文科学研究科修士論文
- (1997) 「会話への積極関与としての割り込み発話 - 異文化間コミュニケーションの会話分析-」『社会環境研究』第2号
- (1997) 「会話への積極関与としての割り込み発話 - 異文化間コミュニケーションギャップとの関連」『平成9年度日本語教育学会春季大会 予稿集』
- (1998) 「異文化間コミュニケーションにおける日本語母語話者の「聞き手性」 - 視線行動を含めた割り込み発話の観察を中心に-」『社会環境研究』第3号
- (1998) 「異文化間コミュニケーションにおける日本語母語話者の役割 - 割り込み発話時の視線行動からわかること-」『平成10年度日本語教育学会春季大会 予稿集』
- 堀口純子 (1991) 「あいづち研究の現段階と課題」『日本語学』10巻10号
- (1997) 『日本語教育と会話分析』くろしお出版
- 本名信行 (1994) 「ノンバーバル・コミュニケーション - 外国人のための日本語教育の中で」『異文化理解とコミュニケーション1 - ことばと文化』本名他編著、三修社
- 水谷信子 (1984) 「日本語教育と話しことばの実態 - あいづちの分析-」『金田一春彦博士古希記念論文集』第2巻、三省堂、pp. 278
- メイナード泉子.K. (1993) 『会話分析』くろしお出版
- (1997) 『談話分析の可能性 - 理論・方法・日本語の表現性-』くろしお出版
- 茂呂雄二、小高京子 (1993) 「日本語談話研究の現状と展望」『国立国語研究所報告105 研究報告集14』秀英出版
- 茂呂雄二編 (1997) 『対話と知 談話の認知科学入門』新曜社
- 山田富秋 (1993) 「テレビニュースの会話分析 - キャスターによるトピック・コントロール」『微視的権力状況における会話分析』(平成2~4年度科学研究費補助金 (総合研究A) 研究成果報告書、代表者 江原由美子)
- 李 麗燕 (1997) 「日本語母語話者の雑談における「情報伝達行動の再開」」『日本語教育』92号
- Argyle, M. and Cook, M. (1976) *Gaze and Mutual Gaze*, Cambridge University Press
- Austin, J. L. (1962) *How to do with words*. (『言語と行為』坂本百大訳 大修館書店 1978年)
- Beattle, G., (1983) *Talk: An Analysis of Speech and Non-Verbal Behaviour In Conversation*, Open University Press
- Blakemore, D. (1992) *Understanding Utterances* (『ひとは発話をどう理解す

- るか』武内他訳 ひつじ書房 1994年)
- Coates, J. (1981) Gossip revisited; language in all-female groups, *Language In Society*, 10:3 pp.383-421
- Duncan, S. (1974) On the structure of speaker-auditor interaction during speaking turns, *Language In Society*, 2, pp.161-180
- Duncan, S. and Fiske, D. (1985) *Interaction structure and Strategy*, Cambridge University Press
- Edelsky, C. (1981) Who's got the floor?, *Language In Society*, 10:3, pp.383-421
- Ferguson, N. (1977) Simultaneous speech, interruptions and dominance, *British Journal of Social and Clinical Psychology* 16, pp.295-302
- Goodwin, C. (1981) *Conversational Organization: Interaction Between Speakers and Hearers*, Academic Press
- Grice, H.P. (1975) Logic and conversation, in Cole and Morgan (Eds.) *Syntax and Semantics*, pp. 45-50
- Jacobson, R. (1960) Linguistics and poetics, in Sebeok (ed.) *Style In Language* (1960: 350-77). (『一般言語学』川本他訳 みすず書房 1973年)
- Jefferson, G. (1972) Side Sequences, in Sudnow, D., *Studies In Social Interaction*, (1972: 294-338)
- Kendon, A. (1967) Some Functions of Gaze-Direction in Social Interaction, *Acta Psychologica* 26, pp. 22-63
- Hymes, D. (1974) *Foundations In sociolinguistics: An ethnographic approach*. University of Pennsylvania Press.
- Leech, G.N. (1983) *Principles of Pragmatics*. (『語用論』池上他訳 紀伊国屋書店 1987年)
- Levinson, S. C. (1983) *Pragmatics*. (『英語語用論』安井他訳 研究社出版 1990年)
- Malinowski, B. The problem of meaning in primitive languages, in Ogden, C. and Richards, I., *The meaning and meaning*. (マリノフスキー「原始言語における意味の問題」、オグデン、リチャーズ『意味の意味』石橋幸太郎訳 新泉社 1967年)
- Psathas, G. (1988) Ethnomethodology as a new development in the social sciences, Lecture presented to the Faculty of Waseda University (サーサス「序論 エスノメソドロジー -社会科学における新たな展開」、サーサス、ガーフィンケル、サックス、シェグロフ『日常性の解剖学 -知と会話-』北澤他訳 マルジュ社 1989年)
- Sacks, H., Schegloff, E.A. and Jefferson, G. (1974) A Simplest Systematics for The Organization of Turn-taking for Conversation, *Language* 50, pp.696-735
- Schegloff, E.A. (1972) Sequencing in conversational openings, in Gumperz and Hymes, *Directions In Sociolinguistics* (1972: 346-380)
- Schegloff, E.A. and Sacks, H. (1972) Opening up Closing, *Semiotica*, 7.4: 289-327 (「会話はどのように終了されるのか」サーサス、ガーフィンケル、サックス、シェグロフ『日常性の解剖学 -知と会話-』北澤他訳 マルジュ社 1989年)
- Searle, J. R. (1969) *Speech acts*. (『言語行為 言語哲学への試論』坂本他訳 勁草書房 1986年)
- Sperbar, D. & Wilson, D. (1986) *Relevance: communication and cognition*. (『関連性理論 -伝達と認知-』内田他訳 研究社出版 1993年)
- Tannen, D. (1984) *Conversational Style: Analyzing Talk Among Friends*, Ablex publishing corporation
- (1986) *That's not what I meant! : How conversational style makes or breaks your relations with others*, Ballantine Books (『「愛があるから・・・」だけでは伝わらない わかりあえるための話し方10章』田丸美寿々訳 講談社 1995年)
- (1990) *You Just Don't Understand!*, William Morrow (『わかりあえない理由』田丸美寿々訳 講談社 1992年)
- (1994) *Gender and Discourse*, Oxford University Press

会 話 資 料





頭 横ふり O。  
 視 (横) --x (斜め) --x  
 K K3ちゅちゅちゅうい夜、夕方夕方、うん//で (p15) そうストープ欲しいな  
 M # | 夕方か  
 視  
 頭 O  
 頭  
 視 (斜め) --x  
 K とか言っ//うん//まだ灯油来てないよな↑/あのー | = (笑い)  
 M ほう # M4 | 知らん=  
 視  
 頭

頭 横ふり  
 視 (下) --x (斜め) --x  
 K K4やーあっちついでる↑//もう↑ KS=えー↑だっ  
 M # M6 | ついでない↑//そーんな寒くないやろ=  
 視  
 頭 横ふり

頭 顔に手 O  
 視  
 K むちゅちゅいよ夕方 (p17) うーん何にも//さーだっって部屋ん中誰もおらなくて  
 M  
 視  
 頭  
 頭 斜めに揺げる  
 視 x  
 K 一人でおってさー (p13) もう//おれんもん寒くて うーん  
 M うーん M7 | おれもこたつ  
 視 (斜め) --x  
 頭

頭 O  
 視 (下) -- (正面) --  
 K (笑い) # K6 | そりゃ寒くない (笑い) ? ? ほんとにねー// (笑い) だー/  
 M つけてる (笑い) そりゃ寒くないな↑ (笑い)  
 視 (下) --x  
 頭  
 頭 O。。 顔に手  
 視 x (下) --  
 K きのうインターネットで遊んどってさー (笑い) だー//遊ぶ方があれだったから  
 M あん  
 視  
 頭

頭 O。  
 視 x (下) --x (下) --  
 K 現実逃避しとって//そのー自分の勉強しなくてさーで、だんだん寒くなってくるし  
 M  
 視  
 頭  
 頭 O。  
 視 x  
 K 帰って帰っちゃった=  
 M M8=インターネットって何↑  
 視 (斜め) --x  
 頭  
 頭 顔に手 O。 O。  
 視 (斜め下) --  
 K K7ネットあー//何て言うの//パソコン通信  
 M # M9 | パソコン通信とは違うの↑//あっパソコン通信↑=  
 視  
 頭

頭 O。  
 視 (斜め) --x  
 K K8 | 通信のー (p13) うん世界的なやつ↑=  
 M | ? / うん M10=何かあるやろ↑ (p13) ゲーム  
 視 (下) --x  
 頭 手振り

頭  
 視  
 K あー  
 M (p11) どっから引っ張って来たり//あるいはオームのは、オームじゃないや  
 視  
 頭 手振り  
 頭 O。  
 視 x  
 K # K9 | うん//情報とか↑=  
 M 地下鉄サリン事件 | のー M11=シュミュレーションゲーム流れとるって | この前  
 視 (下) --x  
 頭  
 頭 手振り  
 視 (斜め) --x (下) --  
 K K10=やそれは知らなかった、でもねー探せるよ、あれだぶん//  
 M テレビでやってたうん  
 視  
 頭

頭  
 視  
 K  
 M うん  
 視  
 頭  
 頭  
 視 (下) --x  
 K きのう探し方やっと思えて (p12) たぶんオームで//引けばターッと出てくる | ん?  
 M うん # M12 | だから  
 視  
 頭

頭 視  
 K 関連の (笑い)  
 M もう一//だからマス/そんな (p.1.3) ダメや (笑い) あの一あれで (p.1.2)  
 視 (下) ---x (斜め) ---x  
 手を振る  
 頭  
 頭 視  
 K (斜め) x  
 K11=え↑  
 M 何っうんや (p.2.1) 何とか的に=  
 視 (上) ---x (下) ---x  
 頭  
 頭 視  
 K O  
 うん  
 M M13ダメや//そういうのは、な、あのゲームはー (p.1.0) あれ  
 視 (上) ---x (下) ---x  
 頭  
 頭 視  
 K (斜め下) x O  
 K12倫理的じゃない↑=  
 M M14=うん倫理的に/あのー (p.1.5) サリン//は//5つぐらい  
 視 ---x  
 頭  
 頭 視  
 K O  
 手ぶり

頭 視  
 K O  
 うん (笑い) うん (笑い)  
 M 持っって//でー地下鉄のどの駅に5個置いたら/死傷者が死者何名負傷者何名って  
 視 (下) ---x  
 頭  
 頭 視  
 K K13 | 出てくるの↑ | (笑い) うん (笑い) うそー  
 M 出て | #M15 | んで/あなたの得点は、って出とって//でそういうのが減れとった  
 視  
 頭  
 頭 視  
 K O  
 うん  
 M から (p.1.1) そのテレビで映っ//てたー2、3/ふたり、一人か二人の/その通信のネット  
 視  
 頭  
 頭 視  
 K うん  
 M の/その人は (p.1.1) そういうの見つけたら/流さんって言っってたけど  
 視 (下) ---x  
 頭

頭 顔に手をやる  
 視 (斜め) ---x  
 K K14あーそういうのじゃあ普通の商用ネットじゃない↑// | 商売用の↑//インター  
 M | そうそうそう そうそうそう  
 視  
 頭  
 頭 顔に手をやる  
 視 (下) ---x  
 K ネットはねもうちょっと違うの/誰でも何か作れる= K15=でー//そう、きのう  
 M うん M16=ふーんそうか=  
 視 (下) ---x  
 頭  
 頭 視  
 K A 大このき//インタ、そのーホームページってあるんだけど/開設しとる//テレビ局  
 M うん  
 視 x  
 頭 OOO  
 頭 視  
 K (下) ---x (下) ---x  
 M みたいややつ↑//があっってー//でそこに合わしたんだった (p.1.1) でしたらさー  
 視 うん  
 頭 O

頭 階上を指さす  
 視  
 K 何か/人文系とかいって書いてあって//で人文系見たらさ//上の、あーUH (学科名) ↑//  
 M うん  
 視  
 頭  
 頭 首傾げ 写真の四角を指で作って示す  
 視 (下) ---x  
 K あすこしか (笑い) まだ作ってなくて// | で何かねー写真とかいって書いて  
 M ふーん  
 視 (斜め下) ---x  
 頭 O  
 頭  
 頭 視  
 K (下) ---x (下) ---x  
 M あるからさー写真とこ見たらさー何か訳わからないそのー (p.1.0) ひH (学科名) の  
 視  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 (下) ---x  
 K 人間の写真がさーこう写っって (笑い) 何でこんなものに//金かけてるん時間  
 M ほん (笑い)  
 視  
 頭

頭 〇。〇。  
 視 x  
 K かけとるんのなんか?? = K16=そそそ上で  
 M M17=それはう/上でそのまま作ったやつか↑ =  
 視 (斜め下) x  
 頭  
 頭 階上を指さす  
 視 |作って流しているうん  
 K # |と/流している  
 M # |と/流している  
 視  
 頭  
 頭 首振り  
 視 (斜め) x (下) x  
 K # |そういう K17=ん↑ =  
 M M18うーん |誰か見とる↑ = M19=誰か見とる↑  
 視 (斜め) x  
 頭  
 頭 手振り  
 視 (斜め) x (下) x  
 K K18 (笑い) わからんこの人間だけじゃない↑ (笑い) でも//どうなのかな↑でも  
 M (笑い) うん  
 視  
 頭

頭 x  
 視 他のごからでもー//それわかればさー住所わかればあの手紙出せるみたいにさー  
 K うん  
 M  
 視  
 頭  
 頭 (下) x  
 視 (p1.0) あのアドレスってあるんだけど//それわかれば (p1.0) 見れるん誰でも  
 K うーん ほう  
 M  
 視  
 頭 O  
 頭 顔に手をやる 机に四角を指で作る  
 視 (下) x (下) x  
 K (p1.6) 世界中どこからでも見れるからー (p1.1) は、だってー//オームとかでも  
 M ぶーん  
 視  
 頭  
 頭 首振り  
 視 x (下) x  
 K 流してる人がいたら//検索かけてー//引っ掛かったら出してくると思うよ  
 M うん ぶーん  
 視 (斜め) x  
 頭

頭 〇。  
 視 x (下) x  
 K 垂れ流し状態//そういうふうになって、んで//うんどっからでも引き出せるけど  
 M ぶーん  
 視  
 頭  
 頭 (斜め) x (下) x  
 視 (斜め) x (下) x  
 K (斜め) x (下) x  
 K かわりにどっからでも流し込めるっていう (p1.0) そういうふうになるとるらしいよ  
 M うん  
 視 (斜め下) x  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 (斜め下) x (下) x  
 K //うんで何かでもおれればさー学生ってか大学だからさ//IDがないんだってあのー  
 M  
 視 (斜め) x  
 頭  
 頭  
 頭 x (下) x (下) x  
 視 (斜め) x (下) x  
 K //ちゃんここにいますよっていう証明したいなやつ//でそれがないからさー  
 M うん  
 視  
 頭 O。  
 頭 〇。  
 視 x (下) x (下) x  
 K 見る人がおらんらしいんだって (p1.3) でーだからー//流し放題っていうかさ/  
 M あーん  
 視 うん  
 頭  
 頭 O。  
 頭 O。

頭 O。  
 視 (下) x  
 K 垂れ流し状態//そういうふうになって、んで//うんどっからでも引き出せるけど  
 M ぶーん  
 視  
 頭  
 頭 (斜め) x (下) x  
 視 (斜め) x (下) x  
 K (斜め) x (下) x  
 K かわりにどっからでも流し込めるっていう (p1.0) そういうふうになるとるらしいよ  
 M うん  
 視 (斜め下) x  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 (斜め下) x (下) x  
 K //うんで何かでもおれればさー学生ってか大学だからさ//IDがないんだってあのー  
 M  
 視 (斜め) x  
 頭  
 頭  
 頭 x (下) x (下) x  
 視 (斜め) x (下) x  
 K //ちゃんここにいますよっていう証明したいなやつ//でそれがないからさー  
 M うん  
 視  
 頭 O。  
 頭 O。

頭 首傾げ 首傾げ ○○  
 視 -----x----- (斜め) -----x-----  
 K 何か買いたいもんアケケートもできんし//手紙も送れんし//うーん買いたいもんもできん  
 M うん  
 視 -----  
 頭 .....  
 頭 首傾げ  
 視 -----x----- (斜め) -----x-----  
 K とか買って//買いたいもんもできてきょうがないと思っただけださー (笑い)  
 M ふーん  
 視 -----  
 頭 .....  
 頭  
 視 ----- (斜め) -----x-----  
 K # K22 | 何かねー//ソフト/いるのかな↑=  
 M M23でそれを作るのは↑//???すに|/お金とかいるの↑  
 視 (斜め) -----x-----  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 K # K23 | うん//でも写真もちゃんと取りこめるしー//うんきれいにしようと  
 M M24=ソフトがいい | うん うん  
 視 (斜め上) -----x----- (下) -----x-----  
 頭

頭 ○  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 K 思ったらすぐ//できるらしいんだけどね (p11) うんそれだからそれでIDが  
 M ----- (下) -----  
 視 -----  
 頭  
 頭 顔に手 首傾げ  
 視 -----x----- (斜め上) x----- (斜め下) -----  
 K 必要なんだって//元が元だから (p11) で一学生が使うからっ//んーないのか//  
 M ほう  
 視 -----x-----  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 x-----  
 K 大学で持ってるから//うん//も持たしてもらえないのかどっちかなんだけださー  
 M うん  
 視 -----  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 (下) -----x-----  
 K K24=うんでも//うん/見とる分にはおもしろいんだけどね全部  
 M M25うーん=  
 視 ----- (下) -----  
 頭 .....  
 頭

頭 .....  
 視 ----- (斜め) -----x-----  
 K 英語だけで//だいたい (笑い) うーん//さすがにA 女のやつは日本語と英語と  
 M -----x-----  
 視 -----  
 頭  
 頭 ○。 顔に手  
 視 ----- (下) -----x----- (下) -----  
 K 両方あってさ (p12) 切り替えができるようになってたけど (p11) 一応  
 M うん ほう  
 視 -----  
 頭 .....  
 頭  
 頭 ○。 首傾げ  
 視 -----x----- (斜め下) -----  
 K 日本語のとこ押してたら日本語で書いてあって (p20) でもあんまり//そう  
 M -----  
 視 -----  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 -----x-----  
 K 何か作ってるのはわかるんだけどさー//そんなにおもしろいもんじゃないからさー  
 M ほう うーん  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭

頭  
 視 (斜め) ----- (下) -----x-----  
 K (p12) やっぱ簡売用のネットとかの方がおもしろいかもしれない  
 M -----  
 視 (斜め) -----  
 頭  
 頭  
 視 M26とんな↑  
 視 (斜め) -----  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 (斜め) -----x----- (斜め) ----- (下) -----  
 K K25ん↑/任天堂 (笑い) のやつとかさ (p14) あとソニーとかもあるし//この前  
 M うーん  
 視 -----x-----  
 頭  
 頭  
 頭 手で四角を作る  
 視 -----x----- (斜め下) -----  
 K 見とったら何か//音楽のやつがあって//で音楽のこう↑ジャケットの表紙って  
 M -----  
 視 -----  
 頭

頭 手ぶり ○

視 (下) -----x-----

K いうかなんていうか妻の//絵とそれから音も出るんだよ、で、あれ (p1.0) ついてる

M うーん うん ふーんほうほうほうほう

視 -----

頭 .....

頭 顔に手

視 下-----x----- (斜め下) -----

K //で音のファイルと映像のファイルがあって//でだから2分ぐらいい2分も

M -----

視 -----

頭 .....

頭 顔に手

視 下-----x----- (斜め下) -----

K //で音のファイルと映像のファイルがあって//でだから2分ぐらいい2分も

M -----

視 -----

頭 .....

頭 顔に手

視 下-----x----- (斜め下) -----

K //で音のファイルと映像のファイルがあって//でだから2分ぐらいい2分も

M -----

視 -----

頭 .....

頭 O。。。

視 -----x----- (下) -----

K 思ったらそこで買えるんだけど普通は (笑い) そういうのね何かね//あのー

M ほほう ほほう

視 -----

頭 O

頭 O。

視 -----x----- (下) -----

K 危ないっていうとかって//監視する人がおらんからね//うーんバクられちゃう

M ふーん そうね

視 -----

頭 O

頭 O。

視 ----- (下) -----

K とかっていう話もあるし

M うーん

視 ----- (斜め下) -----

頭 -----

頭 顔をふく

視 (斜め) -----x-----

K K26??? よねだって//でもね (笑い) たいして役に立ただけとねああいうと (笑い)

M -----

視 -----x----- (斜め下) -----

頭 -----

頭 ----- (下) -----

視 ----- (下) -----

K (笑い) K27=いやいやいや、でもおもしろいから

M M27じゃやらなきやいいのに= (笑い)

視 ----- (斜め) -----

頭 横に傾げる

頭 -----x----- (斜め) -----

K ついつい見ちゃうんだけどさー (p1.7) ほんで、あっそうそう、け、今朝さー

M うーん

視 -----

頭 -----

頭 O。

視 -----x----- (下) -----

K イスラエルの何とかっていう人が撃たれたとかっていてあって (p1.0)

M あー あん

視 -----

頭 O。

頭 O。

視 -----x----- (下) -----

K //あれもねきのうの時点でね出た (p1.1) イスラエルのプライムミニスター

M ふん

視 -----

頭 -----

頭 O。

視 ----- (下) -----

K だっけ↑ (p1.4) あのー//首相 (p1.2) イスラエルプライムミニスター//

M # | 首相うん

視 ----- (上) -----x-----

頭 -----

頭 -----x-----

視 -----x-----

K ワズ、キルドだったかな何かそんなような// | 暗殺されたとかって書いて

M ふーん | モ?

視 ----- (斜め下) -----

頭 -----

頭 O。

視 ----- (下) -----

K | あって # K28 | そうそう出とる//で、あっ

M # M28 | そんな新聞みたい、じょう、そういう情報も出してる

視 -----x-----

頭 -----

頭 顔に手をあてる

視 -----x-----

K 大手のね新聞も出してるんだ (p1.1) この前さ中田新聞で暮ってなかった↑

M あー

視 -----

頭 -----

頭 O。  
 視  
 K あのー (p.1.0) 閉局しましたとかいってイン|ターネットで (笑い) んで  
 M # | あインターネット うん  
 視  
 頭 首傾げ  
 頭 首傾げ 手振り O。  
 視 (下) (下) (下) --- x  
 K /3 ページぐらいの/間に挟まってるの= # | んで K29=うーん//わかればね  
 M M29=ほー | それ見える↑ =  
 視 (上) (上) --- x  
 頭  
 頭 首傾げ O。 O。  
 視 (下) --- x (下) --- x  
 K たぶん中日なんとかかって書きゃあ (p.1.1) 検索してくれると思うんだけどさ (p.1.1)  
 M うーん  
 視  
 頭

頭 手で教える様子  
 視 (下) --- x (上) ---  
 K あと朝日と読売と// (吸気) どこだろう (p.1.9) 何か大きいところの新聞=  
 M M31=朝日、読売  
 視  
 頭  
 頭 。。。 横ふり  
 視 x (下) (下) ---  
 K K31=産経か、うん、それぐらいはあるらしい (p.1.1) (笑い) 見たこと  
 M 産経= ほうほう  
 視 x (下) ---  
 頭  
 頭 O。 横傾げ 手振り  
 視 x (下) ---  
 K ないけど (笑い) うーんそれも//うん朝日ーもーたぶん朝日って入れれば  
 M  
 視  
 頭  
 頭 x  
 視 x  
 K 見れると思うんだよね=  
 M M32=ほーその、だ、きのうの大統領のは何で見たの↑  
 視 (斜め下) --- x  
 頭

頭  
 視 (上) --- (下) --- x (下) ---  
 K K32それはね検索のや?? (p.1.1) ヤッフーっている何か有名な検索の  
 M ふーん  
 視  
 頭  
 頭 O。 手でパソコン画面を示す動作  
 視 (下) (下) --- x (斜め) --- x  
 K やつがあって//でー (咳払い) そこに//パッと出て何だろう | これっ (笑い)  
 M うん # M33 | あっその題名?  
 視 (斜め下) --- x  
 頭 手で題を示す動作  
 頭 O。  
 視 (手元) --- x (斜め) ---  
 K K33 題名、題名のね//下にねイスラエルの//が死にました、死にましたじゃない  
 M ふーん  
 視  
 頭  
 頭 横傾げ  
 視 (斜め) --- x  
 K 殺されましたって出て (p.1.0) んこれは何かジョークかなんかかって思っ  
 M ふーん  
 視  
 頭 。。。 横ふり

頭 O。 横傾げ  
 視 (斜め) ---  
 K 見とったら今朝/新聞 | (p.1.2) 載った//うん、たぶん//でもテレビと  
 M # | ほー結構早いや//情報としては  
 視 (斜め) --- x  
 頭  
 頭 x  
 視 x  
 K 変わらんかもしれん  
 M  
 視  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 (斜め) --- x  
 K # K34 | やった↑ //テレビじゃやってないよ  
 M M34 そう↑でもきのうテレビ | # M35 | や//夜中はやっ、夜中は  
 視 斜め --- 斜め下 ---  
 頭  
 頭  
 視  
 K  
 M 見てないけど  
 視  
 頭 横ふり

頭 O。  
 視 -----x----- (F) -----  
 K ぶーん、あと何かテレビ局のやつもあるらしいんだけど  
 M -----  
 視 -----  
 頭 -----

頭 O。 首傾げ  
 視 -----x----- (斜め) -----x-----  
 K38=わからん (p1.1) それって日テレとかさ  
 M M38ふーん何、番組表け↑ (笑い) =  
 視 -----x----- (斜め下) -----  
 頭 -----

頭 首傾げ  
 視 (斜め) -----x----- (F) -----x----- (F) -----  
 K37うんおれも今日の新聞見てみてアッって思ってー (p1.9) (笑い) だけど  
 M うん  
 視 -----  
 頭 -----

頭 O。  
 視 -----x----- (斜め) ----- (F) -----x----- (F) -----  
 K (p1.2) 何かそれも即時性っていうんですか↑ (p1.5) もーあるらしい (p1.4)  
 M うーん  
 視 ----- (F) -----  
 頭 鼻をかく  
 。。。。。。

頭 O。  
 視 -----x----- (F) -----  
 K ぶーん、あと何かテレビ局のやつもあるらしいんだけど  
 M -----  
 視 -----  
 頭 -----

頭 O。 首傾げ  
 視 -----x----- (斜め) -----x-----  
 K38=わからん (p1.1) それって日テレとかさ  
 M M38ふーん何、番組表け↑ (笑い) =  
 視 -----x----- (斜め下) -----  
 頭 -----

頭 首傾げ  
 視 (斜め) -----x----- (F) -----x----- (F) -----  
 K37うんおれも今日の新聞見てみてアッって思ってー (p1.9) (笑い) だけど  
 M うん  
 視 -----  
 頭 -----

頭 O。  
 視 -----x----- (斜め) ----- (F) -----x----- (F) -----  
 K (p1.2) 何かそれも即時性っていうんですか↑ (p1.5) もーあるらしい (p1.4)  
 M うーん  
 視 ----- (F) -----  
 頭 鼻をかく  
 。。。。。。

頭 首傾げ  
 視 (斜め) -----x----- (F) -----  
 K40それって日テレとかね|何かすごいむかつく//らしいけど//見たら (p1.1)  
 M # | うん//|しょうがない  
 視 -----x----- (斜め下) -----  
 頭 。。。。

頭 顔に手をあてる  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 K あのーBBTがさーやととったやんあのー//あれとか誰やったっけ女優の  
 M うん  
 視 -----x-----  
 頭 。。。。

頭 顔に手  
 視 -----x----- (横) -----  
 K (p2.7) | あのー (p1.7) あれやおニャン子の (p1.8) | あのー (p3.1)  
 M | ?? # | BBT誰だっけなー  
 視 ----- (上) ----- (上) -----  
 頭 -----

頭 顔に手  
 視 ----- (横) -----  
 K ださい観とか何かそんな (笑い) 何かやるんだけど//だっさいー夫とか  
 M -----  
 視 -----x-----  
 頭 。。。。

頭 指さし  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 K 何かそんな結婚式の時の呼ばれる/で (p1.5) んで富士テレビがいいよーとか  
 M うん うん  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 。。。。

頭 O。  
 視 -----x----- (F) -----x-----  
 K っていう//コピート↑ (p1.4) あれ誰だっけ↑あれ (p1.0) 国生だ国生//  
 M ああーん はー  
 視 -----  
 頭 OO。 首傾げ  
 。。。。

頭 顔に手  
 視 ----- (斜め) -----x-----  
 K 国生が出てくる (p1.7) あれに (笑い) あれに対抗しとるんじゃないかと  
 M -----ん うん  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 頭 頭をかく

頭 x- (F) -x- (F) -----  
 K //あれフジの系列でしょ↑ (p1.2) で (笑い) フジの系列に対抗して  
 M ふん  
 視 (斜め下) -----x-----  
 頭 。。。。

頭 視 -----x-----  
 K 日テレは作った  
 M -----  
 視 -----  
 頭 .....  
 頭 視 -----  
 K M41あのもう1個のやつあるやろ↑//あのへそ出すのもいい//とかいう??か  
 M (上) -----x-----  
 頭  
 頭 横ふり  
 視 (下) -----x----- (斜め下) -----  
 K #K41わからん K42|それアジ↑=  
 M (笑い) #|あの M42=そうそう//んで外泊もいけどー  
 視 -----  
 頭  
 頭 首傾げ 顔に手  
 視 x----- (斜め) -----  
 K #|あの- #K43|見えない-あれでも=  
 M そんな目で見るとかいうの//| (笑い) あれもたぶん|  
 視 ----- (下) ----- (横) -----x-----  
 頭 首傾げ

頭 O。  
 視 -----  
 K #M43=B B Tがいるよーやと???  
 M -----  
 視 -----  
 頭  
 頭 .....  
 頭 視 (斜め) -----x-----  
 K K44あの-//外歩いてるやつ↑女の子が=  
 M M44=違う違う、うちの部屋で電話  
 視 -----  
 頭 横ふり 手振り電話のマネ  
 頭 O  
 視 -----  
 K うん  
 M してって (p12) あれなん (p20) 何か/岸部一徳じゃないんかなー  
 視 ----- (下) -----  
 頭  
 頭 O O  
 視 ----- (上) -----x-----  
 K あー-徳 うん  
 M 違うかな↑//お、おやじが  
 視 -----x-----  
 頭

頭 首傾げ  
 視 (斜め) ----- (下) -----  
 K (吸気)  
 M M45うん (p22) それがいつもやとった  
 視 -----  
 頭  
 頭 視 (下) -----x----- (下) -----x-----  
 K K45や-見えないかもしれない//気づいてないだけかもしれない|見とるのに  
 M ぶーん #M46|じゃその日テレ  
 視 (下) ----- (下) ----- (下) -----x-----  
 頭 目をふく  
 頭  
 頭 視 -----  
 視 -----  
 K のやつA (地名) でやってない↑  
 M -----  
 視 -----  
 頭  
 頭 首傾げ 横ふり  
 視 (斜め) -----x----- (斜め) -----x-----  
 K K46あんまりじゃ見たことない|と思う #K47|何かね  
 M #M47|見たことないよな↑|??  
 視 ----- (上) -----  
 頭 横ふり

頭 首傾げ  
 視 ----- (下) -----  
 K 雑誌とかでね-//書いてある (p17) (吸気) 何↑ (p20)  
 M ぶーん  
 視 -----x----- (下) -----  
 頭 O。  
 頭 O。  
 頭 視 -----x-----  
 K よくわからんけどいるんなとこのさ-//それって日テレのパクリみたいなのが  
 M ぶーん  
 視 x----- (上) -----  
 頭 O。  
 頭 視 四角を手で作る O O  
 視 (手元) -----x----- (下) -----  
 K (p12) それって何何ってさ-//その部分変えて、うん書いてある (p16)  
 M ぶーん  
 視 -----x----- (下) -----  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 -----x-----  
 K うん何か、でもキャッチコピーもな-むかつくやつはむかつくし (p17)  
 M -----  
 視 -----  
 頭



頭 指で字を書く  
 視 (下) -----x----- (下) -----x-----  
 K だいたいBBTなんかさー (笑い) 何だけビーング | /うー//バス、ベスト  
 M # | バス | /ビーング  
 視 -----  
 頭 -----

頭 指で字を書く 首傾げ  
 視 ----- (手元) -----x-----  
 K ビーング//ケ/チーA (地名) (笑い1.8) 全然/A テレビと関係ないBBTは  
 M (p1.8) A (地名) A (地名) うん  
 視 -----x----- (下) -----x-----  
 頭 。。

頭 指で字を書く  
 視 (手元) -----x-----  
 K K48 | A テレビで / A プロードキャストっていうとABCになる  
 M # | ま  
 視 (下や相手の手元) -----  
 頭 -----

頭 -----  
 視 -----  
 K (笑い)  
 M -----  
 視 -----  
 頭 口で何か言っている

頭 O。。  
 視 -----  
 K # | プロードキャストカバンニ  
 M M48A (地名) プロードキャストィング | //カバンニとか/F (地名) やったらFBC  
 視 (下) -----x-----  
 頭 -----

頭 O。。 首傾げ  
 視 (手元) -----x----- (手元) -----  
 K K49 = うーん//とーFプロードキャストカバンニだろ↑//だって//  
 M やもん=  
 視 -----  
 頭 -----

頭 O。  
 視 -----x----- (下)  
 K TBCって何かトラベル//プロード | (笑い) 何とかがあってあってあじゃない↑  
 M # | TBCあー あー  
 視 ----- (下) -----  
 頭 -----

頭 -----  
 視 (下) -----x-----  
 K あれと間違えられるから  
 M -----  
 視 -----  
 頭 -----

頭 。。  
 視 ----- (上) -----x-----  
 K うん うん  
 M M49ふーん//でもF (地名) FBCとFTB/FTV、FTBや (p1.3)  
 視 (上) ----- (下) -----x----- (斜め) -----  
 頭 手で字を書く

頭 手で字を書く 宙にBを書く  
 視 (手元) -----x-----  
 K # | ベーやペーじゃない (p1.1) ビー↑こっちの↑  
 M F (地名) | ビー//ビ (p1.2) F//テレビジョンプロードキャストィングか  
 視 -----  
 頭 O O O O

頭 -----  
 視 (下) -----  
 K はー  
 M 何かそうだ  
 視 -----  
 頭 -----

頭 O。。  
 視 -----x----- (斜め) -----x-----  
 K うーん K50 = 紛らわしいなー  
 M M501個FBCあるから//もう1個FTB =  
 視 (下) -----x-----  
 頭 -----

頭 -----  
 視 (下) -----x----- (下) -----  
 K MSIうん//でもチューリップ (笑い) テレビ (笑い)  
 M (上) ----- (下) -----  
 頭 -----

頭 -----x----- (下) -----  
 視 K51 (笑い) チューリップはだっ=  
 M (笑い) M52 = チューリップテレビはちょっと?? (p1.8)  
 視 -----x----- (下) -----  
 頭 首傾げ

頭 顔に手を当てる  
 視 x----- (下) -----x----- (斜め) -----  
 K うーん めんこい K52だっけ/すこい//  
 M 最初はなー (p1.1) 岩手めんこいテレビとか (笑い)  
 視 -----x-----  
 頭 -----

頭 首傾げ  
 視 -----x----- (上) -----x-----  
 K あれほら//いち、え↑一億2年前の宴会、とに、あーあーだから系列違うけどさ  
 M はーはー あーあー  
 視 -----  
 頭 -----

頭 手で四角を作り示す 首傾げ  
 視 (下) -----x-----  
 K あれの系列でさーキューリップ! (笑い) # K53 | やっぱり/  
 M M53 | キューリップっていう | のは  
 視 ----- (下) -----x-----  
 頭  
 頭 ----- (下) -----x-----  
 視 ----- (下) -----x-----  
 K 違和感あるんだらうな他のところから見れば//こっちの人は何かすごい自然に  
 M うーん  
 視 ----- (下) -----x----- (斜め) -----  
 頭  
 頭 O。 首傾げ  
 視 ----- (斜め) -----  
 K 感じとるだらうけど// (笑い) 自然かどうか??? (笑い) うーん  
 M # M54 | (笑い) しー (笑い) もう慣れとん (笑い1.8 )  
 視 ----- (斜め) -----x-----  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 K # | だ K54=うーんキューリップはちょっとー (p.1.6)  
 M | 最初はちょっとなー=  
 視 (斜め) -----x-----  
 頭

頭 顔に手 OO  
 視 -----x-----  
 K まーわかり | やすいと言えればわかりやすい//うーんAの名産って言ったら  
 M # | わかりやすい (笑い)  
 視 (斜め下) -----x-----  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 K 変だけどさー  
 M うーん  
 視 -----  
 頭 O。  
 頭 この間沈黙、あちこちを見る  
 頭  
 視 (あちこち) -----  
 K K55うーん (p.1.1) うーん (咳払い) キューリップ (笑い) ???  
 M -----  
 視 -----  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 (あちこち) -----x-----  
 K (p.1.7) で北日本だろ↑! (吸気) 北日本が一番まともなような気がするけど  
 M # 243うん  
 視 -----  
 頭

頭  
 視 -----x-----  
 K K56=北日本=  
 M M55ケー???ケーエヌビー//北、ケーエヌビーのエヌは↑//に↑=  
 視 x-----  
 頭  
 頭 字を書く動作  
 視 (手元) -----  
 K K57=え↑/ケー/ケーエヌビー北日本/何だろ//ニュース  
 M M56=北日本 (吸気) =  
 視 x----- (斜め) -----  
 頭 首傾げ  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 -----x----- (手元) -----x----- (手元) -----  
 K (p.1.1) (笑い) ブロードキャストかな↑違うなやっぱ北日本じゃない↑  
 M うーん  
 視 -----  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 -----  
 K (笑い2.7) 北日本???????????? (吸気) それ???あわんのかな  
 M -----  
 視 x----- (下) -----  
 頭 口をモゴモゴ動かしている

頭 O。 O。  
 視 -----x-----  
 K 日テレっていう名称がないからさー (p.1.3) 系列で言わないよね↑ (p.1.3)  
 M うん うん  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 O  
 頭  
 頭 ----- (下) -----x-----  
 K | だいたい北日本とかさー/キューリップとかいって言われるからさー=  
 M | ? うん  
 視 -----x----- (斜め) -----  
 頭 O  
 頭  
 頭 OOO 顔に手をやる  
 視 ----- (斜め) -----  
 K K58=うん//まあね (p.1.3) で何、何系列  
 M M57地方局はだいたいそんなものなん=  
 視 -----x-----  
 頭  
 頭  
 頭 -----x----- (下) -----x-----  
 K かってとっさに出てこないじゃない↑あれ//やってて/み、あのさー話してて  
 M うーん うん  
 視 ----- (下) -----  
 頭 O O O

頭 首傾げ  
 視 (下) -----  
 K (p.1.1) どこそれ↑とかいて (笑い) //言われるから//うーん//それで  
 M うん  
 視 (下) -----x-----  
 頭 O  
 頭 手で机の上を示す  
 視 -----x-----  
 K あれかな↑やっぱり日テレ、日テレのその名前入っているよ//?? ?? ??  
 M (相手の手元など) -----  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 -----x-----  
 K 北陸じゃー、じゃない、北陸??A (地名) では//やらない流さないのかな↑  
 M うーん  
 視 -----x-----  
 頭 首傾げ  
 頭 O  
 視 -----x-----  
 K K59どうなのかねー↑ = うん  
 M M58でも北日本って日テレの系列じゃないの↑/  
 視 (下) -----x-----  
 頭

頭 O。  
 視 ----- (斜め) -----  
 K K60 | あっそーいう関係なの↑ =  
 M 日本テレビ北日本テレビじゃないの↑!!! (笑い | 笑い | )  
 視 (下) -----x----- (下) -----  
 頭  
 頭 ----- (上) -----  
 視 (笑い)  
 K M59 = 違う↑ (笑い) でも他は違う、ただ北日本だけ  
 M -----x-----  
 視  
 頭  
 頭 O。  
 視 -----x-----  
 K K61 そうだねーそう言われるとーうん うん  
 M # M60 | でもー (p.1.1) 西にっぽんテレビとかあるやん↑  
 視 ----- (斜め) -----x-----  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 K  
 M あれーフジじゃないの↑  
 視 -----  
 頭

頭 O。 O。  
 視 (上) -----x-----  
 K K62 あー!!! | そうかもしれない = (笑い)  
 M # | たしか M61 = だからたらたぶん関係ない (笑い) | と思うよ (笑い)  
 視 ----- (斜め下) -----x----- (下) -----x-----  
 頭  
 頭  
 視  
 K | ? ? ?  
 M | 今ふと思っただけ  
 視 ----- (下) -----  
 頭  
 頭 机に字を書く  
 視 (手元) -----x----- (手元) -----x----- (上) ----- (下) -----  
 K K63 そうか日テレ日テレっていうからさーんいつも//略してるから//そう言われると  
 M  
 視 -----x-----  
 頭 O  
 頭  
 視 -----x-----  
 K そうかもしれないっていう気にもなる、なるけどねー =  
 M M62 = 北日本テレビどっちが  
 視 ----- (下) -----  
 頭 O。

頭  
 視 -----  
 K 早いんか? ? 北日本の方が早いんか↑  
 M  
 視 -----  
 頭  
 頭 (斜め) -----x----- (下) -----  
 視 K (戦気) どうかねー結構古くからあるんじゃない↑//フジときー日テレって  
 M  
 視 -----x-----  
 頭  
 頭  
 視 -----x-----  
 K 何かネットワーク/全国あるでしょ↑!!!どこに行ってもあるんじゃない↑あれ  
 M うん  
 視 -----x----- (下) -----  
 頭  
 頭 顔に手  
 視 (下) -----  
 K (p.1.1) だって (p.1.3) だいたい古いVと思うけどなあれ  
 M  
 視 -----  
 頭

会話資料2 日本語母語話者同士の会話「深夜のコンビニ」

テータ

収録場所：B 大学内の教室

会話参加者：JM3 (S) 男性、JM4 (K) 男性

会話時間：約20分の自由会話のうち、始めの數分をカットして15分間分

全体の流れ

◆コンビニでアルバイトをしていると、変な客が来る。夜中なのに、子連れが来る。 → 万引きもあるが、万引きをした高校生は、後日親と本人を呼んで、代金を払ってそれでいいことにするらしい。 → 万引きだけでなく、店のアルバイトがお金をごまかすこともある。 → ドリンク類はレジから死角になる所にあつて、万引きされても分からない。 → 万引き防止にいろいろな方法があるが、効果があるのだろうか。 → 駄菓子屋はおばあちゃんがやっていることが多いが、昔、駄菓子屋で万引きした友人が学校に通解されたらしい。 → 駄菓子屋の一日の売り上げはどのくらいなのだろうか。それで生計はたてられないだろう。 → 昔30円のペビースターカップ麺というのがある、おいしかった。 → 高校の頃、駄菓子屋に行つて食べながら帰った。ラメックというのが人気があった。

会話

頭 額に手

視 -- (斜め上) ----- (斜め下) --

S 20代の夫婦とねー | 2才の子供ぐらい連れてきた、連れてきて | // 3人の

K うん

視 ----- x ----- (斜め下) --

頭 。

頭 腕時計に何かする

視 ----- (斜め下) ----- (斜め下) ----- (正面) ----- (斜め下) --

S お答さん来るんだけど | // あんな夜中に子供連れてきていいのかなーとか思うんだけど

K うん

視 -----

頭 。

頭 -----

視 -----

S K1 あー | // けっごう / ヤンママ系ですか!

K ----- x -----

視 -----

頭 -----

頭 。

視 ----- (正面) ----- (斜め下) -----

S S1 うん = S2 = 奥さんが / まあ普通でね | / あーお菓子とかお弁当とか | //

K K2 = うん = | うん | うん

視 ----- x -----

頭 。

○

頭

視 ----- (正面) ----- x ----- (正面) ----- (上) -----

S の / 難行ったり来たりしてるんだけどねー | // おやじさんの方が、群馬新聞立ち読みして | ねー

K | うん | あそうか

視 ----- (斜め横) -----

頭 。

頭 ほおづえ

頭 ----- (斜め下) -----

視 ----- (斜め下) ----- (下) -----

S | (笑い) S3 = え、でおむつとか買つてくなら

K K3 | (笑い 1.6) いい夫婦だなー (笑い) へえー =

視 -- (斜め下) ----- (斜め横) ----- (斜め下) ----- (手元) -----

頭 体起こす 体の位置かえる

頭 -----

視 ----- (正面) -----

S まだわかるんだけど、そういうねー | // 子供食べないよ / お菓子とか (笑い)

K | うん

視 x ----- (斜め下) -----

頭 。

頭 顔に手をやる

頭 ----- x ----- (正面) -----

S そう | いうもんばかり買つてく S4 = うん

K # K4 | じゃ子供ずつと起きてるんですかねー ↑ =

視 ----- x ----- (斜め下) -----

頭 。

そでをまくる

頭 ----- (斜め横) ----- (正面) -----

S # うん S8 = 朝8時ごろになつたら必ず来てねー | // コーヒー

K K8 あーそうですか / へえー = | うん

視 ----- x -----

頭 体起こす



頭 視 ----- x ----- (斜め下) ----- (正面) -----  
 S S19 | そりゃすいごい  
 K それでー//あの、何だっけ (p.1.1) (吸気) えーとね/60万でー |  
 視 (斜め下) -----  
 頭 手ぶり 。 首傾げ  
 頭 視 机の下に手をおろす ----- x ----- (斜め下) -----  
 S 1か月ではすごいなー =  
 K K21 = そうそうそうそれでー、それもあのー//何だ、あのー  
 視 ----- (正面) -----  
 頭 大きな  
 頭 視 ----- x ----- (斜め下) ----- (正面) -----  
 S | うん # S20 | ああなるほど | ねー (笑い)  
 K (p.1.4) 万引きとかされてるだけじゃなくて | //店の人が | | うん  
 視 ----- x ----- (斜め下) -----  
 頭 手ぶり 。  
 頭 視 ----- x ----- (正面) ----- x ----- (斜め下) -----  
 S | うん  
 K K22 でね、あのー//ほらあのー (p.1.2) 店で働いている高校生がいてー |  
 視 ----- (机上の手元) ----- x ----- (斜め下) -----  
 頭

頭 視 ----- x ----- (斜め下) -----  
 S (p.1.1) えーとね//高校生//うん、近くの何か//都立高校に通っている高校生の  
 K  
 視 ----- x -----  
 頭 手ぶり 。  
 頭 視 。  
 視 ----- x ----- (斜め下) ----- x -----  
 S | うん  
 K 女の子がいて | //でーその子があのー//俺も聞いた話なんだけど//その子があのー  
 視 ----- (机上の手元) -----  
 頭 手ぶり  
 頭 視 ----- x ----- (斜め下) ----- O。。  
 S | うん  
 K (p.1.1) 何て言うんだ | (p.1.2) あのーお金を毎回しめるじゃありませんか | //  
 視 ----- x -----  
 頭 大きな手ぶり  
 頭 視 ----- x ----- (斜め下) ----- x -----  
 S | うん  
 K で、しめるときに、あのー毎月毎日 | //毎日しめるときに//あのー何か小銭の束  
 視 (斜め下) ----- x ----- (斜め下) ----- x -----  
 頭 仕切るような手ぶり ほおづえ

頭 視 O。。 O。。  
 視 (正面) ----- x ----- (正面) -----  
 S | うん | うん  
 K だけ | //どっか横っちゃ何かか隠しておいて | //で、後で何か横じり合わせるん  
 視 -----  
 頭 両手で横をさす手ぶり まわす手ぶり  
 頭 視 O (正面) ----- x ----- (正面) -----  
 S | うん # S21 | 横じり  
 K だって | //うーんよくね、そんなこと思いつくと思う頭いいんだか | うら  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭  
 頭 視 ----- x ----- (斜め下) ----- x -----  
 S 合わせるんだ、それで =  
 K K23 = うーん何かうまいこと、それで//あのー自分の検算の  
 視 ----- x -----  
 頭 O 体起こす 仕切る手ぶり  
 頭 視 ----- x ----- (斜め下) ----- x ----- (正面) ----- O  
 S | うん S22 = ああなるほど  
 K 時には間違っーないんだけど | //次の人が検算すると間違っー # K24 | うん  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 O 手ぶり あごに手 置く手ぶり

頭 視 ----- x ----- (正面) -----  
 S (p.1.1) だから//ねえー//どうやってそういうこと考えたのかわかんないけど =  
 K  
 視 -----  
 頭 机上手を出す  
 頭 視 ----- (手元) ----- (正面) ----- x -----  
 S S23 = 小銭の束か | //確かあれ50枚でー本のはずなんだけど | (笑い)  
 K | うん K25 | (笑い) 何か  
 視 ----- x ----- (斜め前) -----  
 頭  
 頭 視 O O。。 O。。  
 視 ----- (斜め横) ----- x ----- (正面) -----  
 S | ああほんと  
 K あのーもらった菓をこうビニール袋に入れて | // うん、置いて//  
 視 ----- x -----  
 頭 袋を置くような手ぶり O  
 頭 視 ----- x ----- (手元) ----- x ----- (正面) ----- O  
 S | うん  
 K 一応、後で計算するためにとっとくらしらいますよ | //でこれはいくらだっ  
 視 -----  
 頭 「取っておく」手ぶり 置く手ぶり

頭 ○  
 視 ----- (手元) -----  
 S いうことで一応決めておいて一//後から何か戻して//何かするらしんですけど=  
 K ----- (斜め前) -----  
 視 手ぶり  
 頭  
 頭  
 視 ----- x ----- (斜め上) -----  
 S S24=でも//ばれるよな一結局は|ね一  
 K # K26|ばれるばれる、結局ばれて首になっちゃった  
 視 -----  
 頭 ○。 鼻に手  
 頭  
 視 ----- x -----  
 S # |やっばり  
 K ン|だけど//で、その人がいなくなっから (p1.0) 60万円//っていうか  
 視 -----  
 頭 手ぶり  
 頭 ○  
 視 ----- (正面) -----  
 S |うん  
 K それでもまだね|あの一いろいろ40万ぐらいは  
 視 ----- x -----  
 頭 手ぶり

頭  
 視 ----- (斜め下) -----  
 S S25だいたいとられるものベストスリーか、ワーストスリーか知らない  
 K ----- (斜め下) -----  
 視  
 頭  
 頭  
 視 ----- x ----- (正面) -----  
 S けどね一//上位三つがね一| (p1.0) ひと、一位が//ジュース類なんだった  
 K |うん |うん  
 視 -----  
 頭 。 片手でほおづえ  
 頭 。 口開きかける ○  
 視 ----- (正面) - (上) ----- (正面) -----  
 S |うん  
 K K27取りやすいですもんね一|ジュースね一//目立たない場所にあるから、まあ  
 視 ----- x ----- (斜め前) ----- (斜め下) -----  
 頭 。 目をかく  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 S S26=働いている店だと実はレジから一//一番速いな一|  
 K 目立つかな一↑|わかんない=  
 視 ----- x -----  
 頭 。

頭 手で「棚」をつくる  
 視 ----- (手元) -----  
 S /もう棚がたくさんあって死角になってるところだから| (p1.4) つまりレジが  
 K |ああ一  
 視 ----- (斜め前) -----  
 頭  
 頭  
 視 ----- (正面) ----- (斜め上) -----  
 S 一番入口の近いところにあるでしょう↑|//であの一、ドリンク類があの一番  
 K |うん  
 視 -----  
 頭 ○  
 頭  
 視 手で鼻を示す 。  
 視 ----- x ----- (正面) ----- x -----  
 S 奥の壁きわにあるわけだから=  
 K K28=ああそっかそっかそっかそっかそっか、こうこう  
 視 -----  
 頭 体を起こす  
 頭  
 頭 ○。。。  
 視 ----- (正面) ----- x -----  
 S  
 K 角かどにこうなるから一 (p1.1) そうだよな一、でジュースだったら  
 視 ----- x ----- (斜め前) -----  
 頭 「角」の手ぶり 。 ほおづえ 手ぶり

頭 ○。。  
 視 ----- (正面) -----  
 S |うん  
 K カップラーメンとかと違ってちっちゃいから取りやすい|ですもんね↑//じゃあ  
 視 ----- x ----- (斜め前) -----  
 頭 「取る」手ぶり  
 頭  
 頭  
 視 ----- (腕時計のベルト) -----  
 S |うん  
 K あれよりちっちゃいものとか言ったら|//シャープペンとかそんなもの取っても  
 視 -----  
 頭 体起こす  
 頭  
 視 ----- (正面) ----- (斜め下) ----- (斜め上) -----  
 S S27=あ一文房具も多いんだよ|あと2番目がね一ガム|かな↑  
 K しょうがないし一= # |文房具も取られる↑ |うん  
 視 ----- x -----  
 頭 首突き出す  
 頭  
 頭  
 視 ----- x ----- (斜め上) ----- (斜め下) ----- (手元) -----  
 S (p1.1) ガム| S28|うん3番目が文房具|//あと電池かな//  
 K # K29|あ一マジで↑|あ、ガムはちっちゃいかな、うん  
 視 ----- (斜め前) -----  
 頭 。





頭 ○ 扉が開く手ぶり  
 視 ----- x ----- (正面) -----  
 S # S38 | あの店の方から | | そう S39 = フワーっとあく  
 K あるあ | いる # K40 | ホワーっと聞く | やつです↑ = (斜め下) -----  
 視 ----- x -----  
 頭 聞く手ぶり  
 頭  
 頭 手で四角を机の上に作る  
 視 ----- (手元) ----- (斜め上) -----  
 S やつ = S40 = はいであの (笑い) やくざやさんのさ / 車の窓に貼ってある  
 K K41 = うん =  
 視 -----  
 頭  
 頭 四角を作る 。 頭をかく  
 視 ----- x ----- (斜め上) ----- x -----  
 S ような | (笑い) ああいう | っ | あっあっ、そうマジックミラーっばい =  
 K | (笑い) # | マジックミラーっばい | やつです↑ | うん K42 = あすこ  
 視 ----- x ----- (斜め下) -----  
 頭 。。  
 頭 (斜め横) ○  
 視 -----  
 S S41 | そう  
 K から見てるんですか↑ | 誰か  
 視 ----- x ----- (斜め下) -----  
 頭

頭 頭をかく  
 視 -----  
 S # S42 | あすこからだとレジから死角にあげなるところが見えるから | っ |  
 K K43 ああ | そう | うん  
 視 -----  
 頭 。  
 頭 ○。  
 頭  
 視 -----  
 S そいで (笑い) 見つけたらしいんだけど = S43 = うん =  
 K K44 = はあ / あ、そうなんだ = (斜め前) -----  
 視 -----  
 頭 。  
 頭  
 視 ----- x -----  
 S K45 = あの / よくほく / ああ / 何か / 万引きを防止するためには // あの - (p.1.1) 何だ  
 K (斜め下) -----  
 視 鼻をかく 手ぶり  
 頭  
 頭 。  
 視 ----- (正面) -----  
 S | うん # | ああそう  
 K 入って、あの / お客さんが入ってくる時に | // あの / 一明るい | 挨拶をすれば  
 視 ----- x ----- (斜め下) -----  
 頭 「入ってくる」手ぶり 手ぶり

頭 ○ 大きく体動かす  
 視 ----- (斜め前) ----- x -----  
 S 言う言う?? S44 = 前に東京で働いていたときも言われたけどね =  
 K とかよく言うでしょ↑ = K46 = ああ東京でも  
 視 ----- x -----  
 頭 相手をさす手ぶり  
 頭 腕時計に手 ○  
 視 ----- (手元) -----  
 S # S45 | うん  
 K やってたんです | か↑ | っ | あ /  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭  
 頭  
 視 ----- x -----  
 S S46 あれ効果あるのかなあ↑  
 K  
 視 -----  
 頭  
 視 ----- (手元) -----  
 S # S47 | その店では万引き防止の  
 K K47 知らん (笑い) それぐらいしか // あれがないのか | なあ、もしかして  
 視 ----- (斜め前) -----  
 頭 首傾げ ほかづえ

頭  
 視 ----- (正面) -----  
 S ためにそう | しょう | と言われたけど、前の店ではね / | 強盗の時の輩制  
 K | うん  
 視 ----- x -----  
 頭 ○  
 頭  
 視 体を折って笑う  
 視 ----- (手元) -----  
 S になるから言いなさいとか | 言われて (笑い) すごい / すごい 気体めだ / なって  
 K | ああそう (笑い)  
 視 ----- (斜め前) -----  
 頭 体起こす  
 頭 。。  
 視 ----- x ----- (手元) -----  
 S 思っ | て | うん  
 K # K48 | ?? / なんて気体めです / よね / まあ / それで客が増えるんだ / たら | それは  
 視 ----- (斜め横) ----- (斜め下の机の上) ----- x -----  
 頭 鼻に手  
 頭  
 視 ----- x -----  
 S  
 K それでいいけど // でも / あと / ね / 何だ / っ / け / ぼ / ら // あの / カゴ / あ / の / カゴ / ある / じゃ  
 視 (斜め前) ----- x -----  
 頭 鼻に手 手ぶり カゴの四角の手ぶり

頭 。。。。。

視 (正面) ----- x -----

S |うん

K ないですか↑入口にあのー|/買い物カゴあれを/あの万引きしそうなやつに//

視 ----- (斜め下) -----

頭 持つ手ぶり

頭 O

視 ----- (斜め下) ----- |うん

S //こう万引きするー//しそうなやつがいますよね↑|//でーそのー、そいつの前に

K (斜め下) ----- x ----- (斜め前) -----

視 手ぶり

頭

頭 。

視 ----- x ----- (手元) -----

S |うん

K //こう万引きするー//しそうなやつがいますよね↑|//でーそのー、そいつの前に

視 ----- x ----- (斜め下) ----- (斜め前) -----

頭 手ぶり

頭 持っていく手ぶり 手ぶり 差し出す手ぶり

頭 体を笑いながら揺らす 大きく首傾げ 。。。

視 (正面) ----- (手元) -----

S (笑い ) S 48 = ふーん =

K とかつつて (笑い) やると/万引きが防止できるんだって = K 49 = そんなー

視 -----

頭

頭

視 -----

S # 49 | いや、さ、されるかもしれないけれど|// 確かに|うーん

K そんなーこと|できるかしら |うん # K 50 | そんな

視 -----

頭 鼻に手

頭

視 -----

S

K ことできるかよって感じだな

視 -----

頭

頭 ----- x -----

視

S K 51 えーっと思ったな、でも (p.1.8) 結構ね、でも万引きって結局//それぐらいしか

視 (正面) ----- (斜め下) ----- x -----

頭 鼻をかく

頭 。

視 ----- (正面) ----- x -----

S |うん

K やることないんでしょね↑多分ね|//補まえたらどうするかっていう話あまり

視 ----- x ----- (斜め下) -----

頭 持っていく手ぶり 手ぶり 差し出す手ぶり

頭

頭 ----- (正面) -----

S 聞かないしね

視 -----

頭

頭 首突き出し O O

視 -- (手元) ----- x ----- (正面) ----- x ----- (正面) -----

S S 50 どうするかって↑ = |うん |うん

K K 52 = 補まえたら/あのー//警察に/言うとか|//学校に/言うとか|//

視 ----- (斜め前) ----- x -----

頭 手ぶり 手のひらを広げる動作 同じ

頭

頭 。。。。。

視 ----- x ----- (正面) ----- x -----

S # | やっぱり

K そういう話ってのはあんまり聞かないじゃないですか↓|//|聞かないっていうか、

視 ----- (斜め前) -----

頭 鼻に手 手をまわす 手をまわす

頭 。

視 ----- (斜め下) -----

S

K ま実際にはやってみるかもしれないけど//おおや、あのおおびらにっていうか公には

視 ----- x -----

頭 手をまわす 手をまわす 鼻をかく

頭

視 -----

S |うん

K そういう話は|出ないでしょう↑

視 ----- (斜め前) -----

頭 鼻をかく

頭

視 ----- (斜め前) ----- x ----- (正面) -----

S S 51 やっぱり学校には言わないのかなあ↑|//前のね、だって |うん

K # K 53 | ? ? オナーによるんだですかねー↑|//

視 ----- x -----

頭 体起こして頭に手

頭

視 x ----- (正面) ----- x -----

S

K オナーによるんだらうなーまあ//ほんとは言わなきゃいけないのかもしれないけど

視 (斜め前) -----

頭 頭をかく

頭 視 (斜め下) ----- (正面) ----- (斜め下) -----  
 S # S52 | さあどうか (笑い) 前にも言ったけどさー | あの  
 K オーナーがやさしいから | あんまり | うん  
 視 x ----- (斜め前) -----  
 頭 。  
 頭 視 ----- x -----  
 S プライベートルームのロッカーの戸ひとつ外れてるの | あんの (笑い) だから /  
 K | (笑い)  
 視 -----  
 頭 O  
 頭 視 (正面) ----- (斜め下) ----- (正面) ----- x -----  
 S 万引き犯一のた、態度が悪いんでオーナーが怒ってロッカーの戸ぶちこわした | としか  
 K | (笑い)  
 視 -----  
 頭 体起こす  
 頭 視 (正面) ----- (斜め下) -----  
 S (笑い) ああいうこともあるからな  
 K -----  
 視 -----  
 頭

頭 視 ----- x ----- (正面) -----  
 S K54ほんでも//万引きしたやつ殴んなかっただけでもよかったじゃない (笑い)  
 視 ----- x ----- (斜め前) -----  
 頭 あごに手  
 頭 机の上で手を組む  
 視 ----- x ----- (斜め下) ----- x -----  
 S ヘーえー//そうだよな万引きとかいって (p.14) ま、結構、でも、あそこっていうか  
 K //あのコンビニ行ったら万引きとかしやすい雰囲気ありますもんね↑何となくね  
 視 ----- x -----  
 頭  
 頭 視 ----- x -----  
 S (p.23) ふつー、普通の店だったらやっぱり、まあスーパーとかの方が万引き  
 K (斜め前) -----  
 視 -----  
 頭

頭 視 (正面) ----- x -----  
 S 。  
 K しやすい感じはするけど (p.25) よくあの小学生とかの時に駄菓子屋とかで  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 O。。  
 頭 横ふり  
 視 ----- (正面) ----- x ----- (上) -----  
 S S53=や、してない= S54=うんしてた人でもいるの↑=  
 K 万引きしませんでした↑= K55=ああそう (笑い) =  
 視 ----- x ----- (斜め下) -----  
 頭 O。。  
 頭 首突き出し  
 視 ----- (正面) -----  
 S # S55 | うん↑ (笑い) と、ど、どうしたの↑どもって  
 K K56=や知らんけど (笑い) | まあ//やー、いたらしい (笑い)  
 視 -----  
 頭  
 頭 手を前にのばす 。。。  
 視 -----  
 S (笑い) = S56=あそっか | //うーん  
 K K57=やー= | うーん  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭

頭 視 体を横に揺らす  
 S K58やー//友達で捕まったやつがいて  
 視 ----- x -----  
 頭 首突き出し  
 頭 視 ----- x ----- (上) -----  
 S S57 | ?? ? 俺は捕まんなかったぞと (笑) | い | いやいやいや  
 K K59うん、ほんとほんと (笑い) | いやいやいや  
 視 ----- (斜め前) -----  
 頭 O  
 頭  
 頭 視 (斜め下) -----  
 S 捕 | まるの↑やっぱり うん  
 K K60 | ?? 駄菓子屋で駄菓子屋でやるっていうのは//あの (p.11) いやゆる万引き  
 視 -----  
 頭  
 頭 視 体大きく揺らす  
 視 ----- x ----- (正面) ----- x -----  
 S S58 | (笑い) じゃなんなの↑//なんなの↑じゃーあれは=  
 K じゃないんですよ (笑い) ) K61=あーあれ  
 視 ----- x ----- (斜め前) ----- (斜め下) -----  
 頭 鼻に手

頭  
視 (正面) ----- x ----- (斜め下) -----  
S # | 拝借  
K 何て言うのかな↑ (p.1.1) | で一駄菓子屋って何かものすごいノールイや俺も反省は  
視 -----  
頭 鼻をかく 手ぶり

頭  
視 体大きく揺らす  
視 ----- x ----- (斜め下) ----- x -----  
S | (笑い )  
K してまずけど | | 一応ね/うん一応、反省はしてるんだけど//あのほら駄菓子屋とかかって  
視 ----- x ----- (斜め下) -----  
頭 頭に手 「手が届きやすい」手ぶり

頭  
視 ----- O。。。 -----  
視 ----- (正面) ----- x -----  
S | うん  
K すんごいノールイ手が届きやすいっていうか | | こんで、ほら紐のアメとかか  
視 ----- x ----- (斜め前) -----  
頭 手をあげる

頭  
視 ----- O。。。 -----  
視 (正面) ----- x -----  
S  
K こう上からぶら下がってたりしてさ (p.1.0) そういふのと違って、おぼあちゃん  
視 (上) ----- x ----- (斜め前) -----  
頭 手ぶり 手を前にのばす

頭  
視 ----- (正面) ----- x -----  
S # S59 | (笑い) おぼあちゃんなんだよ | な  
K がやっ | てる # K62 | そそで、おぼあちゃんがやっ | てる、  
視 ----- (斜め下) -----  
頭 。。。

頭  
視 -----  
S  
K だいたいそのおぼあちゃんが、あの | | うん、結構あの | | やさしいおぼあちゃんか  
視 -----  
頭 両手を顔の前にもってくる 手で教える動作

頭  
視 ----- O。。。 -----  
視 ----- (斜め下) -----  
S | うん  
K きついおぼあちゃんかどっちなんですよ | | やさしいおぼあちゃんのことだと  
視 ----- x ----- (斜め前) -----  
頭 鼻に手

頭  
視 ----- (正面) ----- x ----- (正面) ----- x -----  
S | あーなるほど  
K あんまりそういうのいない | | だけ | | うん | | きついおぼあちゃんとか何かおかつり  
視 -----  
頭 O 鼻をかく

頭  
視 ----- 。。 ----- (正面) ----- x ----- (斜め下) -----  
S | あーほんと  
K とかにやたら嬉しいおぼあちゃんとか (笑い) 当たりが出てくれなるとか | | うん  
視 ----- x ----- (斜め前) ----- x ----- (斜め前) -----  
頭 。。 O 鼻をかく

頭  
視 (下) ----- (斜め下) -----  
S | ふーん  
K 当たりが出てくれなるとか | | うん (p.1.1) そんなこといまだに覚えて  
視 -----  
頭 両手を顔の前で組む

頭  
視 ----- 。。。。 -----  
視 ----- x ----- (斜め前) -----  
S | うん  
K やつですよ | | メンゴとか (p.1.1) うん、万引きは万引きだけど (p.1.6) でも  
視 ----- (斜め前) ----- (斜め下) -----  
頭 。。。

頭  
視 ----- 。。。。 -----  
視 ----- x ----- (正面) ----- (下) ----- (下) -----  
S  
K それから普通に登校してきてたから別に | | それからは何にもなかったらうけど  
視 ----- x ----- (斜め下) -----  
頭 鼻に手

頭 視 ----- (正面) ----- 鼻をかく  
 S S61=駄菓子屋なの↑//あの駄菓子屋さんってやっぱり万引きされたら  
 K (p.1.9) うーん=

頭 視 ----- (斜め下) ----- 鼻をかく  
 首傾げ  
 視 (横) --x----- (下) ----- 笑いながら  
 S (p.1.8) 商売に響くのかな↑ (笑い) )  
 K K64=響くんじゃないのかな、だって//一日の  
 視 x----- (斜め下) ----- 鼻をかく  
 頭 視 ----- (斜め下) ----- 鼻をかく  
 首傾げ  
 視 ----- (斜め上) -----x----- (正面) ----- O。。  
 S ーうん S62=あ、だから  
 K 売りあげ、やっぱー (p.1.4) ちっちゃいでしょ、きつと// ーうん=

頭 視 -----x----- (斜め下) ----- 鼻をかく  
 手ぶり 鼻に手 O。  
 机の上に手を出し組む  
 視 -----x-----

S かえて響くのかな↑売上げには (笑い) = # | 売上げには  
 K K65= (笑い) どうか//わかん | あでも結構  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 体起こす  
 手組む O。。。 (正面)  
 視 --x----- (手元) -----x----- (正面) -----

S ーうん  
 K 買いなもないのに//あのその辺でそこで一日過ごさってさ↑なにか (p.1.3) あんな  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 「ずつと」の手ぶり  
 首傾げ O。。。 (正面)  
 視 -----x----- (手元) -----x----- (正面) -----

頭 首傾げ O。。。 (手元) ----- (手元) -----  
 視 -----x----- (手元) ----- (手元) -----

S だったか5万だったか S65=全部//買い占めて (笑い) =  
 K # K67 | (笑い) そんなもんで買えるんですか↑ =

頭 体起こす  
 視 -----x----- (斜め前) -----

頭 視 -----x----- (正面) ----- (斜め下) -----  
 S S66=だからもうあれは//探算取れるのかねえ↑ =  
 K K68=おもしろい//へえ =

頭 鼻をかく  
 首傾げ  
 視 ----- (下) -----

S # S67 | ま、あれで生計をたてるというのは  
 K K69=探算は取れるんだらうけど//あの | きつと  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 鼻をかく  
 視 ----- (下) -----

S # S67 | ま、あれで生計をたてるというのは  
 K K69=探算は取れるんだらうけど//あの | きつと  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 鼻をかく  
 視 ----- (下) -----

S # S67 | ま、あれで生計をたてるというのは  
 K K69=探算は取れるんだらうけど//あの | きつと  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 鼻をかく  
 視 ----- (下) -----

S # S67 | ま、あれで生計をたてるというのは  
 K K69=探算は取れるんだらうけど//あの | きつと  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 視 ----- (正面) ----- 鼻をかく  
 S S61=駄菓子屋なの↑//あの駄菓子屋さんってやっぱり万引きされたら  
 K (p.1.9) うーん=

頭 視 ----- (斜め下) ----- 鼻をかく  
 首傾げ  
 視 (横) --x----- (下) ----- 笑いながら  
 S (p.1.8) 商売に響くのかな↑ (笑い) )  
 K K64=響くんじゃないのかな、だって//一日の  
 視 x----- (斜め下) ----- 鼻をかく  
 頭 視 ----- (斜め下) ----- 鼻をかく  
 首傾げ  
 視 ----- (斜め上) -----x----- (正面) ----- O。。  
 S ーうん S62=あ、だから  
 K 売りあげ、やっぱー (p.1.4) ちっちゃいでしょ、きつと// ーうん=

頭 視 -----x----- (斜め下) ----- 鼻をかく  
 手ぶり 鼻に手 O。  
 机の上に手を出し組む  
 視 -----x-----

S かえて響くのかな↑売上げには (笑い) = # | 売上げには  
 K K65= (笑い) どうか//わかん | あでも結構  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 体起こす  
 手組む O。。。 (正面)  
 視 --x----- (手元) -----x----- (正面) -----

S ーうん  
 K 買いなもないのに//あのその辺でそこで一日過ごさってさ↑なにか (p.1.3) あんな  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 「ずつと」の手ぶり  
 首傾げ O。。。 (正面)  
 視 -----x----- (手元) -----x----- (正面) -----

頭 首傾げ O。。。 (手元) ----- (手元) -----  
 視 -----x----- (手元) ----- (手元) -----

S だったか5万だったか S65=全部//買い占めて (笑い) =  
 K # K67 | (笑い) そんなもんで買えるんですか↑ =

頭 体起こす  
 視 -----x----- (斜め前) -----

頭 視 -----x----- (正面) ----- (斜め下) -----  
 S S66=だからもうあれは//探算取れるのかねえ↑ =  
 K K68=おもしろい//へえ =

頭 鼻をかく  
 首傾げ  
 視 ----- (下) -----

S # S67 | ま、あれで生計をたてるというのは  
 K K69=探算は取れるんだらうけど//あの | きつと  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 鼻をかく  
 視 ----- (下) -----

S # S67 | ま、あれで生計をたてるというのは  
 K K69=探算は取れるんだらうけど//あの | きつと  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 鼻をかく  
 視 ----- (下) -----

S # S67 | ま、あれで生計をたてるというのは  
 K K69=探算は取れるんだらうけど//あの | きつと  
 視 -----x----- (斜め下) -----

頭 。。  
 視 (斜め下) -----  
 S  
 K そうでしようね年金をもらってるか、それかあのおじいさんの方が働いてたとか  
 視 -----  
 頭 頭をかく  
 。。  
 視 -----  
 S  
 K 働いているとか//うん何か大工さんやるとか//うん何か仕事して//でー/  
 視 -----  
 頭 手ぶり  
 。。  
 視 (正面) -----  
 S S68=だってあれ10円とか  
 K おばあちゃんの方が寝だからやるって感じじゃないかな↑=  
 視 x----- (斜め下) -----  
 頭  
 。。  
 視 -----  
 S  
 K 両手を頭の後ろにまわす  
 視 -----  
 S 2.0円だからね! (笑い) 全部ね  
 K |うん  
 視 -----  
 頭 O 机の上の手を小さく上げる

頭 。。。。  
 視 ----- (正面) -----  
 S  
 K K71 やっぱ基本的に//ま、子供が好きな人がやるんだろうな//うん、いー  
 視 -----  
 頭 頭をかく  
 。。。。  
 視 -----  
 S #S69|昔30円のペビースターカップ種っていうの、よく  
 K 寝つぶさうか(P14) |??  
 視 -----  
 頭 頭をかく  
 。。。。  
 視 -----  
 S 食べただけだね-//知ってる↑= S70=知ってない↑/ま、今も  
 K |うん K72=うん知って-ない=  
 視 -----  
 頭 O O 首傾げ  
 。。。。  
 視 -----  
 S 売ってるんだけど= |うん S71=スナック菓子//いー  
 K K73=うん、あんですか↑/ちっちゃいやつ= #K74|うん  
 視 (斜め下) -----  
 頭 O O

頭 食べる手ぶり  
 視 -----  
 S S72=カップ種といつつ何故か袋に入ってるでそのままポリポリ食べるの=  
 K カップ種↑=  
 視 -----  
 頭  
 。。。。  
 視 ----- (斜め下) -----  
 S  
 K K75=あっそべビースターメンなら知ってるけど//カップ種ちゃうのが  
 視 -----  
 頭 手ぶり  
 手で四角を作る  
 。。。。  
 視 ----- (正面) -----  
 S S73=あーペビースター種だ=  
 K あったんですか↑= K76=ペビースター種うんうんあれは  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 顔の前で手を組む  
 。。。。  
 視 ----- (正面) -----  
 S #S74|あ20円だった↑  
 K 知ってる//昔20円だったん↑だ= #K77|あ俺とき10円だったかな (笑い) =  
 視 -----  
 頭

頭 (斜め横) -----  
 S S75=俺とき30円だったと|思うな S76=でね、オレンジ色の袋に入ってる  
 K |あそっか=  
 視 -----  
 頭 O  
 。。。。  
 視 ----- (手元) -----  
 S ね-//で何か一ひょう//差紙じゃないな、あの袋の表面に子供の絵が描いてあるんだ  
 K |うん  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 。。。。  
 視 -----  
 S けどね-//それが何とつい最近ローンで売り出したんだよ、リバイバル版で=  
 K |うん  
 視 -----  
 頭 。。。。  
 視 -----  
 S #|そう #S77|そう今70円の新しい包装の  
 K K78=えリバイバル版で古いやつ↑//古い一袋の|やつ↑  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 。。。。  
 視 -----  
 S  
 K K78=えリバイバル版で古いやつ↑//古い一袋の|やつ↑  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 。。。。  
 視 ----- (手元) -----  
 S #|そう #S77|そう今70円の新しい包装の  
 K K78=えリバイバル版で古いやつ↑//古い一袋の|やつ↑  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 。。。。  
 視 -----  
 S  
 K K78=えリバイバル版で古いやつ↑//古い一袋の|やつ↑  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 。。。。  
 視 -----

頭 体起こす  
 視 -----x---(斜め上)---x---(正面)---x---(正面)-----  
 S やつ出てるんだけど//もう昔のまんま配達通りだった// 値段もそのままで|こんど  
 K | (笑い) そう # K79|ベビ- (斜め前)-----  
 頭 O O O O 体起こす  
 頭 O。。 顔を隠していて不明  
 視 -----(手元)-----  
 S 食べなきゃ  
 K スター隠っておいしかったですよね↑あれ(p12) あれがああ何だっけ/あれの  
 視 -----(下)-----  
 頭  
 頭 横ぶり 体起こす  
 視 -----x-----  
 S S78 知らない= # S79|ラメック↑//同じようなものなの↑=  
 K K80=ほんと↑|???うん??  
 視 -----(斜め前)-----  
 頭 O O 頭かく

頭 O  
 視 -----(正面)-----  
 S | (笑い) |うん  
 K K81=ちっちゃい|うん/こう、高校の時に駄菓子屋があってね//高校になって  
 視 -----(斜め下)-----  
 頭  
 頭 ほおづえ  
 視 -----(斜め下)-----  
 S | (笑い)  
 K 駄菓子屋通ってもしょうがないんだけど| (笑い) 高校の時に駄菓子屋あって-/  
 視 -----  
 頭  
 頭 顔をふく  
 視 x----- (斜め前) -----  
 S |うん  
 K 学校の帰りにあの一いつも/そこに寄って菓子買って食いながら帰ってたんですよ|/  
 視 -----  
 頭 「帰ってくる」動作 口に食べ物を入れる動作  
 頭  
 頭 顔をふく O  
 視 -----x--- (斜め下) -----  
 S |うん  
 K みんなで、そしてたら/あの一ラメックっていう菓子があって豚の絵が描いてあって|  
 視 -----x-----  
 頭 手ぶり

頭 O  
 視 ----- (斜め下) ---x----- (正面) -----  
 S |うん  
 K //うん10円で//で、真ん中に穴があいているんですよ|//あの一バスタみたいにい  
 視 -----x-----  
 頭 バスタの花の手ぶり  
 頭 O  
 視 ----- (斜め下) ---x-----  
 S |ほ- | (笑い)  
 K バスタっていうか|マカロニみたい//ちっちゃい|穴があいてて//それで-//  
 視 ----- (斜め前) -----  
 頭 鼻をかく  
 頭  
 頭 顔をかく  
 視 ----- (斜め下) ---x----- (正面) -----  
 S  
 K それをね//あの一//味がね//あの一ベビ-スター-ラーメンより相当あの一(p11)  
 視 -----  
 頭 目をかく  
 頭  
 頭  
 視 -----x----- (斜め下) ---x----- (斜め下) -----  
 S | (笑い)  
 K 粉っぽって言うか|うん何かね-//あの一変な味なんですよ (笑い) 変な味  
 視 x----- (斜め前) -----x----- (斜め前) -----  
 頭 手ぶり

頭 体起こす  
 視 -----x---(斜め上)---x---(正面)---x---(正面)-----  
 S やつ出てるんだけど//もう昔のまんま配達通りだった// 値段もそのままで|こんど  
 K | (笑い) そう # K79|ベビ- (斜め前)-----  
 頭 O O O O 体起こす  
 頭 O。。 顔を隠していて不明  
 視 -----(手元)-----  
 S 食べなきゃ  
 K スター隠っておいしかったですよね↑あれ(p12) あれがああ何だっけ/あれの  
 視 -----(下)-----  
 頭  
 頭 横ぶり 体起こす  
 視 -----x-----  
 S S78 知らない= # S79|ラメック↑//同じようなものなの↑=  
 K K80=ほんと↑|???うん??  
 視 -----(斜め前)-----  
 頭 O O 頭かく  
 頭  
 頭 顔を起こす O O  
 視 ----- (正面) ---x-----  
 S |あ-はいはい  
 K あの前が見えるようになって|//で袋の大きさがこう/だいたいベビ-スターだったら  
 視 -----x----- (手元) -----  
 頭 手ぶり 袋の大きさを手につくる  
 頭 O  
 視 -----  
 S |うん  
 K こんぐらいじゃありませんか↑//でラメックはこんぐらいなんですよ  
 視 x----- (手元) -----x-----  
 頭 大きさを示す 大きさを示す  
 頭  
 頭 O。。  
 視 -----(正面)-----  
 S #|ちっちゃいの↑  
 K もっと|小さい/うん、それで//それをね-あの一//それがね-10円だったかな-  
 視 ----- (斜め前) -----  
 頭 O 顔の前で両手を組む







頭 〇。 エレベータを指さす  
 視 (上) -- x (上) -- x  
 M ちよっと足//都合の悪い男の子いて//あれ使ってるみたいよー  
 N うーん  
 視  
 頭 〇。  
 視 (下) -- x  
 M うん # M7 | それーがやっぱり車椅子の絵がついてる  
 N N7 あそれで設置された//どうけん? はあれ! なのかな  
 視  
 頭  
 頭 〇。  
 視  
 M しね-//本当はそれなんだろうと思う↓  
 N うん  
 視  
 頭  
 頭 〇。  
 視 x-横  
 M M8 = うん/で先生は結構あれ//つか使ってる方おられるみたい  
 N N8 あーそうなんだ↓ = うん  
 視 (斜め) -- x  
 頭 顔だけ横を向き紙をさわる

頭 指をさす  
 視 (横) -- x  
 M //あの向こうの方いあ//オフィスがある先生が  
 N  
 視  
 頭  
 頭 〇。  
 視  
 M M9 うん/うん (笑い)  
 N N9 ご老体が  
 視  
 頭 〇。  
 頭  
 視  
 M  
 N N10 (笑い) でも//ま//とりあえずはじゃあ学生が使ってはいけない//とか緊急の  
 視 (横) -- x  
 頭  
 頭 斜めに傾げる  
 視 (横) -- x  
 M # M10 | うんそれは聞いたことがないけど-//でも  
 N 場合以外は使ってはいけん//ちゅうことはない//わけ  
 視 (斜め) -- x  
 頭 体の向きをかえる

頭 (下) -- (斜め) --  
 視  
 M 基本的にはあのやっぱり元気な一人は (P & 笑い2) 階段↑ | かい//階段 (笑い)  
 N (笑い) (笑い) # | りりん倫理感の問題か↑  
 視 (横) --  
 頭  
 頭  
 視 (上) -- x (上) -- x  
 M うん (笑い) = そうそう/うん  
 N N11 = でもあーもうあてにしないでおくわ↓ あこへ行くとかえって//遅れるわ  
 視 (前) --  
 頭  
 頭  
 視 (斜め) -- x  
 M M11 あんでも夏休み前はね (P1.0) あの一いつ行っても割と動いてたと思っただんだけど  
 N  
 視 (下) -- x (下) -- x  
 頭  
 頭 〇。  
 視 (横) -- x  
 M | あんまり乗ってなかったんだけど = # M12 | そうそうあたしも最近  
 N # | いまー (P1.1) N12 = うん私のような不埒な者が | 多かった  
 視 (下) -- x  
 頭

頭 特に凝視  
 視 (横) -- x (横) -- x  
 M 何回か乗ったらそのうち//ごろっ回乗ったらね止ってることがあるから// | あーっと思って  
 N # N13 | あ (P1.3) だけど  
 視 (横) -- x (横) -- x (横) -- x  
 頭 目に手をやる  
 頭 〇。  
 視  
 M  
 N 消防法でさあ-//あの一 (P1.7) 5階以上か何か何階以上か↓ そればつけなきや  
 視 (横) -- x  
 頭  
 頭 〇。  
 視  
 M M13 うん  
 N いけないんでしょ↑  
 視  
 頭  
 頭  
 視 x  
 M M14 エレベーター↑  
 N  
 視 x  
 頭

頭 視 (上) --- x --- (横) --- x ---

M ぶーん M15=うんあそれ知らない/何か階段がいくつか

N N14うん//あでも/ここは//よ4階か↑=

頭 視 ---

頭 ○

視 --- (横) --- x ---

M いるとかかっていうのは聞いたことあるけど//2階/3階あったら

N ああそうなの

頭 視 ---

頭 ○

視 ---

M N15たら/あそうか/でもあの一身体着る人がおるからっていい//あの一//

N (下) --- x --- (横) ---

頭 視 ---

頭 視 ---

M うん

N なんていうのつけるっていうのは//何ていうのか/な理にかなってるとかあれたよ/ね↑

視 --- x ---

頭 視 ---

頭 横ふり

視 (横) --- x ---

M # M16 | それと消防しょ法がどうなのかは//わかんないけど | //実態何人か

N (P1.1) そしたら | # | あそうさうだ

視 --- (横) --- (前) --- x ---

頭 視 ---

頭 ○ 前にのりだす ○ ○

視 ---

M //いるもんね↑ | あの一//何か/うん// | そそ、そういう障害//持っている人

N # | ぶーん//あの一今

視 --- (下) ---

頭 視 ---

頭 顔を前につきだしてよく聞く動作

視 ---

M

N N16そってあられ↑あの一//いやあだしがあれ//あの一 (P1.3) んあんなま認識不足

N (下) --- x --- (前) ---

頭 視 ---

頭 ○

視 --- (横) --- x ---

M うん

N とかあねなせいかもしれないけど//最近の傾向↑受け入れ出したもともど受け入れの

視 ---

頭 視 ---

頭 視 ---

M 幅はあったんだっけ↑

N 横ふり

視 (横) --- x ---

M M17あーそれ知らない

N 視 ---

頭 視 ---

頭 横ふり

視 --- (斜め前) --- x ---

M そうそう # M18うん | うんとね一何か推薦

N N17でもあのほら今社会人入試とかさ一//そういうのが//類に | 枠が多くなってきた

視 --- (前) --- x ---

頭 視 ---

頭 視 ---

M 入試が何かの時にそういう枠あるかもしれない

N 視 ---

頭 視 ---

頭 視 ---

M うん # M19 | うんだんだんだんほらあの一//高校一

N N18ぶーん/でも原則的に認められる認められるべき | だよ

視 --- (前) --- x ---

頭 視 ---

頭 ○

視 --- (前、横など) --- x ---

M ぐらいからも一//ね//あの一ちよっと普通一の学校じゃ//普通の公立の中学校じゃない

N 視 ---

頭 視 ---

頭 首に手をやる

視 ---

M けどもそういうところから//高校来て入試普通科一へ受かったとってかかって新聞なんか

N 視 ---

頭 視 ---

頭 ○

視 --- (横) --- x ---

M 出てたりする | から # M20 | そうなるといきおひその一また上大學ってなると

N | うーん /あ そうだよ

視 --- (前) --- x ---

頭 視 ---

頭 横ぶり 。

視 \_\_\_\_\_

M (P18) | ???

N # N19 | それも当然だわね/うーん/そうだね

視 \_\_\_\_\_ (前) --- x

頭 \_\_\_\_\_

頭 \_\_\_\_\_

視 \_\_\_\_\_

M21 それはその??? たいはもう何か教授会か何かで決まってるんじゃない (笑い)

N \_\_\_\_\_ (笑い)

視 \_\_\_\_\_

頭 横ぶり

頭 横ぶり

視 (横) - x \_\_\_\_\_

M 文部省で決まってるQ↑知らない↓

N \_\_\_\_\_

視 \_\_\_\_\_

頭 \_\_\_\_\_

頭 \_\_\_\_\_

視 \_\_\_\_\_

M そう

N N20 あでもともとほら中学校高校でもほら//あの一学期に//塾で学校にしないで

視 (前) --- x \_\_\_\_\_ (下) --- x

頭 \_\_\_\_\_

頭 細かいうなずき

視 \_\_\_\_\_ (斜め) --- x

M # | いつから↑って言ってねうん

N 普通学級にしようっていいーう要望が強い//から//大学はもとも当然受け入れるべき

視 (前とMを交互に) --- x

頭 \_\_\_\_\_

頭 細かくうなずく

視 \_\_\_\_\_ (横) --- x

M うんうん うんうん うん

N なんだらうけど//あの社会人枠の話だけどさ (P11) 後輩で受けるんだって (笑い1.5)

視 \_\_\_\_\_ (上) --- x

頭 \_\_\_\_\_

頭 \_\_\_\_\_

視 \_\_\_\_\_

M うん

N あのねーすごい心配してんねん//あのー//こうー//その子はね高校出てからね

視 \_\_\_\_\_ (斜め下) ---

頭 \_\_\_\_\_

頭 \_\_\_\_\_

視 \_\_\_\_\_

M うん

N (P13) えーと (P15) あ//動めたことはあるのかなとにかく海外に行ってー

視 (斜め下) ---

頭 横ぶり (疑問の様子)

頭 ○ ○ ○ ○ ○

視 \_\_\_\_\_ (横) - x

M M22=うん/うん

N 日本語を教えたりーそれから海外青年協力隊でご存じ↑//あれで一年か行って今

視 (斜め下) --- x \_\_\_\_\_ (前) --- (斜め下) ---

頭 頭に手をやる

頭 \_\_\_\_\_

視 \_\_\_\_\_

M うん

N 27でえーとこないだ結婚したのねん//ああん旦那もあれなんだあのー (P14)

視 \_\_\_\_\_ (前) ---

頭 \_\_\_\_\_

頭 ○ ○ ○

視 \_\_\_\_\_

M ぶん

N あすこ//この夜間に行ってて彼女もとにかく//やっぱりあの日本語教えてくためには

視 (上) --- x \_\_\_\_\_ (前) ---

頭 \_\_\_\_\_

頭 \_\_\_\_\_

視 \_\_\_\_\_

M うん

N /なんだらうけど学位↑あった方がいいっていうことで//それでまあ勉強したいって

視 \_\_\_\_\_ x \_\_\_\_\_ (前) ---

頭 \_\_\_\_\_

頭 ○ ○ ○ ○ ○

視 \_\_\_\_\_ (横) - x

M M22=うん/うん

N いうことで人文の何か国際コースってある↑ = N21そこを何かと/受けたいんだって

視 \_\_\_\_\_ x

頭 横ぶり (疑問の様子)

頭 横ぶり (疑問の様子)

頭 \_\_\_\_\_

視 \_\_\_\_\_

M ぶんぶん うん

N んでまあ//高校出てからあー (P16) いわゆるそういうお勉強はしていない

視 (横) --- x

頭 横に手をやる 書く動作

頭 ○ ○ ○ ○ ○

視 \_\_\_\_\_

M うんうん

N わけね//だからあの一何け↑//あのー//ただだぶん英語ー//香港で教えたりとかし/英語

視 \_\_\_\_\_ (上) --- (自分の手) ---

頭 \_\_\_\_\_

頭 ○ ○ ○ ○ ○

視 \_\_\_\_\_

M うんうーん

N とか (P21) あのーしゃべるのは/問題そんな問題はいいんじゃないだ/ただ/文法的にとか

視 (自分の手) --- x

頭 手ぶり --- 横ぶり 横を掻く



頭 。 体を前にのりだす  
 視 (斜め) - x  
 M そうそうそうんそう # M26 | 入試そのものはどんな入試かは  
 N かも知れ仕入れてるかもしれんけど//ほったら |  
 視 (横) - x  
 頭  
 頭 。  
 視  
 M 知っておられるんでしょ↑ = うん  
 N N25=知っとるんだらうけど//あのー//えーほんとは心配しているから  
 視  
 頭 。 顔を前につきだす  
 頭  
 頭 。  
 視 (斜め) - x (斜め) - x (横) - x  
 M はー はーはー はーはー M27=そのひとね (P1.0) 今年ーしし  
 N たぶん/あるある種べる種自信はなくなっているんだわ = # | どんな勉強した↑  
 視  
 頭 体を前にのりだす  
 頭  
 頭 。  
 視 (横) - x (下) - x  
 M 私何もしな | かった (笑い) あのねーだー試験は去年/と今年変わってなければ  
 N (笑い) # | でも何か (笑い) ?? ?  
 視 (下) - x  
 頭 顔を覆う  
 頭

頭 O。 手ぶり  
 視 (下) - x (下) - x  
 M あのー英語の試験だけで//それねなんかもあ (P1.0) そんな長くない文章//  
 N  
 視 (横) - x  
 頭 鼻を掻く  
 頭 手ぶり  
 視  
 M 二問ほどあって =  
 N N26=読解↑  
 視  
 頭  
 頭 小 さ い う な ず き  
 視 (前) - x (下) - x  
 M M28を読解↓長文問題ふたいなの/何か参考書ちょっと読んどいたら//それであの//だいたい  
 N うん  
 視 (自分の手) - x  
 頭  
 頭 小 さ い う な ず き 手ぶり  
 視 (上) - x  
 M 和訳せよっていう//要旨をまとめよとかっていうそういうのそんなに/ひどく難しいん  
 N うん  
 視  
 頭

頭 。 手ぶり  
 視  
 M じゃないよ6.0分で2題/2問//長いのだから (P1.0) うんあたしねえ/今だから  
 N うーん うん  
 視  
 頭  
 頭 顔をうしろに向ける  
 視 (横) - x (斜めうしろ) - x  
 M 言うけど/場所さ(こ)人文の学部/建物よくわかっとらん/で//わ小学校のときからだって  
 N うん うん  
 視  
 頭 細 か い う な ず き  
 頭 手ぶり  
 視 (上) - x  
 M 近いところうろろしてたじゃないだから大学ここにあるっていうのはもういやほど  
 N  
 視  
 頭  
 頭  
 頭 (斜め) - x (斜め) - x (横) - x  
 M わかってるから//で経済のところへ行って時間待って座ってたのよね私 (笑い 2.9)  
 N 笑い  
 視 (上) - x  
 頭 顔をのけぞらして笑う

頭 時計をさす  
 視 (下) - x (下) - x  
 M そしたら//9時から確か9時からだった9時から試験始まるっていうのに//15分たっても  
 N うん  
 視  
 頭  
 頭  
 視  
 M ねえまだみんな座ってんのよ/んで/ほいでねえ/おかしいなーと思って20分ぐらいに  
 N うん  
 視  
 頭  
 頭  
 視  
 M なったらじゃああのー//あのー移動 (P1.0) 誘導しますからついてきてくださいって  
 N うん  
 視 (下) - x  
 頭  
 頭  
 頭 時計を指さす  
 視 (斜め) - x (時計) - x  
 M 言われてついたら/おかしー//いなー//ってもう20分過ぎてるよね/んで//で見たら  
 N # | もう9時半ぐらい/い/ましたら//うーん  
 視  
 頭

頭 驚きの表情

視 (上) ----- x -----

M あなたの番号ないのよ (笑い | 1.5) すみませんって言って/あなたこれ人文です!

N | おねえさん (笑い) うん

視 -----

頭

手ぶり

視 ----- (横) ----- x ----- (横) ----- x ----- (上) -----

M ねーって言われて//すぐ今行けば連れて行ってあげますから走って- (笑い)

N

視 -----

頭

顔を覆う 時計指さす

視 ----- (時計) ----- x ----- (下)

M # M29 | ほんでねえ-//で/20 (P1.1) であたしここ着いたのが

N N27うそ- (P1.2) | 何//うん

視 -----

頭

。

視 ----- (時計) ----- x ----- (下)

M 20-//もうにしゅ試験開始から人文の方の試験開始から25分たって//

N うん

視 -----

頭

。

頭 小さいうなずき ○。笑い

視 (下) ----- x ----- (上)

M 30分たったらもうだめだったのよね// | だからきりぎり入って

N # | だから??? うそ N28で何

視 ----- (自分の手) -----

頭

。

時計指さし

視 x ----- (斜め) ----- x ----- (時計) -----

M M30=60分の英語の試験 ↓ (笑い1.6) /? ? だけど/あとの35分で

N それは60分の試験 ↑ =

視 ----- x -----

頭

あまれて踊る動作 両手でほおつえ

視 ----- x ----- (時計) -----

M 一応最後まで書けたから// | ちゃんと最初からいた人に聞いたらやっぱり60分

N

視 -----

頭

拍手をする動作

頭

顔をNに向ける

視 ----- x -----

M 座っても/時間余ったって

N

視 -----

頭

頭 手ぶり

視 ----- (横) ----- x -----

M # M31 | そういう分量だった (P1.1) 受かってしまっから/あの一あとして聞いてたら

N N29いやあ//そうそう旦那に聞いたんですよあの-

視 -----

頭

横ぶり

視 (時計) ----- x -----

M //だけど//やっぱりみんなそのあなた来たところをだいたいみんな書き終わっててあと

N

視 ----- (下) ----- x -----

頭

顔を下に向け笑う

視 ----- (下) ----- (斜め) ----- x -----

M 暇だったって言われたから (笑い1.9) そーんでね先生が時間は長くてもきませんけど

N

視 ----- (下) ----- x -----

頭

つぶぶして笑う動作

頭

笑いに手

視 ----- (下) ----- x -----

M まあがんばってくださって言われて/はいって//もう上着 | 上着脱いで無ったわ ↓

N # | 無ったやろ ↑ うん

視 -----

頭

特に凝視 拍手の動作

頭 小さいうなずき 手ぶり

視 -----

M うん-と-とにね-//みんなほほほほ他の人は県外から来たたりしてるから/下見して

N

視 -----

頭

。

視 ----- (下) ----- x ----- (斜め) -----

M 見てるんだけど//あ/願書出しに来るときも//何回も来てるとんだけど何かね経済の

N

視 -----

頭

。

。。。。

視 ----- x ----- (上) ----- x ----- (斜め) -----

M ところは人文だと思込んで (笑い) ほしてそこ来てすま-した顔して座って (笑い)

N

視 ----- (下) -----

頭

大きく下に向ける

頭

手ぶり

視 (下) ----- x ----- (下) ----- x -----

M # M32 | ほしてなんんかあたし一人でね悪文なんんかこれ読んでたらねえ//なんんか

N N30 でも | (笑い)

視 (下) ----- x -----

頭

。

頭 ちらちら見る 手ぶり  
 視 (斜め) ----- x ----- (斜め) ----- x -----  
 M みんなちらちらと見るしー//みんな何にも勉強しないのよねー// 高校生の推薦入試  
 N うん # | それ結局  
 視 -----  
 頭 。 凝視  
 頭 〇 〇 〇  
 視 -----  
 M もおんなじ日だったけど帰国子女と= うん  
 N N31=でその経済のどこに//何入試に入ってたわけ↑  
 視 -----  
 頭  
 頭 横傾げ 手で数える動作  
 視 (斜め) ----- x ----- (下) ----- x ----- (斜め) x (斜め) x  
 M M33んやっぱりおんなじ日に//時間帯違うけど//だから推薦と/帰国子女と社会人入試と↓  
 N うん  
 視 ----- (下) ----- x -----  
 頭 小 さ い う な ず き 。  
 頭 -----  
 頭 手で会場の広さを表す身振り 〇〇〇  
 視 ----- (横) ----- x -----  
 M M34=うん//だ//会場行ったらやらやっぱちよっとおじさんおばさんもいるのよ↓  
 N N32経済もあつたんだ↑=  
 視 -----  
 頭 〇。

頭 〇  
 視 ----- (横) -----  
 M M35=うーんだから (P.1.1) 何か時間違うけどでもー  
 N N33ああそれで安心したよね↑=  
 視 -----  
 頭  
 頭 横をのぞきこむ動作 〇  
 視 -----  
 M /高校生だけじゃないしとか思って うん  
 N うん 。  
 視 -----  
 頭  
 頭 手ぶり  
 視 ----- (横) ----- x ----- (斜め) ----- x -----  
 M # M36 | うーんおかしいなと思うんで//制服だけぐみだけ  
 N N34若いのばかりやったら// | (笑い)  
 視 ----- (左右) ----- x -----  
 頭 横ぶり 笑って手を前に  
 頭 -----  
 頭 〇手ぶり  
 視 ----- x -----  
 M だったらおかしいなと思うんだけど//おじちゃんおばちゃんもいたから//うん間違  
 N うん (笑い)  
 視 -----  
 頭

頭 時計を指さし  
 視 ----- (時計) ----- x ----- (下) -----  
 M ないわと思って//特に時間もはじ/ねーたっているの//あれだから9時から  
 N うん  
 視 ----- (下) ----- x -----  
 頭  
 頭 〇。  
 視 ----- x ----- (上) ----- x -----  
 M 始まるのにあたり8時に来てさ//座ってたのよー (笑い) だからさーもうー//  
 N | りつ子さん  
 視 -----  
 頭 顔を覆う動作 両手ほおづえ  
 頭 .....  
 頭 ..... 手で仕切る動作  
 視 ----- (斜め) -----  
 M だ? 量的にはさー//だからあたし何か/ちゃんとやっているようにねスコーンって  
 N .....  
 視 -----  
 頭  
 頭 x ----- (上) -----  
 M /抜けるかなー↑ (笑い)  
 N N35わかる 笑い  
 視 -----  
 頭 。

頭  
 視 ----- (斜め上) ----- (斜め下)  
 M # M37 | んそうなのー (笑い) もうあと5分もしたら入れたらもらえんよごだった  
 N N36でもよかったね | 誰っぶちで教われて  
 視 -----  
 頭  
 頭 手ぶり .....  
 視 (斜め下) ----- x -----  
 M # | 向かいでよかった うんそうそうそう  
 N N37いやあだけど (P.1.0) | え//9時でなくてよかったよね↑ N38最初に30分  
 視 (斜め) ----- x -----  
 頭 凝視しあう  
 頭  
 頭  
 視 ----- (斜め上) ----- (時計) ----- x -----  
 M うんそう # M38 | ああ//あでもそれだったら | (P.1.1) あ//早めにわかってたから  
 N ずれてたから//あれだったけど9時だったから | かえってわかってた↑ああそうか  
 視 -----  
 頭  
 頭  
 頭 ----- (上) ----- x -----  
 M それうん | 1時間 | 時間とかずれてなくてよかったわー (笑い) 終わってからはもう//  
 N # | いや/けい経済 そうだね  
 視 ----- (横) ----- x -----  
 頭 横ぶり つぶつぶ つぶつぶして笑う





頭 手ぶり  
 視 ----- x  
 M よりはだから// (吸気) どうかな//準1級ちょっといろいろなジャンル (p1.0) いろいろ  
 N  
 視 x  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 M なることあるから  
 N  
 視 -----  
 頭  
 頭  
 視 ----- (斜め下) -- x  
 M # M46 | うん//狭いんじゃないかな↓  
 N N46 それよりは | 幅が  
 視 -----  
 頭 手ぶり  
 頭 ち い さ い う な す き O。O  
 視 -----  
 M | うん # M47 | そうそうそううんそんな感じ M48 | それで  
 N N47 やっぱ言語と | か関係とか  
 視 ----- (上) -----  
 頭 O O

頭 指さし  
 視 ----- (下) ----- x  
 M そのあとの小論文が (p1.2) | あんね//うん/小論文がこれがけっこう分量あるの↓//  
 N # | うんあそれで小論文  
 視 ----- x  
 頭  
 頭  
 視 ----- (手のひら) ----- x  
 M 二つも出てて90分だから時間はけっこうあったんだけど//題二つ出て二つとも書かな  
 N  
 視 -----  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 M ければいけないのよ// (呼気) えーとあれ短いほうが (p1.4) それでもね短いほうでも/  
 N うーん  
 視 -----  
 頭  
 頭  
 視 ----- (斜め前) ----- (下) ----- x  
 M 400字詰め2枚一はあったよ | ね? # M49 | うん/お//大きい原稿用紙  
 N # N48 | 400字詰め2枚と | いうと8、800字か  
 視 ----- (斜め前) ----- x  
 頭

原稿用紙の大きさ

頭 x  
 視 -----  
 M だったから  
 N  
 視 -----  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 M  
 N N49 テーマってどんな訳↑  
 視 -----  
 頭  
 頭 O。O。  
 視 ----- (斜め下) x ----- (下) ----- x  
 M M50 最初のがね設定になっている//こういう設定で//あのちょっとその人みたいにおね  
 N うん  
 視 -----  
 頭 O  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 M あたしとき何人かいたけど//あのー//高校出てからしばらく何かフリーターみたいにい  
 N  
 視 -----  
 頭

頭 O O  
 視 -----  
 M してて/でそのあと海外協力隊何年か行って/でまだ帰ってきてからまた実家の家業手伝ったり  
 N うん  
 視 -----  
 頭 O O O O O  
 頭 O  
 視 -----  
 M してただけど//も/何かで思い立って/福祉一の仕事につきたいと思ったんだけど  
 N うん  
 視 -----  
 頭 O O O O O O。  
 頭  
 視 ----- (斜め) ----- x  
 M やっぱ/大学に行って勉強しないとだめだから//あのー/社会人入試を受けることに  
 N  
 視 ----- (上) -----  
 頭 O  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 M 小さいうなすき 手ぶり  
 視 -----  
 M し/自分では決めたんだけど (p1.1) 親ふたりが反対してると//ようやくそのふらふら  
 N はいはい はあはあ  
 視 ----- x  
 頭 O。

頭 ○

視

M してたのが落ち着いてうち日本帰ってきてうちの家業を手伝いはじめたところなのに

N うん

視 (上) -----

頭 ○

頭 小 さ い う な ず き

視

M このままうちの家業手伝ってだいたいなのになんでわざわざまた今から4年間も大学へ

N

視 x -----

頭

頭

視

M 行くんだって

N

視

頭

頭

視

M # M51 | そうそうそう//で頼は反対してるからそれを説得する//あなたが

N N50 福祉の仕事 | 見つけるために//うん

視 x ----- (斜め) ----- x -----

頭 ○

頭 手ぶり

視 ----- (下) ----- x -----

M そういう立場にいると思って説得するものを何か書きなさいっていうの//だーみんな

N

視 ----- (下) ----- x -----

頭

頭 OKマーク

視 x -----

M やっ書けた (笑い) っていう | (笑い) | そのまんまっていう (笑い)

N # N51 | (笑い) 身に | つまされてるっていうことだ (笑い) S

視 ----- (前方) -----

頭 体を椅子にもたせ掛ける

頭

視

M

N N52 しかしそれを問うのはいい | けどあの何か何か

視 ----- x ----- (斜め) ----- x -----

頭 機ぶり

視 (機) ----- x ----- (斜め) ----- x -----

M M52 わかんない | けどあの何か何か

N # N53 | あのーおまえちゃんと説得してきたか↑っていうことか

視 -----

頭 椅子を前に引く

頭 書く手ぶり

視 (斜め) ----- x -----

M M53 (笑い) ここまで書いてる考えてる余裕はないからと?? | まあ?? やねえ

N # N54 | でもそれってすごく

視 -----

頭

頭 ○

視

M うん

N 特あの全く違うさあーたとえば (p.20) たといえば//あん/考えに p (p.11) がこれ

視 ----- (下) -----

頭

頭 ○

視

M うん

N くらいのは考えーで欲しいけどもたぶん/考えた経験はないだろうってよう

視 ----- (上) ----- x -----

頭

頭

視

M うん

N わからんけど//まあ/が社会人入試って考えたこともない問題を設定するんでしょ↑

視 ----- (下) -----

頭 斜めに倒す、困った様子

頭

視 -----

M

N それで//たとえばいきなりー//その//外国人のものすごい頑固なおおじいさんと

視 ----- x -----

頭

頭 ○

視

M うん

N いっしょに住まないようになってきたときに/ぐーたらがーたらとか何かそんな問題 (p.1.3)

視 -----

頭

頭

視 ----- (斜め) ----- x -----

M # | そのまま うんうんそう

N じゃなくてそれっての//絶対体験してるよね!//だから言語化できるかどうかかって

視 -----

頭 ○

頭

視

M

N いう部分を見るのかしら↑

視 -----

頭

頭 頭  
 視 (斜め) -----x-----  
 M MS4うん | だから/言語うんそうね何かしゃばりちょっとまとめて書けるかどうか  
 N # | そうでもない↑  
 視  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 M っていう (笑い)  
 N 笑い  
 視 ----- (下) --  
 頭  
 頭  
 視 ----- (斜め) -----x-----  
 M MS5 = あたし何かね一漢字忘れちゃってド忘れしちゃって  
 N MS5 800字って難しいよね↑ =  
 視 x  
 頭 O。 O。 小 さ い う な ず き  
 頭  
 視 -----  
 M ねえ//ワープロばかりだったから仕事している間にひとひいもんなのよね (笑い1.7)  
 N うん  
 視 ----- (下) ----  
 頭

頭 書くふり 首傾げる  
 視 (手元) -----x----- (横) -----  
 M 書こうですと漢字が思い出すのに時間がかかって | (笑い) それでねえ短かかったり  
 N | うん???  
 視  
 頭  
 頭 O。 O。 手ぶり (原稿用紙の形)  
 視 ----- (斜め) -x----- (斜め上) -----x-----  
 M なんかにしてね/でもう一つがもっと長いその倍かれこれあれ1500/から (p1.6)  
 N  
 視  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 ----- (横) -x-----  
 M (敬気) | ふたつ合わせて2000ぐらいだったのかな↑  
 N | せん??↑  
 視  
 頭  
 頭 。 指さし 原稿用紙の大きさ  
 視 ----- (斜め下) ----  
 M #MS6 | も//もっと長いその倍くらいある | 分量で #MS7 | それ  
 N MS6/もう一つは | 1500ぐらい↑1000 #MS7 | 1500字っていう | と  
 視 (斜め上) -x----- (斜め) -----  
 頭 指で1のサイン

頭  
 視 -----x-----  
 M がね一何か/自己 (p1.4) 啓発とか/自己/何とか (p1.2) もう忘れちゃったけど (p1.0)  
 N うん  
 視 -----x-----  
 頭 手で横を直す  
 頭  
 視 (斜め上) -----  
 M それだとほら自分がその一 (p1.2) 子供の頃から/青春の何かこの反抗期/なんかにか!!  
 N  
 視  
 頭 。 O  
 頭  
 視 x-----下-----x-----  
 M どういう//ちょっととした短い自分史書くような感じ (p1.3) それがなかなか書け  
 N ぶーん  
 視  
 頭 O O  
 頭  
 視  
 M なくて/分量あるもんだから  
 N うんうん  
 視 ----- (斜め) -----  
 頭

会話資料 4 日本語母語話者同士の会話「寮の長老」

データ

収録場所 A 大学内の教室

会話参加者: JF3 (F)、JF4 (H)

会話時間: 約26分の自由会話のうち、始めの数分をカットした15分間分

全体の流れ

◆ラジオを聞いていたら、DJが女の子が股を開いて座っていた話をしていた。→ 長いスカートは、どんな風に座っているかわからないから便利。寮では女がどう、男がどうとか言っているので座り方などこだわりたくない。はじめ1年生はかしまっているが、だんだん伸び伸びしてくる。  
 → 寮では、食事や会議などは、男女一緒にのときがある。→ 留年する学生も多い。留年するのは、男子が多いともいえない。学科によってたいへんなところもあるらしい。→ 留年したら、授業料はどうなるのだろうか。→ 国立大も授業料がけっこう高くなってきた。→ 寮は光熱費ぐらいいで安い。→ 寮が委員の責任者になるので、力しないとキープできない。→ 寮はけっこう面倒で、出る人が多い。3年生が委員の責任者になるので、たいへんだ。→ 将来どうしようかと思ってしまう。時がたつのが早く、もう年賀状の季節。→ ねずみ年ってことは、もう女だ。24か。二十歳越えてから、あまり歳を取った感じがしない。

会話

頭 手振り  
 視 x (斜め上) ----- x (下) ----- x  
 F いいんだけど股開いちゅーねーっていう!!! 感じてMAXの人なんか!!! その人の好きやん  
 H | (笑い) あー  
 視 -----  
 頭 -----  
 視 ----- x -----  
 F みたいな!!! 感じだったんだ! けど  
 H | はーん # H1 | DJって男の人、女の人↑  
 視 -----  
 頭 姿勢かえる  
 頭 O。 顔をかく O。。  
 視 ----- x -----  
 F F1 女の人 = F2 = うーん!!! そうそう # F3 | そう若い声だったけど  
 H H2 = 女の人、うーん = # H3 | うーんー若いぐらい! !!! けっこう!!? ?  
 視 ----- x ----- (斜め下) -----  
 頭 O。 両手ではおづえ  
 頭 -----  
 視 ----- (斜め下) ----- x -----  
 F = (笑い) = # F4 | 何かねキュロットで  
 H H4 はーん = H5 = でも何か女の子のその服装とかもー!!! けっこうあんなのかな  
 視 ----- x -----  
 頭 -----

頭 O。。  
 視 ----- x ----- (斜め下) ----- x  
 F ピンクのその人ねすっごい観察してー!! ねー (笑い) 読んどる本まで確かめとるんや  
 H キュロット | はー (笑い) )  
 視 -----  
 頭 O。。  
 頭 -----  
 視 ----- x ----- (斜め) -----  
 F 立派やーと思ったんやけど! 何か! キュロット/ピンクのキュロット | にー黒のジャン、  
 H (笑い) ) | うん うん | うん  
 視 -----  
 頭 O。 O。  
 頭 -----  
 視 ----- x ----- (斜め) ----- x -----  
 F 皮ジャンって言った普通の | ジャンパーって言ったかなー | うん そんな感じで股の  
 H | はーうんうん  
 視 -----  
 頭 -----  
 頭 手で数える様子 手のつめ示す  
 視 ----- x ----- (斜め) -----  
 F 開き具合は90度だとか | 言ってー!! (笑い) そこまで言うか、でマニキュアしてー | ー  
 H | (笑い) | うん  
 視 ----- x ----- (下) ----- x  
 頭 -----

頭 ----- x -----  
 視 本読んできた! らしいんだけど! その本はおそらく図書館で借りてきたものであろう  
 H | うん  
 視 -----  
 頭 O。。。。  
 頭 -----  
 視 髪さわる 実際に足を開いてみる (下) -----  
 F とか | 言ってそこまで観察して = F5 = うん、で、90度だったからかなり  
 H | (笑い) H6 = はー一足の開き方ねー =  
 視 ----- x ----- (斜め下) ----- x -----  
 頭 自分の足を見る  
 頭 -----  
 視 -----  
 F じゃん↑ = F6 = うんだ | から  
 H H7 = ああそやだよね = # | 確かに  
 視 ----- (斜め下) -----  
 頭 -----  
 頭 -----  
 視 (斜め前) ----- x -----  
 F F7 で!!! いいやーんとか思ったけど!!? 女のDJさんがさー (p.12) (笑い)  
 H | うん (笑い)  
 視 ----- x -----  
 頭 -----





頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 # | うーん そうかもしれない  
 F あんまり座り方とか関係ない | からうーん 何か//夜/何かで//何かの/会議みたいなのが  
 H 視 - - - - x  
 頭 指でマルをかく  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 F 22=あーなる | ほどねー、あー  
 H ある | 時とか/そういう時たまに/一瞬になるとかあるけど= | うーん  
 視 O。。。 (斜め) - - - - x  
 頭 手で円を示す  
 頭 視 - - - - x  
 F 何か/こないだ何か言ってた//講義とかっていうの | もそういうような場つくら!!!  
 H | そうそうそんなような | うーん  
 視 O。。。 (斜め) - - - - x  
 頭 顔に手  
 視 講義しよう | ということが (笑い)  
 F | そうそうそうそう  
 H 視 O。。。 (斜め) - - - - x  
 頭

頭 視 - - - - x  
 F | うん  
 H H23だからあの辺は//60年代//70年代の学生の尾 | をひきすっているんだろう  
 視 (斜め下) - - - - x  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 F 23=あー | なるほどね  
 H かって感じが= | うーん  
 視 x (斜め) - - - - x  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 うん | うーん | あっ化石 (笑い)  
 F # H24 | あとあん? ? 化石かもしれないけど (笑い)  
 H 視 (斜め下) - - - - x  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 F 24でもほんじゃHさんって | //5年//目//だ | よ F 25=ねえ// | そっかじゃもう  
 F | うーん!!! # H25 | そうだよね=  
 H 視 O。。。 (斜め) - - - - x  
 頭

頭 いばる身振り  
 視 - - - - x  
 F かなり//ヌシとして= | (笑い)  
 H H26=ヌシというかなもうすっかりババアとか | ジジイとかそういう  
 視 (斜め横) - - - - x  
 頭 顔を起こす  
 視 | はーん  
 F 上の学年の人が-//3人ぐらいまだいるから- | //あんまり/最上級生でデーンって  
 H 指で教える様子  
 視 - - - - x  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 (下) - - - - x  
 F 26何で失礼な= F 27=ああそうなんだ  
 H H27=でもね//留年する人多いから- = # H28 | うーん、だから-  
 視 (斜め横) - - - - x (斜め下) - - - - x  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 # | 8回生というと倍、倍だね (笑い)  
 F 男子の横でいくと8回生とか- | (p.14) 7回生とか//だから4回生なんて  
 H 視 - - - - x  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x

頭 (斜め横) - - - - x  
 視 # F 28 | まだまだ甘い甘い= | うーん  
 H まだ | まだ = H29うーん、でーうちの女子の横の方も- | //あたしらの  
 視 (斜め) - - - - x (斜め) - - - - x  
 頭 手振り  
 頭 顔を起こす  
 視 | はーん  
 F 上の学年の人が-//3人ぐらいまだいるから- | //あんまり/最上級生でデーンって  
 H 指で教える様子  
 視 - - - - x  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 (斜め) - - - - x  
 F 29 | あーそうなんだ度老というわけでもないわけ | /かな↑  
 H 感じが//なくて # H30 | うーん//だからまだ  
 視 (斜め) - - - - x (斜め) - - - - x  
 頭 O。。。 (斜め) - - - - x  
 視 | うーん  
 F そんな/同い年-で院、来た子とか- | でも留年した子とかでも結局-3、4人  
 H 視 - - - - x (斜め) - - - - x  
 頭 首傾け



頭 O。。

視 (斜め) ---x

F | あーあーあー

H いる | から // 何かあんまり --- 番上の学年でしっかりしなきゃみだいな感じが

視 ---x--- (斜め)

頭

頭

視 (斜め) ---x

F | そっか (笑い) F 30=ひゃー/でも気楽 | でかえって //

H あんまりなくて (笑い) | ちょっと頼りないかも | うーん | うん

視 --(上)---x---(後ろ)---(下)---x

頭 O。。。。 O。。

頭

視

F (笑い) 何か部長老だと | 何か何事も責任者みたいような | 感じて寝てしまう

H | うん | うん

視 --- (斜め) ---

頭 O。。

頭

視

F | かもしれない // でも // 留年 // する子って | やっぱ一でも男の子の方が

H | (笑い) うーん | うーん

視 ---x---

頭 ..... O。。。。

頭

視

F 多いながげ ↑ =

H H 31=うーんそうかもしれない、ただ何か女子の方が一全部で60人ぐらい

視 --- (斜め下) ---x

頭

頭

視 (斜め) ---

F # | あ、比べようもない

H で男子の方がその3倍ぐらいだから人数比が全然違うから --- | よくわかんない

視

頭 O。。

頭

視 x

F | うんうんうん

H ってもあるけど、うーん何か女子の方が人文 // とかが多くて // 結局あんまり

視

頭 O。。

頭

視 O。。。。 O。。

視 (斜め) ---x--- (斜め) ---x

F | あーあー

H 引っぱらずに // 順調に // 行っちゃえるけど工学部 --- | あたりだと学年ごとに

視

頭

頭 O。。

視 (斜め下) ---x

F | うんうん | はー

H 何か // ハードルがあってって // | /とところだと引っぱかりやすくて // うん

視

頭 指でハードル 顔の前で手を組む O。。

頭

視 (斜め) ---x

F # F 31 | なるほどじゃ学年ごとにハードルがあるんだ =

H / | とかね H 32=確か一工学部の方一は、

視 --- (斜め) ---

頭

頭

視 (斜め) ---x--- (斜め上) ---

F # | へー何か # F 32 | えー何か

H うん/何か嫌しかったと思っ | たけど、どここの単位取れてないと次に | 行けない

視 ---x--- (斜め) ---x

頭 O。。 指で指す動作

頭

視 ---x

F 順番とかがあるわけ ↑ =

H とか H 33=うん

視

頭 O。。

頭 手振り

視 (斜め) ---x--- (斜め) ---x

F F 33は一あとで取ろうとかいうのはなしなんだ | /おっことしたから来年とかって

H # | けっこうたいへんみたい、うん =

視

頭 O。。。。 O。。。。

頭

視 (斜め) ---x--- (斜め上) ---

F F 34=へえー/何か | そっか、うん | はあー

H # H 34 | どここの実験までをクリアしてないって // | 感じ

視 (斜め下) ---x

頭 指さし

頭

頭 ..... 横ふり 顔をかく

視 ---x--- (斜め) ---

F --- // そっかー # F 35 | ないないないない (笑い) みんな勝手に

H なのかな // うん // 人文だとそういうの // | ないもんね // うーん

視 --- (下) ---x

頭 O。。 笑って突っ伏す

頭

頭 O。。

視 ---x--- (斜め) ---

F (笑い) | 何度そう、何度だめで2度失敗したからこっち一とかありえるよね

H # H 35 | どれか選んでこれとこれとって感じだから // うーん / そう、で

視 --- (斜め) ---x

頭 O。。 指で選ぶ動作







頭 〇。

視

F # | そうだよな!

H っ、でもだったら//僕がもっとたくさんあれば | そんな問題いらないのにな

視

頭

頭 。。。。

視 (斜め下) ----- x -----

F | うーん F55=そっか=

H 気もす | いるから//何なんだろう (笑い) っで= H55=うーん

視 ----- x ----- (斜め下) -----

頭 横ふり 大きく伸びをする

頭

視 ----- x -----

F56 月三万円をとるか月三 | 万円をとるか

H # H56 | ん-優勝が入ると一重油代がかかって2倍になるとか

視 ----- x -----

頭 〇。。。。 足をかく

視 (斜め) ----- x ----- (斜め) -----

F # F57 | あっじゃあ冬期料金とか | あるわけか//そっかでもその方が | //いくらかかったか

H //いろ | いろあるから | そうそうそうそううーん # H57 | そ、自分たちで

視 ----- x ----- (斜め下) -----

頭 〇。。。。

頭

視 -----

F | うん # F58 | そうなんだ | (笑い)

H 予算組んで- | とか-やるからそれも面倒と | 言えば H58 | うん

視 ----- x -----

頭 〇。〇。〇。

頭

手で何かを指す

視 (斜め) ----- x -----

F F59 え-じゃあかなり/何か/何々委員 | とか何々委員とか

H # H59 | そう-//その委員の責任者になった人は

視 ----- (斜め) -----

頭 ずっと髪をさわる

頭

ほおづえ

視 -----

F

H すごいたいへん-

視 ----- x -----

頭

視 -----

視 (斜め) ----- x -----

F F60 あ | -、えっ (p.L1) そういうのって最 | 上級生に回りがちって | いうか

H | うん # H60 | うん

視 ----- (斜め) -----

頭 〇。

横ふり

頭 〇

視

F | うん

H 何かね-//4年生で卒業することになってるじゃない↑ (笑い) 大字って | //だから

視 ----- x ----- (斜め) -----

頭 手振り

頭 。。。。

視

F 1年生2年生は-何か実際に会計/何か算費のお金集めたりとか↑/そういう作業

H

視 ----- x -----

頭 1や2を指でつくる

頭

頭 。。。。

視

手をほおから外す

視 ----- (斜め上) -----

F | うん # F61 | あっ

H やって3年生あたりが責任者って感じて | //で4年生は卒業あるし忙しい | から

視 ----- x -----

頭 指でずっと机に字を書く

頭 〇

頭 〇。。。。

視

そっかお目こぼしが | あるわけね | そうですね-

F

H //っていう # H61 | そうそんな感じに | なるけど、だからそれ以上の留年

視 ----- (斜め) ----- x -----

頭

頭 命令するような手振り

視 -----

F | あははは # F62 | 君やりましたえっ | て

H してる人が一番呑気かもっ | ていう// | ところなん | で (笑い) # H62 | そう僕そうに

視 ----- (横) ----- x -----

頭 体を横に大きく傾ける 手を前に出す

頭 〇。。

視 ----- (斜め) -----

F F63 =なるほど

H 何かこれはねっ | て書いてもいいような何か (笑い) //うーん=

視 (斜め) ----- x -----

頭 〇〇〇

頭

頭 〇。

視 -----

F | あーん

H H63 だから何か年功序列のところてちょっとやだな | っていうのも// | あるけど

視 ----- (下) ----- x ----- (斜め) -----

頭 〇。。

頭

。。。。

視 ----- x -----

F | うん

H だからその辺は | じばばがーちゃん | と自覚して-// | ちゃんと手を出さなきゃな

視 ----- x ----- (斜め) -----

頭



頭 〇 口に手を当てる

視 (横) ----- x -----

F 何かきょとんとされて!!それ年買ハガキですよー!!言われてあっもうそんな時

H ーうん | (笑い)

視 ----- x -----

頭 〇。

頭 顔を置く

視 ----- x (下) -----

F だったのかーと思っ???かい来たと思っさー=

H # | あーあれ、うんー (p1.1) H70=来年って何年だったっけ↑

視 ----- (斜め) ----- x -----

頭 髪をさわる

頭 〇

視 ----- x ----- (斜め)

F F71=あーいれ↑ # F72=だってあたしらそろそろ=

H H71=あーいれ↑

視 ----- (下) -----

頭 机に手を伸ばし、がくっとうつむく

頭 〇

視 ----- x -----

F F73=うん

H H72=あ、そっかー=

視 ----- x -----

頭

頭 机を手でたたく

視 ----- x -----

F # | でしょー↑ (笑い) F74 | そうそう/そうなんんだよ

H H73=来年もう | そんな年なんだ (P1.8) ? ? えーっ!! あっそっかー

視 ----- (下) ----- x -----

頭 体を大きくゆらす 手を頭に当てる

頭

頭 (斜め) ----- x -----

視 //で、そうあたしも何か、はーねずみ↑/あーって思っ=

F H74=あっびっくり、ただ

H

視 【手で隠れて不明】

頭

頭 自分を指さす

視 ----- x -----

F # F75 | あっ、そう、一緒やー緒やうんあたしも一緒だけど、

H あたし早生まれだからー | /年としては丑になるんだけど/それでもねー

視 ----- x -----

頭 体を起こす 〇。

頭

頭 頭をかく

視 ----- (斜め上) ----- x ----- (下) -----

F そうそう、じゃ、次は年女だなーとか↑って # | つ、ついにー

H H75 | ねえー/はあーもう | 2.4、2.3 =

視 ----- (斜め) -----

頭 〇。

頭

頭 視 (横) ----- x -----

F F76=そうだよー=

H = (笑い)

視 ----- (カメラの方) -----

頭

頭 手を打つ動作

視 ----- (斜め) -----

F 成長してない | ような気が (笑い)

H 〇

視 ----- (下) ----- x -----

頭 手振り

頭

頭 大きくなるような動作

視 ----- (斜め下) ----- x -----

F F80=何か | あたし!!二十歳って | すごいーあ何か/大人になるんや | っていう!!

H | ? | うーん | そうだよな

視 ----- (下) ----- x -----

頭 〇。

頭 〇。

頭 〇。

視 ----- (斜め下) ----- x ----- (斜め下) -----

F イメージを最初にとっってー!!なったときは、あーなってしまった、どうしようって

H | うん

視 ----- x -----

頭 〇。。。









頭 〇。

視

U 一緒に↑=

R R24=はいN、ノーいえいえN、Nさん、えーとNさんとP  
(斜め)

視 横ぶり

頭

頭

視

U U25=あー=

R とB /と (p1.4) とに//えーえー私/えーえー/火曜日/えー/火曜日/福井へー/えーき、行き  
ました/でもーえー月曜日/えー私/だけ= R25=えーと/ふつ、あんな切符/きつ、えー名古屋、  
(下) (斜め)

視 自分を示す

頭

頭

視

U

R 名古屋 (p1.4) なか名古屋駅で、えー切符かえました/ちょっと難しい/すみませんーん  
x (斜め)

視

頭

頭

視

U

R この切符 (笑い) あー//あとでんーえー/ベネゼエラの友達えー、うち//えーき行き  
(下) (斜め)

視 顔を覆う

頭

頭

視

U # | 電車

R ました/でも、えー (p1.8) えー (p1.6) 二つぐらい//えーえー/電話/で電話 | ? ? 電車、  
(斜め) (下)

視 顔を覆う

頭 手ぶり

頭

視

U

R えー (p1.4) 乗り換えました、あーとても難しい/でもー (笑い) えー//初めてえー/さくら  
(斜め) (上)

視 変える動作

頭

頭

視

U

R 通りライン↑、あとで/じゃまーたつじゃまー、あ忘れ/ました/えー/ラインえーとちょっと  
口に手をやる

視

頭

頭

視

U

R 難しい、であとでえー//えー/私のえー友達いー国から一回/えーえー (p1.4) 名古屋駅まで  
(斜め)

視

頭

頭

視

U

R あとでえー/えー/私のえー/私は (p1.4) えー/うーんに、に、日本/日本人、日本人の  
(遠く)

視

頭

頭

視

U U26=あっ/泊まりました↑=

R 友達/友達の家 (p1.9) とー/まりました↑= R26=泊まりました/ (斜め)

視

頭

頭

視

U

R 泊まりました/でも、えーでも初めてえー/ベネゼエラのえー友達いー/来ま、いいえ  
(斜め)

視 行く、来るの手ぶり

頭

頭

視

U

R い、い、行きました/あとで、えーとえー、日本人の友達//と、とても嬉しい/した、あ (笑い)  
(斜め) (下)

視 顔に手

頭

頭

視

U

R えー、あとえー (p1.2) いつでもえー地下鉄/地下鉄で/難しい  
(上)

視 ラインの手ぶり

頭

頭

視

U

R U27地下鉄は/ほ、ほ/くにも難しい/です= # | 金沢でも  
(斜め) (斜め)

R27= (笑い) 難しい/はいい//でも、でも  
(下)

視

頭

頭

視

U

R えーと/えー//ち地図//えー地図/えースケジュール/スケジュールあー? ? ここに/ここで  
(斜め)

視 手で細かく書いてある様子

頭



頭 〇。。

視

U 建物です/えーとちょっと/ちよっと/さん (p.22)?? ちよっと/うーん (p.7) おう

R

視 (斜め) 首振り

頭

頭

視

U 忘れました

R

視

頭

頭

視 U33英語で↑ (笑い)

R R32=英語で (笑い) 新しい (笑い3.1) 新しい (笑い) はーえー (p.1.3)

視 (横)

頭 机を叩いて大笑いする

頭

視

U ちよっと新しい、え、え、あ新しい建物//ですうーん//3か月えー2か月さん、さん

R

視

頭

頭 指で2をつくる

視 (斜め) 不明

U # | 2か月↑ | 2年あー # | できました↑

R 3か月/2か月に、に|に、に2年|2年/2年3年えー/前に|えーはい (p.1.2) でも

視 横

頭 〇。。

頭

視

U とでもとても新しいです/えーととうーん/きれいな部屋えー//ちよっとうーん//B大学の

R

視 x 下

頭 留学生会館を指さす

頭

視 # | 広い↑

U

R 部屋えー//えー/よりえーC大学部屋えー|//広い//広いです広いあーとてもえーテレビ//

視 (斜め) x (斜め) x

頭 〇。。

頭

視 口を動かす 口に手をあてる 〇。。

視 # | あります↑//あー うん

U

R テレビとー|えー//はいテレビ/テレビとお手洗いとー//うーんお風呂//とーうーん

視 (斜め) x (斜め) x

頭 〇。。 数え上げる動作

頭

視 # | キッチン↑ エアコン↓あー うん # | よかった

R //何↑//エアコン↑/エア|コン/キッチン//とー、ヒーター↑//ワオ-ワオ-|よかった

視 (下)

頭 顔に手をあてる

頭

頭

視

U (笑い) あーはい/とてもとても便利です/えーととうーん/金がえっ

R

視 (斜め) (下) x (斜め) x

頭 手ぶり

頭

視

U (p.1.1) い、いつでもえーB/b大学C大学?? えーCだいがC大学えー//

R

視 (横)

頭 手 ぶ り

頭

視

U となりとなり (p.1.7) え、え、ちよ、ちよ、ちよっとうーん//近い近い近い近いです↑近く

R

視 x (斜め) x (斜め) x

頭 手ぶり

頭

視 U34金沢と福井↑# あ # U35 | キャンパス↑#

R R33=え↑いえいえ/えー (笑い) えー//会館/会館と、うーん|と

視 (斜め) x

頭 手の横ぶり

頭

頭 〇。。

視

U =R34 | キャンパス↑ | キャンパス//えーとな、えー近くです/近くです、とても便利です、

R

視 (斜め) x (斜め) x (斜め) x

頭

頭

視 〇。。

頭

視 | 歩いて5分=

U

R えー//ごじゅうご (p.3.4) ごっ、ごーえー歩いて5分 | // 5分えー

視 x (斜め) x (斜め) x

頭 〇。。

頭

視 〇。。 会館を指さす

視 (斜め) x

U # U36 | もっと近い↓# # U37 | でもその会館も近いん

R 自転車で (p.1.3) | R35= もっと近いもって近い|のん??

視 x

頭 〇。。



頭 視 (下) x

U //うーん (p.14) いろいろな公園で//え、いろ、いろいろな公園があります (p.3.5)

頭 視 (斜め下) --- x (下) ---

U U44=ちよっと (笑い) ちよっと大変ね

R バレnciaおうーちよっと速いです (笑い)

頭 視 --- x (下) ---

頭 視

U R43バレンシア

頭 視 (斜め) x

頭 視 (斜め) --- x

U U45行きたいですかバレンシア

R 視

頭 視

頭 視

U R44うーん、はいでも、うーん (p.12) でもちよっと高いです//えー (p.1.9) えーちよっと (斜め) ---

頭 首傾げ

頭 横ぶり

視 #U46|ちよっ//帰れない!

U 高い|とーうーん

R x-(斜め) - x

頭

頭 視

U R45帰らない!はい (p.11) 帰らないでも//えーアメリカとーオーストラリアとーうーん

R (斜め) --- x (斜め) ---

頭 O。 数え上げる動作

頭 視

U //いろいろな所うん、日本、日本の中//えー行き、えーはじめて、い、い行きたいです!

R - x (下) --- x (下) ---

頭 「ここ」を指さす感じ

頭 視

U R 行きたい//おーF (国名) (p.1.9) とても速いえー//えー (p.1.5) 速くて高いですから/ (斜め上) --- x

頭 視

U えーオーストラリアとーうーん (p.1.0) うんいろいろな所//えーい、えーえー行き// (斜め) --- x

頭 視

頭 視

U R 行きたいです (p.2.0) でもうーん (p.3.0) えーえーに、に、日本 (p.1.1) えーと (下) --- (斜め上) --- x (斜め) ---

頭 手ぶり

視 U47=おーあっ、北海道行った|んだ えっ

R うーん日本の中うーん//北海道= # R46|北海道行きたいんです//でも (斜め) ---

頭 。

頭 視

U #|あっ行きません!

R でも、えーノー-いいいい行き、いいいい行きません|行きませんでした!えー//でも x (斜め) --- x (斜め) ---

頭 横ぶり

頭 O。

視 |あー病気に|//あー

U えーちよっと高いですえーえー//母ちよっとちよっとえー病気で|す |えー (斜め) --- x (斜め) ---

頭 。

頭 視

U はい

R 病気で、でも今、今大丈夫//えーちよっとえーちよっとお金えーえー (笑い) x (下) --- x (斜め下) ---

頭

会話資料 6 日本母語話者と日本語学習者の会話「能登へのドライブ」

データ

収録場所：B 大学内の教室

会話参加者：JM6 (T) 日本人男性、LM2 (N) ルーマニア人男性

会話時間：約 20 分の自由会話のうち、最初の数分をカットした 15 分間分

全体の流れ

◆夏休みのはじめに、Nは友達と旅行した。→ 中国製の安いテントを買って、能登半島へドライブをして、キャンプをした。→ しかしNは体の調子がおかしかつたので、泳げなかった。→ いろいろな寺に行っ  
た。そのあと、C大学へ行って、先生と専門について話してきた。→ 9月には、日本語の試験があって、スピーチの準備をしている。→ Nさんは暇なとき、何をしているのか。今はあまり暇がないが、国ではサッカーやハンドボール、ジョギングなどをしていた。→ 国で働いていた会社はリサーチをする会社だった。会社では朝7時から午後4時まで働いていた。その後も4時間残業した。→ こっちに来てから日本語は少なくてできるようになった。→ C大学の先生とはほとんど英語で話した。金かと福井とでは発音がちがう。→ あまりお金がないが、家内を日本に呼びたいのでお金を貯めた。1年の往復切符で、4000ドルくらいと、高い。

会話

頭 ぼおづえ

視 | はい

T マイクロフォンだけ↑/そーです///あのー//夏休みの初めに| (p11) あのー  
N (正面) ----- x -----

頭

視 T1=は| 何人ぐらいで↑=  
T (吸気) 友達と//旅行をしました= # | そーですあの N1=あー何人↑あー  
N (正面) ----- x ----- (斜め) -----  
視 O

頭

視 O。。。。。

手を机の上のせる O

視

| うん

# | Rさん↓はい

N

4人ぐ/4人/4人/だけ↑だけ↓|あのー私と R さん↑|//背が背が高いです

視

(正面) ----- x -----

頭

手ぶり

高さを示す

頭

O

視

(机の上) ----- x -----

T

はいわかります # | Bさん

| はい

N

あのー| ビー↑//ビー| ビー| //BさんあのーG (国名) 人です| (p13) (吸気)

視

(正面) ----- x ----- (正面) -----

頭

。。。。。

頭

O。。。。。

鼻に手

頭

首傾げ

テントの形の手ぶり

視

(斜め横) ----- x -----

T

# | Pさんはいはい

| (笑い)

N

とー Pさん↑|//H (国名) はい//あのーH (国名) さん/H (国名) | (笑い)

視

(正面) ----- x ----- (F) -----

頭

O

頭

O

(机の上) ----- x -----

頭

指で4を作る。。。

ぼおづえ

視

(斜め横) ----- x -----

T

# T2 | Pさんは車を

N

P さん (笑い) ごめんなさい / P さん車を持って|//います

視

(正面) ----- x -----

頭

頭

O。。。。。

鼻に手

頭

。。。

T7=つか↑|つか↑ //

視

うん中国でー、うー、つかいまして= # | つか

N

うん中国でー、うー、つかいまして= # | つか

視

(斜め上) ----- x -----

頭

。。。

頭

。。。

視

作りました↑=

T

# | テント↑

T3=いくらす↑か↑ # | 覚えて

N

買いました↑|/とても安//かったテント↑= N3 | (吸気) いくらの| (笑

視

(正面) ----- x ----- (正面) -----

頭

首傾げ

手ぶり

O。。。。。

N7=作りましたはい、はい (吸気) //あのーそーですあのー//

(正面) -----







頭 。。。 ○

視

T |あー

N 九月の間、あの日本語の試験があります！//ですから/今、あの//スピーチを

視 (手元)

頭 。。。 うしろを指さす

頭 。。。。

視 (正面)

T |うん |はい

N 準備しています！(笑い) 今まで、あのインタビュー↑↑をしました、

視 (斜め前)

頭 両手で四角をつくる 。。。。

頭 手ぶり

視 (正面)

T # T33 |あの//前にあの一、一回スピーチやりましたよ↑↑あの時とまた別の

N あのー

視

頭 「別の」手ぶり。 手ぶり 1を指でつくる

視 (正面)

T インタビューですか↑ = T34 = 前に一度(p1.4) |あのー

N N33 = あーもう一度お願い = |はい # |いちど↑

視 (斜め上)

頭 首突き出す

頭 手ぶり

視

T (p1.2) あのスピーチしましたよね↑ =

N N34 = はい

視

頭 。。。。

頭 手ぶり 。。 頭かく

視

T T35あれとはまた別のインタビューですか↑

N # N35 |うーんうんうん |? ?です

視

頭 ○。。

頭

視 (斜め横)

T N36 (吸気) あの図書館とー (p2.9) このビル//あのイン、あのー (p1.5)

N (正面)

視 (斜め前)

頭 「ここ」を指さす

頭 「ここ」を指さす

視 (正面)

T # |うん、えーと # T36 |とー、前はここは |//と、教養部って

N 日本語 | (p1.1) あーどうします/どう話し |//? ? |うん

視

頭

頭 。。 手ぶり 。。。。

視 (斜め横)

T 言いましたけど |も (p1.1) 今は//この建物は (p1.3) 総合教育棟//っていいます =

N |きょうようぶ、はい

視

頭 。。

頭 。。 顔をふく。

視

T |うん |うん

N N37 = ふん、オーケー、でも図書館とーこのビル↑↑の中と//食堂 | (p2.5) に

視 (斜め下)

頭 「あっち」を親指でさす ここをさす 後ろを指さす

頭 。。。。

視

T |うん |うん

N あのーいろいろなー日本人を//は//話しました↑↑//あのー//about interview | (p1.5)

視 (正面)

頭 首傾げ 手で四角をつくる ○。。

頭 手ぶり

視

T T37 = 何についてのインタビュー |ですか↑

N はなす (吸気) what more = # N38 |何について、あー

視 (斜め上)

頭 首を突き出す

頭 。。。。

視 (正面)

T オーケーーあのsubject あの一//暇なときどうしますか | (笑い) ??? スポーツを

N

視 (正面)

頭 首傾げ

頭 顔をふく 。。。。

視 (正面)

T しますかどんなスポーツをしますか//図書館へ行きますかー、あのー旅行をしますかー、

N

視

頭 首傾げ 。。。。

視 (正面)

T |うん

N ふーん (p2.9) 留学生の友達 | (p1.2) ありますかー、うん//たとえば ↓ =

視 (斜め上)

頭 首傾げ 。。

頭 ○。。

視

T T38 = どんな答えが多かった |ですか↑ # |うん

N # N39 | (吸気) そうです (p1.1) あのー今/まとめ |//

視 (正面)

頭 首を突き出す

頭 。。。。

視 ----- (正面) -----

T //まとめています

N まとめていますはい、レポートをまとめています

視 x ----- (正面) -----

頭 。。

頭 相手をさす 笑い

視 ----- (正面) -----

T T39えーと (p1.1) Nさんは (p1.1) 暇なときは | どうしますか↑

N # N40 | (笑い) おーそうです

視 x ----- (斜め下) -----

頭

頭 手をさす 遠くを手でさす

視 ----- (正面) -----

T # T40 | うーんじゃあ (p1.6) あの/お国にいたときは |

N 今ー/暇な//あまりありません | /でした # N41 | うーん、

視 x ----- (斜め上) -----

頭 首傾げ

頭 額をかく

視 -----

T | うん

N 今ー/留学生↑/そうです、あの/私はあー (p2.8) 5年↑ //5年前にー//

視 ----- x s ----- (正面) -----

頭 首傾げ

頭 。

視 -----

T | うん

N ブカレスト大学を出ました | /あの (p1.4) あ、後で、おー、会社に | (p1.3)

視 x ----- (正面) -----

頭 首突き出す

頭 。。。。手ぶり 。。。。

視 -----

T T41=うん、その後で | //会社に

N 働き↑/ました↑ = # N42 | あー、あー//会社の時ー暇があまり//

視 x ----- (正面) ----- x ----- (正面) -----

頭 横ぶり

頭 。。。。目をかく 髪をさわる

視 -----

T # | あーあー忙しかった↑ | うん

N | ありません、でも//はい、あー/留学生、あー/学生の時↑ | (吸気) //

視 x ----- (斜め上) ----- x ----- (斜め上) ----- x ----- (斜め上) -----

頭 O。

頭 -----

視 -----

T

N そうです、あー//旅行、旅行あまり (p1.4) ま、ありませんでした、あー

視 ----- x -----

頭 横ぶり

頭 。。。。

視 -----

T | (笑い)

N お金が (笑い) 少し | (笑い) ありませんでした、でも//あー/いろいろな

視 x ----- (正面) ----- x -----

頭

頭 。。。。

視 -----

T | うん # | ハンド

N スポーツをしました、あー/サッカー↑ //サッカーとー (p1.5) handball ↓ | //

視 x ----- (斜め上) ----- x -----

頭

頭 ハンドボールの手付き

視 -----

T | ボール↑//ハンドボール↓

N | ハンド、ハンド、ハンド//はいはい (吸気) とー、ジョギング↑//

視 ----- (正面) -----

頭 ハンドボールの手付き O。。。。

頭 。。。。

視 -----

T | ふーん

N | しました

視 x ----- (正面) -----

頭 。。。。

頭 机の上で手ぶり 横ぶり 四角をつくる

頭 「集まる」手ぶり

視 ----- (正面) ----- x -----

T T42サッカーとかハンドボールは//あの//メンバーがたくさんいますよね↑ | //

N | うん

視 x -----

頭

頭 「まわり」の手ぶり

視 ----- (正面) -----

T まわりにそういう人が//たくさん//いた | んですか↑

N # N43 | うん//うん//うん↑もう一度↑いたんですか↑ =

視 ----- (斜め上) ----- x -----

頭 。。。。 首突き出す

頭 「まわり」の手ぶり

視 ----- x -----

T T43=まわりにメンバーが | たくさん | いましたか↑ =

N | はい N44=あー、あー (呼気) あー

視 ----- (正面) -----

頭 O。。。。 横ぶり 横ぶり

頭 。。。。

視 -----

T | うん # | クラブ↑

N (p1.2) あー、あー、福井、うー、ブカレスト//大学 | / クラブ | //クラブ

視 ----- (手元) ----- x -----

頭 机の上で手ぶり 横ぶり 四角をつくる





頭 視 ----- (手元) ----- x -----

T ーん ーん ーん

N ぐらい、そうです、あのー//あーC大学|でー//えい、(p.1.2) C大学へ|//

視 ----- (手元) -----

頭 首傾げ

頭 〇〇。。。 「やりとり」の手ぶり

視 ----- (手元) ----- x -----

T # | 英語↑ T 60 = 全部英語↑ =

N あー先生とあーん英語を話しました(笑い)??した= N 61 = あー (p.1.4)

視 ----- x ----- (手元) ----- (斜め前) -----

頭 〇〇 横ぶり

頭 。。。 手ぶり 〇〇 。

視 ーん ーん | (笑い) ーん ーん

N うん/foot 全部|うん (p.1.2) 時々日本語|はい//でもー//発音↑|発音↑ (p.1.4)

視 ----- x ----- (手元) ----- x -----

頭 横ぶり 手ぶり

頭 〇〇〇〇

視 ーん | (笑い)

T あー (p.1.2) 金沢 (p.1.6) とー/福井、発音//ちよっとー | (p.2.0) different ??

N ----- x ----- (正面) ----- x -----

視 横ぶり 手ぶり

頭

頭 。。。 。

視 ----- (正面) ----- x -----

T # | 違います T 61 = あーでもそれがー

N ちよっとまちがいです|//ーんー違います、はい (笑い) =

視 -----

頭 。。。 。

頭 手ぶり 〇。。。 。。。 。

視 -----

T わかるっていう|のは//日本語が上手な証拠です

N # N 62 | うん//はい (p.1.3) ーん (笑い) そうです (笑い) (p.1.4) そうです

視 ----- (手元) ----- x ----- (正面) ----- (手元) -----

頭 〇〇。 首傾げ

頭 -----

視 -----

T T 62 他にあー//合気道やりましたよね= ーん ーん ーん

N N 63 = おーそうです、あー//夏休みの| //の間|//

視 ----- x ----- (斜め上) ----- (手元) -----

頭 〇。。。 。

視 ----- (斜め横) ----- x -----

T ーん # | 名古屋 ーん

N クラブ|//うー名古屋↑|名古屋へ|行きました、でも (p.1.9) たくさんお金をはら、

視 ----- (斜め上) ----- x ----- (斜め前) ----- x -----

頭

頭 。。。 。

視 ----- (手元) ----- x -----

T T 63 = 五万円↑

N 払いました、あー (p.1.3) ー、ごーじゅう↑ (p.1.2) 五十//五万円 =

視 ----- (斜め上) ----- x ----- (手元) -----

頭 〇。。。 机に数字かく

頭 。

視 ----- (手元) ----- x -----

T ーん ーん

N # N 64 | ね、でも私はんーんーん//お金たく//ありません、でもー//あー私は

視 ----- (斜め下) ----- x ----- (正面) ----- (手元) -----

頭 横ぶり 首傾げ 横ぶり

頭 。。。 。。。 。

視 ーん

T 結婚しています|//あー//九月のー//間、たぶん家内日本語、日本 (p.1.2) にす、

N ----- x ----- (斜め前) ----- (斜め下) -----

視 頭

頭 「来る」手ぶり

視 ----- (斜め横) ----- x -----

T # T 64 | ーん/ーん/日本に

N つき↑つき↑着きたいです↑//行きたいです↑//行き|//行きます、たぶん

視 ----- x -----

頭 「来る」手ぶり

頭 。。。 。

視 -----

T 来たがって|います

N # N 65 | はいはい、あーのールーマニアから/ーん//ですからあー//切符↑

視 ----- (正面) -----

頭 〇。

頭 。。。 。

視 -----

T ーん | あー

N 飛行機の|切符//のためにたくさん|あー、お金を (p.2.1) ほほ、what is to save

視 ----- x -----

頭

頭 〇。。。 。

視 ----- (斜め下) ----- x -----

T # | ためる ーん

N ため↑ためま|す↑ //ためまし|た//あー//国へお金を (p.1.4) 送り

視 ----- (斜め前) -----

頭 。。。 。

頭 「来る」手ぶり

頭 。。。 。

視 ----- (斜め下) ----- x -----

T | ほー # T 65 | いく|ぐら|い|か|か|る|か|る|?

N ました| (笑い) そうです (笑い) ーん # N 66 | そうですあー (p.1.3)

視 ----- (手元) ----- x ----- (斜め上) ----- (右腕) -----

頭 首傾げ

頭 。。。。。

視 (手元) × (手元) --- x

T うん # | パリ ↓ // うん

N あーパレスト | からうー、パリス/ペリス ↑ パリス ↑ フランス、フランス、パリス  
--- (正面) --- x

頭 。。。

頭 。。。

視 (手元) --- x

T # | 大阪 ↓ うん

N まで // あーパリスからあーおさか ↑ | (p.11) パリスから大阪まで (吸気) あー  
--- x --- (斜め前) --- (斜め上) ---

頭 首で大阪の方をさす

頭 顔かく

視 (斜め横) --- x

T | ふーん

N // せん (p.19) せんにひゃくーごじゅうドル | (p.13) あー、とても安いですが、でも  
--- x --- (手元) ---

頭 。。。

頭 机に書く

頭 鼻をかく 鼻をかく

視 (正面) --- x

T 66 一年 ↑ = うん

N N67 = いち、あー // あー // 切符 ↑ きっきぶ、切符 // is two ways  
--- (手元) --- x --- (斜め上) --- x

頭 指で2をつくる

頭 指で2をつくる

視 (手元) --- x

T 67 two | ways ↑

N # N68 | えー、yes あー // you can use it // from uhm/Bucharest Osaka an  
--- (手元) ---

頭 。。。

頭 指で机の上をさす

頭 「往復」の手ぶり。。。。

視 「1年間」を手で示す  
--- (正面) × ---

T # T68 | うーん // あっ往復 ↓ | ? ? T69 = あっ一年

N Osaka Bucharest | // two ways N69 # | うん、はい、one year for ability =

視 ×

頭 指で2をつくる O。。

頭 。。。。。。。。

視 。。。。。。。。

T 以内に | / うん | ふーん

N # N70 | はいはいはいはい // うん、ですからーとっても安いですが、でも (p.12)  
--- (手元) --- x --- (斜め上) ---

頭 O。。。。。。

頭 鼻をかく

視 。。。。。。。。 (斜め下) --- x

T # | 高い ↑

N とでもー // 高いです、あー (吸気) うー、うーん、? ? いちにさんよん // よん  
--- x --- (斜め上)

頭

頭 。。。

頭 手で差を示す 。。。。。。

視 (斜め横) × (手元) ---

T T73 = 四千ドル // あー全然違います ↑ ねー ↑

N (1.1) よんせんードルぐらい = | はい N74 | (笑い) はい (笑い)  
--- x ---

頭 。。。。。。。。

頭 。。。。。。。。

視 。。。。。。。。 (手元) --- (正面) ---

T | 同じ切符 // はーん

N はい、同じ切符 | あー、いち、一年、あー  
--- (斜め下) --- x ---

頭 机の上で示す

頭

頭 。。。。。。。。

視 。。。。。。。。 (正面) ---

T T74 四千ドルっていうことは = T75 = アメリカドル ↑ =

N N75 = four, four thousand = N76 = アメリカン

視 (斜め上) --- x --- (手元) ---

頭 O。。。。

頭 。。。。。。

視 (手元) × (手元) --- x

T # | パリ ↓ // うん

N あーパレスト | からうー、パリス/ペリス ↑ パリス ↑ フランス、フランス、パリス  
--- (正面) --- x

頭 。。。

頭 。。。

視 (手元) --- x

T # | 大阪 ↓ うん

N まで // あーパリスからあーおさか ↑ | (p.11) パリスから大阪まで (吸気) あー  
--- x --- (斜め前) --- (斜め上) ---

頭 首で大阪の方をさす

頭 顔かく

視 (斜め横) --- x

T | ふーん

N // せん (p.19) せんにひゃくーごじゅうドル | (p.13) あー、とても安いですが、でも  
--- x --- (手元) ---

頭 。。。

頭 机に書く

頭 鼻をかく

視 。。。。。。。。 (斜め下) --- x

T # | 高い ↑

N とでもー // 高いです、あー (吸気) うー、うーん、? ? いちにさんよん // よん  
--- x --- (斜め上)

頭

頭 。。。

頭 手で差を示す 。。。。。。

視 (斜め横) × (手元) ---

T T73 = 四千ドル // あー全然違います ↑ ねー ↑

N (1.1) よんせんードルぐらい = | はい N74 | (笑い) はい (笑い)  
--- x ---

頭 。。。。。。。。

頭 。。。。。。。。

視 。。。。。。。。 (手元) --- (正面) ---

T | 同じ切符 // はーん

N はい、同じ切符 | あー、いち、一年、あー  
--- (斜め下) --- x ---

頭 机の上で示す

頭

頭 。。。。。。。。

視 。。。。。。。。 (正面) ---

T T74 四千ドルっていうことは = T75 = アメリカドル ↑ =

N N75 = four, four thousand = N76 = アメリカン

視 (斜め上) --- x --- (手元) ---

頭 O。。。。



頭 。。 計算する手ぶり  
 視 ----- x --- (正面) ----- x ----- (正面) ----- x  
 T T76=したら (p12) よん (p16) 四千ドルっていうことは40万円  
 N ドル、はい= #N77|40万円  
 視 -----  
 頭 O。。  
 頭 。。。。。。  
 視 ----- (正面) ----- x ----- (手元) ----- x ----- (斜め下) ----- x -----  
 T #N77|高いですわねー |うん |うん |うん  
 N はしい |高いですあのー//生協でいうーとても高いです//あのー//  
 視 ----- (斜め前) ----- x ----- (斜め上) -----  
 頭 O。 生協の方をさす 首傾げ  
 頭 鼻をふく  
 視 (斜め下) ----- x -----  
 T いろいろな会社の金沢 (p12) さんー (p12) さんぜんご//うー (p38) what ten ten  
 N ----- (斜め機) ----- x ----- (手元) ----- x -----  
 視 -----  
 頭 指さし 机に計算

会話資料7 日本語母語話者と日本語学習者の会話「マレーシアのカレー」

データ

収録場所：B 大学内の教室

会話参加者：JFS (A) 日本人女性、LFI (B) マレーシア人女性

会話時間：約20分の自由会話のうち、最初の数分をカットした15分間分

全体の流れ

◆Bは夏休みに海辺でキャンプをして、その後、耳の病気がかかった。→ Aは数日寒気に備っただけで、あとはずっとアルバイトをしていた。ペルーへ旅行するが、高い。今スペイン語の勉強をしている。→ Bは10月からB大学に行くことになっている。今月25日、修士の入試があるので、大変だ。→ Bにとって、日本語の漢字は読み方がたくさんあってむずかしい。東京に行ったとき、駅の出口がよくわからず人に聞いた。→ 一般の日本人はあまり英語を使わない。日本人はあまり英語が話せない。→ Bは日本の料理を作れないが、いつもマレーシアの料理を自分で作っている。マレーシアのスパイスは辛い。日本のトウガラシは辛くない。

会話

頭  
 視 x -----  
 A A1夏休みはどこにも行かなかったんですか↑  
 B -----  
 視  
 頭  
 頭  
 視  
 A B1どこにもねー私//あのー夏休みちょっと忙しい//忙しかったです (笑い) = (斜め) ----- x ----- (斜め) x -----  
 頭  
 頭  
 視 O。 ずっとの手振り  
 視 ----- x -----  
 A A2=あー|勉強ですか↑ = A3| (笑い) 勉強じゃ|ない↑  
 B |そうすわねー B2=勉強し、じゃなくて| (笑い) B3|あー  
 視 ----- (斜め) -----  
 頭  
 頭  
 視 O  
 視 -----  
 A A4=あー=  
 B いろいろことがあのー行ったことがあるんですけど = B4=うんたといえばあのー// (斜め) ----- x ----- (斜め) -----  
 視 -----  
 頭



頭 ○ 体を乗出す ○。○。

視 x

A 実家に帰ってホームタウンに帰ってー A 20=うん↑ = #A 21|田舎(笑い)に

B #B 20|そら、いかない↑ = B 21=いな|田舎↑あー田舎あん

視

頭 ○。

頭 2を指でつくる

視 -(斜め) - - x (斜め) x (斜め) - - (斜め) - -

A 帰って二日間だけ|二日間↓//だけ #A 22|うん短いですで//

B うん #B 22|二日間↑そうです↓そうーそしてあのー短い||//短かった、そうそう

視

頭

頭

視 - - - x (斜め) - - x (斜め) - - x (斜め) - -

A えーと実家で田舎でー//あのーパーベキューを|して(笑い)

B うん #B 23|パーベキューして、えっ私も

視

頭

頭 ○。○。

視

A うん #|小松↑松任↑うん

B パーベキューして//あのー//どここっちあのー(p.1.4)あー小松|小松、松任/

視 (斜め上) - - - - x

頭 速くを指さす

頭 ○。○。○。

視 (斜め) - - x

A #|キャンプ↑、パーベキュー↑(笑い)

B 松任の(p.1.4)松任の海//うーん|近くで、そうです//パーベキューでした、うん

視

頭 ○。○。○。

頭 「帰る」の手振り

視 (斜め) - - -

A #|うんパーベキューいいです/ねー↑(笑い1.2) #A 23|でー//

B //とてもいいね|あーおいしかったです(笑い)そうです(笑い) |うーん

視 (斜め) - - - x

頭 おいしい!という様子 ○。○。

頭

視 - - - x (斜め) - - x (斜め) - - x (斜め) - -

A えーと/また金がすぐ帰ってきてー(p.1.3)アルバイトです|//仕事を? ? ずっとー

B そう、うん #B 24|アルバイト↑あそう

視

頭 ○。○。○。

頭

視 (斜め) - - x (斜め) - - x (斜め) - - x (斜め) - -

A A 24=ずっと↑(笑い) = #A 25|(笑い)そんなあ(笑い)でえっと//

B //ずっと↑ = B 25=あら今お金が//|貸してください(笑い)

視 (斜め) - - - - x

頭 「たたくさん」の手振り

頭

視 (斜め) - - x (斜め) - - - - x

A 9月の//1.3日から//ペルーに旅行に//行き|ます1.3日|からペルー #A 26|えっと

B はい #B 26|そうですか//ペルー↑//ペルーど、どこ↑

視

頭 ○。○。

頭

視 長い「海岸」を縦に手で示す

頭

視

A 南米ー//うーんサウスアメリカ|のー(p.1.3)の海岸のどこ(p.1.1)に旅行にあっ

B #B 27|おう Peru そうそうそうそうそう(p.1.1)そうねえ

視 (斜め) - - - x

頭 手に文字を書く

頭 ○。○。○。

視

視 (斜め) - - - - x

A はい(笑い) #A 27|そのために/ずっとアルバイトをして|ます??

B //これはよかったです(笑い)うーん うん #B 28|ずっと

視 (斜め) - - - x

頭

頭 ○。○。○。○。○。

視 斜めー x

A 夏休みは A 28=はい|? うん (笑い) #|ペルーへ

B アルバイト|//もうそうそう #B 29|あのーねーそれはよかったですね//ペルーね|//

視 (斜め) - - - - x

頭

頭 ○。

視 (斜め) - - - - x

A #A 29|ああ、あたしも初めて = A 30=はい =

B 私行ったことがないねー//うーん B 30=初めて↑ = B 31=どうでしたか↑ =

視 x

頭

頭

視

A A 31=うんまだ行っていない|//あっこれから // 9月の

B #B 32|えっまだ行っていない|//いっ↑|これから↑//9月のいつ =

視

頭

頭

視

A A 32=9月の1.3 = #A 33|うーん楽しみですー|(笑い)うーん

B B 33=あっ1.3ーそうそう/|あー #B 34|おー楽しみー↑そうですか↑

視 (斜め) - - - - x (斜め) - - -

頭 ○。

頭

視 (斜め) - - - - x

A (笑い) A 34=うん =

B おーよかった(p.2.0)おーペルーね↑ = B 35=あーんいくらすか↑ =

視 - - - - x

頭

考える

頭 視 (斜め) --- x (斜め下) --- x  
 A A 35 = えーと//すごく高いです//えーと// | 高いですえーとねー (p.11)  
 B | そっ↑うん | 高い//うん  
 頭 視  
 頭 4 を指で作る  
 頭 視 x  
 A うーんと//40万 = A 36 = 全部で =  
 B B 36 = 40万↑ = B 37 = おー four hundred dollars 40万/全部で↑ =  
 頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 頭 O  
 頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 A A 37 = 全部で40万ねー// 飛行機// うんと、代も含めて飛行機代と宿泊代  
 B # | うん//何日↑うん うん そう  
 頭 視 O O O O  
 頭 O。  
 頭 視 (斜め) x  
 A 泊まる/お金も全部入れて40万でえーと10日間 = A 38 = 10日間↑ =  
 B うんうん そう B 38 = 10日間↑ = B 39 = あーん/12日  
 頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 頭

頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 A # A 39 | (笑い) 4万/  
 B (p.11) | そうですな-//わー40万10日間、そう一日ー (p.18) 一日//40うん//  
 頭 視 --- x  
 頭 視 --- x  
 A ?? 4万円 (笑い) うん//高い//ですな (笑い) うん高いです//ねー  
 B おー4万円 # B 40 | おー4万円//あの一そのために (p.13) 一生懸命あの一  
 頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 頭 O。  
 頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x (下) --- x  
 A # A 40 | アルバイトして (笑い) = | そうです (笑い)  
 B アルバイト | する?? B 41 = そうですそうです | そうですよねー  
 頭 視  
 頭 手振り  
 頭 視  
 A # | うーんがんばります (笑い) | あーそうですよねー↑  
 B //がんばるねー私ー毎日今ね日本語毎日勉強するね | がんばりまてます//うん//  
 頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 頭 O。

頭 視 (斜め下) --- x (斜め) --- x  
 A A 41 | うーんうーん// 難しいですよね うーん  
 B 日本語ねいつもね//難しいと思う | (笑い) # B 42 | うんでもー//あの一日本人ね//  
 頭 視 x (下) --- x (斜め下) --- x  
 頭  
 頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 A A 42 = あー | 早く/しゃべると  
 B あーん//日本語早くあの一//話すときねー//全然わかりませんね = | うんそうです、  
 頭 視 (斜め) --- x  
 頭 視  
 A わかりませんか↑//あーそうですか  
 B そうです、うん  
 頭 視  
 頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 A A 43 = ああゆっ↑くりですか↑//うん  
 B B 43 = てもあなたあの一今ね (p.16) slowly でしょ↑ = | ?? ゆっくりそう  
 頭 視  
 頭 手振り

頭 視 (斜め) --- x (斜め) --- x  
 A (笑い) ?? | うーん # A 44 | あー//うーん今/とペルーは  
 B です # B 44 | うーんそうだいたいわかりました  
 頭 視 (斜め下) --- x (斜め) --- x  
 頭 O  
 頭 視  
 A スペイン語//なので//スペイン語を少し勉強しているんです | けど/はい//  
 B | スペイン語//うんそうです # B 45 | そうねあー//  
 頭 視  
 頭 視  
 A | やっぱり A 45 = ん↑ =  
 B | ときょ勉強するであ = B 46 = どこー//あの一スペイン語勉強する一なりますか↑  
 頭 視  
 頭 視  
 A A 46 = っ↑ス | スペイン語 A 47 = 自分で | と//ラジオでー//  
 B # B 47 | スペイン語//うん//自分で勉強↑ = | あーそうですか  
 頭 視  
 頭



頭 視

A B65でも、あー(ため息)  
(斜め)

頭 視

頭 視

頭 視

A A65難しいですか↑ A66でも漢字は読めるんですよ↑ A67=はい= B66=私↑= B67=私↑= (斜め)

頭 視

A #あれっ↑

B B68読めないよ(笑)

頭 視

頭 視

(斜め)

A A68漢字を書きますよね↑ #あれ読むのは

B #B69あの、み、見て/書けます、これ大丈夫でしょうん書く書くってこと// (斜め)

頭 視

字を示す

頭 視

O。

(斜め)

A #A69|あー難しいですか↑//あーそっか/日本語の

B うーん大丈夫と思うね//でも読むね|全然//あー難しいのー/うん(笑)

頭 視

頭 視

A 読み方があるー/|から↑??ねそうですね↑//うーんうん(笑)

B #B70|うんそうねいっばいありますよー/別々のー/あのことばあの、これ

頭 視

頭 視

(斜め)

A #A70|あーあーあー//うーん

B 漢字とこれ漢字いっしょにね、えっ別の意味がありました|たから/うーん(笑)

頭 視

頭 視

難しいですよねー↑(笑)

A #B71|うーんそうですね(笑)

B (斜め)

頭 視

O。

頭 視

髪に手 手で相手をさす

(斜め)

A A71=うーん//|でもー上手になりましたね日本語= うーん

B B72難しいねー= |?? B73=いいえいい先生

頭 視

(斜め)

頭 視

(下)

A #|この//あー A72=この前//と Pさんと話をした

B だから(笑い2.4)|教えてもらったんですけど= うん

頭 視

頭 視

時も| (p11) Pさんと同じようにお話をした時も Pさんもすぐ

B #|そ、えっ同じ↑//そうですね、そう、あそうそうそう

頭 視

相手を手で指す

頭 視

O。

(斜め)

A 日本語が上手になって|てー (p12) なんか//皆さん//なんか上手になるのがすごく

B #|そうですねー//うーん

頭 視

O。

頭 視

頭 視

早い|ですねー/まだ あー(笑)

A #B74|いえー//あの毎日8時間勉強したから(笑)

B (斜め)

頭 視

O。

(斜め)

A A73そうですね日本語だけずっとしてきたんですか↑4月からー|??

B #B75|4月からずっと

頭 視

O。

(斜め)

A A74|はー

B |/うーん

頭 視

頭 視

首斜め O。

(斜め)

A A75=はい=

美 B76 3カ月あとでー/3カ月勉強したあとでー/夏休みでしょ↑= B77=1カ月

頭 視

(斜め)



頭 ○。

視

A ですよね↑//あー

B # B 86 | そうですな-//だから日本語ね-上手にあの- (敬気) じゃす上手になるければ

視

頭

頭

視

A うーん (笑い) # | うーんそうです

B なりませんですね↑//そうでしょ↑//うーん//日本語ね-とても大切こと | (p.1.2) と

視

頭

頭

視

ね↑うーん//日本ではうーん選抜隊が

B 思うね (笑い) 日本ではですよ (笑い) あまり英語使わないでしょ↑ =

視

頭

頭

視

横ふり

視

A A 84 = 使わない | ですな、うーん、うーん私-//あ私ですか↑ =

B | うーんそう | えいえ (笑い)

視

頭

頭

視

A | あー? # | 使わないです

B B 87 = いえあの- 一般の日本/日本人で-あ-そうです/英語であの-//あまり

視

頭

頭

視

A | うーん # A 85 | たぶん//しゃべれない人がほとんど- | だと思うん

B 使わないと思う-//ねうーん // | しょ # B 88 | うーん

視

頭

頭

視

ですけど # A 86 | うん//うんでも私もあんまり/しゃべれない | です英語

A それは私わからないんです | よ (笑い) # B 89 | うーんもし

B

視

頭

頭

視

○

視

A | はい # A 87 | はい (笑い) うーん =

B あの-//もっと練習します//ともう大丈夫よ!//うーん B 90 = あ今からね/

視

頭

頭

視

A # A 88 | えーなんで-今から英語で↑ (笑い) あーゆっくり (笑い) =

B 日本語、英語で今からいいですか↑ (笑い) 今からね B 91 = ゆっくりね (笑い)

視

頭

頭

視

A B 92 = も-//うーん

視

頭

頭

視

話題がなくなり気まずそうに目を見あわせる

視

A A 89 (笑い) あっ日本の//料理//はできるよ/ようになりますか↑ | //日本の料理は

B | うーん

視

頭

頭

視

何かつくれますか↑

B

視

頭

頭

視

A # A 90 | 作れませんか↑天ぶら/とか =

B B 93 作れませんが自分で//うーん B 94 = 天ぶら、でも (p.1.3) 違うよ

視

頭

頭

視

A A 91 = あ- | そうなんですか↑ (笑い) | うーん

B 味が違うでしょ↑ = | そうです # B 95 | うーんいつも店で行った/あの-

視

頭

頭

視

A | うん

B (p.1.0) 天ぶら/とか//何↑//うんと/か-//うーん/そばと/か-//うーん (p.1.0) かった-

視

頭

頭

視

A A 92 | ふ-ん/あ-ん = # A 93 | うん (笑い) 好きですか↑ =

B (p.1.3) | 食べます B 96 = 食べたいときね//うん

視

頭

頭

視

○。



頭 視 (斜め) --- x

A # | あーじゃ うーん

B B 97=す好きです//日本のうどん、うん好きです//でもうーん時々だけ=

視 (斜め下) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A A 94=うーん/えっ自分で一/作ることが多いんです | か↑/ごはんを

B # B 98 | そういつも自分で作る

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # | うーんと/マレーシアの料理↑

B B 99うん簡単な料理です | マレーシアの料理/そうです

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # | うーんと/マレーシアの料理↑

B B 99うん簡単な料理です | マレーシアの料理/そうです

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # | うーんと/マレーシアの料理↑

B B 99うん簡単な料理です | マレーシアの料理/そうです

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A A 96材料はどうするんですか↑ | 日本? # A 97 | あそうなん

B # B 100 | 私ー/あの一/肺から送り/もらいたん | ですけど (笑い)

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 98 | へえー//どういう/ものを

B B 101=いつも肺からあの一/送ってもらいたん | ですけど

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 99=野菜とかは↑ = A 100=スパイス↓ | あー

B B 102=うーん = B 103=んいえスパイスね = | そうです

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 101=辛いんで | すか↑/あー/へえー

B B 104マレーシアのスパイス = # B 105 | 辛いですよーん//あーんたとえはね//

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 101=辛いんで | すか↑/あー/へえー

B B 104マレーシアのスパイス = # B 105 | 辛いですよーん//あーんたとえはね//

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 102 | うん//へえー/じゃあ日本の/トウガラシ =

B 時々中国の//材料 | もありますから B 106 = トウガラシ何ですか↑

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 103あ辛いやつ | なんですけど/トウガラシわかりますか↑ =

B # | そうあーん B 107 = トウガラシ//うん

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 104 | とー (p1.6) これくらいいい/あかまっ赤かの赤い = # 105 | わかり

B わかり | ます B 108 = あっそうそう | そうそう

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 104 | とー (p1.6) これくらいいい/あかまっ赤かの赤い = # 105 | わかり

B わかり | ます B 108 = あっそうそう | そうそう

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 102 | うん//へえー/じゃあ日本の/トウガラシ =

B 時々中国の//材料 | もありますから B 106 = トウガラシ何ですか↑

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 103あ辛いやつ | なんですけど/トウガラシわかりますか↑ =

B # | そうあーん B 107 = トウガラシ//うん

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 104 | とー (p1.6) これくらいいい/あかまっ赤かの赤い = # 105 | わかり

B わかり | ます B 108 = あっそうそう | そうそう

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 102 | うん//へえー/じゃあ日本の/トウガラシ =

B 時々中国の//材料 | もありますから B 106 = トウガラシ何ですか↑

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 103あ辛いやつ | なんですけど/トウガラシわかりますか↑ =

B # | そうあーん B 107 = トウガラシ//うん

視 (斜め) --- x

頭 視 (斜め) --- x

A # A 104 | とー (p1.6) これくらいいい/あかまっ赤かの赤い = # 105 | わかり

B わかり | ます B 108 = あっそうそう | そうそう

視 (斜め) --- x

会話資料 8 日本語母語話者と日本語学習者の会話「悲しい夏休み」

データ:

収録場所: B 大学内の教室

会話参加者: JM6 (Y) 日本人女性、LF2 (P) ブルガリア人女性

会話時間: 約20分の自由会話のうち、最初の数分をカットした15分間分

全体の流れ

◆Pは夏休みに日本語を練習しなかつたので、忘れた。休みには、京都へ行き、金閣寺へも行った。→ 金閣の金箔を作っているのは金で、Yの母親が勤めている会社でその金箔を作っている。→ この8月は悪かった。暑いし、悲しかった。Pは7月に友人から電話があり、自分の恋人が結婚したと聞いた。悲しかった。→ 日本人男子学生はどうか。好きだが、若すぎる。→ PはDコースに行きたいと思っている。来年の7月から始まるだろう。→ Yは、夏休みは子供の世話や修論に追われたが、暑くて進まなかつた。→ Pは日本語があまり上手じゃないので、日本に住むのが大変だ。→ Pは鎌倉へも行った。なところだった。車を運転したので疲れた。車は小さいので疲れたが楽しかった。友人が愛人で困った。→ 友人は車で広島へ行っていたが自分は帰ってきた。3日、寝ていた。あとで葬儀へ行った。

会話

頭  
視  
Y どうですか↑日本語の授業= =授業/勉強=  
P =ない、日本語授業↑、授業= =あー  
視  
頭  
頭  
視  
Y |あ、もう終わった  
P へん日本語ーべん、勉強は/いいです、えーよかったです↑//がな/今//全部忘れました= (斜め) ---x---  
視  
頭  
頭  
視  
Y 手で相手を示す  
P ？？？？  
Y = (笑い) えーえー|や、でも今しゃべっているじゃないですか  
P |夏休み (p.1.1) 忘れました  
視 (斜め) ---x--- (斜め下) ---x---  
頭  
頭  
視  
Y O O。。。  
P P1えー夏休みみんな//に練習しました↑//ですから//うん # Y1|ああ夏休み何にも//しなかつたんですか↑=  
視 (斜め) ---x--- (斜め下) ---x--- (斜め) ---x---  
頭  
頭  
視  
Y 首振り  
P 首振り 横ぶり

頭  
視  
Y |うーん Y2| (笑い)  
P P2ですから|全部忘れました↑//so (p.1.7) 今 (p.1.5) はじめて勉強しました  
視 (斜め) ---x--- (斜め) ---x--- (横) ---x---  
頭  
頭  
視  
Y O。。。 O。。。 (斜め上) ---  
P 今また勉強し|始めたん P3|やー  
視  
頭  
頭  
視  
Y O。。。 O。。。  
P Y3|夏休み何か//どっか行ったりしたんですか↑  
P #|??  
視  
頭  
頭  
視  
Y O。。。 (斜め) ---  
P P4うーん東京へ//行ったり| (p.1.5) うーん友達と (p.1.3) あいたり// (斜め上) ---x--- (上) ---x---  
視  
頭  
頭  
視  
Y |うん東京うん  
P P4うーん東京へ//行ったり| (p.1.5) うーん友達と (p.1.3) あいたり// (斜め上) ---x--- (上) ---x---  
視  
頭  
頭  
視  
Y O。。。 O。。。 (斜め) ---  
P P5=京都と奈良|// お、お寺|//お寺へ// |行きました |金閣  
視 (斜め) ---x--- (斜め横) ---x---  
頭  
頭  
視  
Y 首振り 。。。 (斜め) ---  
P 清水寺 (p.1.2) |まだ行っていないかな↑= |うん  
P =??|? P6=うーん金閣もう| (p.1.1) 行きました  
視 (斜め) ---x--- (斜め) ---x---  
頭  
頭  
視  
Y 。。。 O。。。 (斜め) ---



頭 (前) --- x  
 視  
 Y Y14 どうしてですか↑ = Y15 = え↑  
 P P11 そー//うーん//何↑、うーん (p2.4) ちょっとー (p1.3) うーん、こ、この、  
 視 (斜め下) --- (斜め前) --- (下) ---  
 頭 首傾げ  
 頭 。  
 視  
 Y うーん  
 P このげつ、こー//8月は悪い、悪い (p1.3) あー (p4.3) うーん ちょっとー  
 視 --- x --- (斜め下) --- (前)  
 頭 横ぶり 横ぶり  
 頭 首突き出し  
 視  
 Y Y12 暑い↑ = # | 悲しい↑  
 P P12 = うん//暑い//うーん (p3.7) けん、悲しい (笑い) はい  
 視 --- x --- (斜め上) --- (斜め) --- x ---  
 頭 ○  
 頭 (斜め) --- x ---  
 Y Y13 8月は↑ =  
 P P13 = ええー どうして↑/わかりました  
 視 --- (斜め下) --- x ---  
 頭 横ぶり

頭 首突き出し  
 視  
 Y Y14 どうしてですか↑ = Y15 = え↑  
 P P14 = ええー わかりました (p1.2) 8月/悪いげつです =  
 視 (斜め下) --- (斜め下) --- x ---  
 頭 首の横ぶり  
 頭 確認するよな手ぶり ○。  
 視  
 Y わかりました//わかったんですよね↑ # Y16 | あ、わかります  
 P # P15 | うん//わかっ//わかりませんでした | した  
 視  
 頭 首の横ぶり  
 頭 ○○ (斜め) --- x --- ○。  
 視  
 Y でした | わからないけど悲しかった | あっ  
 P | うん # P16 | うん//はい (p1.5) そー私のボーイフレンドは | |  
 視 --- (斜め下) ---  
 頭 。  
 頭 ○○○。 驚きの表情  
 視  
 Y # | あ、はな | 離れ離れ Y17 あっボーイフレンドが  
 P J (国名) で | (p1.2) | うーん結婚しました (笑い)  
 視 --- (前) --- x --- (斜め下) --- x --- (下)  
 頭 飲み物に手

頭 ○ ○ ○ ○ ○  
 視  
 Y 結婚したんですか↑ | | | P さんじゃなくて | うん | うん  
 P # P17 | はい//えー//うーん7月/うーん//私の友達↑ | | えー電話をしました↑ | |  
 視 --- (上) --- x --- (斜め) --- x --- (斜め) --- x --- (斜め)  
 頭  
 頭 悲しそうな表情  
 視 | えーっ  
 Y // えー (p2.3) あなたのボーイフレンドは結婚し、し | | します//えー//8月のみっか↑  
 P --- x --- (斜め) --- x --- (斜め) --- x ---  
 頭  
 頭 ○。 泣きまね ○。  
 視  
 Y Y18 | あっそれで悲しいの、それは悲しい = # | えーそれは  
 P // と言いました、そー | (笑い) P18 = そー悲しい | | えー//  
 視 --- (斜め下) ---  
 頭 首突き出し 体起こす  
 頭 ○ ○ ○ ○ ○  
 視  
 Y ひどい | うーん # Y19 | 大丈夫ですか↑  
 P たくさん考えました | | えーと (p1.1) but 今、OKです大丈夫 | | です//今 (笑い)  
 視 --- x --- (下) --- x --- (前) --- x --- (前)  
 頭 たくさん考えたと手を回す手ぶり 横ぶり ○ ○ ○ ○ ○

頭 ○  
 視  
 Y //じゃ、に日本で//日本でボーイフレンドをつく (笑 | い) 作ってください = # | 日本の  
 P た、たくさん食べました | うん P19 = 日本 | でちょっと  
 視 (前) --- x --- (斜め前) --- (斜め前) --- (前) ---  
 頭 たくさん食べる手ぶり  
 頭 首傾げ  
 視  
 Y 男の人は (p1.4) ちょっと頼りない↑? # | 若い↑/じゃどっか他で (笑い)  
 P 日本人は//あー大学の日本人は | | うん//とっても若い人 | | です//私は//私は26才です =  
 視 (斜め前) --- x --- (斜め前) --- x --- (斜め) --- x ---  
 頭 手ぶり 横ぶり 飲み物に手  
 頭 相手と自分をさす ○ ○ ○ ○ ○  
 視  
 Y Y20 = そうあっ同じです | | //私もね26才です | うん  
 P # P20 | そう//うんそうです、えー日本人のお、男の人えー学生の | |  
 視 --- (前) --- x --- (前) --- x --- (前) --- x ---  
 頭 ○。 首突き出し○ 手でさす  
 頭 横ぶり 手で下の方をさす ○ ○ ○ ○ ○  
 視  
 Y # Y21 | 好きじゃない↑ = # | うんでも年が下↑  
 P /日本人 | P21 = no あっOK 好きです | | うん//11、じゃ、じゃ、no  
 視 --- (前) --- x --- (前) --- x --- (前) --- x --- (前)  
 頭 手ぶり 手ぶり 手ぶり 手ぶり

頭 。。。。

視

Y # | 2 | 1 | さいぐらいです//若い

P 20さい↑ | / 2 | 1 | さい//おー//うん//うん//おー//多分、うん (p16) 19才

視 (横) ----- (斜め前) ----- x

頭 手ぶり 首傾げ

頭 O。O。O。 O。 O。 O。

視

Y # | あ | 19才ですか↑ (笑い) うーん、うん若いね↑ (p18) あ、弟↑うん

P です↑うん// とても若いの人、私の弟 // おとうと↑ (p11) うん弟↑

視 (斜め下) ----- x

頭 横ふり 自分をさす

頭 O。 O。 O。 O。 O。

視

Y | (笑い) # | ちよっとね

P イヤー//20才です|ソー (p15) ちよっとー | (p17) うーん//ちよっとー (p10)

視 (斜め下) ----- x ----- (横) ----- (斜め前) ----- (前) ----- (斜め前)

頭 。。 横ふり

頭 笑いO。O。 耳に手をやる

視

Y | (笑い)

P that's a joke | (p21) ソー、ノー、あー (p17) カー (p26) だ、だ、だ、that I

視 x ----- (上) ----- (斜め下) ----- (斜め前) ----- (前) -----

頭 手ぶり 飲み物をとる

頭 。

視

Y | うん

P think so | うん (p13) そー それ、そー、そして、えー (p11) 私はー//うーん

視 (斜め前)

頭

頭 。

視

Y | うーん

P (p35) 考え、うーん//私のー | あー (p14) コース/考えました (p14) p h d ↑

視 ----- x

頭

頭

視

Y Y22=ん↑ p h d ↑ = Y23=フイロ、ヲロ77r-ト'カ' ↑ =

P ???コース↑ = P22=philosophy doctor =

視 (斜め下) ----- x

頭

頭 。。。。 O。

視 ----- (斜め上) ----- x

Y | うん # Y24 | えーと哲学↑ =

P P23=はいコースをの/あーたぶん// あー (p25) | えー P24=えーはい、

視 ----- (斜め下) ----- (横) ----- x ----- (斜め前) -----

頭 O 首傾げ

頭

視

Y | うーん # Y27 | 始まる↑うん =

P philosophy doctor のコース // 始め/始め | ます P27=始める↑はい =

視 ----- x -----

頭 。。。。

頭 O。。。 O。。。 O。

視

Y Y28=始まりますか | ー # Y29 | うんうん = # Y30 | あ、来年の

P # P28 | 始まり | ます P29 = あーん (p19) たぶん |

視 ----- (斜め下) ----- x

頭 。

首傾げ

頭 。。。。

視

Y / 7月から↑ = Y31=うーん

P P30=うん =

視

頭 。。。。

頭

視

Y # | ン ↑ 一月↑ Y32=あ

P P31たぶん (p20) いちが//いー月、あーん (p145) テストがあります =

視 (斜め) ----- (前) ----- x

頭 首傾げ 舌打ち 顔に手

頭

視

Y | うーん # | ちよっとね

P イヤー//20才です|ソー (p15) ちよっとー | (p17) うーん//ちよっとー (p10)

視 (斜め下) ----- x ----- (横) ----- (斜め前) ----- (前) ----- (斜め前)

頭 。。 横ふり

頭 笑いO。O。 耳に手をやる

視

Y | (笑い)

P that's a joke | (p21) ソー、ノー、あー (p17) カー (p26) だ、だ、だ、that I

視 x ----- (上) ----- (斜め下) ----- (斜め前) ----- (前) -----

頭 手ぶり 飲み物をとる



頭 。。。。

視

Y 嬉しい↑//住みます、じゃなくて↑

P

視 -----x-----

頭 舌打ち

頭 。。。。

視

Y # Y36 | 住んでいます

P P35住んでいます

視 -----

頭 。

頭 。。。。

視

Y ーうん

P P36には、日本、日本で住んで (p15) 住んでいるは|//いるのは|//ちょっと

視 -----x-----

頭 首突きだし 小さい横ふり

頭 手で「ここ」をさす 手ぶり 首あげる 。。

視 -----x-----

Y Y37=えっ↑日本に住んでいるの|が↑//あっあっ日本語じゃなくてー

P 嬉しいです= |はい、あー

視 x----- (斜め下) -----x-----

頭

頭 。。。。

視

Y 日本|に住むことが難しい↑ = # |何か//?

P P37=えー// | 難しいです//日本があまり上手では

視 ----- (斜め) -----x-----

頭

頭 首突きだし ○ 相手をさす

視 ----- (斜め) -----x-----

Y # Y38 | 日本が↑ = Y39=あっ日本語|が↓//で P さん//えーと

P ありま|せんから P38=日本語= |うん

視 -----

頭 横ふり 首大きく突き出す 首突き出し 首突き出し

頭 ○ 自分をさす ○ ○

視 -----

Y プル、もともとブルガリア語ですよね↑// |自分のこと、ことばは//でロシア語も

P |うん

視 ----- (斜め下) -----x-----

頭 。。。。 小さいうなずき

頭 。。。。

視

Y シャべれ|//てー英語も|//相当上手で//たら日本語もすぐ上手になるだろうと

P |うん |うんうん

視 -----

頭 。。。。 小さいうなずき

頭 ○

視 ----- (斜め) -----x-----

Y 思ってたんですけど (p13) やっぱりあの系統が違くと難しいですか↑//

P

視 ----- (斜め上) -----x----- (斜め) -----x-----

頭 横ふり 笑い

頭 相手をさす 。。。。

視 ----- (斜め上) -----x-----

Y あのー//ロシア語とブルガリア語は似てますよね↑ (p28) あのー//イン、インド

P |うん

視 ----- (斜め下) -----x-----

頭

頭 。。。。

視

Y ヨーロピアンランゲージ|? 英語も (p11) でも日本語は全然違う| (笑い)

P |うん/うんうんうん P39 | イヤー

視 ----- (斜め上) -----x----- (斜め下) -----x-----

頭 。。。。 大きい横ふり

頭 ○ 。。。。

視

Y 全然違います、ソールへ、日本語は一大丈夫です、はい、になー//私は好きですが

視 ----- (斜め) -----

頭 横ふり

頭 。。。。 首突き出し○ ○ ○

視 -----

Y # Y40 | 日本が|//何か困ったことありました↑ |日本に住んで

P (p14) | ちよっとーはな、語せません # P40 | ヤー//うん (p12) ちよっと

視 ----- (斜め下) -----x----- (斜め下) ----- (斜め) -----

頭 横ふり ○

頭 。。。。

視 ----- (斜め下) -----x-----

Y # Y41 | あー漢字は難しいですよ↑ (笑い) うーん

P ことばは難しいです、漢字は難しい|です

視 ----- (斜め下) ----- (斜め下) ----- (斜め上) -----

頭 ○ ○ 横ふり

頭

頭 。。。。

視

Y P41ソール全部難しいですソール (p18) うーん//ソール (p21) ? (p19) 私はー

P -----x----- (斜め) -----x----- (斜め) ----- (手元) -----

視 横ふり ○

頭 ○

頭 。。。。

視

Y |うん |横倉へ↑

P えー//か、か//あー東京のあとで|//うーん (p25) ソール横倉へ行きました|//

視 ----- (斜め下) -----x----- (斜め下) ----- (手元) -----

頭





頭 〃 首突き出し〇。。。 〇。。。  
 視 ----- x -----  
 Y なんて主人の # Y53 | あっ疲れたま、疲れた！ | かな↑ | 疲れますよね↑  
 P ちょっとたいへんです、うーん | # | うん疲れたうん  
 視 ----- x ----- (斜め上) ----- x -----  
 頭 首傾げ 〇。。。 〇。。。  
 頭 〇。。。 〇。。。  
 視 -----  
 Y そんないろんなところへ行っ | キャンプもしたし # Y54 | あっ運転して | /  
 P # P53 | そう | / た、たくさん運転しました | # | うん  
 視 ----- (斜め) ----- (斜め下) ----- x -----  
 頭 首突き出し 〃  
 頭 運転する身振り 相手をさす 〇運転身振り 〃 〃 〃 〃  
 視 -----  
 Y 車で↑ | / Pさんが運転して↑ | / 行っ | / たんですか # Y55 | それ疲れますよね↑ =  
 P | はい車で # P54 | 私の車小さいです、ソー | / エー  
 視 ----- (斜め下) ----- (斜め下) ----- x -----  
 頭 〃 「小さい」ぶり  
 頭 〇。。。 〇。。。  
 視 -----  
 Y (笑い) うーん  
 P P55 = えー疲れます (笑い)  
 視 (斜め下) -----  
 頭 横ぶり

頭 〇。。。 〇。。。  
 視 (斜め上) ----- x -----  
 Y # | 車で鎌倉へ?? | うーん  
 P P56 | ソー | / ヤーとでも楽しかったです | / たくさん | / うーん、たくさん、んー  
 視 ----- (斜め下) ----- (斜め) -----  
 頭 首傾げ  
 頭 〇。。。 〇。。。  
 視 -----  
 Y | うーん  
 P // きれいな所見ました | / うーん (p.11) ちゃんと | / 友達は、私の友達ちょっと  
 視 ----- x ----- (斜め) ----- (斜め上) -----  
 頭 横ぶり  
 頭 首傾げ  
 視 -----  
 Y | (笑い)  
 P (p.25) うーん | (笑い) イヤー、うーん (p.11) うーん | / ちゃんと | / 人、人は  
 視 ----- x ----- (斜め下) ----- (斜め下) ----- (斜め)  
 頭 横ぶり  
 頭 〇。。。 〇。。。  
 視 -----  
 Y 笑い  
 視 -----  
 Y // えー (p.12) うーん (笑い) おい | / おい | / お、おー | / ちゃんと | / strangeです  
 P ----- (斜め下) ----- x ----- (斜め下) -----  
 視 -----  
 頭 首傾げ 首傾げ 首突き出し

頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。  
 視 -----  
 Y Y57 | あっちょっと変わった | / 人↑ | うーん  
 P # P57 | うん | / ヤー | / 変わった人、うん | / ヤー、うん  
 視 ----- (斜め上) ----- x ----- (斜め) -----  
 頭 体起こす 〇。。。 〇。。。  
 頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。  
 視 -----  
 Y Y57 = あっいい旅行 | / でした↑ | / うーん  
 P だいたい | / いい、りよ、旅行 = | うん  
 視 ----- x -----  
 頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。  
 頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。  
 視 -----  
 Y # Y58 | 鎌倉が一番 | / よかった↑ | うーん  
 P P58 | 鎌倉が一番 | # P59 | ヤー | / よ、よかった | / ところ | / 一番  
 視 (斜め下) ----- x -----  
 頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。  
 頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。  
 視 ----- (斜め上) ----- (斜め) -----  
 Y Y59 | 奈良は (p.11) 奈良はどこに  
 P 好きです | / うん | / 奈良は | / えー | / きれいな | / きれいな町 |  
 視 ----- (斜め) ----- x -----  
 頭 首突き出し

頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。 (斜め) -----  
 視 -----  
 Y 法隆寺とか見ました↑ | / 法隆寺 | / 奈良 | / たぶん (笑い) ?? 忘れたうーん (p.11)  
 P # P60 | たぶん | / 名前 | / はわからなかった | / ソー  
 視 ----- (斜め下) ----- (斜め下) -----  
 頭 横ぶり  
 頭 〇。。。 〇。。。  
 視 ----- x -----  
 Y Y60 | 奈良のあの | / ドリーム | / ランド | / は行きましたか↑  
 P -----  
 視 -----  
 頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。  
 頭 ----- (斜め) ----- x -----  
 Y Y61 | あの | / 遊園地 | / 遊園地 | / ミュージアム | / パーク = # Y62 | うーん | /  
 P # | / ドリーム?? # P61 = イヤ | / はい | / はい | / はい | / はい | / ヤー  
 視 ----- (斜め) ----- (斜め) ----- (斜め) -----  
 頭 〇。。。 〇。。。 〇。。。 〇。。。  
 頭 自分をさす 曇に手 〇。。。 〇。。。  
 視 (斜め) ----- x ----- (斜め) ----- x -----  
 Y 私 | / 行ったこと | / あります | / す (笑い) うーん  
 P # P62 | あ、あー | / とても | / きれいな | / 所 | / ソー、ヤー | / うーん | / 広島へ  
 視 ----- (斜め) ----- (斜め) -----  
 頭 横ぶり

頭 首突き出し ○。。

視 -----

Y # | 広島も行ったんですか↑ # | あ、行きたい↑

P // | たい、い、い、いったいいったいい、行きたい、行きたいが、うーん  
----- (斜め) ----- x ----- (斜め下) ----- (斜め) -----

頭 ○ ○ ○

頭 。。。

視 -----

Y # | ちょっとたいへん??

P / ちゃんと (p11) うーん (p16) たいへん | ソー // うーん / 京都から / 金沢  
----- x ----- (斜め) ----- x -----

頭 横ぶり  
手で道を示す

頭 。。。。

視 -----

Y # | も、車で↑

P へ、きま、えー 横りました / 電車で / 私の友達 / えー、は、私の車 | // えー //  
----- (斜め) ----- x -----

頭 手ぶり

頭 。。。。

視 -----

Y # | あー // 広島へ行っただけ↑ // えー | うーん

P 車で / えー 広島へ | // えー // 行きます、行きました、はい / 私は / ー // ちゃんと / ここで / / け、  
----- (斜め前) ----- x ----- (斜め) -----

頭 手ぶり ○ 指さし ○ ほおづえ

頭 顔に手 。。。

視 (斜め) ----- x -----

Y

P 横りました、うん // ソー、えー (p13) うーん (p21) さんにち、さんにち  
----- x ----- (斜め前) ----- x -----

頭 手ぶり

頭 口動かす 首突き出し 手で「3」

視 ----- (斜め上) ----- x -----

Y Y63 | みっか↑ = Y64 = うん 三日間 =

P // あっ、さんかになち↑ | P63 = うん、ちょっとー // three days ↑ =

視 ----- (斜め) ----- x -----

頭 首傾げ 手ぶり

頭 。

視 -----

Y

P P64 = あー、みっか / あー (p16) えー 横ましたー / だけ (笑い)  
----- (斜め下) ----- x -----

視 寝る手ぶり

頭 寝る手ぶり ○。。。。

視 -----

Y Y65 あー 三日間ずつと寝てた↑ | (笑い) 寝れて↑ // うーん

P | (笑い) # P65 | うん // 横れました、  
----- (斜め) ----- x ----- (斜め) ----- x -----

頭 ○。 ○。。。。

頭 -----

視 -----

Y # | までー (p15) 行って (p13) まで // 車を / 横って / きました、あー  
----- x -----

P ここから / 舞鶴へ | // 電車で / 行った↑ // えー 車で // 横りました // うん  
-----

頭 戻る手ぶり ○。

頭 。。。

視 -----

Y わかりました

P | うん

頭 首突き出し

視 -----

Y Y66 あっ 舞鶴 ↓ = | うーん

P P66 = うん | // あー 行った↑ 舞鶴へ 行った↑ (p12) 車 // えー //  
----- (斜め下) ----- x ----- (斜め下) ----- x -----

頭 ○

頭 首突き出し手ぶり

視 -----

Y Y67 = ん ↑ // 運転

P 取ってー / えー (p20) ここで 運転し、する =  
----- (斜め) ----- x -----

頭 「取る」手ぶり 運転の手ぶり

頭 。。。。

視 -----

Y | うん # | うん、と、あ // 舞鶴で # | あ、あ、あった、うん

P P67 うん (p10) 車は | // 私の | 友達と // 舞鶴で // ありました | // ソー 私は  
----- (手元) ----- x -----

頭 手で一点を示す

頭 。

視 -----

Y # | までー (p15) 行って (p13) まで // 車を / 横って / きました、あー  
----- x -----

P ここから / 舞鶴へ | // 電車で / 行った↑ // えー 車で // 横りました // うん  
-----

頭 戻る手ぶり ○。

頭 。。。

視 -----

Y わかりました

P | うん









頭 手ぶり ほおづえ  
 視  
 T T21だけどやっば/もうちょっと日本人学生多かったらもっと楽しい  
 U  
 視  
 頭  
 頭 。。  
 視 (正面) -----x----- (正面) -----x-----  
 T 気も!!!しますね/やっぱり/少しずつ人数も減っちゃったし!!!うん、最後まで  
 U |あっそうですな-  
 視 (斜下) -----x-----  
 頭 O。 姿勢をかえる。  
 頭  
 視  
 T 残ったの何人ぐらいですかね↑  
 U |うーん  
 視 U20水曜日に会ったのは//一人か|二人ぐらいですけど  
 頭 -----x----- (斜横) -----x-----

頭 -----x-----  
 視  
 T T22で、まあこの間の (p12) パーティーの前後に来たぐらいは/はまあ、一応  
 U  
 視  
 頭  
 頭 姿勢を直す  
 視 (正面) -----x----- (正面) -----  
 T 最後まで残ったって (敬気) いうことにしてもいいのかな↑=  
 U U21=そういうことに  
 視 (斜下) -----x-----  
 頭  
 頭  
 視 (正面) -----x----- (正面) -----x-----  
 T T23=そうすると (p24) じゃ、十人は残っていないのかな↑  
 U なりますね=  
 視 (斜下) -----x-----  
 頭 姿勢を変える  
 頭  
 視 。。。  
 視 (正面) ----- (斜上)  
 T |10人ぐらいは-  
 U U22全部合わせて10人|ぐらい //ですかね-  
 視 (斜下) -----x-----  
 頭

頭 ほおづえ  
 視 (正面) -----x-----  
 T T24まあ留学生が9人だから、そんぐらい残ってちやうどなのかな↑!!!でも  
 U  
 視 (斜め) -----x----- 姿勢かえる  
 頭 姿勢かえる  
 頭  
 視 (机の上) -----  
 T もうちょっと//残ってもよかったかな-っていう|感じですけどね- (p12) うん  
 U #|? ?と意思しますけどね  
 視 (斜下) -----x-----  
 頭 O 肩動かす  
 頭 手ぶり 顔の前で手を組む O。  
 視  
 T T25あれあの//応募の紙見て!!!来たんですか↑ T26=どんな応募が  
 U # U23|紙見て来たんですか↑  
 視 (斜下) -----x-----  
 頭 O

頭 O。  
 視  
 T |はあ- |はあ-  
 U U24え-留学生//とはな話してください!!英語の勉強にもなりますよとか|そう  
 視 - (斜上) - (斜下) - (斜め) - (斜横) - (斜下) - x -  
 頭  
 頭  
 視 (正面) -----x-----  
 T T27=どこで見たんですか↑それ=  
 U いうこと書いてありました=  
 視 U25=文学部の/エレベーターが (横) -----x-----  
 頭  
 頭 O。。。。  
 視 (正面) -----x-----  
 T |ああ- |うん  
 U あり|ますよね↑あそこ-一番、い、あ2階ですか↑|あの降りたところに貼って  
 視 (斜上) -----x-----  
 頭 指で2を作る 手ぶり  
 頭  
 頭 首傾げ  
 視 (斜前) -----  
 T |ほ-  
 U あったんですけ|と  
 視  
 頭

頭 顔かく 。 首傾げ 手ぶり  
 視 ----- (正面) ----- x  
 T T28 あったかな！//僕もそれなら見るとは？ (笑い吸気) うん//僕は前から  
 U  
 視 ----- (斜下) ----- x  
 頭 ○  
 頭 手ぶり 。 手ぶり  
 視 ----- (正面) ----- x  
 T やってたつてでそのまま来たんですけど//うん/けっこう友達とかに声かけたりも  
 U  
 視 -----  
 頭 。 。 。  
 頭  
 視 ----- (正面) ----- x  
 T U26 = や、声かけなくても！//なんか初めの日、集まってくるときに友達と  
 U  
 視 ----- (斜下) ----- (横) -----  
 頭 姿勢をかえる  
 頭 。 。 。 。 。  
 視 ----- (正面) ----- x ----- (斜前) ----- (正面) -----  
 T | (笑い) うーん  
 U あっ/会ったん！ですよ  
 視 ----- x ----- (上) ----- x -----  
 頭 「会った」手ぶり 髪触る

頭 組んだ手にあごをのせる  
 視 -----  
 T T29 留学生と話しませんか↑ (p.11) うーん  
 U  
 視 ----- (斜下) ----- x -----  
 頭 髪触る  
 (p.29)  
 頭  
 視 ----- x -----  
 T T30 最初けっこういいって来ましたがよね↑！さん/30人いたかな↑！もっと  
 U #！かなり多かったですよね↑  
 視 ----- (斜下) ----- x -----  
 頭 首傾げ  
 頭 隣の教室を手で示す  
 視 -----  
 T いた！かな↑ T31 = や、その教室かなりいっぱいになった  
 U #U27 | 30人もいたんですか↑ =  
 視 ----- (斜) ----- x ----- (相手の手元) -----  
 頭 首突き出し  
 頭 もう一方の手で手ぶり  
 視 -----  
 T でしょ！う↑  
 U #U28 | はい  
 視 x -----  
 頭 。

頭 ほおづえ  
 視 ----- (横) ----- (正面) ----- x ----- (斜下) -----  
 T T32 (吸気) な、何人ぐらい、うーん (p.15) まあ//その日に来なくても  
 U  
 視 -----  
 頭 。  
 頭 加わる手ぶり  
 視 ----- (正面) ----- (斜下) -----  
 T あとからまあ加わってきた人もいたけど//うん (p.2.4) でも (p.1.3) あれかな↑  
 U  
 視 -----  
 頭 。  
 頭 手ぶり  
 視 ----- x ----- (正面) -----  
 T //最初はやっぱり興味/本位っていう感じで= T33 = うん//でもやっぱり何か  
 U U29 = そうですよ =  
 視 ----- (斜下) ----- x -----  
 頭 体乗り出す  
 頭  
 視 ----- x -----  
 T 日本語のチュエーティングとかそんな話聞いてやっぱ怖がって逃げちゃった人が |  
 U #U30 | 怖がる  
 視 -----  
 頭 机の上で手を組む 首傾げ

頭 顔の前で両手組む 。  
 視 ----- (斜上) ----- x ----- (斜下) -----  
 T T34 = ぶーん//めんどくさいと思ったのかな↑ =  
 U 人はいないと思いますけど = U31 = やっぱ  
 視 ----- (斜下) -----  
 頭 組んだ手を広げたり組んだり  
 頭  
 視 ----- (正面) -----  
 T T35 = うーん  
 U そうでしょうね↑ =  
 視 ----- x -----  
 頭 。  
 頭 ほおづえ 両手を組む  
 視 ----- x -----  
 T T36 けっこう (p.2.5) うーん (p.1.9) ん、水曜日のその時間っていうのは  
 U  
 視 -----  
 頭  
 頭  
 視 -----  
 T (p.1.2) めんどくさい時間でした↑ =  
 U U32 = や、それは//あの一4限目、空だったんで | |  
 視 ----- (斜下) ----- (斜) ----- x -----  
 頭 姿勢をかえる





頭 視 x (斜上) (横) (正面) --  
 T T45= Vはどこだって  
 U (p.2.4) と、あと V はどうなんですかね↑ =  
 視 ----- x  
 頭 首傾げ  
 頭 顔伏せる 首傾げ 指で数え上げる 遠方を指す  
 視 ----- (下) ----- x  
 T 言ってたんだっけなー V は、んー↑ (p.1.3) H さんは福井で  
 U # U39 | 福井//  
 視 -----  
 頭 。  
 頭 鼻ぶく 。 指さし 。 指さし  
 視 ----- x  
 T でー Rさん と Nさんも 福井で// Bは富山です  
 U ----- (斜下) ----- x (斜横) ----- x  
 視 -----  
 頭

(p.1.7)  
 頭 ほかつえ外す  
 視 ----- x (正面) ----- x  
 T T47いや (p.3.2) 来期になればまた (吸気) うん新しい人だから//今度は9人以上  
 U -----  
 視 首突き出し  
 頭 。  
 頭 。  
 視 ----- (正面) ----- x  
 T /もっと | 来るんじゃないVですかね↑ (吸気) ただ (p.1.0) 日本人の方が今度  
 U # | もっとですか↑  
 視 ----- (下) ----- x  
 頭 。  
 頭 O。。。。  
 視 ----- (正面) -----  
 T 何人集まるかって | いうと (吸気) うーん  
 U # U40 | そりゃまた適当に数は集まると思いますよ↑  
 視 ----- (斜) ----- x  
 頭 首傾げ  
 (p.3.7)  
 頭 。  
 視 ----- x (正面) -----  
 T T48どうかね↑//うーん (p.1.1) ただもうちょっと前より日本人減るんじゃない  
 U -----  
 視 -----  
 頭 。  
 頭

頭 視 ----- x  
 T かなー↑っていう気も | (吸気) 実は、うーん  
 U # U41 | あーあれば、で、だから広告/あの一張り紙が1回目  
 視 ----- (斜) ----- (下) -----  
 頭 手をあげる  
 頭 。  
 視 ----- (横) -----  
 T | あーそうか  
 U だったん!!! だか、え、そうですかね↑  
 視 ----- x  
 頭 体乗り出す  
 頭 。  
 視 ----- x (斜上) -----  
 T T49うん張り紙1回目です T50= (吸気) っていうか  
 U # U42 | だから集まったってことですか↑ =  
 視 -----  
 頭 。  
 頭 手ぶり 手ぶり  
 視 ----- (下) ----- x  
 T (p.1.0) あの一 (p.1.9) あの一張り紙で集まって//結局残ったのが10人ぐらい  
 U -----  
 視 -----  
 頭

頭 手ぶり 手ぶり 手を顔の前に組む  
 視 ----- (正面) -----  
 T ってことは次回もなんかそのぐらいの人数になりそうじゃないですか↑//だから  
 U -----  
 視 ----- (下) ----- x  
 頭 。  
 頭 手ぶり 鼻をかく  
 視 x  
 T そうすると留学生が今度増えると (吸気) 逆に日本人の方が//対応しきれなく  
 U -----  
 視 -----  
 頭  
 頭 ほかつえ  
 視 ----- (下) -----  
 T なる可能性も  
 U -----  
 視 -----  
 頭  
 (p.4.7)  
 頭 。。。。  
 視 ----- (正面) ----- (横) ----- (正面) ----- x  
 T # T51 | 増えたら (笑い) 増えるのかなー↑ なんか | /ふえ  
 U U43まあ/増えたららの話 | ですけど # U44 | 増えると今度  
 視 ----- (斜下) ----- x  
 頭 。  
 頭

頭 .....  
 視 ..... (正面) .....  
 T | あーそうか  
 U だから教える先生の方も困ってくる/|んじゃないですか↑  
 視 (斜) .....  
 頭 .....  
 (p.3.0)  
 頭 O .....  
 視 ..... (正面) .....  
 T T52まあそれは|うらがらが心配することじゃないか/|次回も来ます↑また↓=  
 U | (笑い)  
 視 ..... (横) .....  
 頭 .....  
 頭 O .....  
 視 ..... (正面) .....  
 T | あー T53=楽しいVですよ|ね↑、はー  
 U U45=ま、来ようとは|思っています= #U46|えー楽しいですよ  
 視 ..... (斜横) .....  
 頭 .....  
 (p.1.8)  
 頭 .....  
 視 ..... (横) .....  
 T T54はー  
 U .....  
 視 .....  
 頭 .....

(p.2.3)  
 頭 ..... 手ぶり ..... 手ぶり .....  
 視 ..... (正面) ..... (正面) ..... (正面) .....  
 T T55僕は//あんまりそのー (p.1.9) まあずとやとてますけど//あんまりこう//  
 U .....  
 視 .....  
 頭 .....  
 頭 .....  
 頭 ..... 手ぶり ..... 手ぶり .....  
 視 ..... (正面) ..... (下) .....  
 T 人付き合いはそんなに上手いほうじゃありませんですよー/|なんかこう (p.1.5) お互い  
 U .....  
 視 .....  
 頭 .....  
 頭 .....  
 頭 ..... 踏み出す手ぶり ..... 姿勢を直す  
 視 ..... (手元) ..... (正面) .....  
 T 遠慮があるとなんか|結局こう踏み出していけないほうなんだけども//Uさんは  
 U | うーん  
 視 .....  
 頭 .....  
 頭 .....  
 頭 ..... 手ぶり .....  
 視 ..... (正面) .....  
 T 結構そ、そこへんが積極的そうでなんか//|いいですよね↑  
 U #U47| あー//いやTさんと同じですよ=  
 視 ..... (斜下) ..... (斜下) .....  
 頭 .....  
 頭 .....

頭 .....  
 視 .....  
 T T58ことばわからない分か↓  
 U .....  
 視 .....  
 頭 .....  
 (p.3.2)  
 頭 O..... O.....  
 視 ..... (正面) .....  
 T | うん (笑い)  
 U U50それ、はじめ|こにちわから歩み寄るしかないじゃ/しょう↑  
 視 ..... (下) .....  
 頭 O ..... 手ぶり O .....  
 頭 ..... 手ぶり ..... 手ぶり .....  
 視 ..... (正面) ..... (下) .....  
 T T59もうとにかくもう身振りでも何でも使って (p.1.6) ま、はじめっから  
 U .....  
 視 .....  
 頭 .....  
 頭 .....  
 頭 ..... 手ぶり 鼻ふく  
 視 ..... (正面) .....  
 T わかんないっていうのが前提にあるから//うん//ちょっとでもわかったら  
 U | あー  
 視 ..... (斜上) .....  
 U U49まあことばわからない分、逆に察/|ってこういうのもありますけどね↑  
 視 .....  
 頭 .....

頭 .....  
 視 .....  
 T .....  
 U .....  
 視 .....  
 頭 .....  
 (p.4.4)  
 頭 ..... (横) .....  
 T T57留学生なんか//|けこう//付き合いやすかったん/|じゃないですか↑  
 U ..... (斜下) .....  
 視 .....  
 頭 .....  
 (p.4.4)  
 頭 ..... 鼻をふく .....  
 視 ..... (正面) .....  
 T .....  
 U U48どうですかね↑  
 視 .....  
 頭 ..... 首傾げ ..... 口を開きかける  
 (p.3.8)  
 頭 .....  
 視 ..... (斜上) .....  
 T ..... | あー  
 U U49まあことばわからない分、逆に察/|ってこういうのもありますけどね↑  
 視 .....  
 頭 .....

頭 視 (正面) ----- x -----  
 T よかったなーっていう感じで、うん//だからまあ業で言えば業ですかねー↑  
 U -----  
 視 -----  
 頭 -----

(p3.1)  
 頭 姿勢を直す ほおつえ 手ぶり  
 視 ----- x -----  
 T T61でも//日本人が留学して外国 (p1.0) じゃ、うちらが行くっ↑てなると  
 U # U52 | 行き先にも  
 視 ----- (斜) -----  
 頭 姿勢を直す 乗り出す

頭 視 -----  
 T | うーん  
 U よると思えますね!//だから英語なんかだともう//そういうのわかってるのが前提に  
 視 x ----- (下) ----- x -----  
 頭 手ぶり

頭 視 ----- (正面) ----- x -----  
 T | あーそうか  
 U なってる↑みたいですから//あ、あーそういうの/語学留学っていうんですか!//  
 視 ----- (斜上) ----- x ----- (下) ----- x -----  
 頭

頭 視 -----  
 T T60あーそれはあるかもしれない (1.2) うん  
 U -----  
 視 ----- (斜) ----- x -----  
 頭 -----

(p3.1)  
 頭 姿勢を直す ほおつえ 手ぶり  
 視 ----- x -----  
 T T61でも//日本人が留学して外国 (p1.0) じゃ、うちらが行くっ↑てなると  
 U # U52 | 行き先にも  
 視 ----- (斜) -----  
 頭 姿勢を直す 乗り出す

頭 視 -----  
 T | うーん  
 U よると思えますね!//だから英語なんかだともう//そういうのわかってるのが前提に  
 視 x ----- (下) ----- x -----  
 頭 手ぶり

頭 視 ----- (正面) ----- x -----  
 T | あーそうか  
 U なってる↑みたいですから//あ、あーそういうの/語学留学っていうんですか!//  
 視 ----- (斜上) ----- x ----- (下) ----- x -----  
 頭

頭 視 -----  
 T T62=あー= U53=やっばりそういうのはあるみたいですね↑=  
 U ですけど= U53=やっばりそういうのはあるみたいですね↑=  
 視 ----- (斜上) ----- x -----  
 頭

頭 視 -----  
 T T64もう少しとやっばり/こんな感じで//やってる↑んですかね↑  
 U # | やってるんですかね↑  
 視 ----- (隣のいゑ屋) ----- x -----  
 頭

頭 視 -----  
 T T65マレー語の練習 | か、あー  
 U # U54 | マレー語ね  
 視 ----- (横) ----- x -----  
 頭

(p2.3)  
 頭 鼻をかく  
 視 ----- (正面) ----- x -----  
 T マレーシアでマレー語を/勉強し、しに来る日本人の相手したってやっばり  
 U ----- x -----  
 視 ----- (下) ----- x -----  
 頭

頭 視 -----  
 T T62=あー= U53=やっばりそういうのはあるみたいですね↑=  
 U ですけど= U53=やっばりそういうのはあるみたいですね↑=  
 視 ----- (斜上) ----- x -----  
 頭

頭 視 -----  
 T T64もう少しとやっばり/こんな感じで//やってる↑んですかね↑  
 U # | やってるんですかね↑  
 視 ----- (隣のいゑ屋) ----- x -----  
 頭

頭 視 -----  
 T T65マレー語の練習 | か、あー  
 U # U54 | マレー語ね  
 視 ----- (横) ----- x -----  
 頭

(p2.3)  
 頭 鼻をかく  
 視 ----- (正面) ----- x -----  
 T マレーシアでマレー語を/勉強し、しに来る日本人の相手したってやっばり  
 U ----- x -----  
 視 ----- (下) ----- x -----  
 頭

頭 ことを示す  
 視 -----  
 T こんな風じゃないんでしょね↑もちろん!//英語はもうできてあたりまえ  
 U # U55 | どうなんですかね↑//英語は  
 視 ----- (斜上) ----- x -----  
 頭  
 頭 .....  
 視 ----- (正面) -----  
 T | あー  
 U できてあたりまえですから (p10) ディスカッションなり何か!//そういうこと  
 視 ----- (斜上) ----- x -----  
 頭

頭 .....  
 視 -----  
 T .....  
 U でしょうね↑  
 視 -----  
 頭  
 (p.3.0)  
 頭 手ぶり 入れる手ぶり  
 視 ----- x -----  
 T T67あるいはもうほんとに初めから普通のコースに入られて!//??  
 U # U56 | それはきつい  
 視 ----- (斜上) -----  
 頭

頭 .....  
 視 -----  
 T .....  
 U でしょうね↑  
 視 x -----  
 頭  
 頭 .....  
 視 ----- (正面) -----  
 T | うーん  
 U U57きついでしょう!//けどやりたくて行ってんでんです!からね↑  
 視 ----- x -----  
 頭  
 (p.3.7)  
 頭 .....  
 視 -----  
 T T68うん  
 U .....  
 視 -----  
 頭  
 頭 .....  
 視 ----- x -----  
 T T69ドイツとか//フランスとか  
 U .....  
 視 -----  
 頭

頭 .....  
 視 ----- (正面) -----  
 T T70=はー  
 U U58あの辺行くとやっぱり//ある程度//これできないと困るでしょう↑=  
 視 ----- (斜下) -----  
 頭 話す手ぶり

(p.2.6)  
 頭 .....  
 視 ----- x -----  
 T T71やっぱりその練習のコースっていうのはあるのかな↑  
 U .....  
 視 ----- x ----- (斜横) -----  
 頭  
 頭 .....  
 視 ----- (横) -----  
 T .....  
 U U59たぶんあるでしょう↓  
 視 ----- x -----  
 頭

会話資料10 日本語母語話者同士の会話「考古学ブーム」

データ

収録場所：B 大学内の教室

会話参加者：JF6 (Y) 女性、JF5 (A) 女性

会話時間：約20分の自由会話のうち、始めの數分をカットした15分間分

全体の流れ

◆Aは文学部の2年で考古学を専攻している。専門のためにスペイン語を始めた。→以前、ラジオ講座で独学でスペイン語をやっていたが、内容が楽しくてずっと聞いていた。→世界不思議発見という番組の中で、南米の遺跡の話も出ていた。→本を買ったとたまるので、古本屋に行くようにしている。→あまりこの辺には古本屋がない。ジャスコで今古本市をやっている。→Aは推理小説が好きで、横溝正史の本が好きだ。→高校の時は、部活と受験で忙しかった。→Yは運動音痴で、部活はプラスチックの板が好きだ。→Aは楽譜がよめない。高校の時、音楽の時間に個人演奏というのがあって、イヤだった。→カラオケでマイクを持つと、思うように歌えない。思いきり外れてしまう。→Yは学校に来るとき、子どもを保育園に預けている。→学校で勉強しようとしても、他の人がいると話しをしてしまふ。

会話

頭 ○。  
 視  
 Y じゃAさんは↑↑↑?? | あっ文学部  
 A | あっ私一はええと文学部の↑↑2年生ですよ  
 視 (下) -- x  
 頭 ○  
 頭 ○。  
 視 (斜上) -- x  
 Y Y1=どこ↑↑2年生ってコース決まってるよね↑↑??  
 A A1| あっはい、あのー考古学/  
 視 (下) -- x  
 頭 ○。  
 視 # Y2| あっ考古↑  
 A コースです | # A2| はい  
 視  
 頭 ○。  
 頭 ○。  
 視 (斜下) -- x  
 Y Y3| あっおもしろそう | 最近すごく何か興味あってー私も考古学なんか??? まっ||  
 A | (笑い)  
 視  
 頭 ○

頭 手ぶり ○ .  
 視 -- x  
 Y よくいろんな人がまっ、パッと惹かれる分野だけど | 邪馬台国とか (笑い)  
 A | あー (笑い) あー  
 視  
 頭 . . . ○ . . .  
 頭 ○ 顔向きかえる  
 視  
 Y そのあたりが= # Y4| 今あっ今/あっ何かこないだ/  
 A A3=今ちょっと何かブームなんですよ | ね↑  
 視  
 頭 . . .  
 頭 . ○ . . .  
 視  
 Y 発掘された | あっ青森 | あー  
 A # A4| そ、青森のー|| 方で遺跡になって | ↑↑うーん何かブームになってる  
 視 (正面) -- x  
 頭 . . .  
 頭 . . .  
 視  
 Y Y5=あっその辺のこととかやると | すか↑  
 A みたい (笑い) = # A5| あっ私一は/ちよっと外国を  
 視 (斜下) -- x  
 頭 手を挙げる

頭 ○ . . . ○ . . . (斜上)  
 視 # Y6| あっ外国の/考古↑ # Y7| ベルー↑↑あっ、や、何か  
 A | 中心に # A6| うんベルーとか/その辺を中心↑に  
 視  
 頭 ○ . . . ○ . . .  
 頭 ○ . . . ○ . . . (正面)  
 視 //なん/い、インカ帝国じゃなく | ↑↑あっインカ帝国↑↑ふーん、あーおもしろそう=  
 A | あっそうです  
 視  
 頭 . . . ○ . . .  
 頭 ○ . . . ○ . . .  
 視  
 Y | あっそうなの↑  
 A A7=で、うん、今ちょっとスペイン語をやり始めた | とこなんですよ | けど/まだ  
 視 (正面) -- x  
 頭 . . . ○ . . .  
 頭 挨拶の手ぶり  
 視 (斜) -- x (正面)  
 Y # | オラ、アミーゴ!! コモエスタって | っていう # Y8| うーん  
 A 全然 (笑い) だめで | ↑↑ああ、そう (笑い) # A8| あっ何かよくご存知で | すね  
 視  
 頭 手をふる ○ ○ . . .



頭 首傾げ  
 視 (斜) - x  
 Y # Y14 | 何か神々の指紋っていう本が | 今ベストセラーに  
 A A14=あっこの前ちょっと見 | 見たかな # | あっそうなんですか↑  
 視 - x  
 頭 首傾げ  
 頭 。。  
 視 (正面) - x  
 Y なって何か1万2千年前がどうしたこうしたっ | っていうんで、そっちの  
 A //へえー | うんうんうん  
 視 。。。。  
 頭 。。  
 視 (正面) - x  
 Y 方の何か//南米の | 遺跡一が//何か、す//一万年2千年に作られたもんじゃないか//  
 A | うん  
 視 。。  
 頭 。。  
 視 (斜構) 。  
 Y っていうか | そのいう説を、何て人だったかな↑ (p12) グラハム、ハンコック  
 A | あーそうなんですか  
 視  
 頭

頭 。。  
 視 (正面) - x  
 Y でしたっかな↑ | ? ? 書いてる本で//んでーそれが何かエジプトのそのピラミッドとー  
 A | はーん  
 視 O。O。  
 頭  
 頭 「作る」手ぶり  
 視 「組む」手ぶり O。  
 Y //何か起源が同じ何か作り方がいっしょでー | 何か石の何か組み合わせ | 方とかが  
 A | はー | あーあーあー  
 視 (下) - x  
 頭 O。O。  
 頭 O。  
 視 (斜) - x  
 Y (p1.1) うん、でーこれが何か失われた | (笑い) 文明の (笑い) ? ? なんじゃ  
 A | (笑い) うんうんうんうん  
 視  
 頭 首突き出し。。。。。。  
 頭 。。。。  
 視 (正面) - x  
 Y ないかつって//うーん//って | いてそれが何か、あーおもしろいなと思ってその本を  
 A | (笑い) うんうんうんうん  
 視  
 頭 。。。。  
 頭

頭 「本」の手ぶり。  
 視 (斜) - x (手元) - x (正面) - x  
 Y (吸気) 探し回っているんだけど何か下だけ、も | しか残ってなくて | して//  
 A | うん | うん  
 視 。。。。  
 頭 。。。。  
 頭 。  
 視 (斜) - x (斜構) - x  
 Y で、全然置いてなかったりとか | して今探しているの (笑い) で、今日/あとで  
 A | ああそうなんですか (笑い)  
 視 O  
 頭  
 頭 生協の方を指す 姿勢をかえる。  
 視 x  
 Y 生協いっ、ないか見てこようと | 思ってただんど//うん  
 A | あー  
 視 (正面下) - x  
 頭 。。。。  
 頭 。  
 視 (斜) - x (下) - x  
 Y # Y15 | ねー//下だけあって | 上からじゃ  
 A A15何かなかなか欲しい本はないですよ | ねーうん (笑い)  
 視  
 頭 。  
 頭 O

頭 (上) - x  
 視 ない (笑い)  
 A O  
 頭  
 頭 O  
 視 x (下) - x  
 Y Y16=うん  
 A A16へえー  
 視 (下) - x  
 頭 。。。。  
 頭  
 頭  
 視 - x  
 Y A17うーん何か本とか//買うとものすごい | こうたまっちゃうんで結構  
 A  
 視 - x  
 頭 「たまる」手ぶり  
 頭 。。。。  
 視 (斜) - x  
 Y | あっ/あーあーあー # Y17 | うーん//考古学関係の本って | いっぱい  
 A 古本屋 | さんとかに行っ | 買って買 | うん | ですよ | けど  
 視  
 頭 。。。。  
 頭













頭 横ふり ○。

視

Y |なくて一あー嫌いだってなってしまう、うーん

A #A 64 |うーん歌えないですよねー↑難しいです、何か/何かよく知ってる歌

視 (正面) - - - - x

頭 手ぶり

頭 。

視

Y |うーん |うーん |うーん |うーん

A とかー|カラオケで毎回歌うの|は歌えるんですよー|だけど/何か新しい歌とか↑||

視

頭 。

手ぶり

頭 。

視

Y |うーん |うーん

A 全部知ってもー//何か歌おうと思っても何かどっかはずれる|んですよー、

視 (正面) - - - x (下) - -

頭 手ぶり

手の横ふり

頭 。

視

Y |うーん

A 何かおかしいなー|とか思って、うーん(笑い)

視 - - - - x

頭 顔に手

手ぶり

頭 ○。

手上げる

視 (正面) - - - - x

Y Y63 難しいよ|ねー↑ # Y 64 |うん、だから皆が、だからカラオケ行っても|

A #A 65 |難しいですよ|ねー↑結構

視

頭 。

頭 。

視 座る身振り 。

視

Y 他の人が歌っててー|//で一座ってー|こっちで歌ってるっていうの|は、いっしょに

A |うん |うん # |うん |うん

視

頭 。

頭 。

視

頭 。

首振り

視 (正面) - - - - x

Y 歌うってのはできるんだけど、だから別に音痴じゃないとは思っただけど、自分で

A 歌えるんですよねー↑ # |うんでも自分で

視

頭 。

頭 。

視 横ふり

視 (正面) - - - - x

Y マイクを持つと歌えない|の|どうしても、は、思いつきはずれて|何か、

A マイクを持つと |うん

視

頭 持つ手ぶり 。

頭 手を首に ○。

視 (下) - - - -

Y はずれてるんだろなって思う|の(笑い) うーん

A | (笑い)

視 (下) - - - -

頭 。

頭 。

視

頭 ○。。。。。

視 (正面) - - - -

Y |うーん

A A 66 自分の声聞こえないからわかんないですよ|よね↑//うーん

視 - - - - x

頭 。

頭 。

視

頭 。

視 (正面) - - - - x

Y Y 65 |やっぱ他の人もそんなもんなんだ|あたしだけ|//聞こえ、どっか何か||

A |???

視 |うーん | (笑い)

頭 。

頭 顔に手

視 (正面) - - - -

Y 耳が壊れて|るんじゃないかなって(笑い)???

A # | (笑い) 大丈夫よー

視 (下) - - - - x

頭 手の横ふり

頭 。

視

Y # |それでも歌えるんだよね↑ # Y 66 |きこ/き/

A A 67でも/うまい人はやっぱり|//聞こえ、聞こえてるの/ か|な↑

視 (正面) - - - - x

頭 首振り

頭 マイクを持つ動作

首振り

視 (斜)

Y だって酔ってるでしょう↑何かもう|歌いながら酔い痴れて、あれは

A |うーん |うーん |うーん

視

頭 。。。。。

頭 。

視

Y 聞こえとるんやろなあーって思っ↑て

A #A 68 |何かカラオケのー//機械の音に自分の声

視 (正面) - - - - x

頭 ○ 「機械」の手ぶり 合わせる手ぶり

頭 。

視 (正面) - - - - x

Y # |あーそれも難しいと思う//うんキーが??

A 合わすのって難しくないですか↑|そんなことないですか↑|それも難しい

視

頭 手ぶり









頭 視 O。。

---

Y | あーあーわかるわかるその気持ち | でもそうしないといけない  
 A | ですよ↑ | あんまり/うーん | で

---

頭 視 。。。。。

---

頭 視 。。。。。

---

Y | んだ | よね↑ | 細切れの時間でも | うーん  
 A | | そうなんですよねー、うーん、 | でー何か夜になるとー// | そういう推理小説とか  
 視 ----- (下) - (正面) - x -----

---

頭 視 。。。。。

---

Y | | あ読みたくなる (笑い) | | 難しいよねー↑  
 A | | 読み | たくなるしー// | うーんだから | | 学校に来て図書館とかでやるのがうん、 | たぶん  
 視 ----- (正面) ----- x ----- (斜上) - x -----

---

頭 手ぶり 。

---

頭 視 。

---

Y | | 一番いいのかな↑ | うん  
 A | | 一番いいんじゃないかと思うんだけど | でも何か来ると | だいたいお昼ぐらいに  
 視  
 頭

